

太子町総合計画・男女共同参画プラン
住民アンケート調査
調査結果報告書

令和5年12月

太子町

目次

I 調査概要	1
1.調査の目的	1
2.調査の設計	1
3.回収状況.....	1
4.報告書を見る際の注意事項.....	1
II 調査結果	2
<総合計画策定のためのアンケート調査結果>.....	2
1.あなた自身のことについて	2
問1 性別.....	2
問2 年齢	2
問3 所属している自治会名	3
問4 配偶者・パートナーの有無.....	4
問4-1 共働きをしているか	5
問5 子どもの有無.....	6
問5-1 一番下の子どもの属性	7
問6 家族構成.....	8
問7 太子町での居住歴.....	9
問8 職業	10
問8-1 今後の就業意欲について	13
問9 普段の1週間の就業時間について.....	14
問10 希望する1週間の就業時間について	15
問11 職場でのメンタルヘルス対策の有無について	16
問12 テレワークの実施状況	17
2.生活環境・まちの施策について.....	18
問13 太子町の生活環境等について、現在の満足度と今後の重要度	18
問14 太子町の住みよさについて	22
3.太子町への居住意向について	23
問15 太子町に住んでいる理由.....	23
問16 今後の居住意向について.....	25
問16-1 住み続けたい理由	26
問17 転居したい理由	28

4.行政のデジタル化・生きがいづくりについて	29
問18 普段利用している情報通信機器	29
問19 現在利用している SNS	31
問20 利用したことがあるデジタル行政サービスについて	33
問21 「現在生きがいになっていること」と「今後生きがいにしたいこと」について	35
問22 生きがいづくりに関する情報の入手先	38
5.土地利用について	40
問23 住環境の整備について望むもの	40
問24 住宅地の整備について望むもの	42
問25 商業地の整備について望むもの	44
6.太子町のまちづくりについて	46
問26 太子町に愛着を感じているか	46
問26-1 太子町に愛着を感じるタイミングについて	47
問27 どのような形で太子町のまちづくりに参加したいか	48
<男女共同参画に関するアンケート調査結果>	50
7.職業生活について	50
問28 育児休業や介護休業について	50
問29 ワーク・ライフ・バランスについて	52
問30 結婚・出産・介護を機に仕事を辞めた経験の有無について	54
問31 男女がともに働き続けるために必要なことについて	56
問32 女性が活躍できる仕事・職場環境にするために必要なもの	59
8.男女の平等意識について	62
問33 男女の地位について	62
問34 結婚・ジェンダーに対する考え方について	69
問35 家庭でのことがらに関する夫婦の分担について	76
問36 子どもの育て方について	94
問37 男性が家事、育児、介護に積極的に参加するために必要なことについて	95
9.夫婦間や交際相手からの暴力（DV＝ドメスティック・バイオレンス）等について	98
問38 セクシュアル・ハラスメントについて	98
問38-1 セクシュアル・ハラスメントへの対処について	99
問39 DV 被害について	101
問39-1 DV 経験者の相談状況	106
問39-2 どこにも相談しなかった理由	108

問40 DVを防ぐために必要だと思うこと	110
10.地域活動への参加などについて	113
問41 地域社会での男女共同参画を積極的に進めるために必要だと思うこと	113
11.男女共同参画の取組について	116
問42 地域活動や方針決定の場への女性の参画状況について	116
問43 男女共同参画に関する用語の認知状況	117
問44 男女共同参画の推進に必要だと思う施策	127

I 調査概要

1.調査の目的

本調査は、令和2年度(2020年度)から令和11年度(2029年度)までの10年間のまちづくりの基本的な方針を定める「第6次太子町総合計画(第3次まち・ひと・しごと創生総合戦略)」の改定及び令和6年度施行予定の「第5次男女共同参画プラン」の策定を進めるにあたり、町民の皆さまのご意見を把握し、計画改定・策定の基礎資料とすることを目的に実施しました。

2.調査の設計

調査対象	調査期間	調査方法
18歳以上の住民3,000人を 住民基本台帳登録者の中から 無作為抽出	令和5年7月12日～ 令和5年8月4日	郵送配布・郵送回収

3.回収状況

配布数	有効回収数	有効回収率
3,000件	1,022件	34.1%

4.報告書を見る際の注意事項

- 回答は各質問の回答者数(n)を基数とした百分率(%)で示しています。
- 回答結果の割合「%」は、有効サンプル数に対してそれぞれの回答数の割合を小数点以下第2位で四捨五入したものです。そのため、単数回答(複数の選択肢から1つの選択肢を選ぶ方式)であっても合計値が「100.0%」にならない場合があります。このことは、本報告書内の分析文、グラフ、表においても反映しています。
- 複数回答(複数の選択肢から2つ以上の選択肢を選ぶ方式)の設問の場合、回答は選択肢ごとの有効回答数に対して、それぞれの割合を示しています。そのため、合計が「100.0%」を超える場合があります。
- 表については、報告書内で注目している箇所に網掛けをしています。
- 年代別における18・19歳(n=10)など、サンプル数が少ないものについてはコメントを割愛しています。
- 本文中の設問の選択肢について、長い文は簡略化している場合があります。
- 表中において、「無回答」とあるものは、回答が示されていない、または回答の判別が困難なものです。

Ⅱ 調査結果

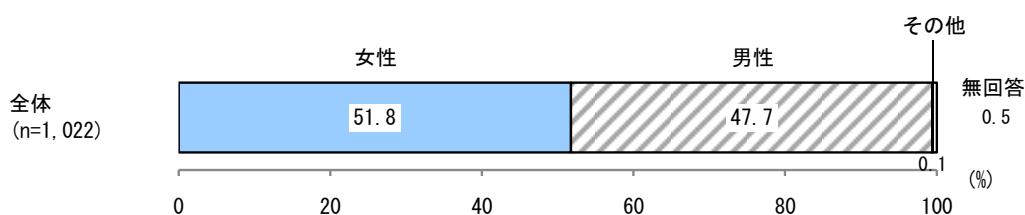
<総合計画策定のためのアンケート調査結果>

1.あなた自身のことについて

問1 性別

問1. あなたの性別は。(○は1つ。身体的な性別、またはご自身で思われる性別をお答えください)

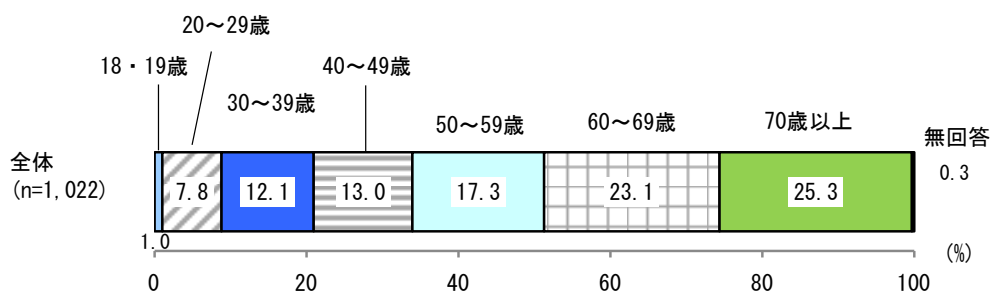
・回答者の性別は、「女性」が51.8%、「男性」が47.7%となっています。



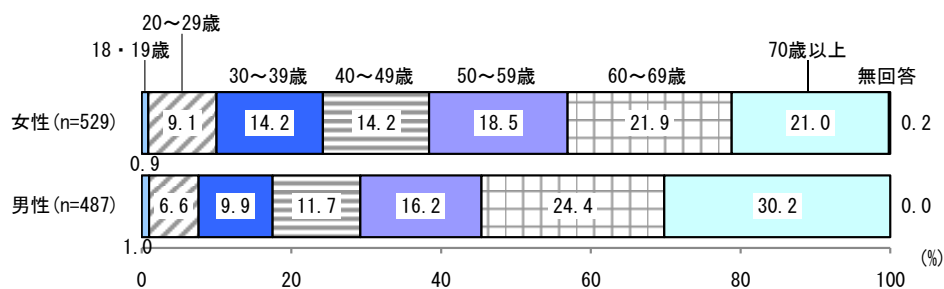
問2 年齢

問2. あなたの年齢は。(○は1つ。令和5年7月1日現在の年齢をお答えください)

・回答者の年齢は、「70歳以上」が25.3%と最も高く、次いで「60～69歳」が23.1%、「50～59歳」が17.3%となっており、これらを合わせた『50歳以上』の合計が全体の65.7%を占めています。



・性別にみると、70歳以上では男性の割合が女性よりも9.2ポイント高くなっています。



問3 所属している自治会名

問3. あなたが所属されている自治会の名前をご記入ください。

※わからない場合は、ご自宅の郵便番号をご記入ください。

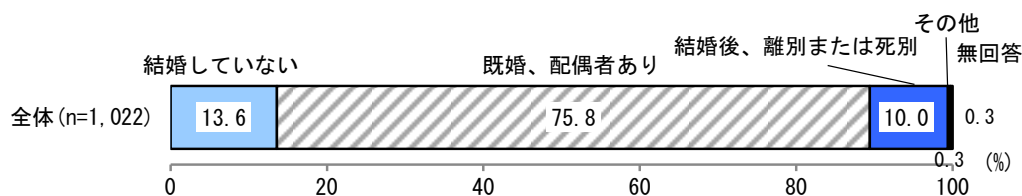
・自治会については、「矢田部」が6.1%と最も高く、次いで「北之町」が5.1%、「東保」が5.0%となっています。

町名	回答者数	割合 (%)	町名	回答者数	割合 (%)
矢田部	49	6.1	聖徳台	7	0.9
北之町	41	5.1	広坂	7	0.9
東保	40	5.0	船代	6	0.7
立岡	37	4.6	岩見構下	6	0.7
東南	35	4.4	沖代	6	0.7
田中	33	4.1	米田	6	0.7
馬場	29	3.6	平方	6	0.7
東本町	27	3.4	松ヶ下	6	0.7
福地	26	3.2	岩見構上	5	0.6
老原	24	3.0	竹広南	5	0.6
蓮常寺	24	3.0	糸井池	5	0.6
町与	21	2.6	天満山	5	0.6
太子苑	21	2.6	天満山県住	5	0.6
糸井北	18	2.2	松尾	5	0.6
川島	16	2.0	間野	4	0.5
中出	15	1.9	沼田	4	0.5
東出	15	1.9	北村	4	0.5
東出ヶ丘	14	1.7	下出	4	0.5
糸井南	12	1.5	原池団地	4	0.5
丹生	11	1.4	松田	4	0.5
宮本	10	1.2	仁王前	3	0.4
吉福	10	1.2	出屋敷	3	0.4
西本町	9	1.1	塚森	3	0.4
太子ニュータウン	9	1.1	鼓ヶ原団地	3	0.4
竹広	9	1.1	阿曾	2	0.2
原	9	1.1	糸井池田	2	0.2
美原台	9	1.1	山田	2	0.2
助久	9	1.1	柳	2	0.2
上太田	9	1.1	鵜飼	2	0.2
小田町	8	1.0	王子	2	0.2
新町	8	1.0	上之町	1	0.1
下阿曾	8	1.0	松尾住宅	1	0.1
常全	8	1.0	無回答	49	6.1
			総数	802	100.0

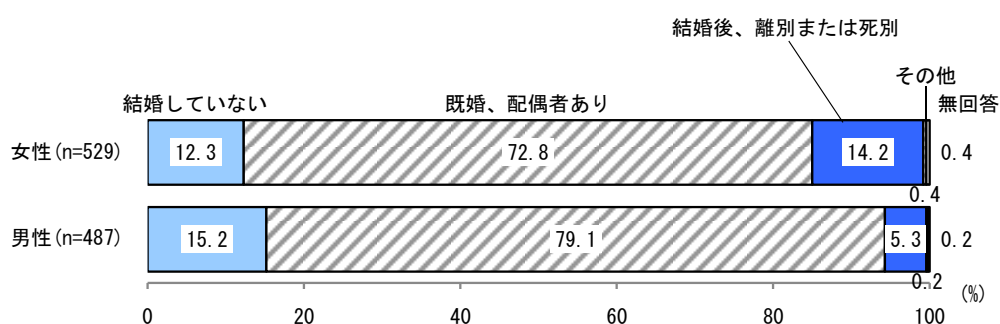
問4 配偶者・パートナーの有無

問4. あなたは結婚(事実婚を含みます)をしていますか。(○は1つ)

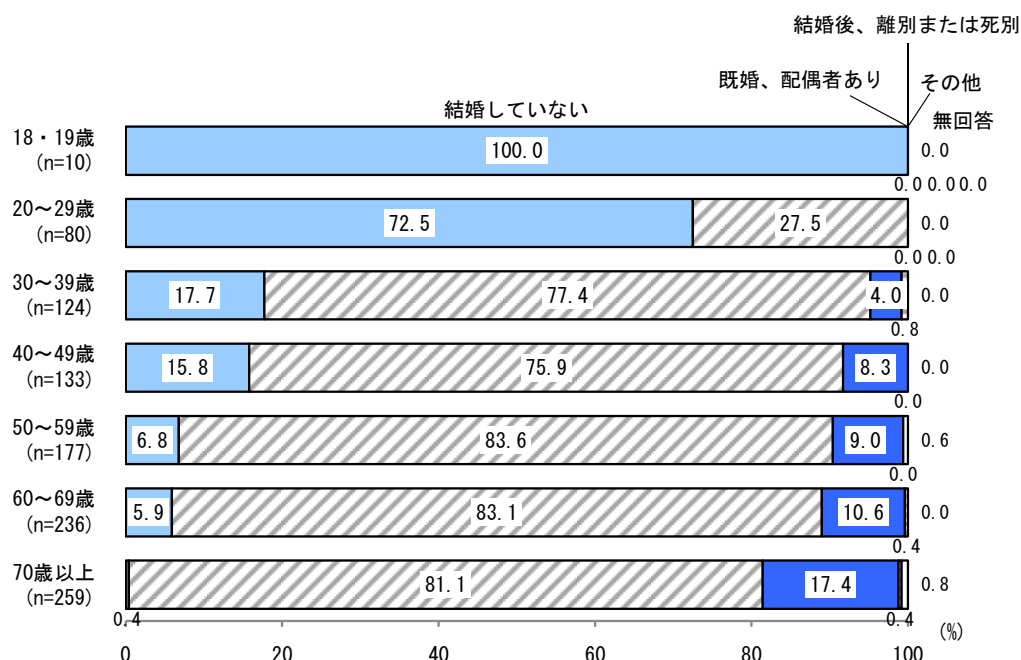
・配偶者・パートナーの有無については、「既婚、配偶者あり」が75.8%と最も高く、次いで「結婚していない」が13.6%、「結婚後、離別または死別」が10.0%となっています。



・性別にみると、女性は男性よりも「結婚後、離別または死別」の割合が高く、14.2%となっています。



・年代別にみると、若い年齢層ほど未婚率が高く、高齢層ほど「結婚後、離別または死別」の割合が高い傾向にあります。

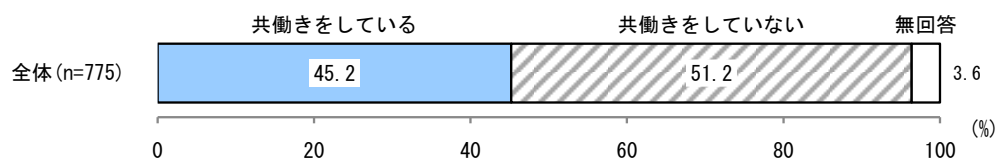


問4-1 共働きをしているか

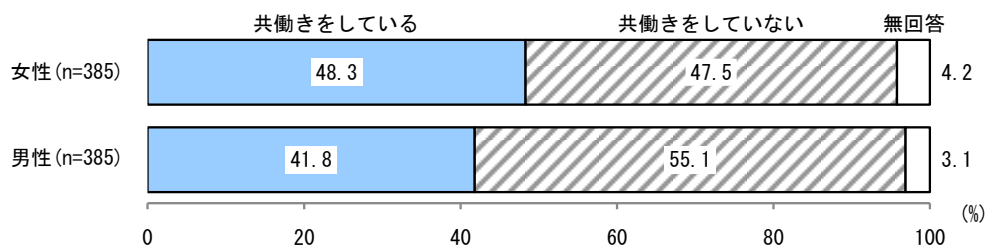
【問4で「2.既婚、配偶者あり」と答えた方におたずねします。】

問4-1. ご夫婦またはパートナーと共働きをしていますか。(○は1つ)

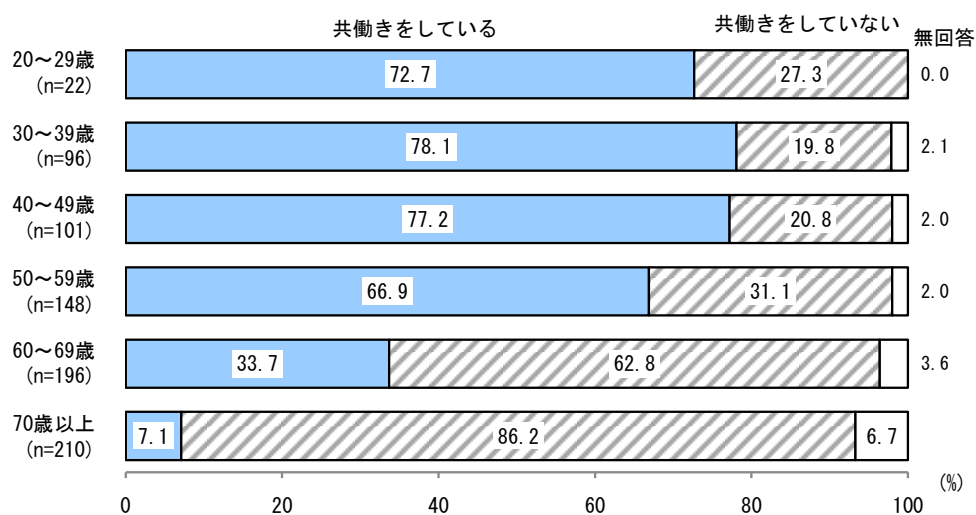
・共働きをしているかについては、「共働きをしていない」が 51.2%、「共働きをしている」が 45.2%となっています。



・性別による大きな差はありません。



・年代別にみると、49 歳以下の年代では「共働きをしている」が70.0%を超えています。

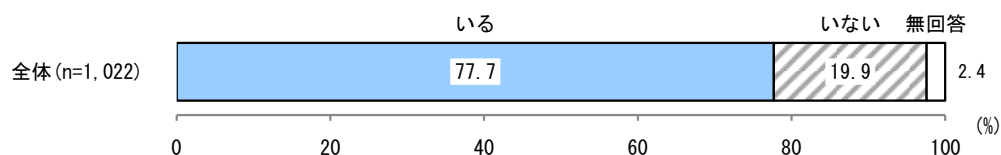


※本設問においては、「18・19歳」の回答者数が0人であったため、表に記載しておりません。

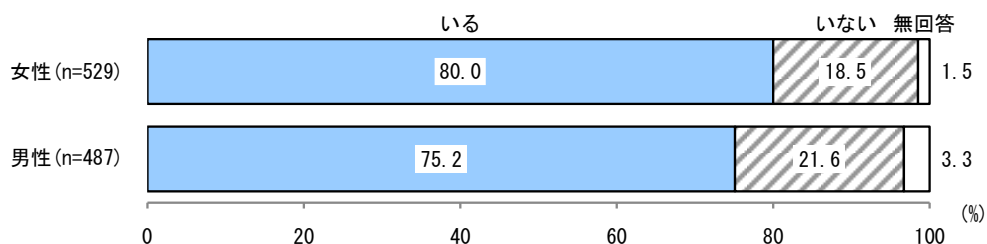
問5 子どもの有無

問5. あなたにはお子さんがおられますか。(○は1つ)

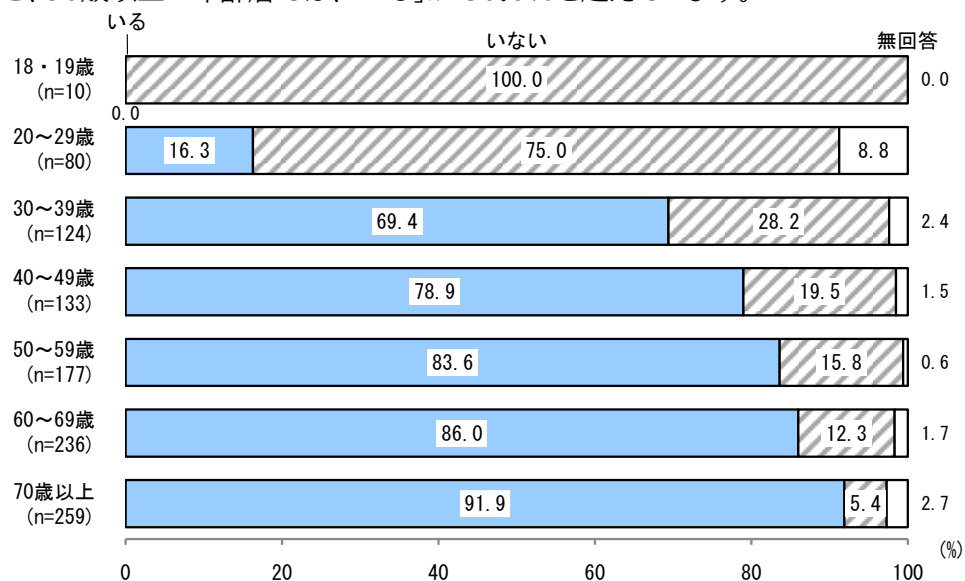
・子どもの有無については、「いる」が77.7%、「いない」が19.9%となっています。



・性別による大きな差はみられません。



・年代別にみると、50歳以上の年齢層では、「いる」が80.0%を超えています。

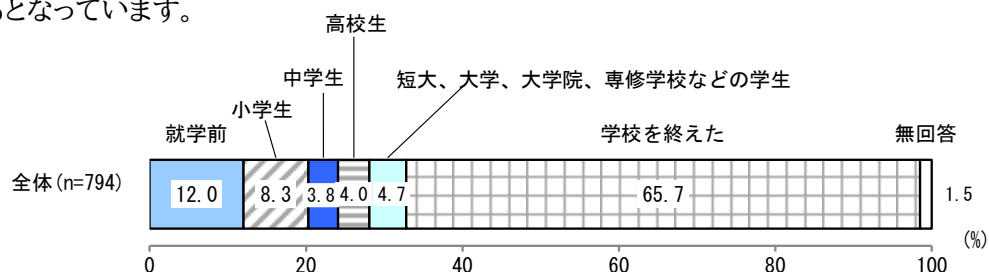


問5-1 一番下の子どもの属性

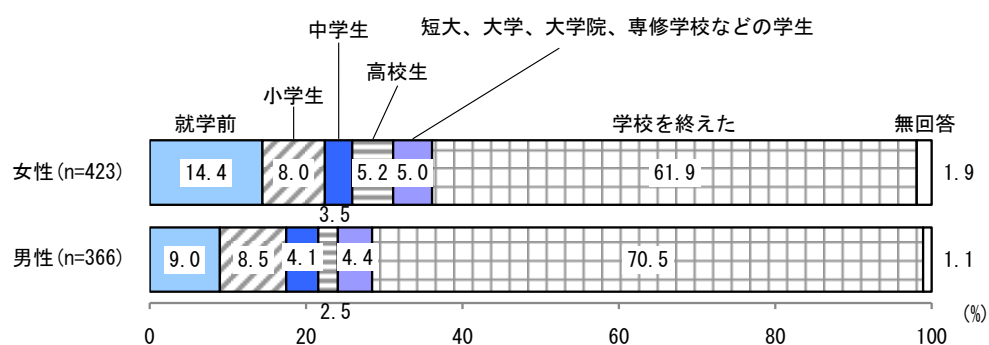
【問5で「1.いる」と答えた方におたずねします。】

問5-1. 一番下のお子さんは次のどれにあたりますか。(○は1つ)

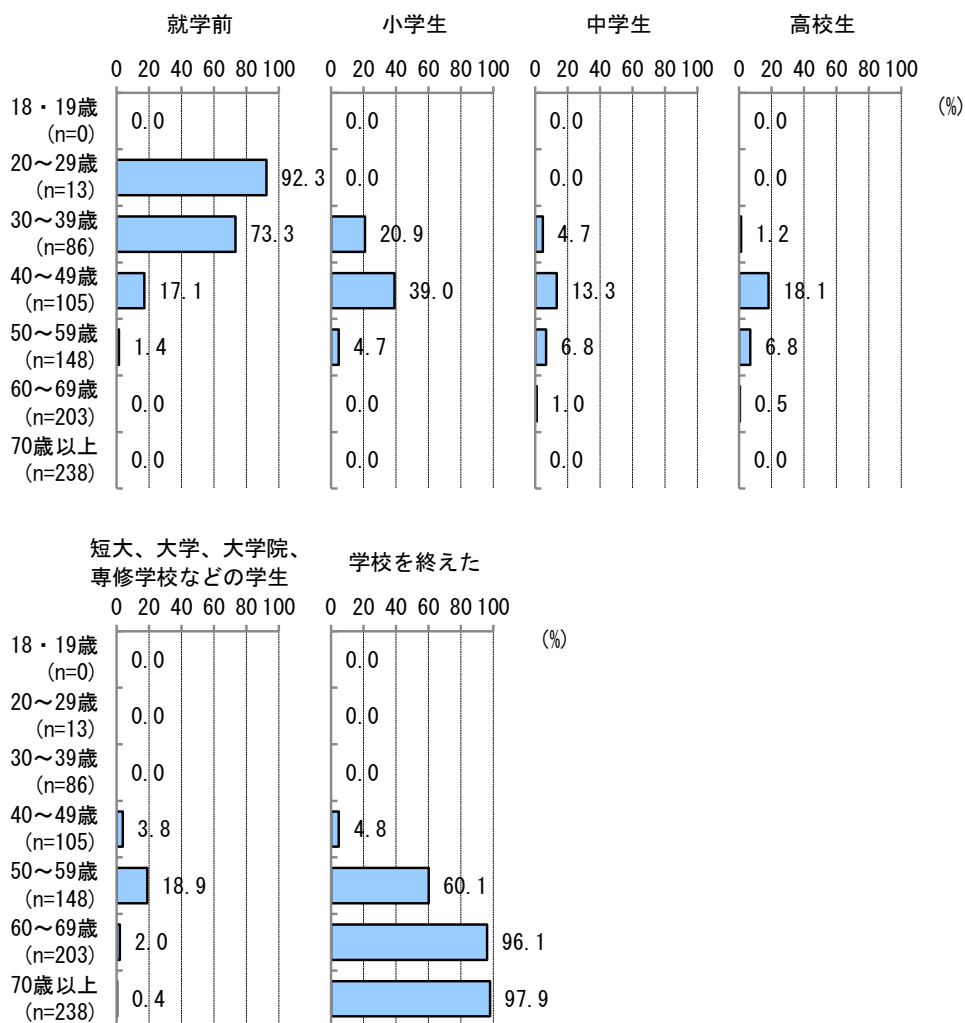
・一番下の子どもの属性については、「学校を終えた」が65.7%と最も高く、次いで「就学前」が12.0%、「小学生」が8.3%となっています。



・性別による大きな差はみられません。



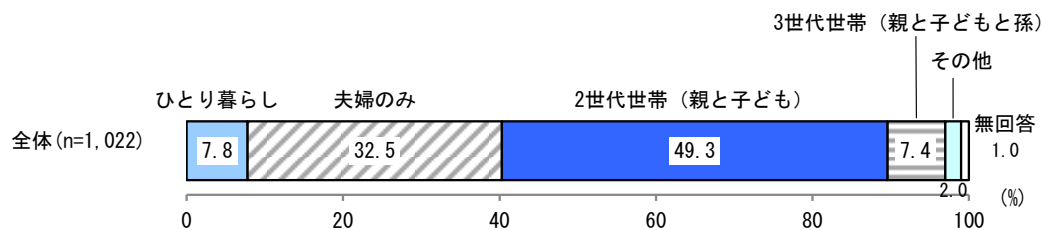
・年代別にみると、20～29歳で「就学前」が92.3%となっています。また、40～49歳で「小学生」が39.0%、70歳以上で「学校を終えた」が97.9%となっています。



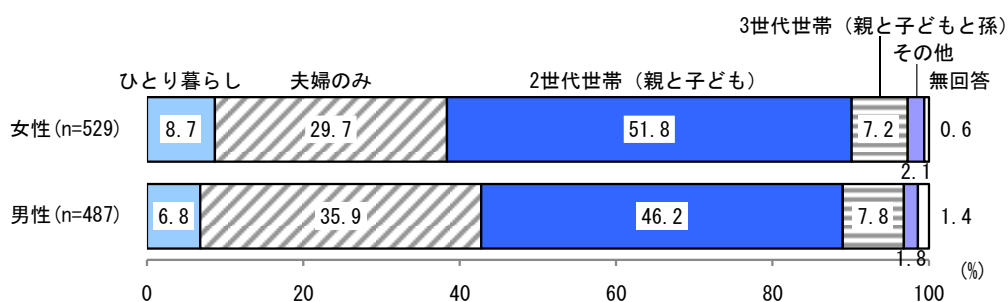
問6 家族構成

問 6. あなたの家族構成は。(○は1つ)

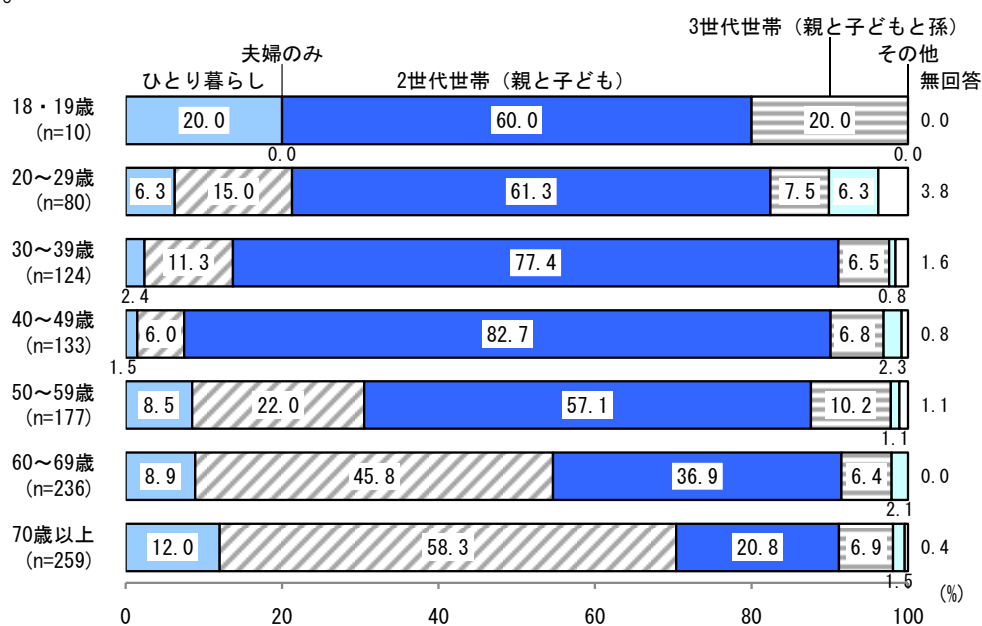
・家族構成については、「2 世代世帯(親と子ども)」が 49.3%と最も高く、次いで「夫婦のみ」が 32.5%、「ひとり暮らし」が 7.8%となっています。



・性別による大きな差はみられません。



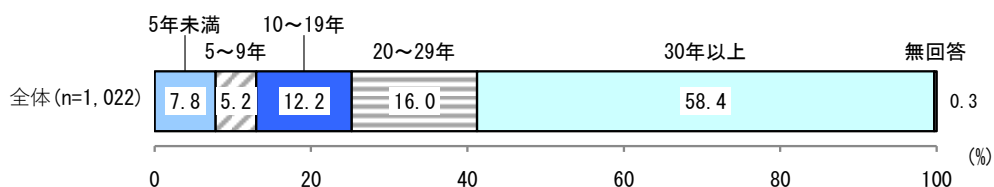
・年代別にみると、40～49歳で「2世代世帯(親と子ども)」が82.7%、70歳以上で「夫婦のみ」が58.3%と高くなっています。



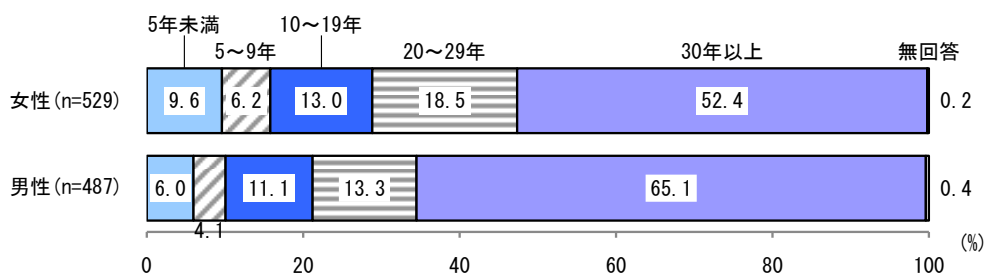
問7 太子町での居住歴

問7. あなたは太子町にお住まいになって何年になりますか。(○は1つ)

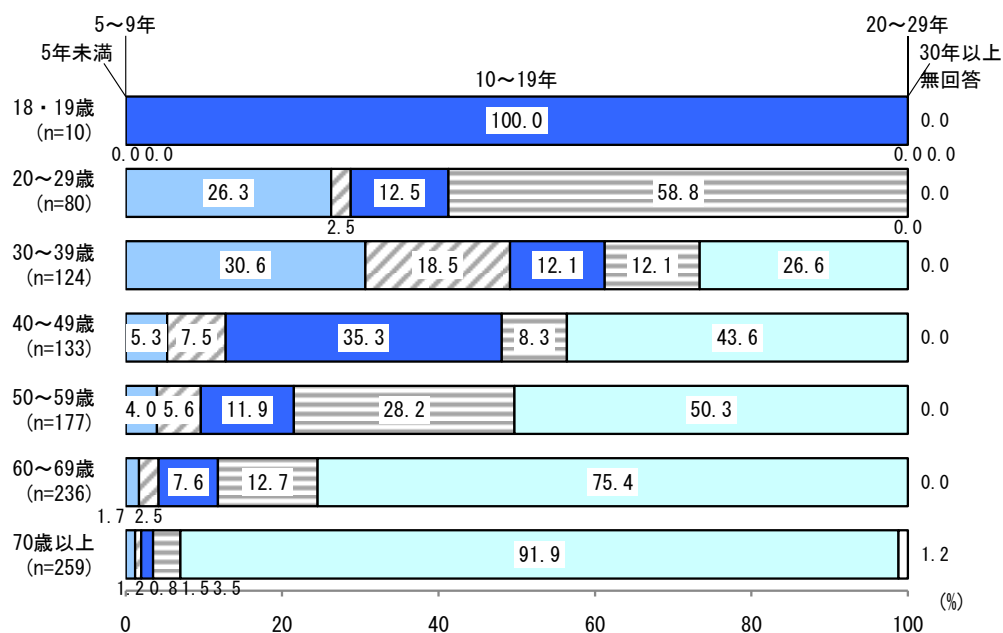
・太子町での居住歴については、「30年以上」が58.4%と最も高く、次いで「20～29年」が16.0%、「10～19年」が12.2%となっています。



・性別にみると、男性は女性よりも「30年以上」の割合が高く、65.1%となっています。



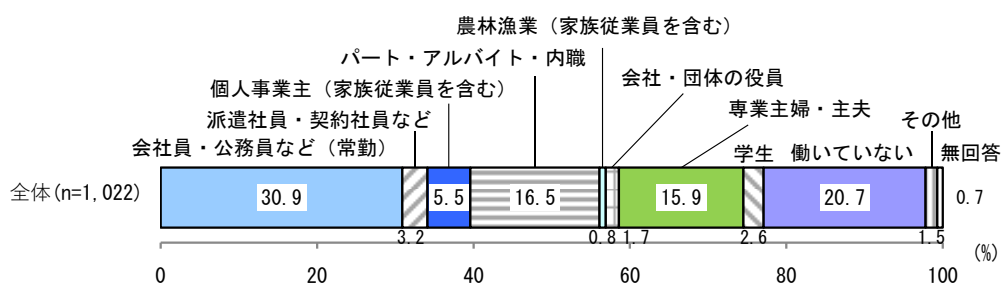
・年代別にみると、30～39歳で「5年未満」が30.6%、40～49歳で「10～19年」が35.3%、70歳以上で「30年以上」が91.9%と他の年代より高くなっています。



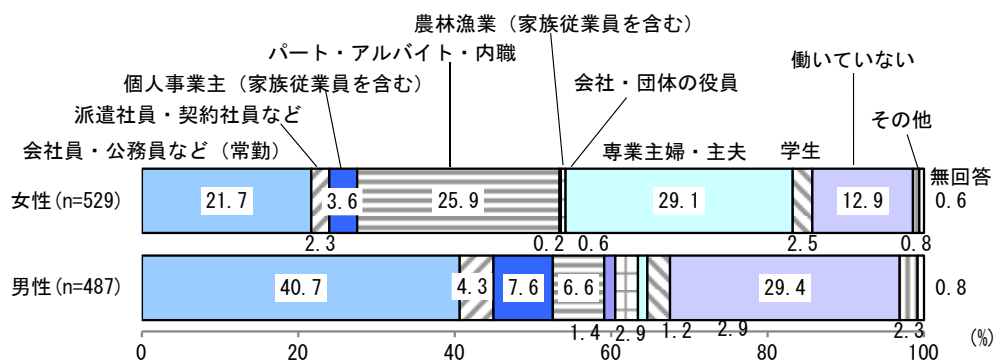
問8 職業

問8. あなたの主な職業をお答えください。(○は1つ)

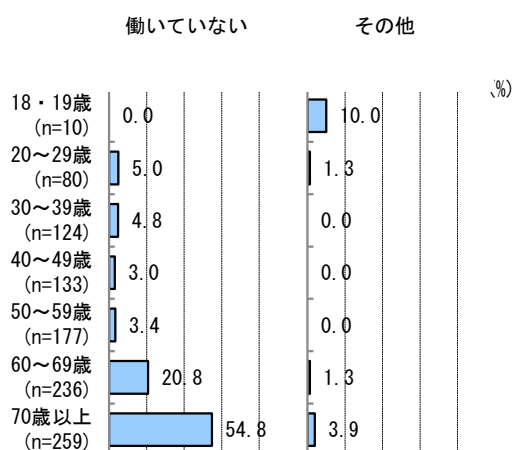
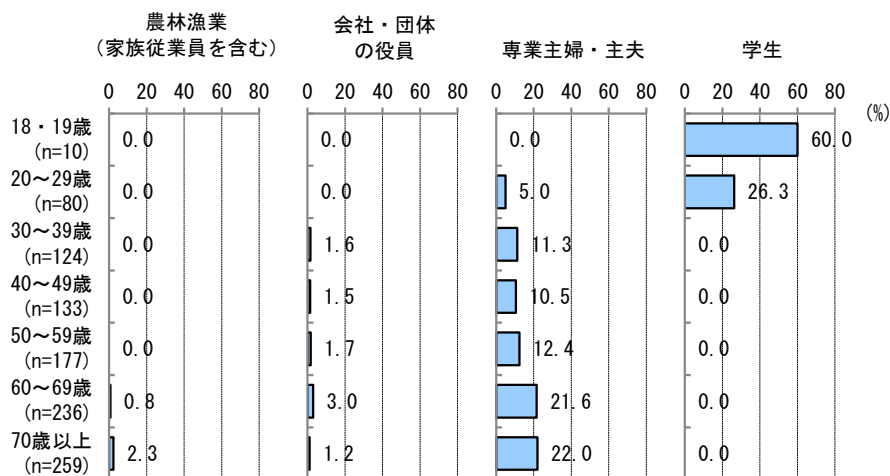
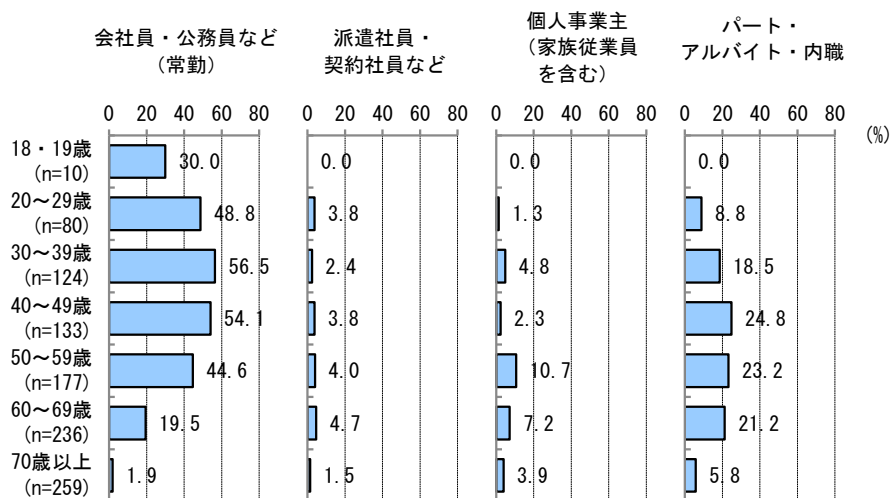
・職業については、「会社員・公務員など(常勤)」が30.9%と最も高く、次いで「働いていない」が20.7%、「パート・アルバイト・内職」が16.5%となっています。



・性別にみると、女性は男性よりも「パート・アルバイト・内職」が 19.3 ポイント高く、男性は女性よりも「会社員・公務員など(常勤)」が 19.0 ポイント高くなっています。



・年代別にみると、30～39歳で「会社員・公務員など（常勤）」が56.5%と高くなっています。また、70歳以上で「働いていない」が54.8%と高くなっています。

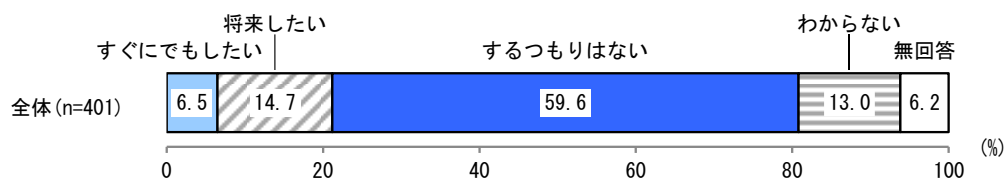


問8-1 今後の就業意欲について

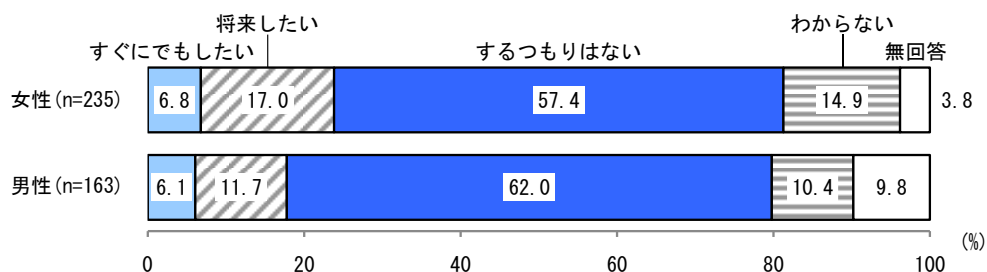
【問8で「7.専業主婦・主夫」「8.学生」「9.働いていない」と答えた方におたずねします。】

問8-1. 今後、仕事をしたいと思いますか。(○は1つ)

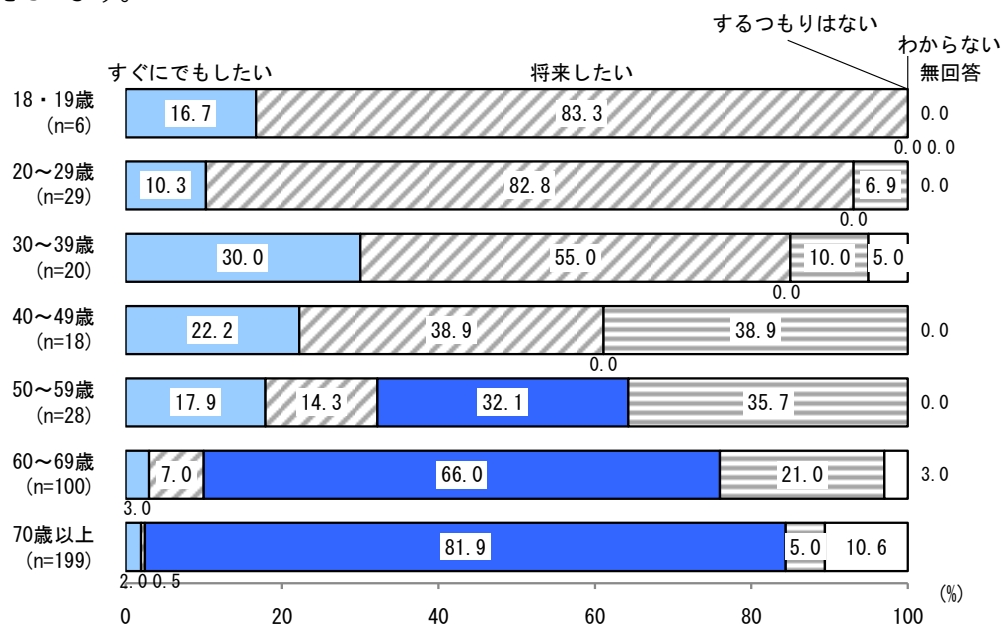
・今後の就業意欲については、「するつもりはない」が59.6%と最も高く、次いで「将来したい」が14.7%、「わからない」が13.0%となっています。



・性別による大きな差はみられません。



・年代別にみると、29歳以下では「将来したい」が80%を超えている一方で、70歳以上では「するつもりはない」が80%を超えています。

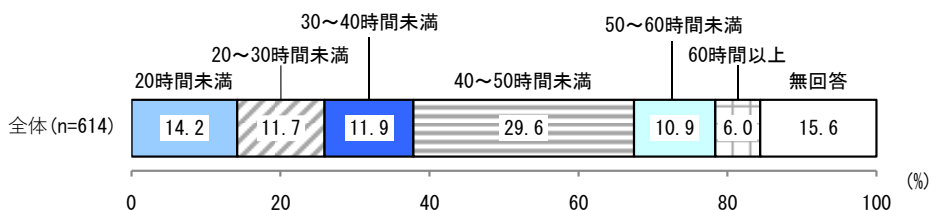


問9 普段の1週間の就業時間について

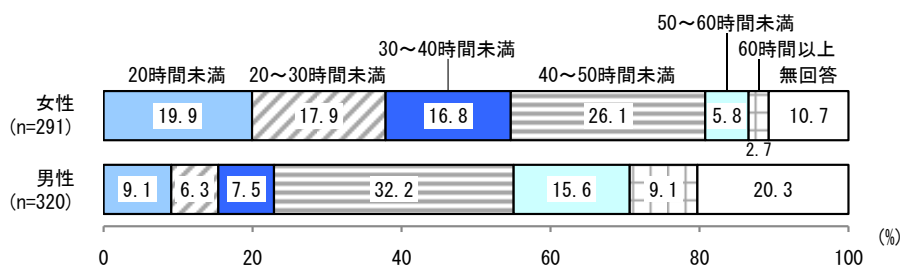
【問9～12 は、問8で「7.専業主婦・主夫」「8.学生」「9.働いていない」以外を答えた方におたずねします。】

問9. 普段の1週間の就業時間をお答えください。普段残業や副業をしている場合は、それも含めた1週間の合計についてご記入ください。

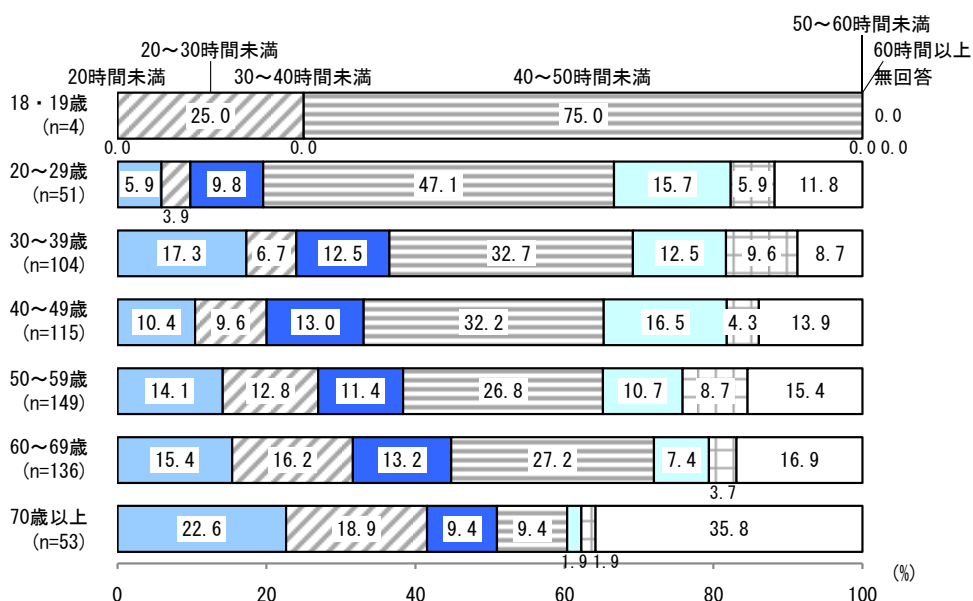
・普段の1週間の就業時間については、「40～50時間未満」が29.6%と最も高く、次いで「20時間未満」が14.2%、「30～40時間未満」が11.9%となっています。



・性別にみると、女性は男性よりも普段の1週間の就業時間が短い傾向にあり、「20時間未満」が19.9%、「20～30時間未満」が17.9%、「30～40時間未満」が16.8%となっています。一方で、男性は女性よりも就業時間が長い傾向にあり、「50～60時間」が15.6%、「60時間以上」が9.1%となっています。



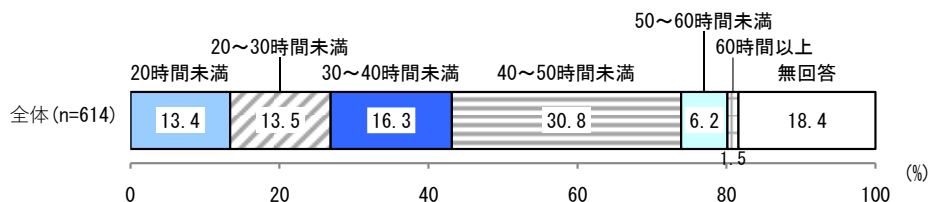
・年代別にみると、年代が上がるにつれて「40～50時間未満」が低くなる傾向にあり、20～29歳で47.1%と高い一方で、70歳以上では9.4%となっています。



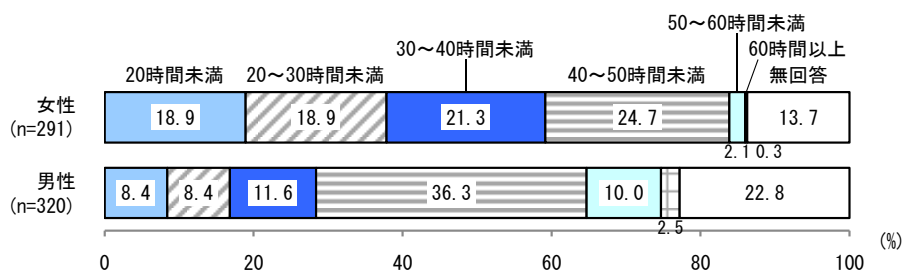
問10 希望する1週間の就業時間について

問10. 勤め先で希望する時間だけ働けるとすれば、1週間に何時間ぐらい働きたいかについてご記入ください。

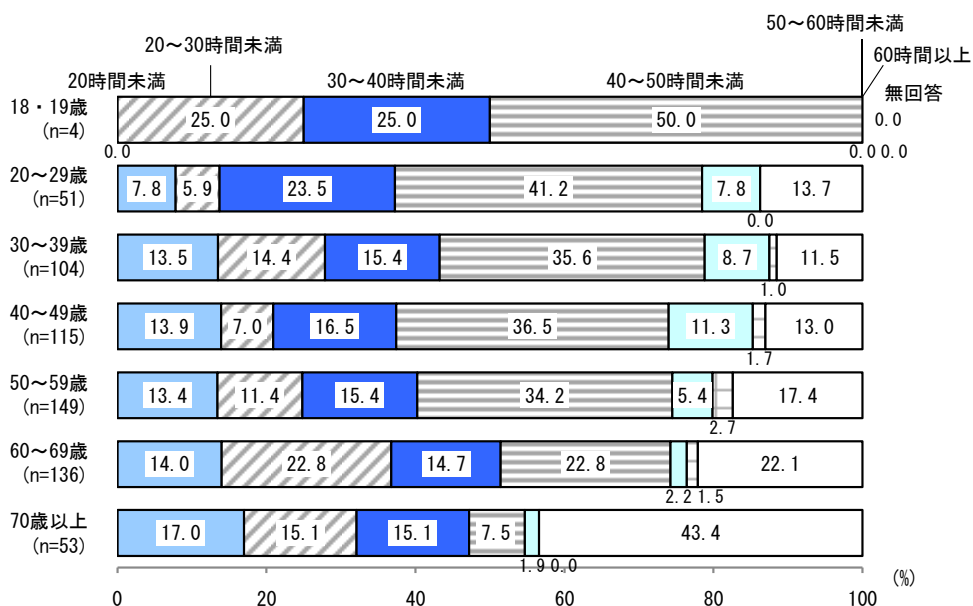
・希望する1週間の就業時間については、「40～50時間未満」が30.8%と最も高く、次いで「30～40時間未満」が16.3%、「20～30時間未満」が13.5%となっています。



・性別にみると、女性は男性よりも希望する1週間の就業時間が短い傾向にあり、「20時間未満」と「20～30時間未満」がそれぞれ18.9%、「30～40時間未満」が21.3%となっています。一方で、男性は女性よりも就業時間が長い傾向にあり、「40～50時間」が36.3%、「50～60時間」が10.0%となっています。



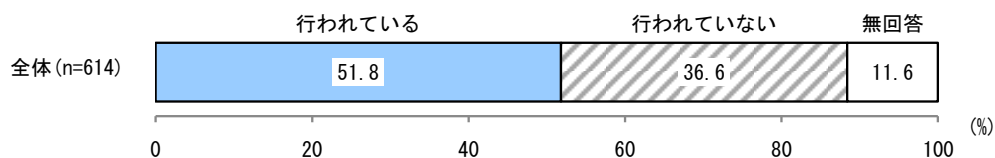
・年代別にみると、40～49歳で「50～60時間未満」が11.3%、60～69歳で「20～30時間未満」が22.8%と他の年代より高くなっています。



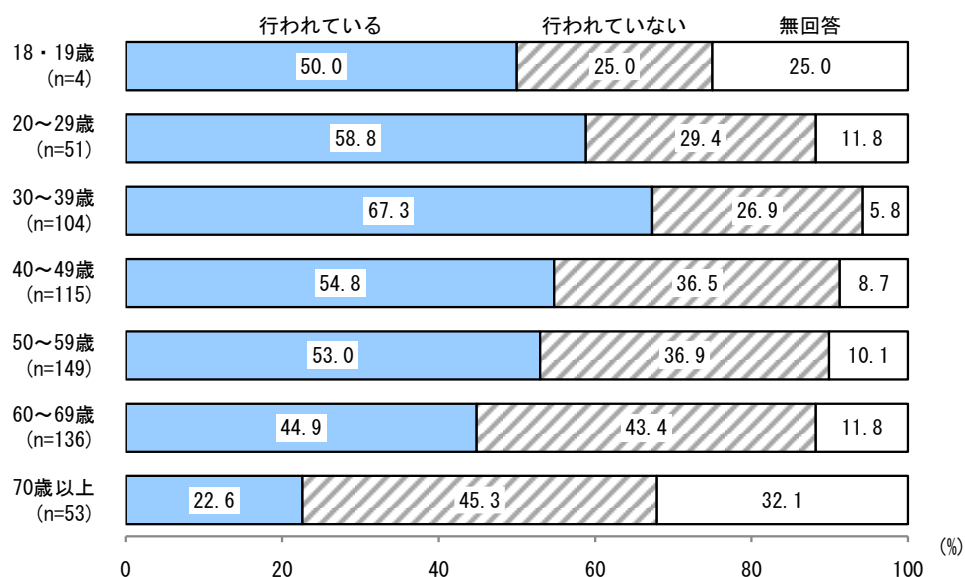
問11 職場でのメンタルヘルス対策の有無について

問 11. あなたの勤め先では、メンタルヘルス対策(ストレスチェックの実施、相談窓口の設置など)が行われていますか。(○は1つ)

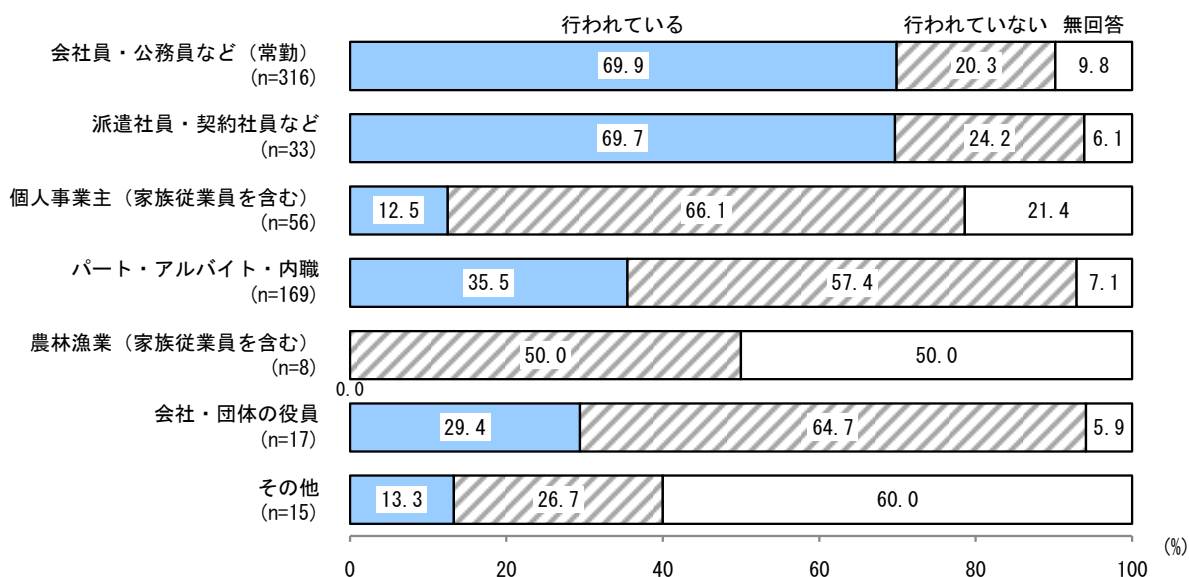
・メンタルヘルス対策については、「行われている」が51.8%、「行われていない」が36.6%となっています。



・年代別にみると、「行われている」は30～39歳で67.3%と高くなっています。



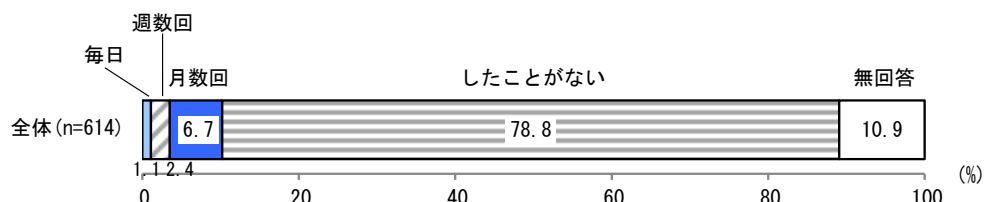
・職業別(「7. 専業主婦・主夫」、「8. 学生」、「9. 働いていない」を除く)にみると、「会社員・公務員など(常勤)」で「行われている」が69.9%、「派遣社員・契約社員など」で69.7%と高くなっています。一方で、「個人事業主(家族従業員を含む)」で「行われていない」が66.1%と高くなっています。



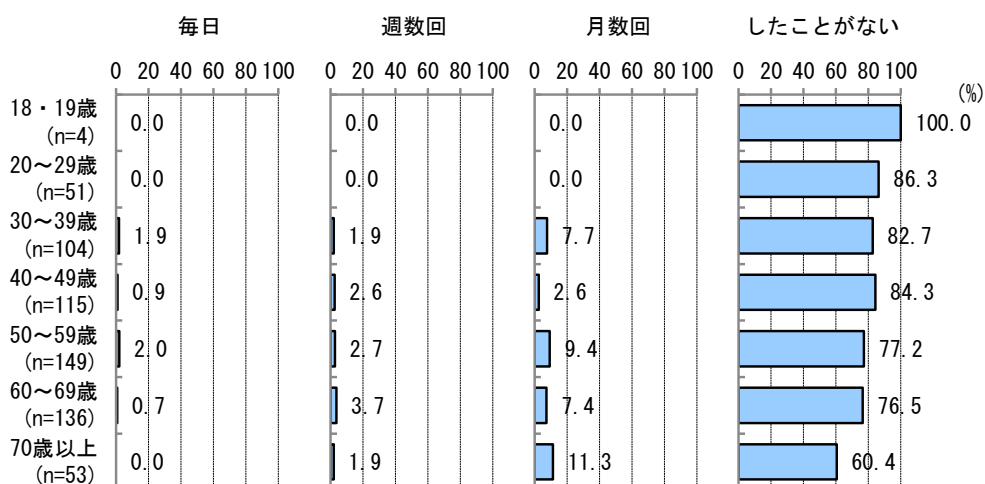
問12 テレワークの実施状況

問 12. あなたのテレワークの実施状況をお答えください。(○は1つ)

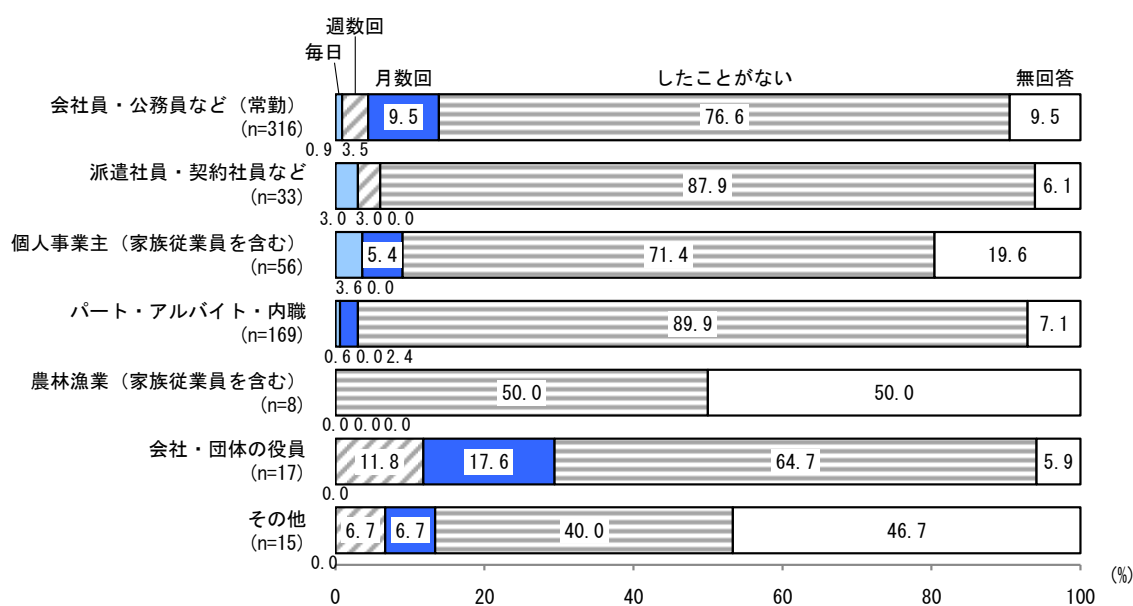
・テレワークの実施状況については、「したことがない」が78.8%と最も高くなっています。また、「毎日」、「週数回」、「月数回」を合わせた『したことがある』は10.2%となっています。



・年代別にみると、49歳以下の世代では「したことがない」が80.0%を超えています。



・職業別(「7. 専業主婦・主夫」、「8. 学生」、「9. 働いていない」を除く)にみると、「会社・団体の役員」で「週数回」が11.8%と高くなっています。また、「パート・アルバイト・内職」で「したことがない」が89.9%と高くなっています。



2.生活環境・まちの施策について

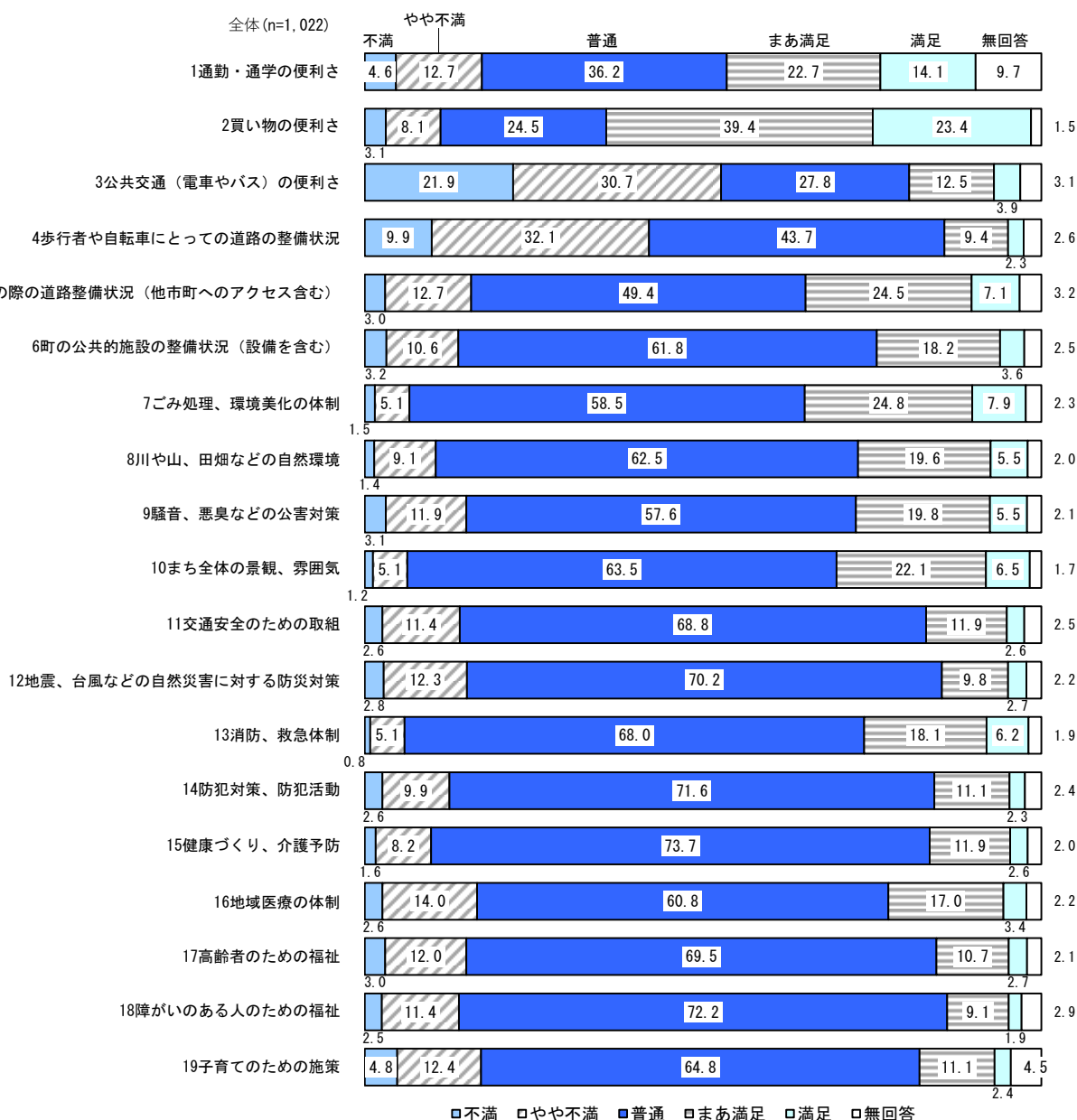
問13 太子町の生活環境等について、現在の満足度と今後の重要度

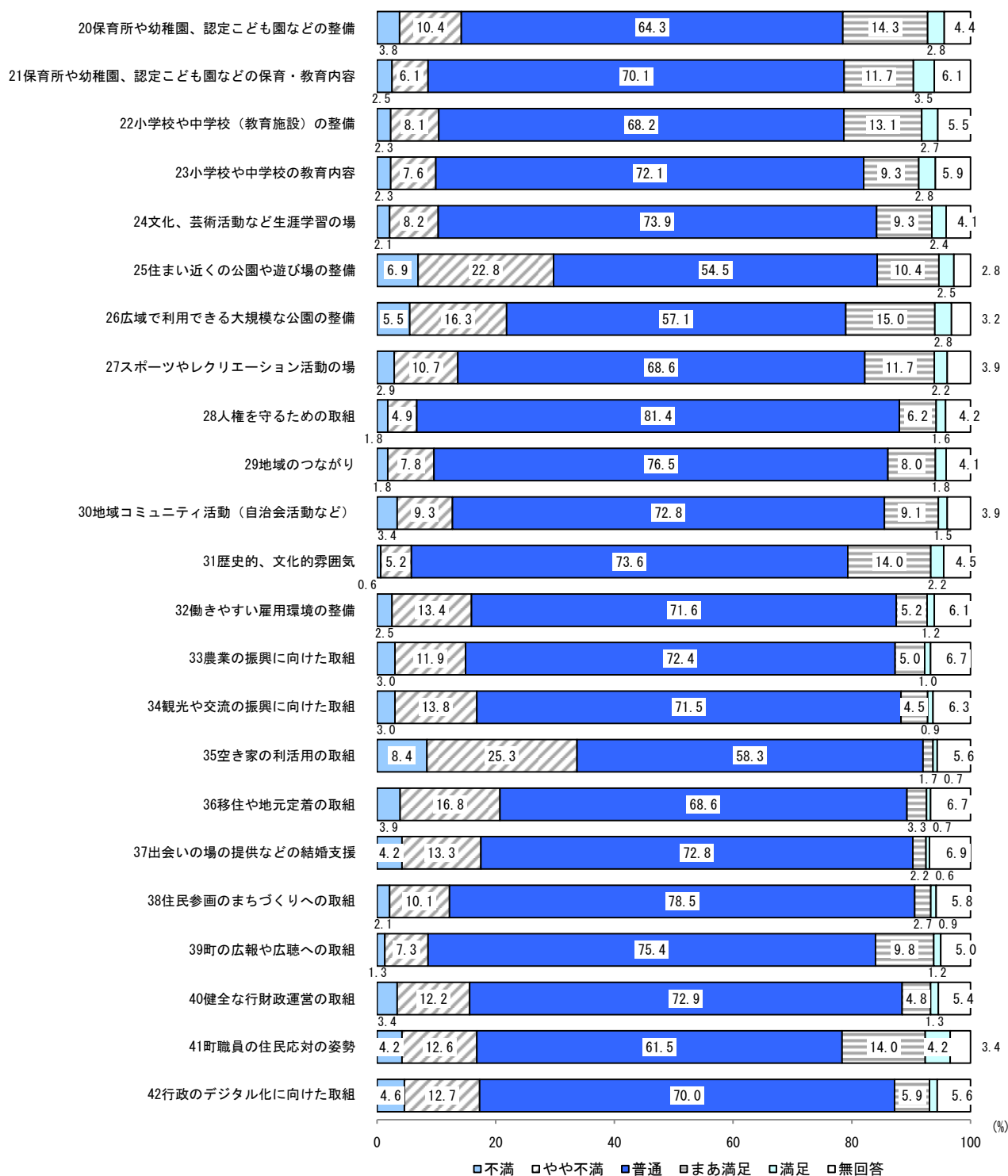
問13. 次にあげる項目について、①現在の生活の中でどの程度満足していますか。また、②将来に向けて重要な項目だと思いますか。それぞれについて、あてはまるものを1つずつ選んで番号に○をつけてください。

・現在の満足度について、「満足」と「まあ満足」を合わせた『満足』は、「2 買い物の便利さ」が62.8%と最も高く、次いで「1 通勤・通学の便利さ」が36.8%、「7 ごみ処理、環境美化の体制」が32.7%となっています。

一方、「不満」と「やや不満」を合わせた『不満』は、「3 公共交通（電車やバス）の便利さ」が52.6%と最も高く、次いで「4 歩行者や自転車にとっての道路の整備状況」が42.0%、「35 空き家の利活用の取組」が33.7%となっています。

<①現在の満足度>

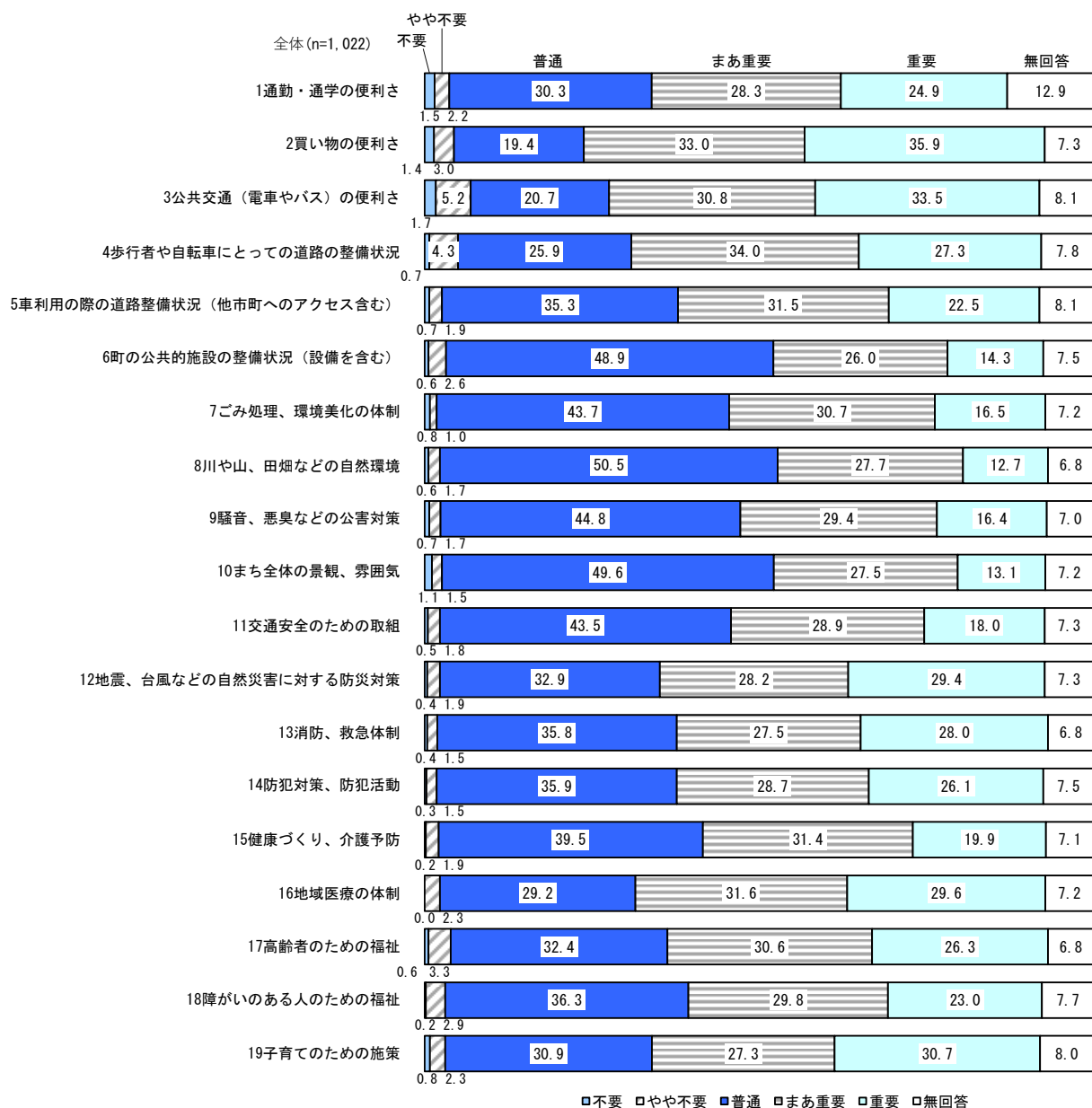


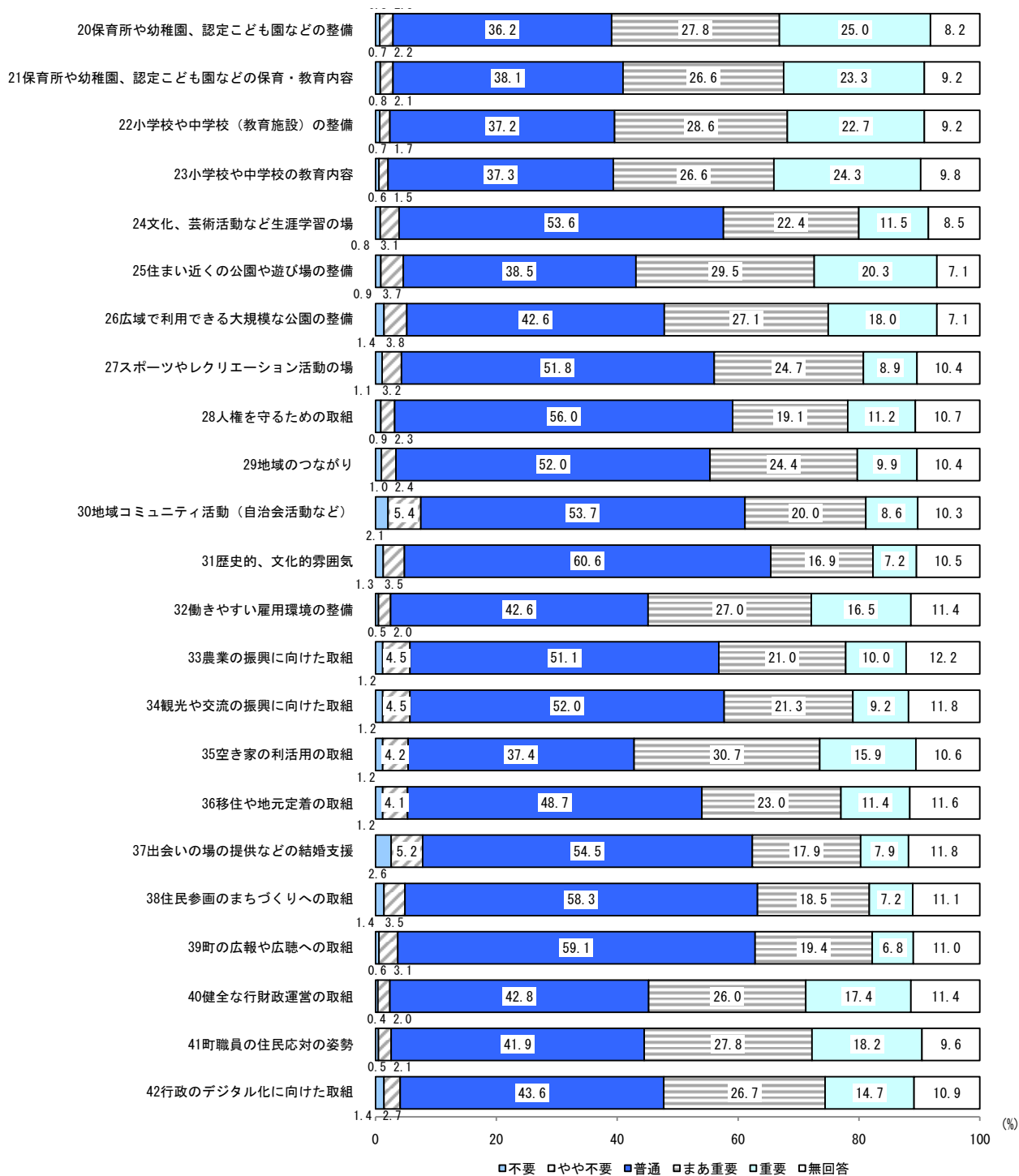


・今後の重要度について、「重要」と「まあ重要」を合わせた『重要』は、「2 買い物の便利さ」が68.9%と最も高く、次いで「3 公共交通（電車やバス）の便利さ」が64.3%、「4 歩行者や自転車にとっての道路の整備状況」が61.3%となっています。

一方、「不要」と「やや不要」を合わせた『不要』は、すべての項目で8%未満となっています。

<今後の重要度>

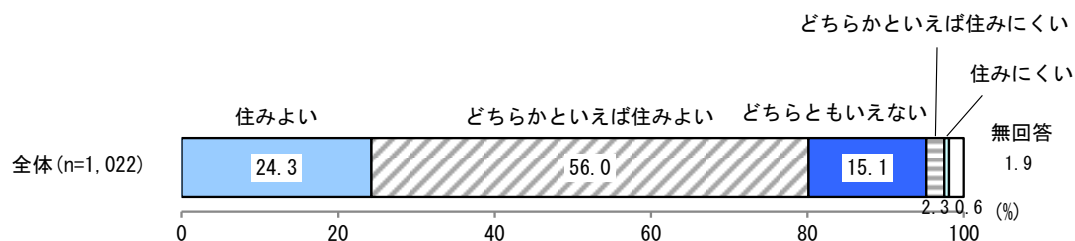




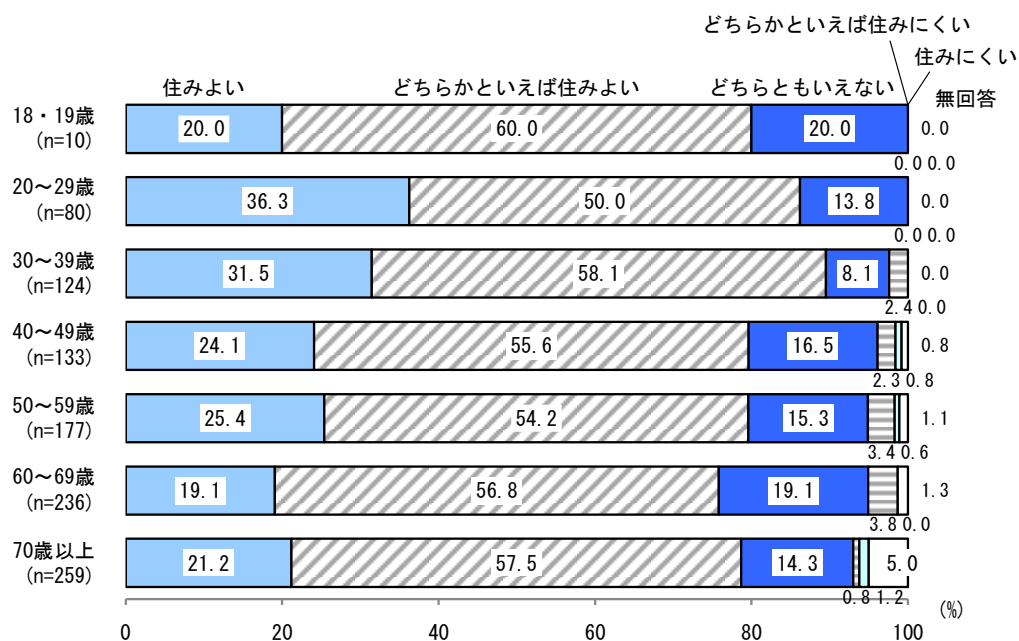
問14 太子町の住みよさについて

問 14. あなたは、現在の太子町の住みよさについて、どう思いますか。(○は1つ)

・住みよさについては、「どちらかといえば住みよい」が56.0%と最も高く、次いで「住みよい」が24.3%、「どちらともいえない」が15.1%となっています。



・年代別にみると、「住みよい」は20～29歳で36.3%と他の年代より高くなっています。

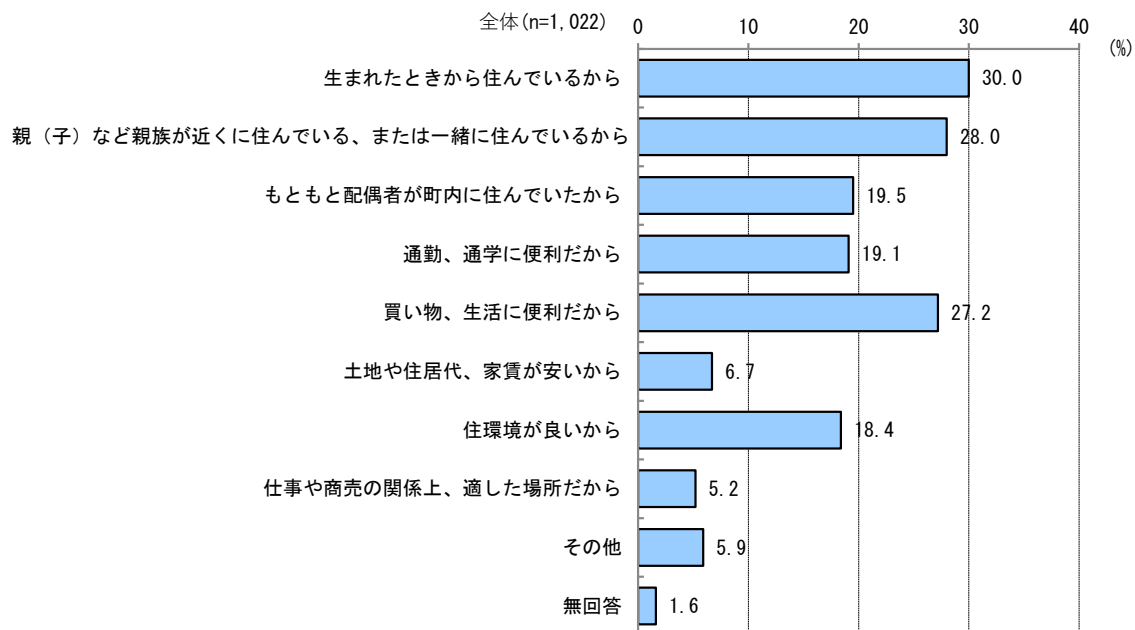


3.太子町への居留意向について

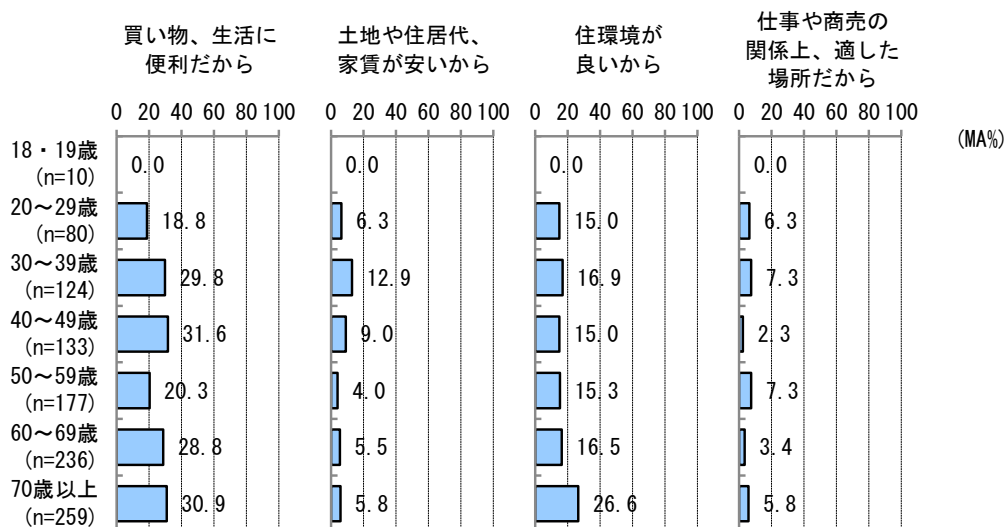
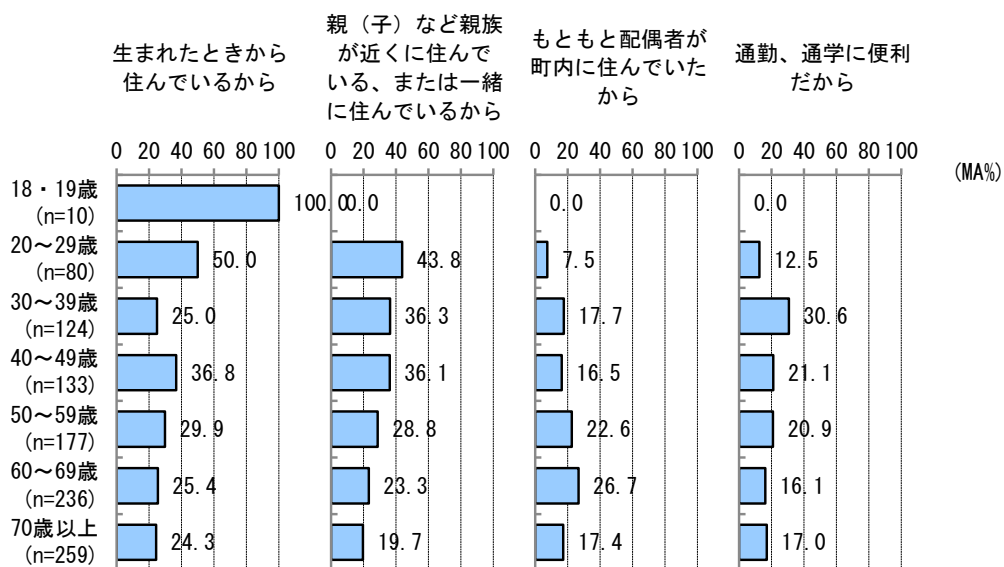
問15 太子町に住んでいる理由

問 15. あなたが太子町に現在住んでいる理由は何ですか。(〇はいくつでも)

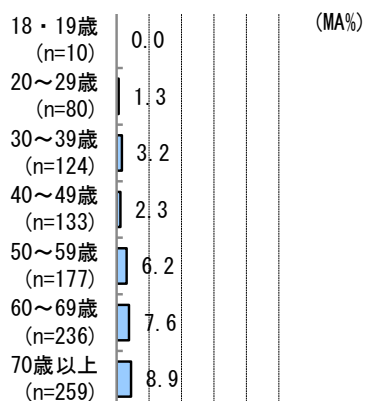
・太子町に現在住んでいる理由について、「生まれたときから住んでいるから」が30.0%と最も高く、次いで「親（子）など親族が近くに住んでいる、または一緒に住んでいるから」が28.0%、「買い物、生活に便利だから」が27.2%となっています。



・年代別にみると、20～29歳で「生まれたときから住んでいるから」が50.0%と高くなっています。また、30～39歳で「通勤、通学に便利だから」が30.6%と他の年代より高くなっています。



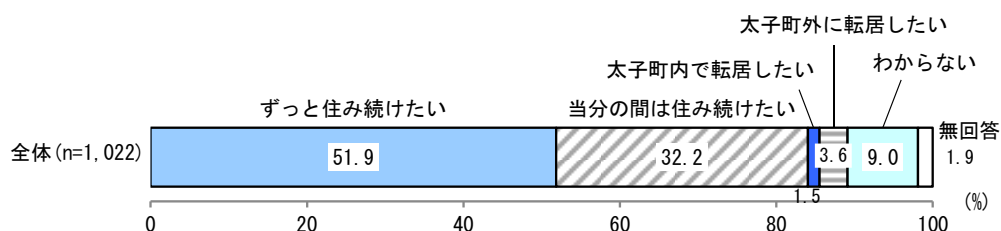
その他



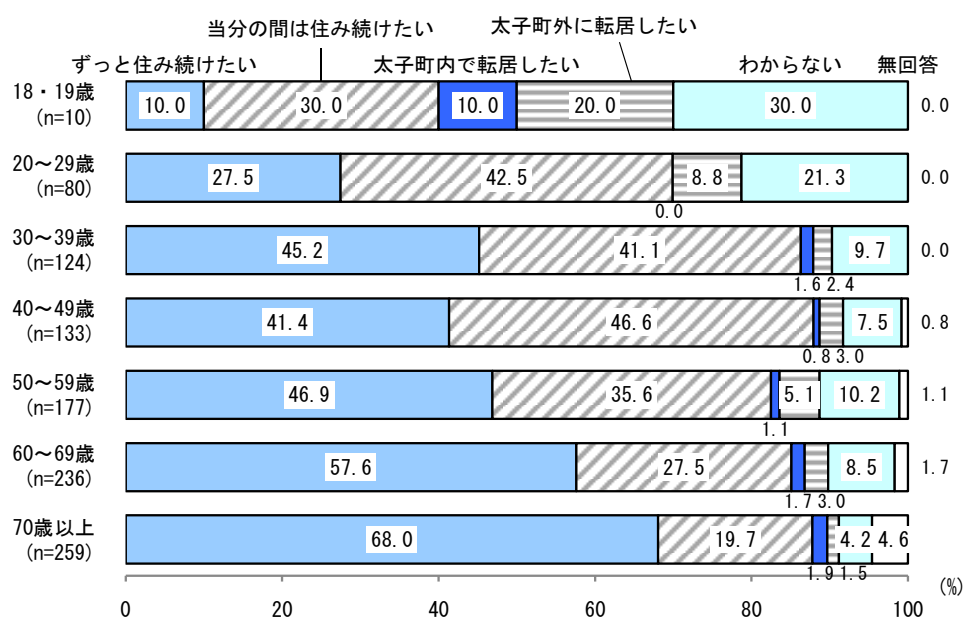
問16 今後の居住意向について

問 16. あなたは今後も現在お住まいの場所に住み続けたいと思いますか。(〇は1つ)

・今後の居住意向については、「ずっと住み続けたい」が51.9%と最も高く、次いで「当分の間は住み続けたい」が32.2%、「わからない」が9.0%となっています。



・年代別にみると、70歳以上で「ずっと住み続けたい」が68.0%、40～49歳で「当分の間は住み続けたい」が46.6%と高くなっています。

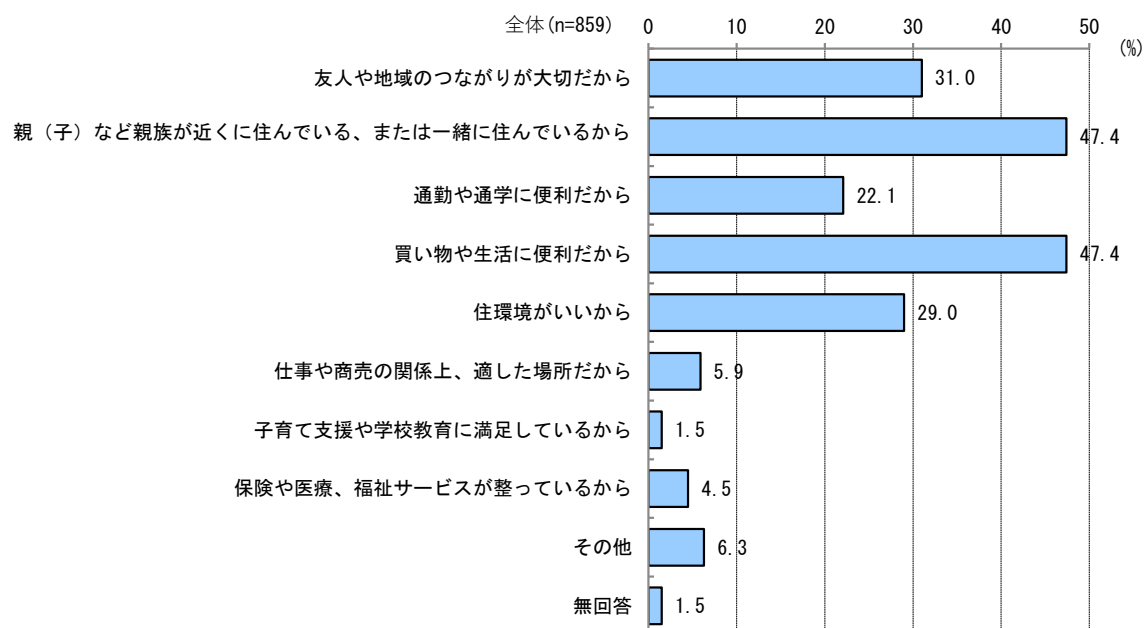


問16－1 住み続けたい理由

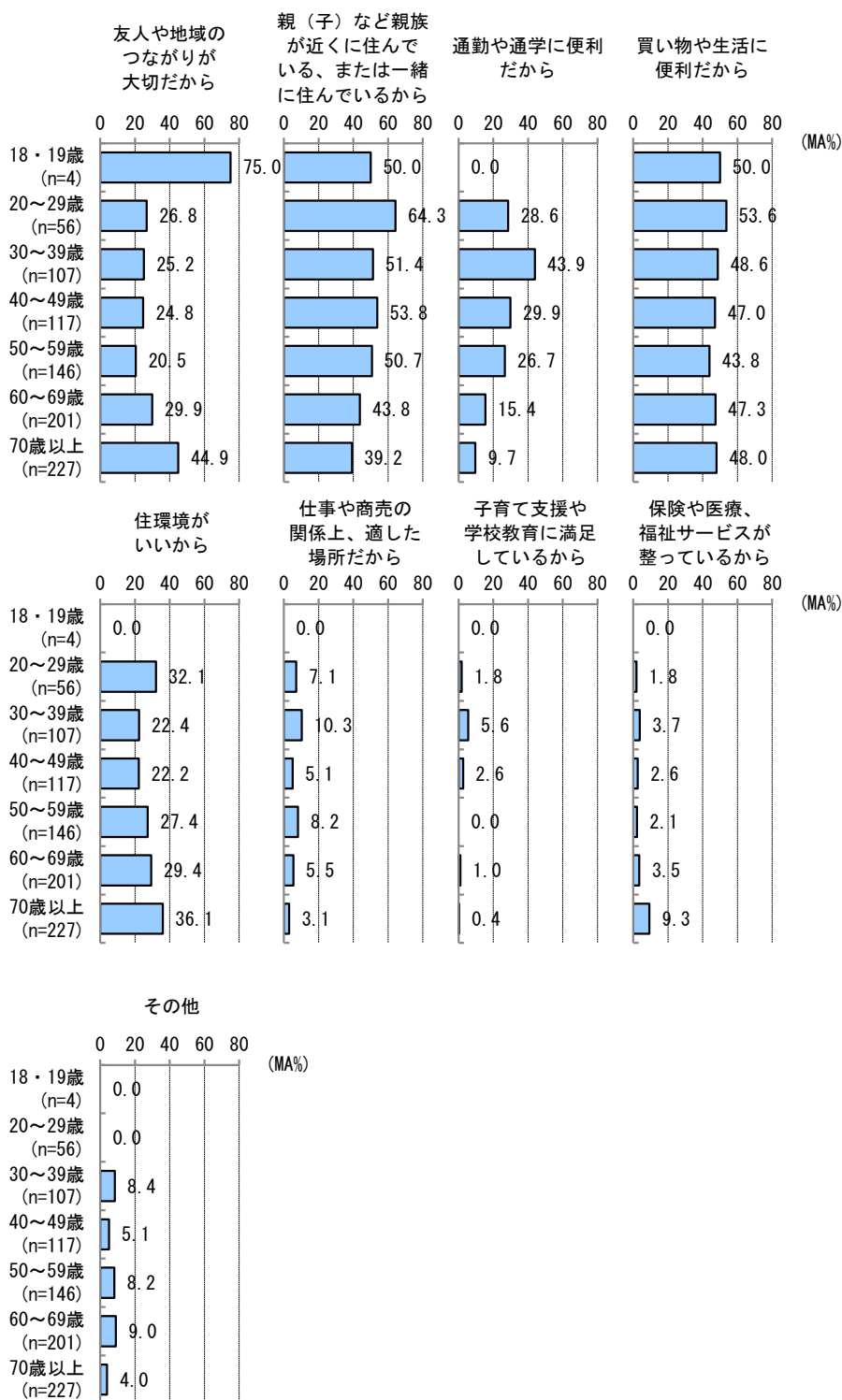
【問 16 で「1.ずっと住み続けたい」または「2.当分の間は住み続けたい」と答えた方におたずねします。】

問 16－1. 住み続けたい理由は何ですか。(○は3つまで)

・住み続けたい理由については、「親(子)など親族が近くに住んでいる、または一緒に住んでいるから」と「買い物や生活に便利だから」がそれぞれ47.4%と最も高く、次いで「友人や地域のつながりが大切だから」が31.0%、「住環境がいいから」が29.0%となっています。



・年代別にみると、30～39歳で「通勤や通学に便利だから」が43.9%、70歳以上で「友人や地域のつながりが大切だから」が44.9%と他の年代より高くなっています。

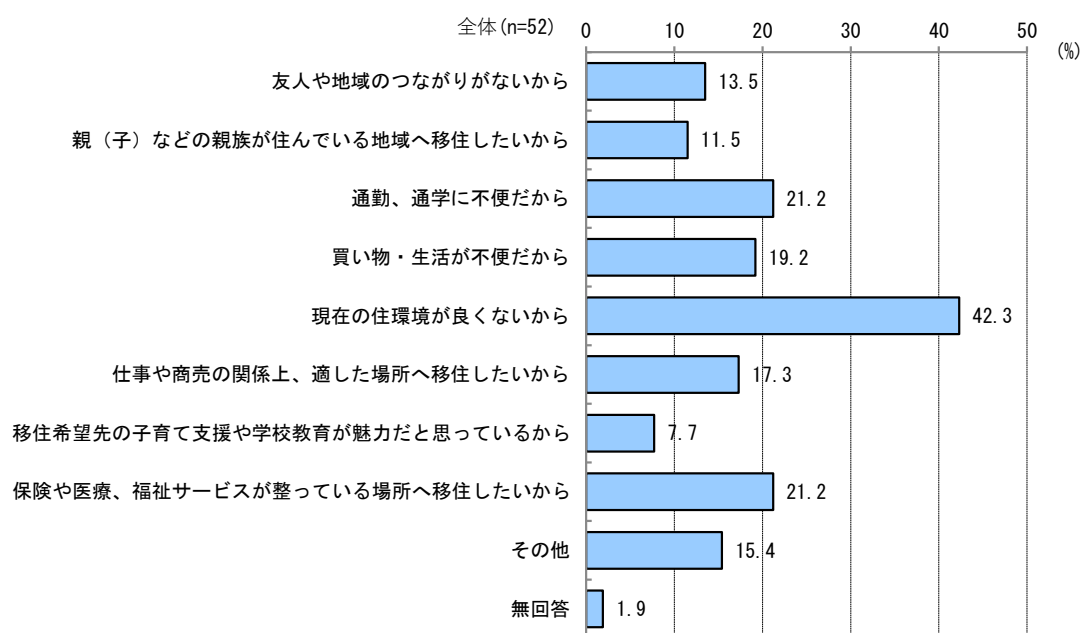


問17 転居したい理由

【問 16 で「3.太子町内で転居したい」または「4.太子町外に転居したい」と答えた方におたずねします。】

問 17. 転居したい理由は何ですか。(○は3つまで)

・転居したい理由については、「現在の住環境が良くないから」が42.3%と最も高く、次いで「通勤、通学に不便だから」と「保険や医療、福祉サービスが整っている場所へ移住したいから」がそれぞれ21.2%となっています。

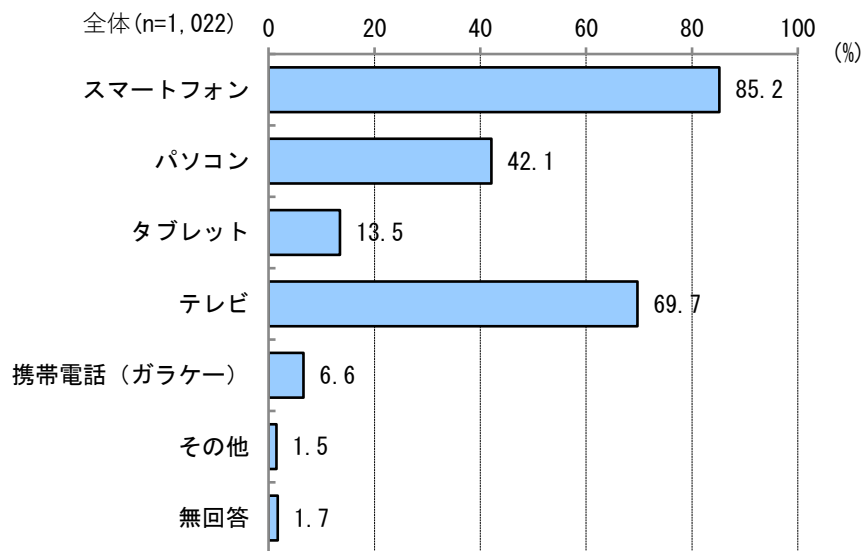


4.行政のデジタル化・生きがいくりについて

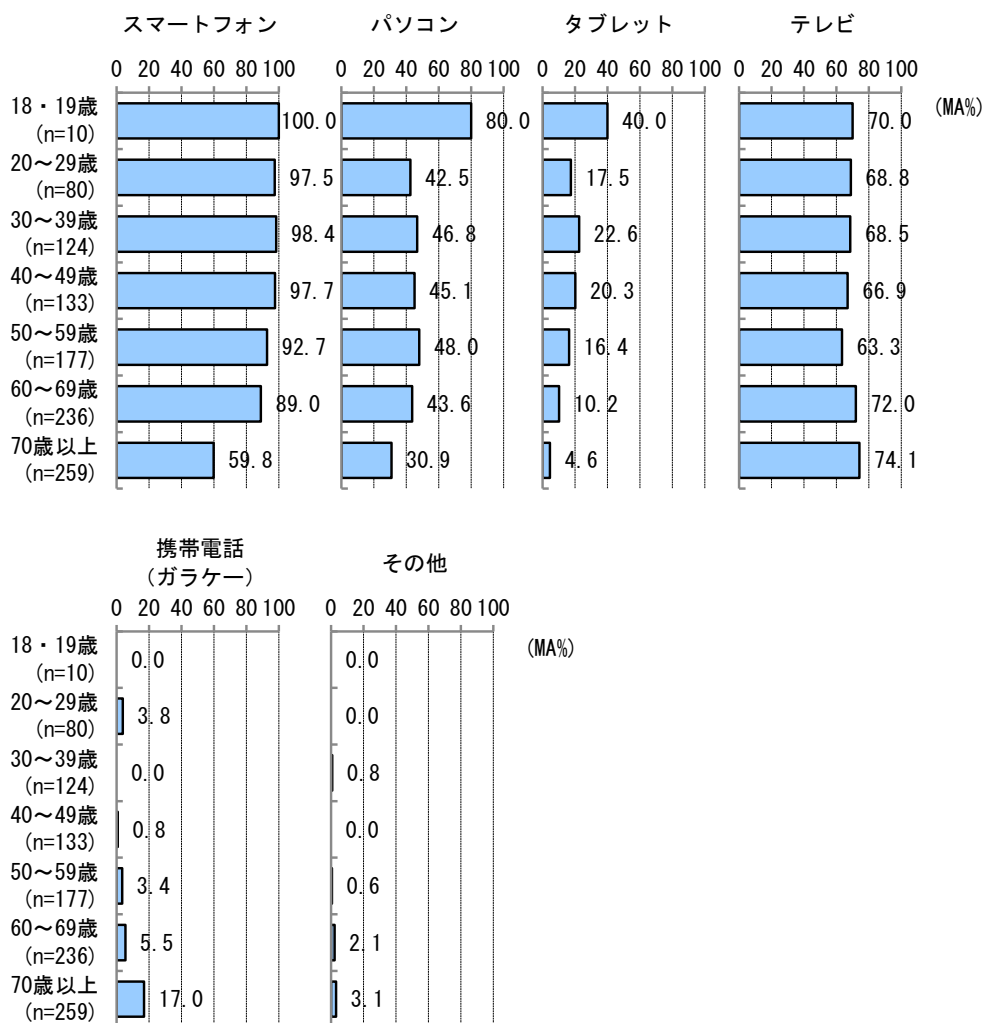
問18 普段利用している情報通信機器

問 18. 普段、あなたが利用している情報通信機器は次のうちどれですか。(○はいくつでも)

・普段利用している情報通信機器については、「スマートフォン」が85.2%と最も高く、次いで「テレビ」が69.7%、「パソコン」が42.1%となっています。



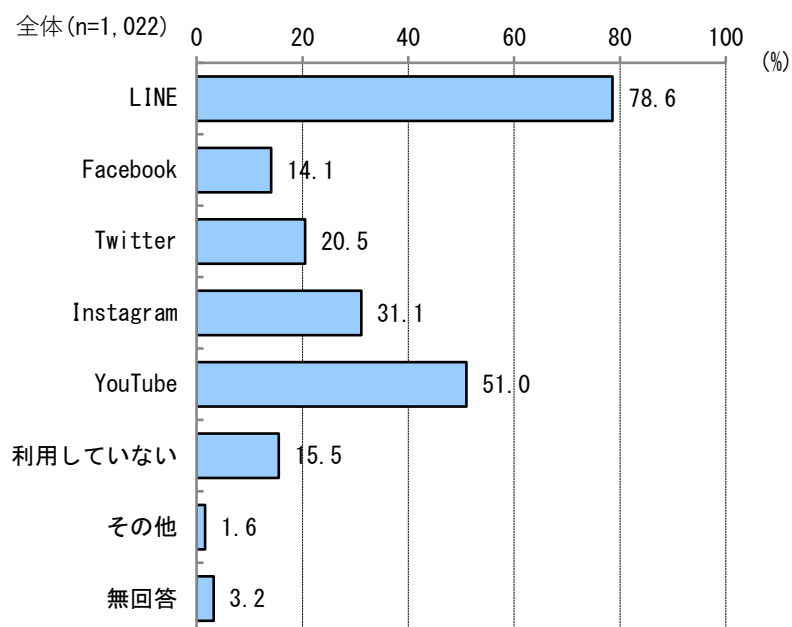
・年代別にみると、30～39歳で「タブレット」が22.6%、70歳以上で「携帯電話(ガラケー)」が17.0%と他の年代より高くなっています。



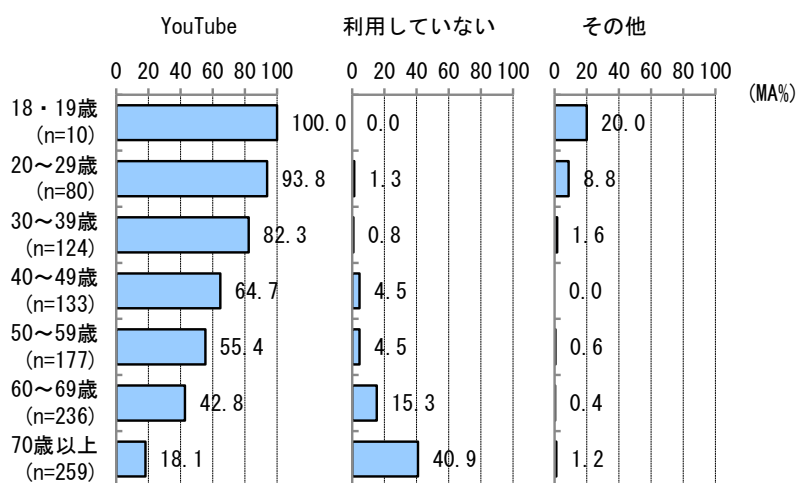
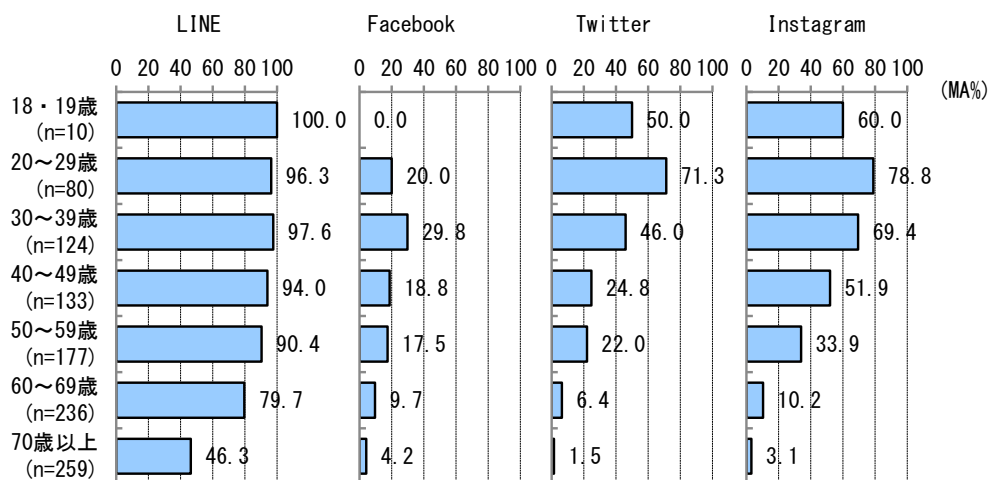
問19 現在利用している SNS

問 19. あなたが現在利用している SNS をすべてお答えください。(〇はいくつでも)

・現在利用している SNS については、「LINE」が78.6%と最も高く、次いで「YouTube」が51.0%、「Instagram」が31.1%となっています。



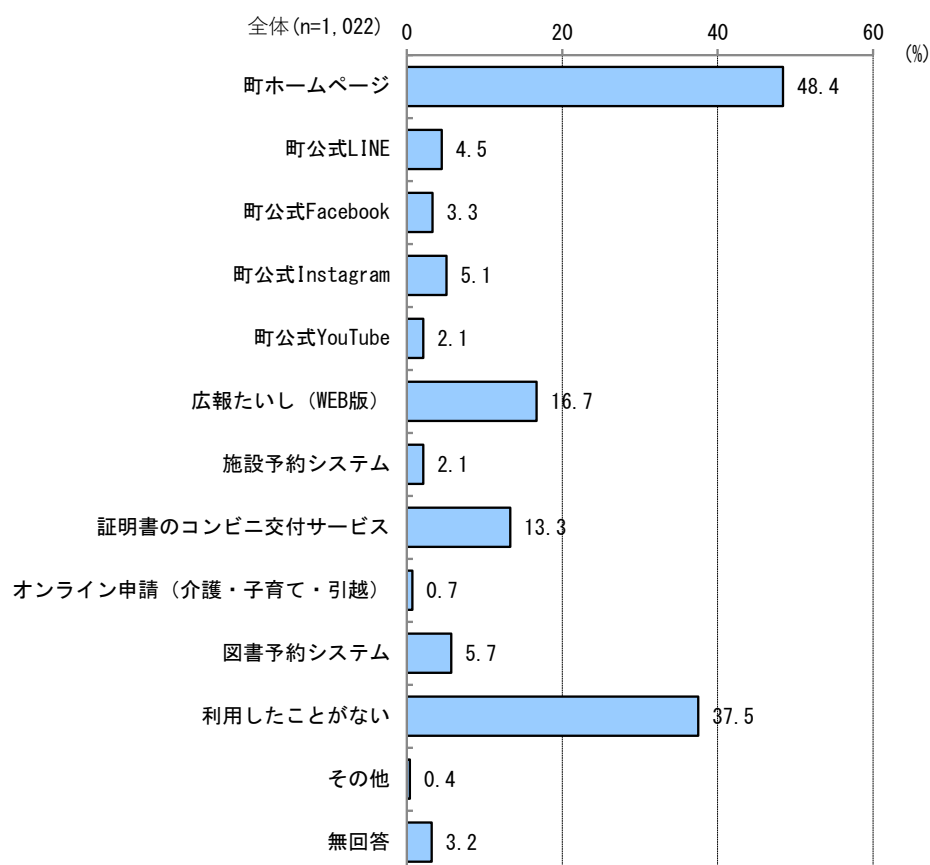
・年代別にみると、20～29歳で「YouTube」が93.8%、70歳以上で「利用していない」が40.9%と他の年代より高くなっています。



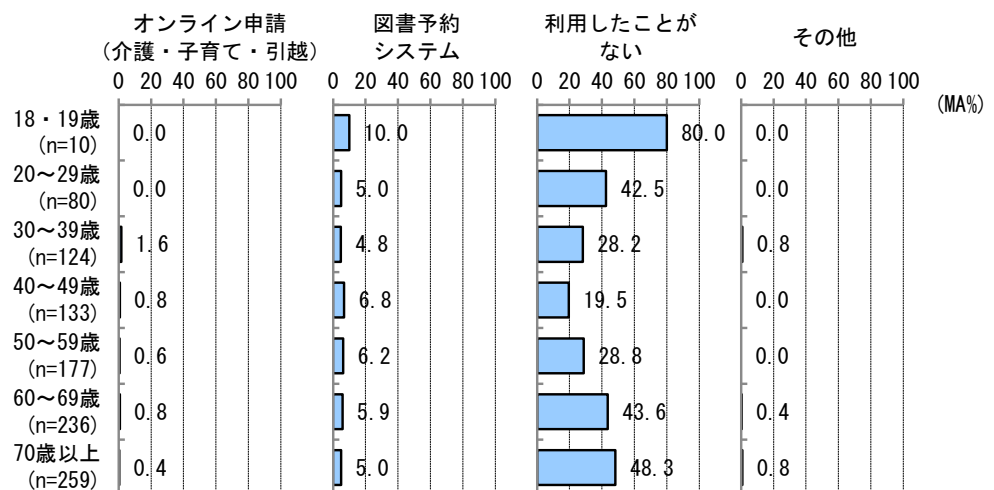
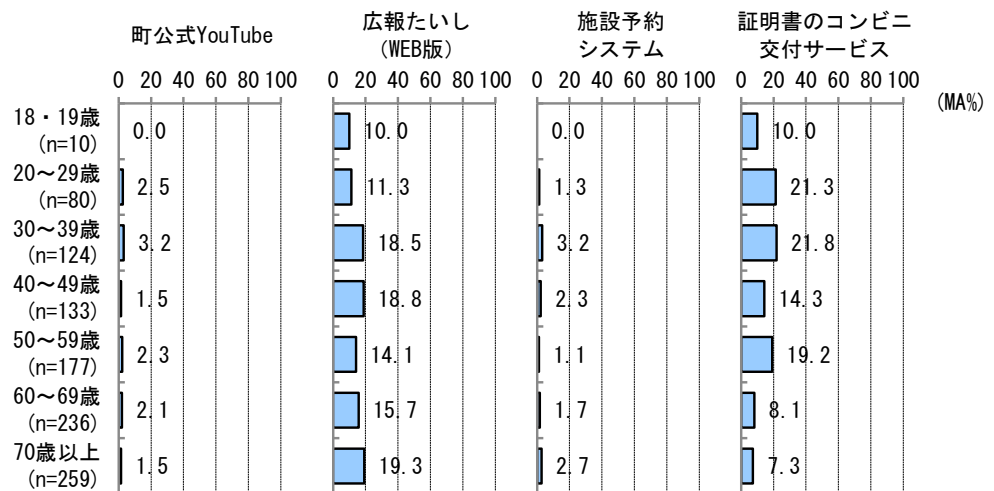
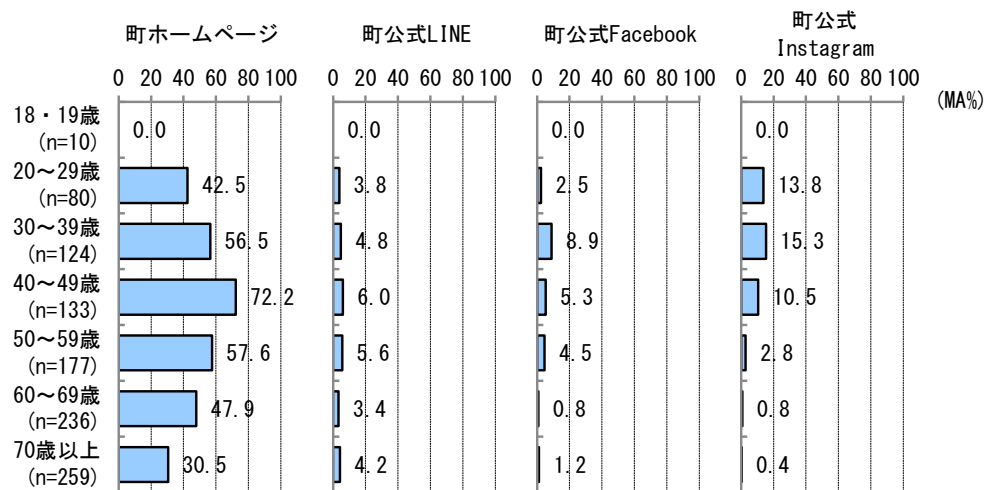
問20 利用したことがあるデジタル行政サービスについて

問 20. 太子町で提供しているデジタル行政サービスで、利用したことがあるものをお答えください。
(〇はいくつでも)

・「町ホームページ」が48.4%と最も高く、次いで「利用したことがない」が37.5%、「広報たいし(WEB版)」が16.7%となっています。



・年代別にみると、40～49歳で「町ホームページ」が72.2%と高くなっています。

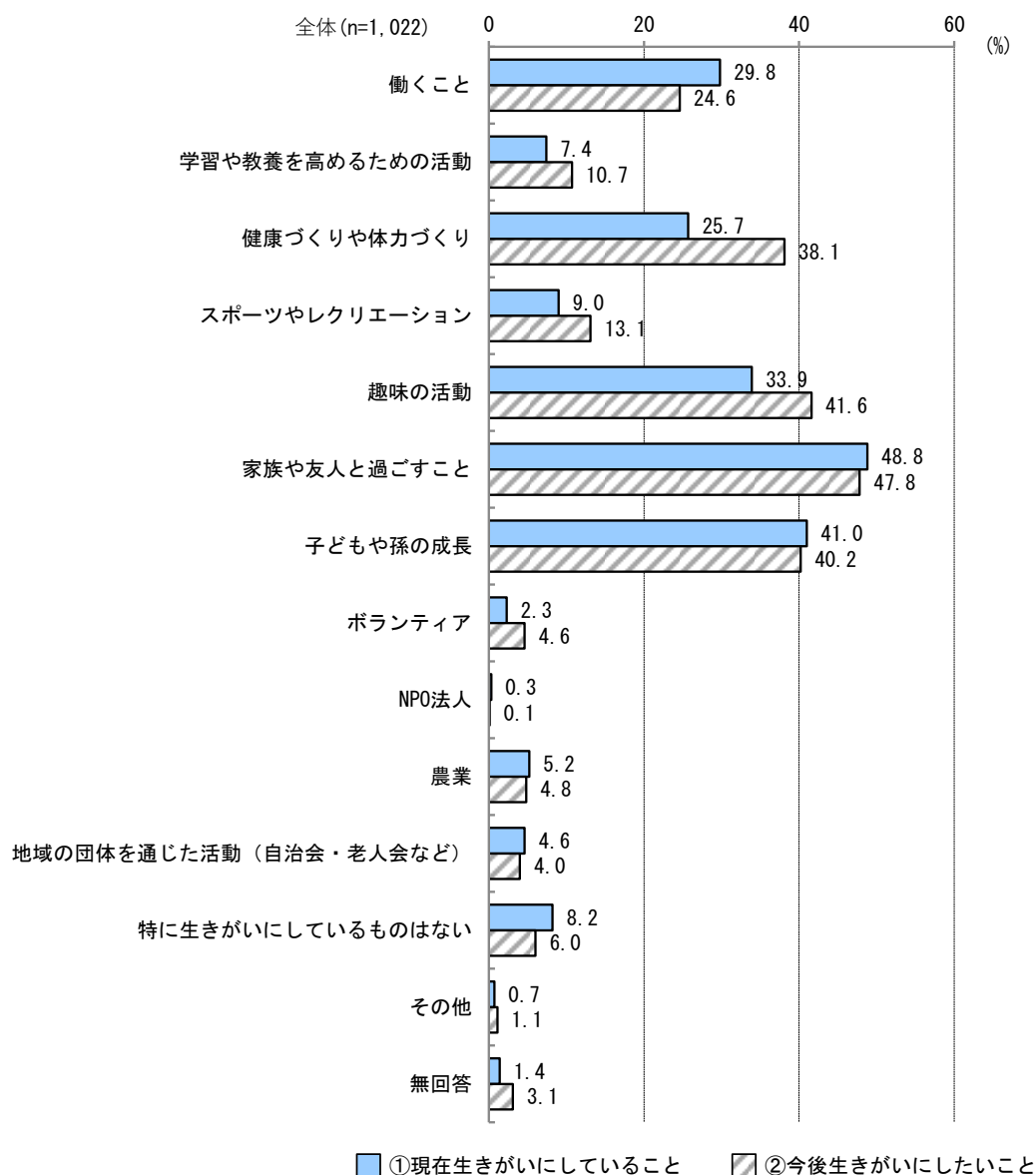


問21 「現在生きがいに行っていること」と「今後生きがいに行いたいこと」について

問 21. あなたは、①現在どのようなことを生きがいに行っていますか。また、②今後どのようなことを生きがいに行いたいと思っていますか。(〇はそれぞれ3つまで)

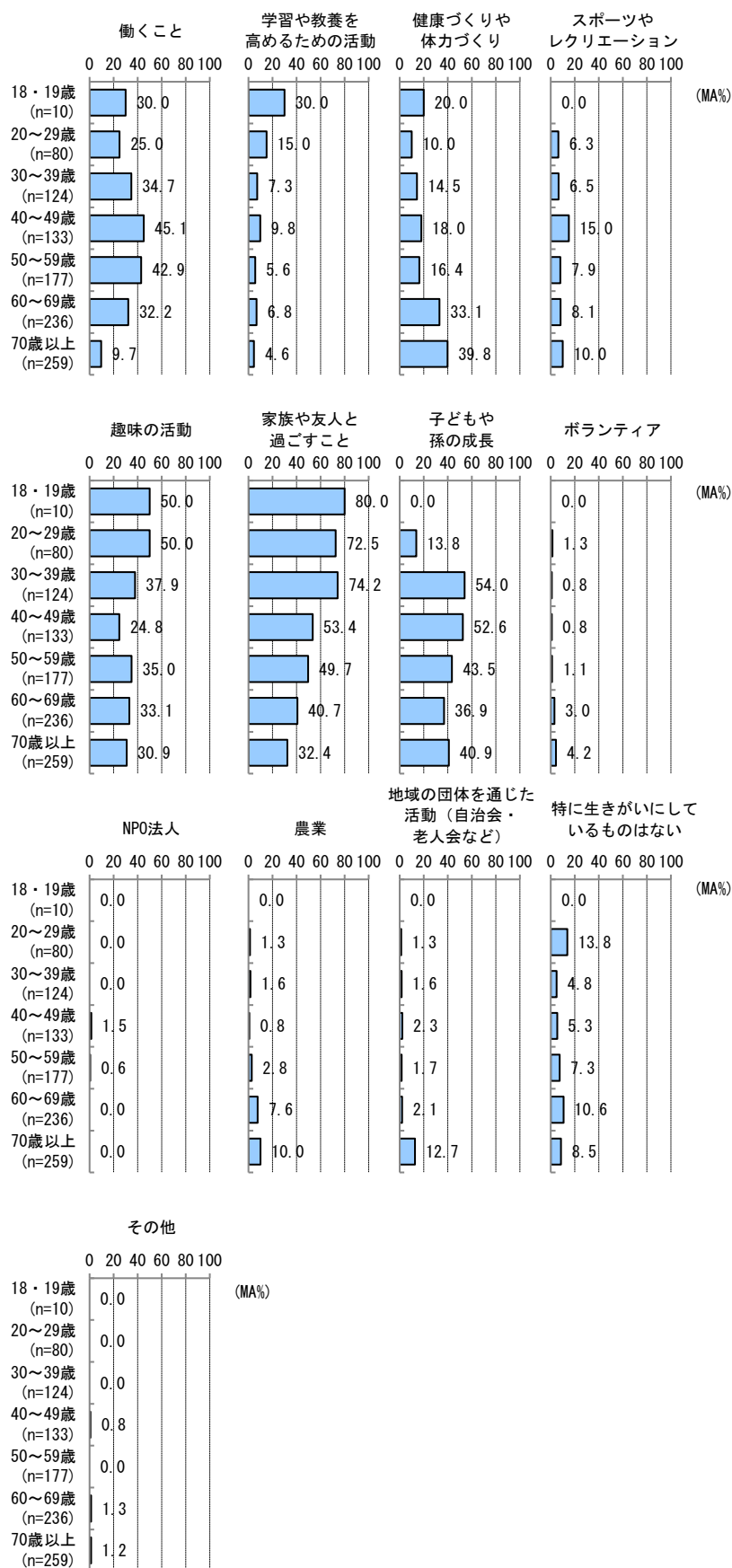
・①現在生きがいに行っていることについては、「家族や友人と過ごすこと」が48.8%と最も高く、次いで「子どもや孫の成長」が41.0%、「趣味の活動」が33.9%となっています。

②今後生きがいに行いたいことについては、「家族や友人と過ごすこと」が47.8%と最も高く、次いで「趣味の活動」が41.6%、「子どもや孫の成長」が40.2%となっています。



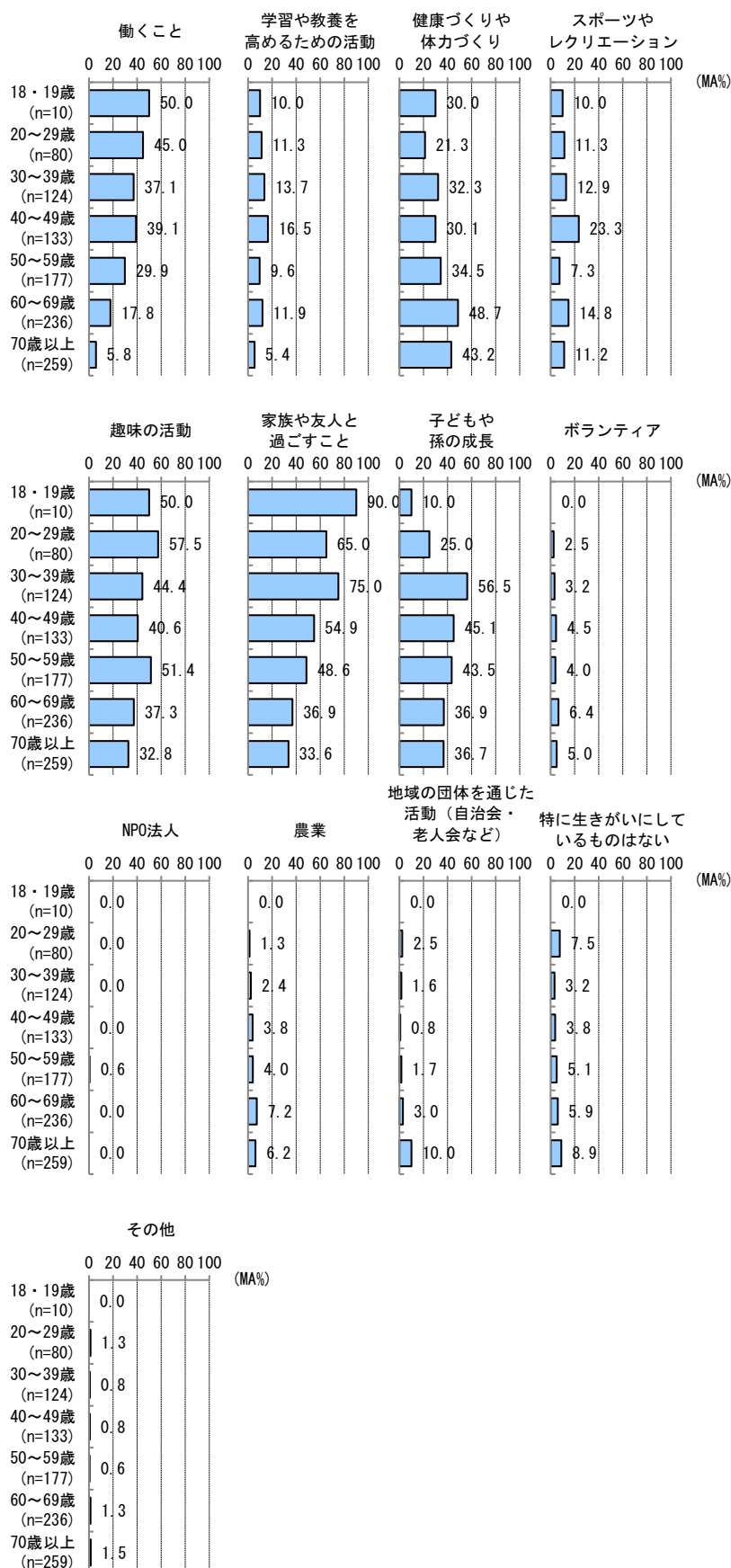
<現在生きがいになっていること>

・年代別にみると、30～39歳で「家族や友人と過ごすこと」が74.2%と高くなっています。また、40～49歳で「働くこと」が45.1%と他の年代より高くなっています。



<今後生きがいにしたいこと>

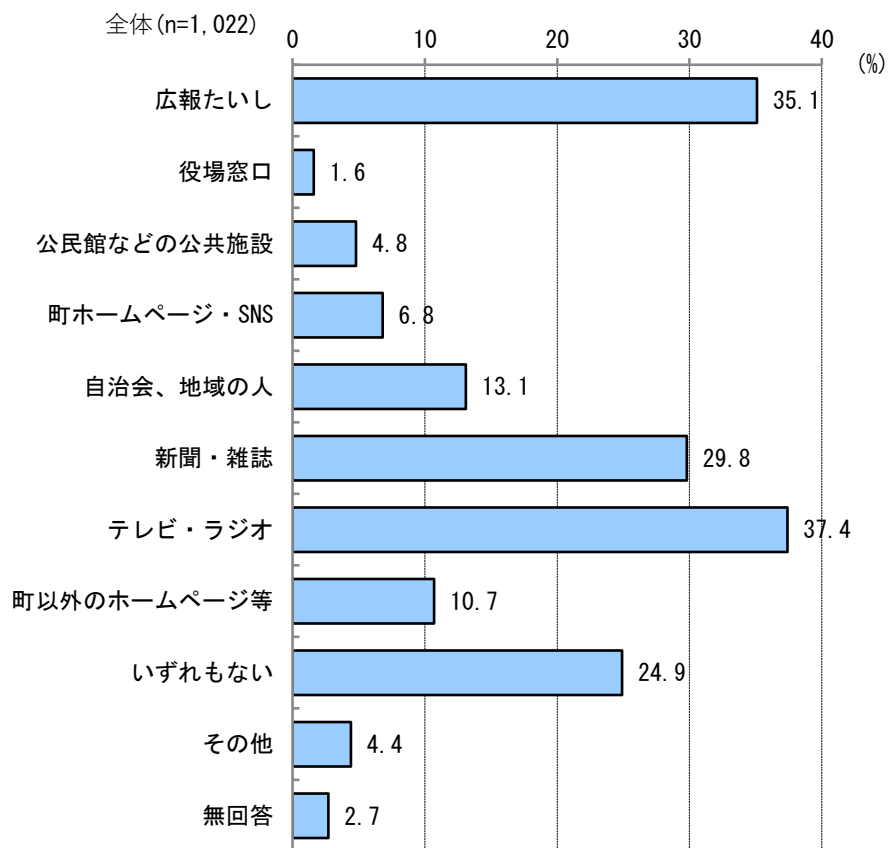
・年代別にみると、20～29歳は「働くこと」が45.0%と他の年代より高くなっています。また、30～39歳で「家族や友人と過ごすこと」が75.0%と高くなっています。



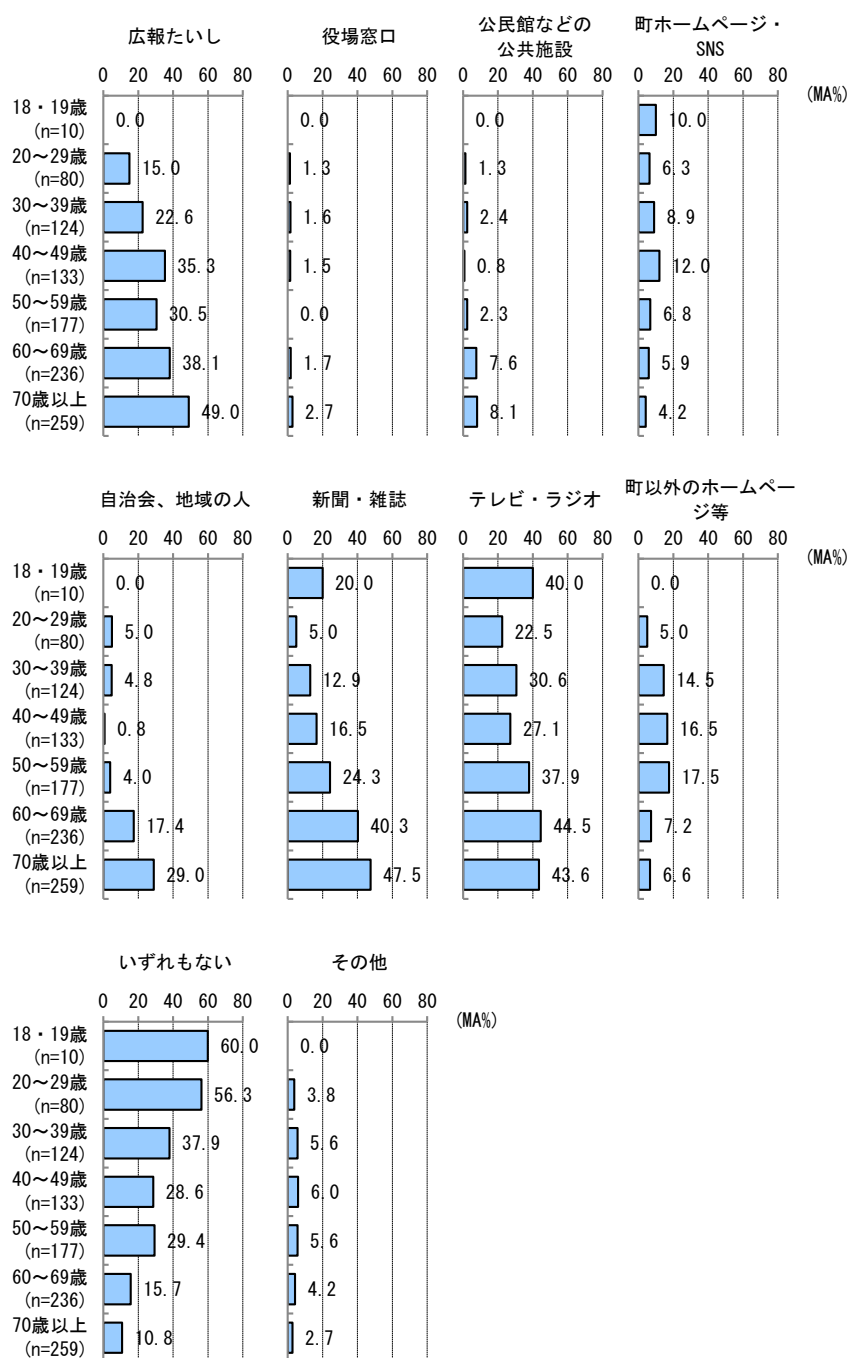
問22 生きがいづくりに関する情報の入手先

問 22. 生きがいづくりに関する情報を何から得ていますか。(〇はいくつでも)

・「テレビ・ラジオ」が37.4%と最も高く、次いで「広報たいし」が35.1%、「新聞・雑誌」が29.8%となっています。



・年代別にみると、「広報たいし」と回答する割合は年代が上がるにつれて高くなる傾向にあります。一方で、「いずれもない」と回答する割合は年代が上がるにつれて低くなる傾向にあります。



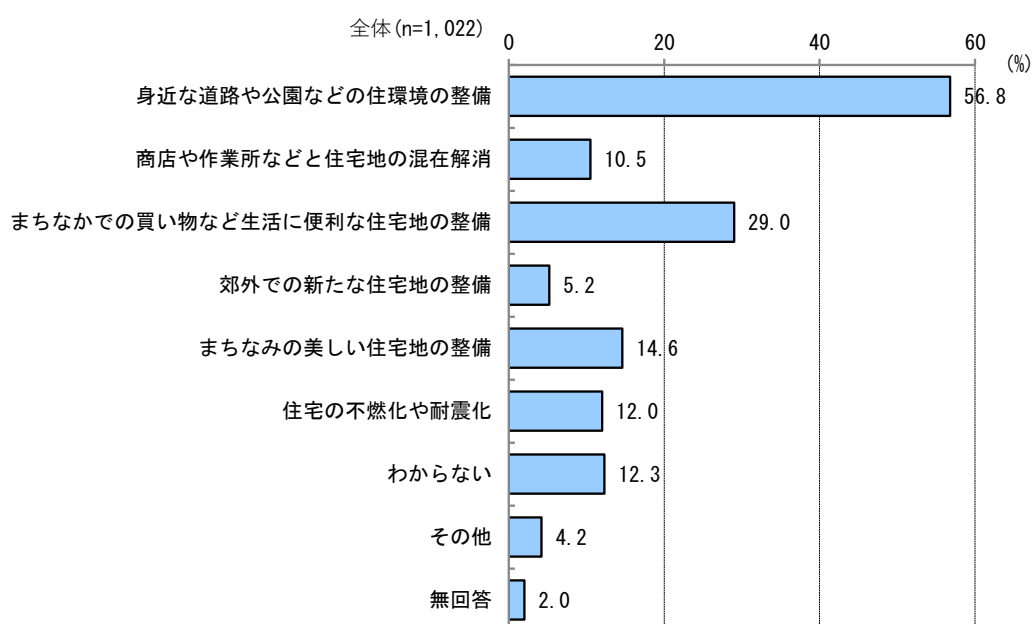
5.土地利用について

問23 住環境の整備について望むもの

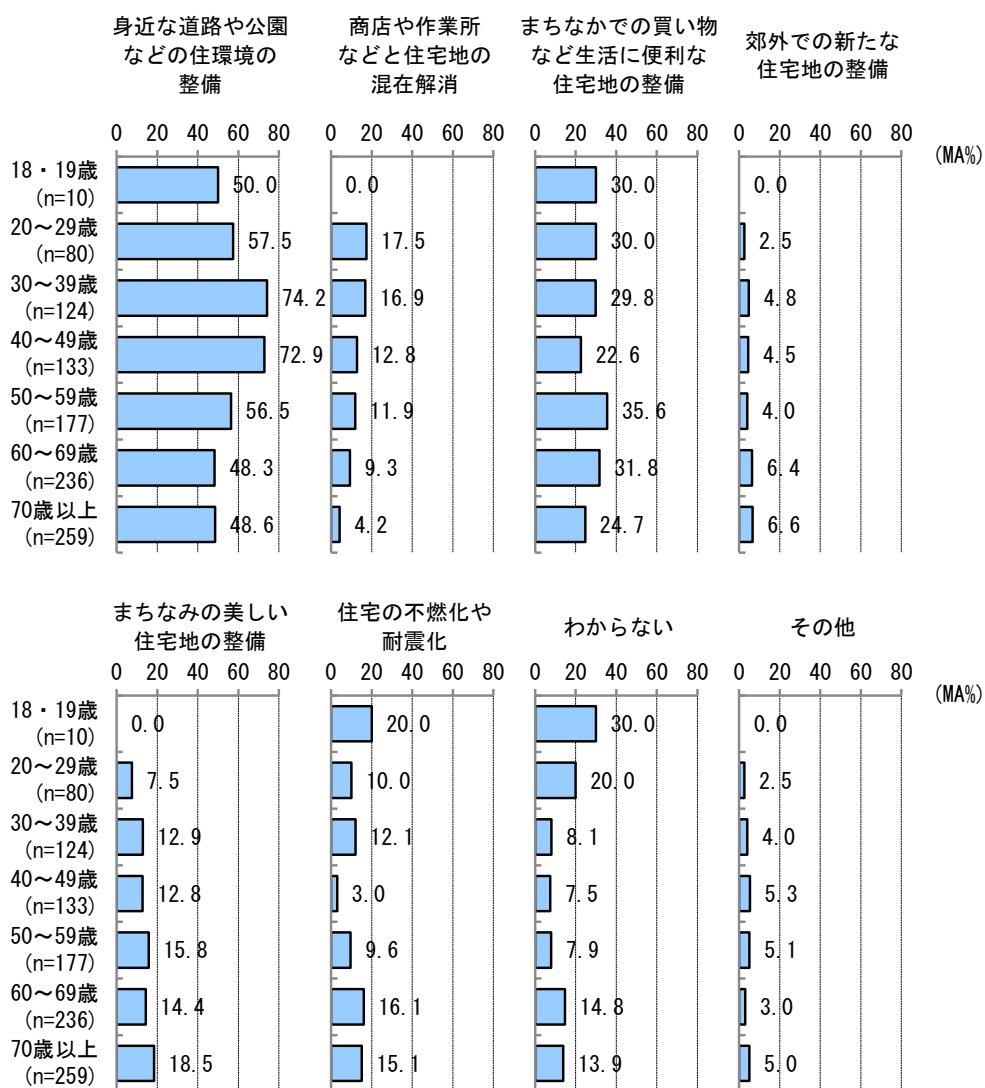
【あなたのお住まいの地域(小学校区)における土地利用で今後のまちづくりに望むものについてお伺いします。】

問 23. 住環境の整備について望むものは何ですか。(〇は2つまで)

・住環境の整備について望むものについては、「身近な道路や公園などの住環境の整備」が56.8%と最も高く、次いで「まちなかでの買い物など生活に便利な住宅地の整備」が29.0%、「まちなみの美しい住宅地の整備」が14.6%となっています。



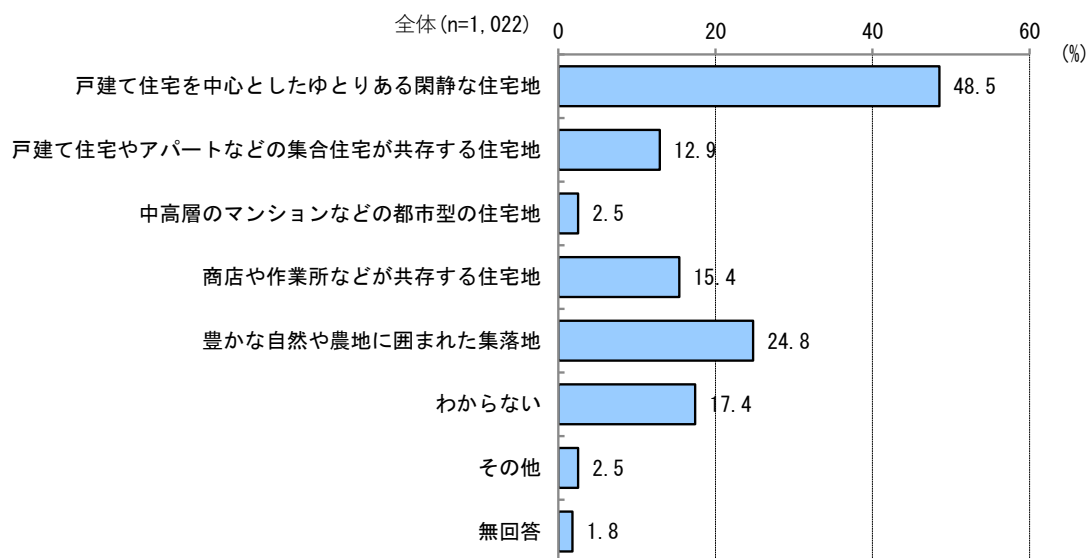
・年代別にみると、30～39歳で「身近な道路や公園などの住環境の整備」が74.2%と高くなっています。



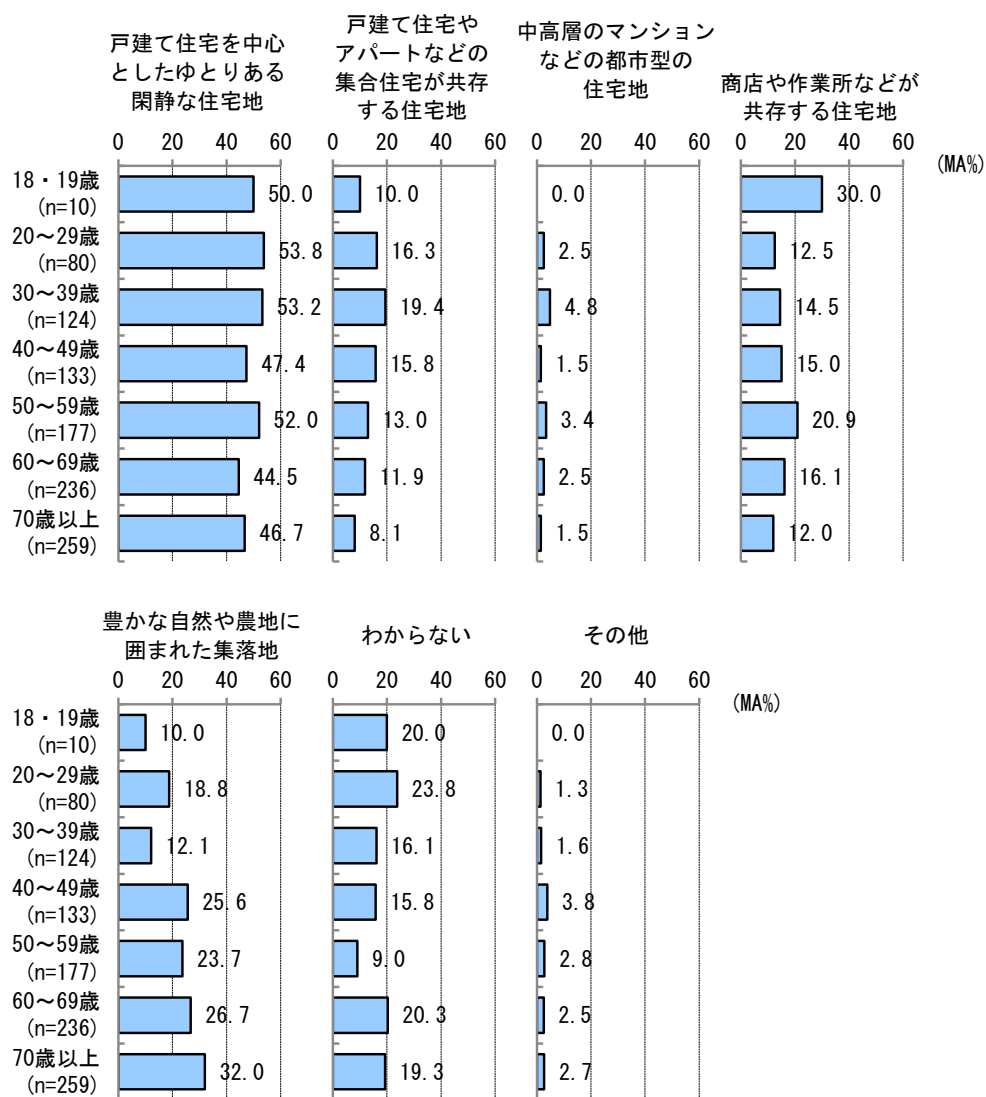
問24 住宅地の整備について望むもの

問 24. 住宅地の整備について望むものは何ですか。(〇は2つまで)

・住宅地の整備について望むものについては、「戸建て住宅を中心としたゆとりある閑静な住宅地」が48.5%と最も高く、次いで「豊かな自然や農地に囲まれた集落地」が24.8%、「わからない」が17.4%となっています。



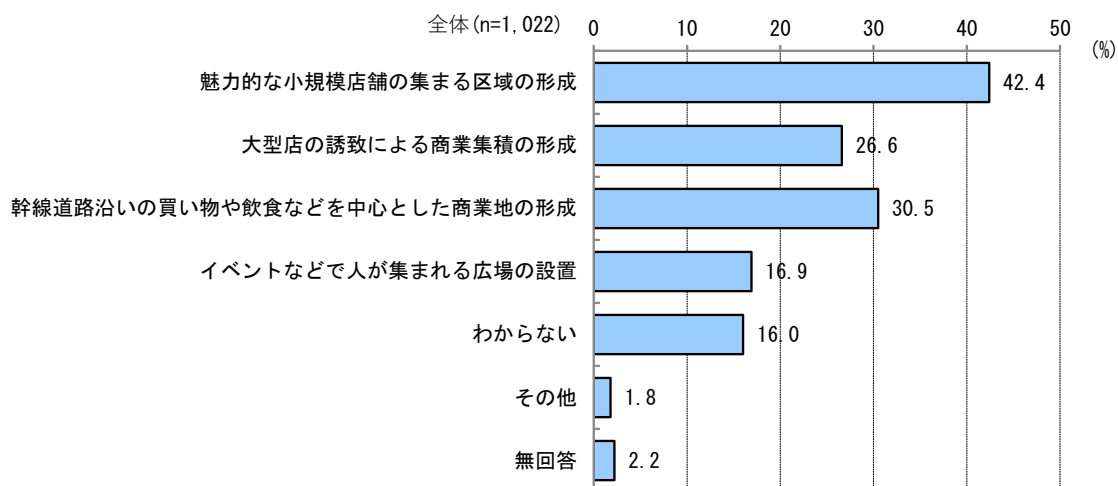
・年代別にみると、70歳以上で「豊かな自然や農地に囲まれた集落地」が32.0%と他の年代より高くなっています。



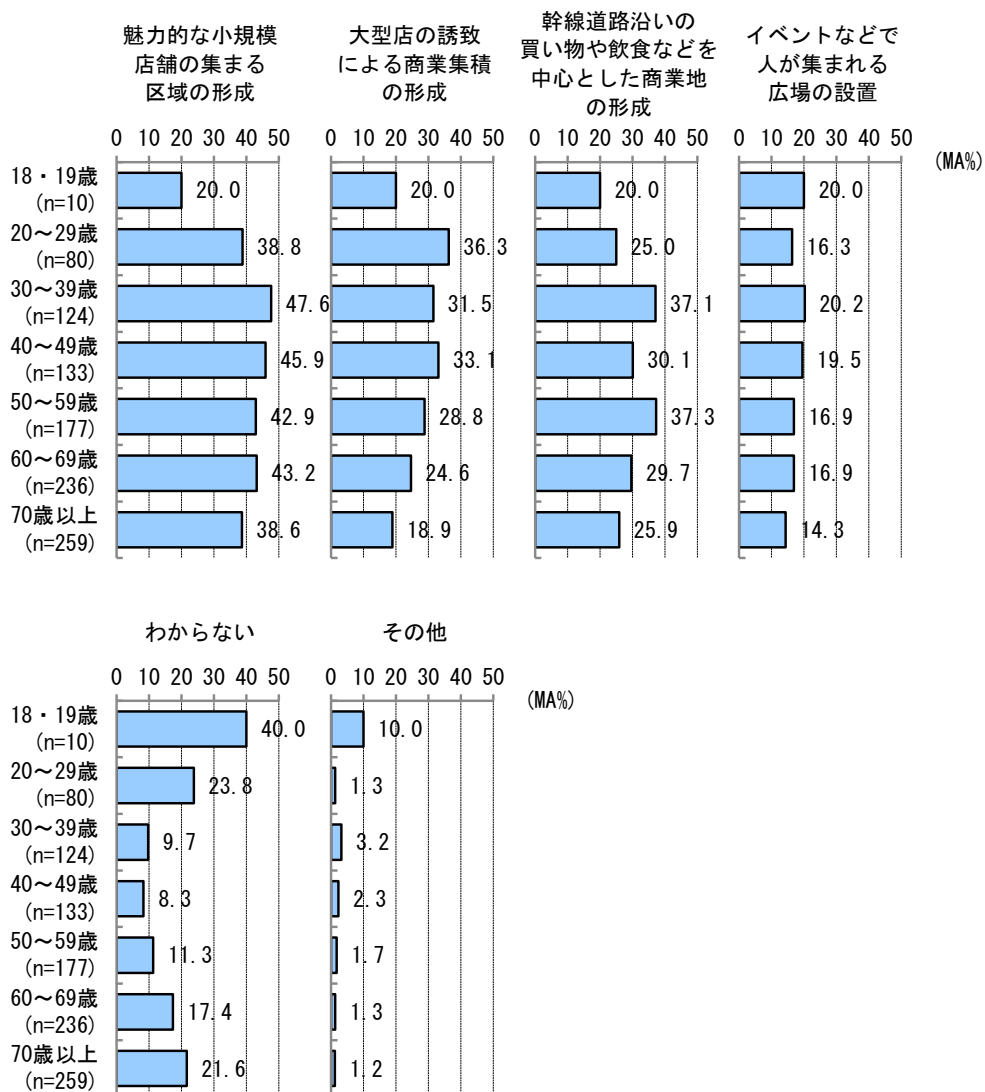
問25 商業地の整備について望むもの

問 25. 商業地の整備について望むものは何ですか。(〇は2つまで)

・商業地の整備について望むものについては、「魅力的な小規模店舗の集まる区域の形成」が42.4%と最も高く、次いで「幹線道路沿いの買い物や飲食などを中心とした商業地の形成」が30.5%、「大型店の誘致による商業集積の形成」が26.6%、「大型店の誘致による商業集積の形成」が26.6%となっています。



・年代別にみると、「大型店の誘致による商業集積の形成」については若い年齢層ほど回答する割合が高い傾向にあります。

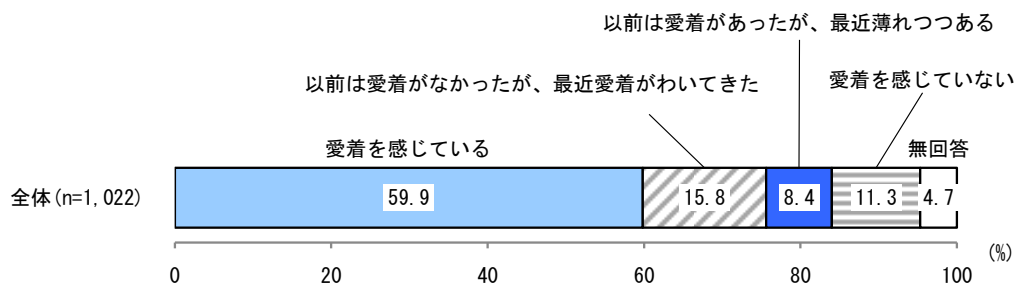


6.太子町のまちづくりについて

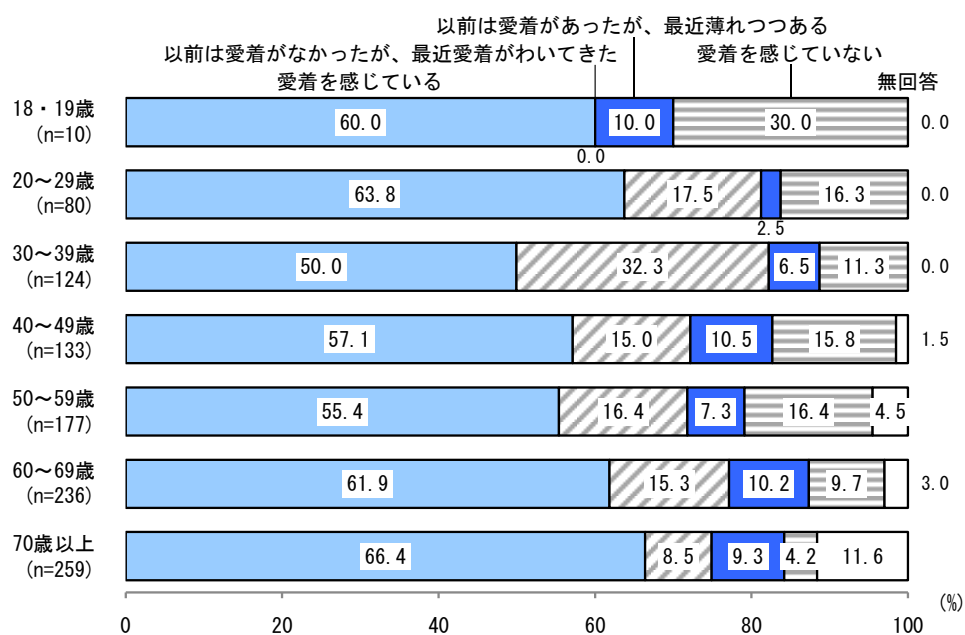
問26 太子町に愛着を感じているか

問 26. あなたは太子町に愛着を感じていますか。(○は1つ)

・太子町に愛着を感じているかについては、「愛着を感じている」と「以前は愛着がなかったが、最近愛着がわいてきた」を合わせた『愛着を感じている』が75.7%と約80.0%を占めており、「愛着を感じていない」が11.3%、「以前は愛着があったが、最近薄れつつある」が8.4%となっています。



・年代別にみると、70歳以上で「愛着を感じている」が66.4%と高くなっています。また、30～39歳で「以前は愛着がなかったが、最近愛着がわいてきた」が32.3%、50～59歳で「愛着を感じていない」が16.4%と他の年代より高くなっています。

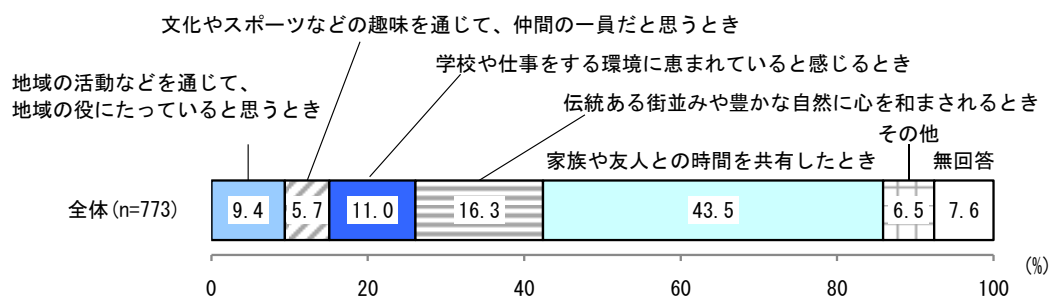


問26-1 太子町に愛着を感じるタイミングについて

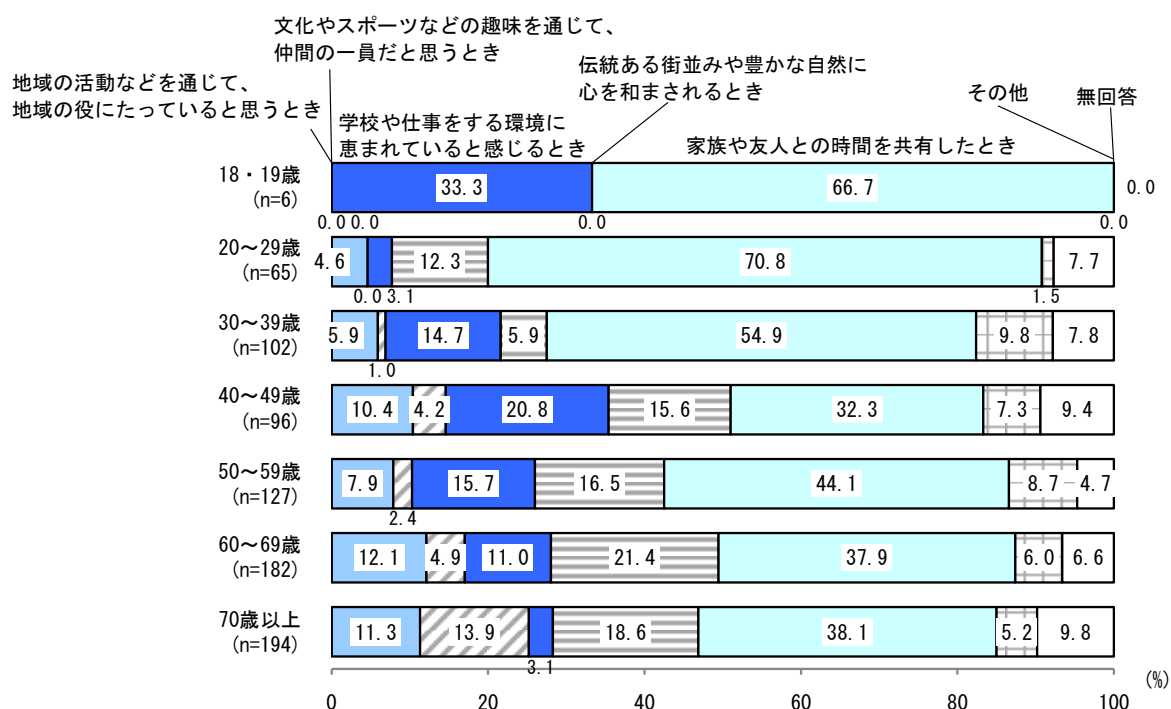
【問 26 で「1.愛着を感じている」または「2.以前は愛着がなかったが、最近愛着がわいてきた」と答えた方におたずねします。】

問 26-1. あなたが太子町に愛着を感じる時はどんなときですか。(○は1つ)

・太子町に愛着を感じるタイミングについては、「家族や友人との時間を共有したとき」が43.5%と最も高く、次いで「伝統ある街並みや豊かな自然に心を和まされるとき」が16.3%、「学校や仕事をする環境に恵まれていると感じるとき」が11.0%となっています。



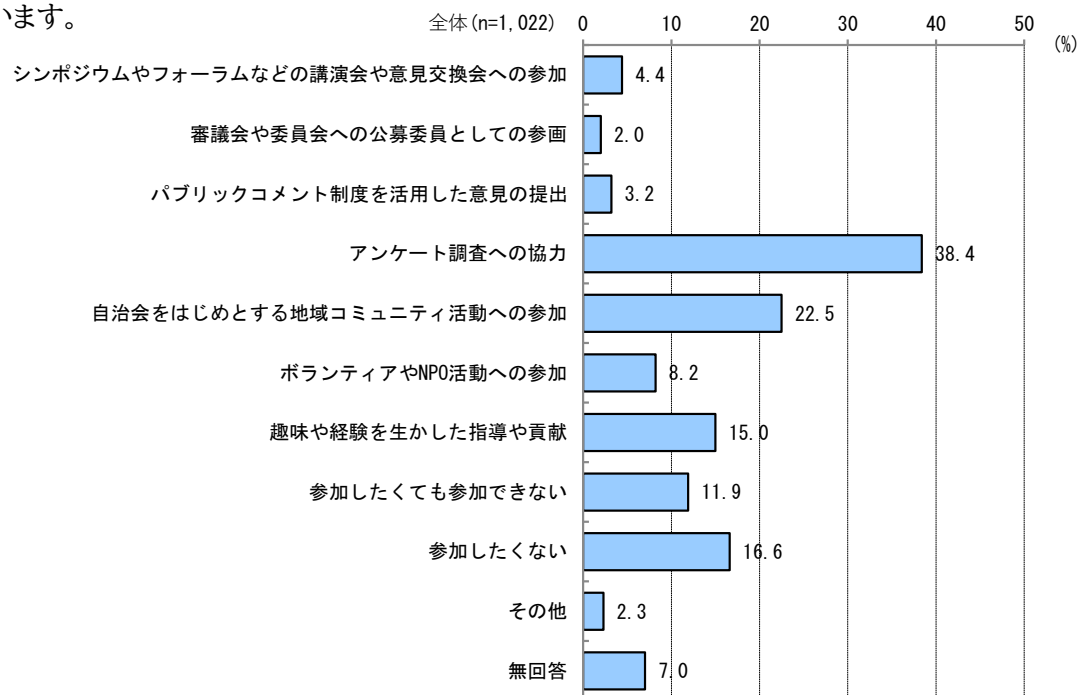
・年代別にみると、「学校や仕事をする環境に恵まれていると感じるとき」は40～49歳で20.8%と他の年代より高くなっています。また、「家族や友人との時間を共有したとき」は20～29歳で70.8%と高くなっています。



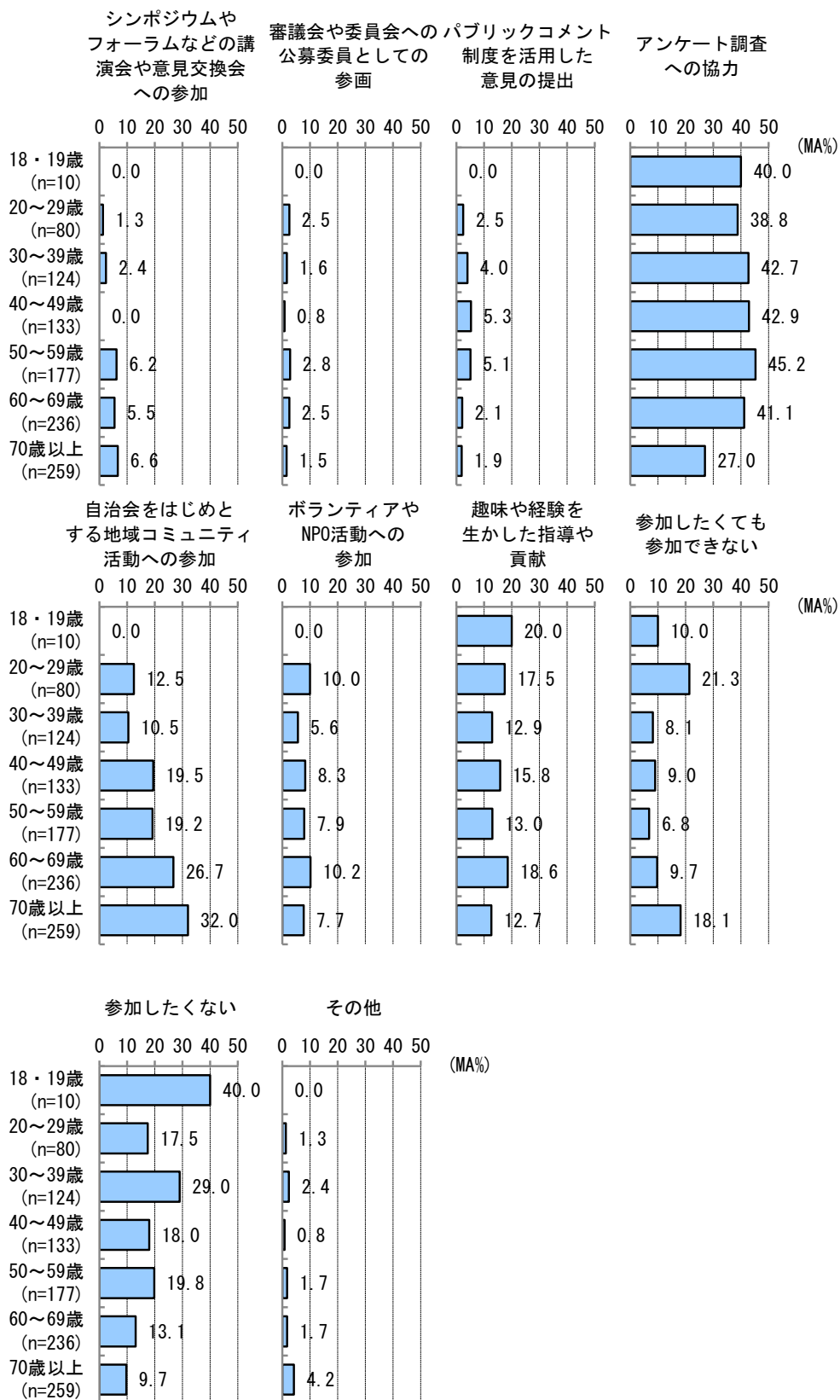
問27 どのような形で太子町のまちづくりに参加したいか

問 27. あなたはどのような形で太子町のまちづくりに参加したいと思いますか。(〇はいくつでも)

・どのような形で太子町のまちづくりに参加したいかについては、「アンケート調査への協力」が38.4%と最も高く、次いで「自治会をはじめとする地域コミュニティ活動への参加」が22.5%、「参加したくない」が16.6%となっています。



・年代別にみると、30～39歳で「参加したくない」が29.0%と他の年代より高くなっています。また、70歳以上で「自治会をはじめとする地域コミュニティ活動への参加」が32.0%と高くなっています。



<男女共同参画に関するアンケート調査結果>

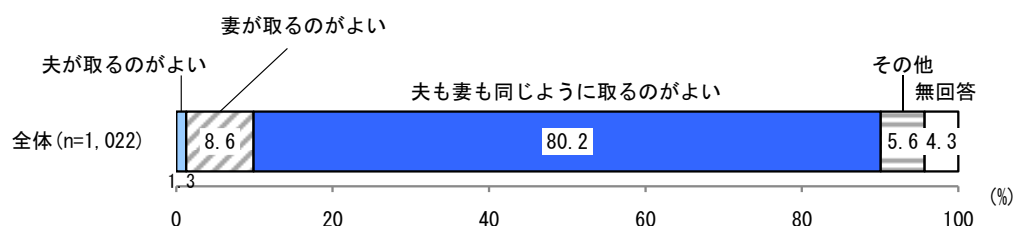
7.職業生活について

問28 育児休業や介護休業について

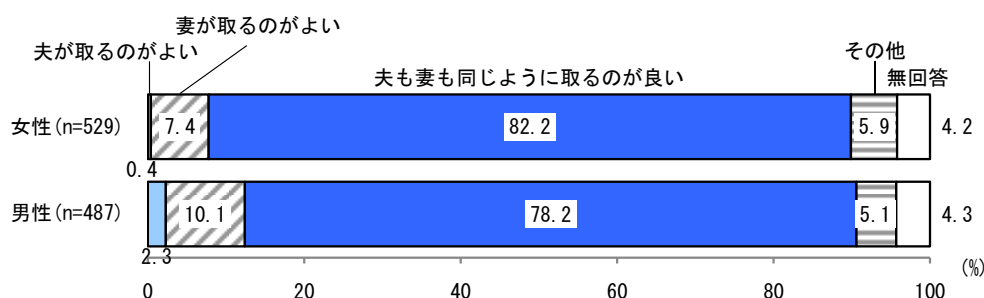
問 28. 育児休業や介護休業について、それぞれお答えください。

<(1)家庭で育児や介護が必要なとき、共働きの夫婦が育児休業や介護休業を取るとしたら、どうするのがよいと思いますか。(〇は1つ)>

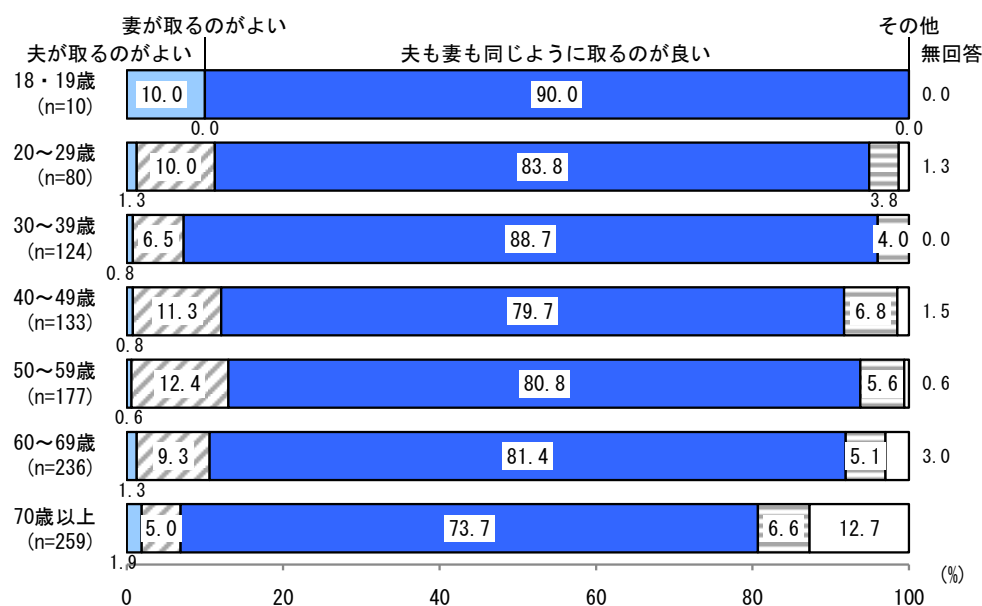
・育児休業や介護休業については、「夫も妻も同じように取るのがよい」が80.2%と最も高く、次いで「妻が取るのがよい」が8.6%、「その他」が5.6%となっています。



・性別にみても全体傾向と同様の結果となっており、男女とも育児休業や介護休業は「夫も妻も同じように取るのがよい」が高く、女性で82.2%、男性で78.2%となっています。

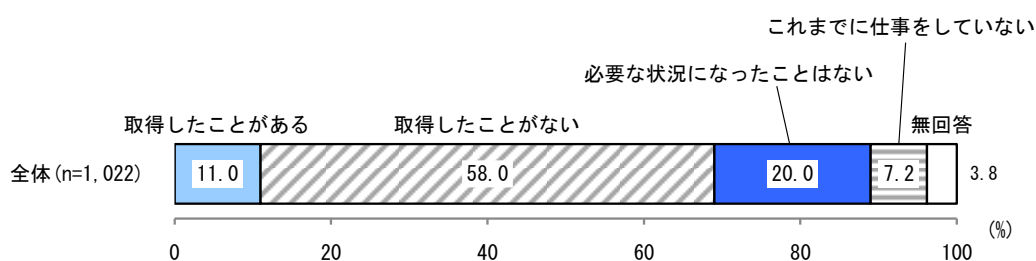


・年代別にみると、30～39歳で「夫も妻も同じように取るのがよい」が88.7%と高くなっています。

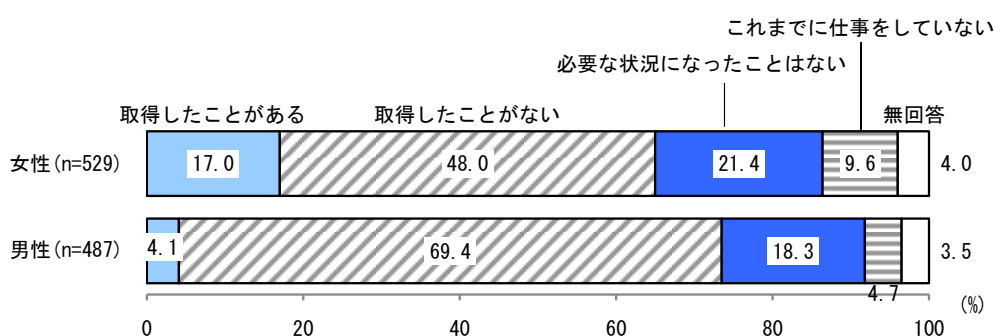


<(2)実際に、これまでに育児休業・介護休業を取得したことがありますか。(〇は1つ)>

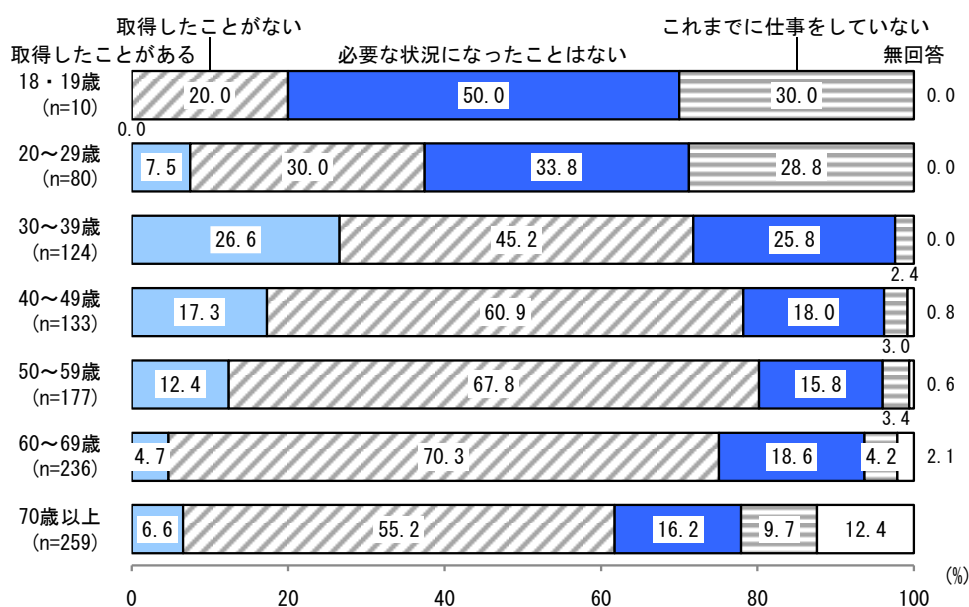
・「取得したことがない」が 58.0%と最も高く、次いで「必要な状況になったことはない」が20.0%、「取得したことがある」が11.0%となっています。



・性別にみると、男性は女性よりも「取得したことがない」が高く、69.4%となっています。



・年代別にみると、「取得したことがある」は30～39歳で26.6%と他の年代より高くなっています。一方で、「取得したことがない」は60～69歳で70.3%と高くなっています。

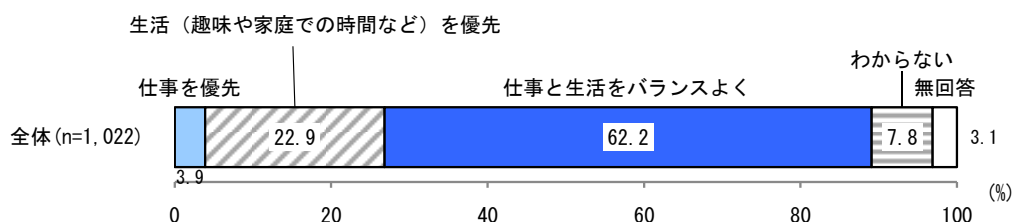


問29 ワーク・ライフ・バランスについて

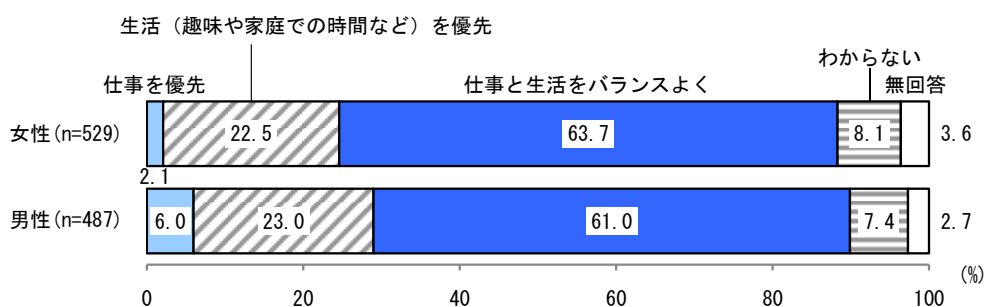
問 29. 「職場での仕事」と「生活(趣味や家庭での時間など)」の調和を図る『ワーク・ライフ・バランス』という考え方がありますが、日々の暮らしの中での時間の使い方について、「希望」と「現実」をお答えください。

<(1)希望(〇は1つ)>

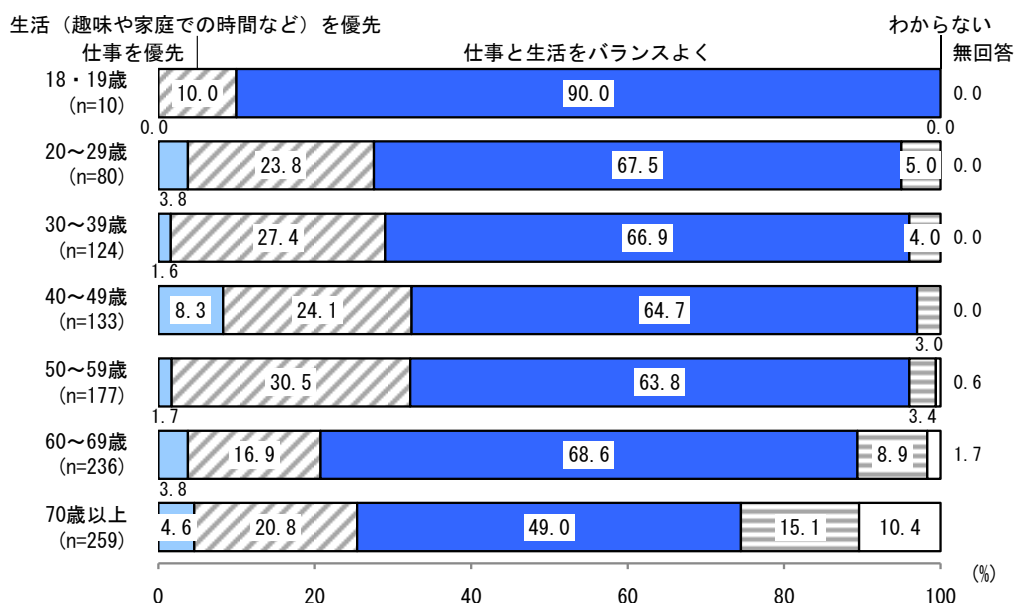
・希望については、「仕事と生活をバランスよく」が62.2%と最も高く、次いで「生活(趣味や家庭での時間など)を優先」が22.9%、「わからない」が7.8%となっています。



・性別にみると、男性は女性よりも「仕事を優先」と回答する割合が高く、6.0%となっています。

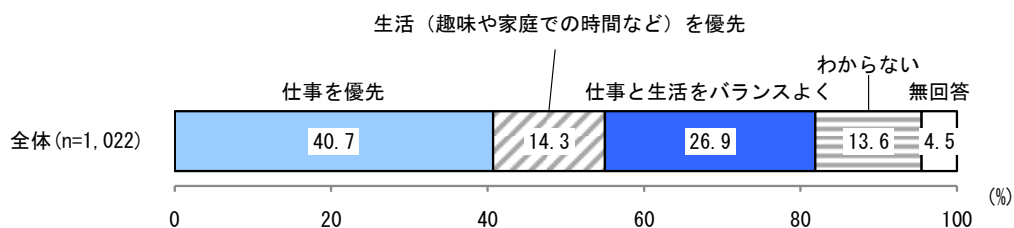


・年代別にみると、「仕事を優先」は40～49歳で8.3%と他の年代より高くなっています。また、「仕事と生活をバランスよく」は60～69歳で68.6%と高くなっています。

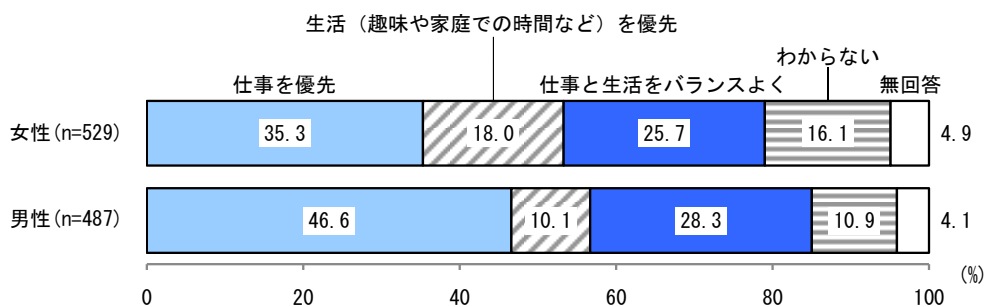


<(2)現実(○は1つ)>

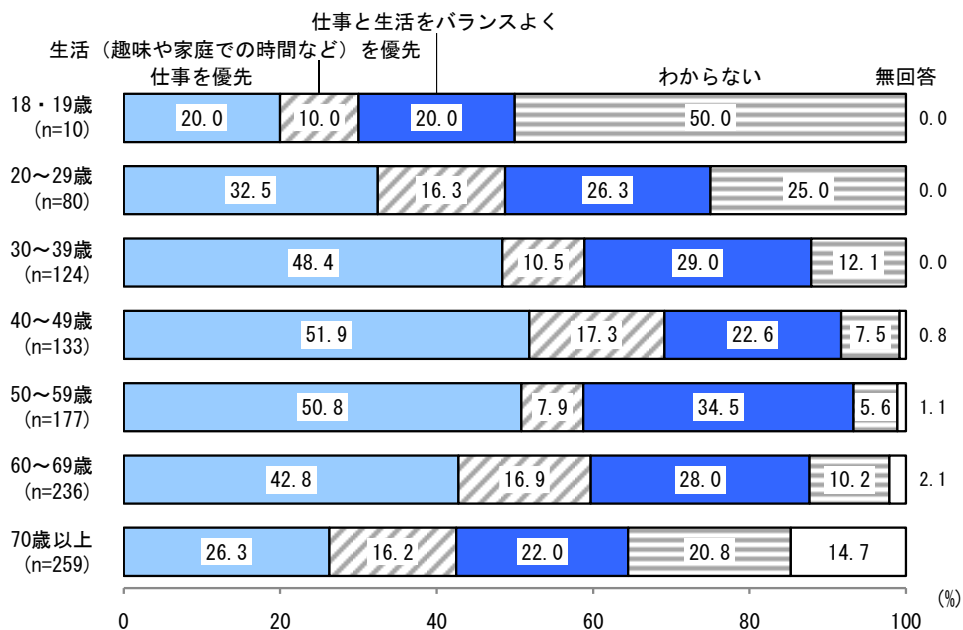
・現実については、「仕事を優先」が 40.7%と最も高く、次いで「仕事と生活をバランスよく」が 26.9%、「生活（趣味や家庭での時間など）を優先」が 14.3%となっています。



・性別にみると、男性は女性よりも「仕事を優先」と回答する割合が高く、46.6%となっています。



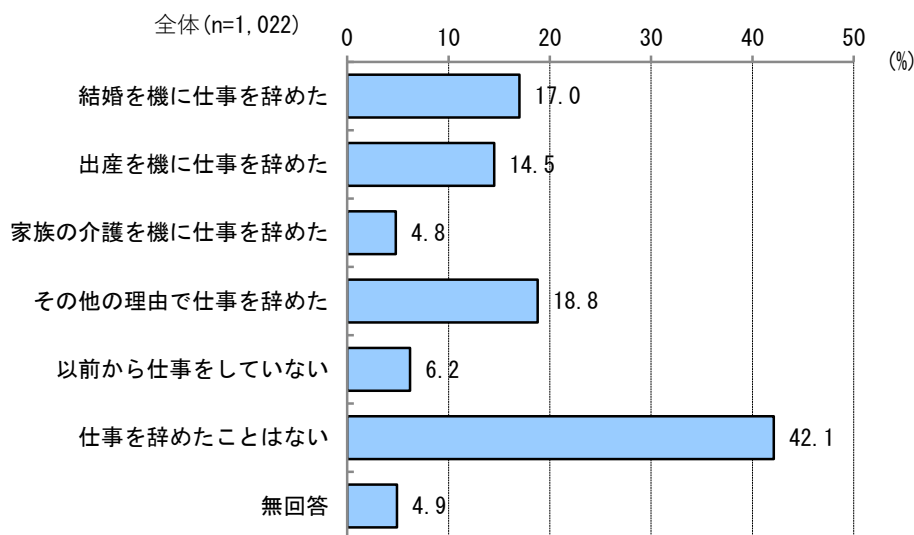
・年代別にみると、「仕事を優先」は40～49歳で51.9%と高くなっています。



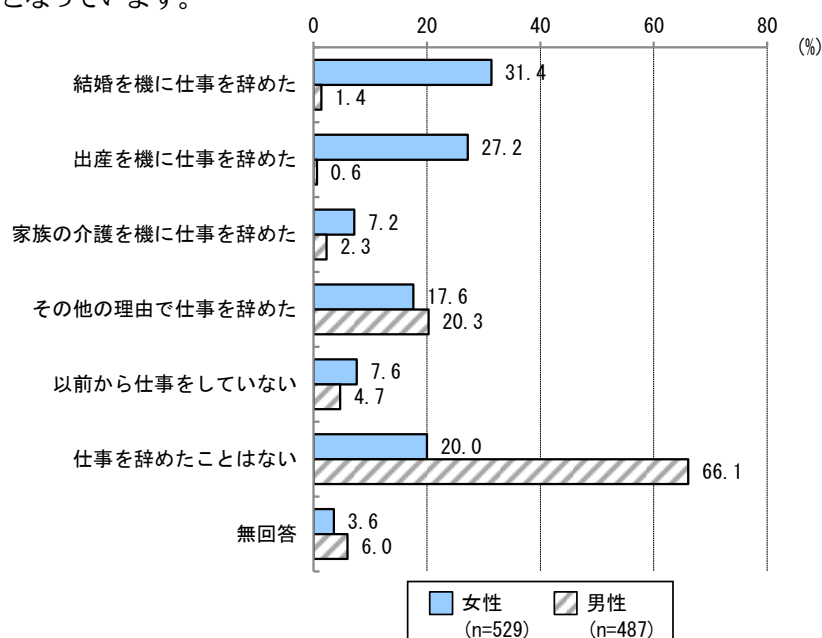
問30 結婚・出産・介護を機に仕事を辞めた経験の有無について

問 30. あなたは、結婚・出産・介護を機に仕事を辞めたことはありますか。(〇はいくつでも)

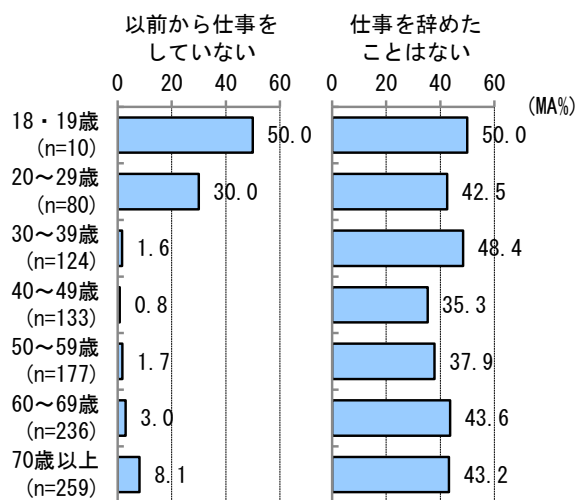
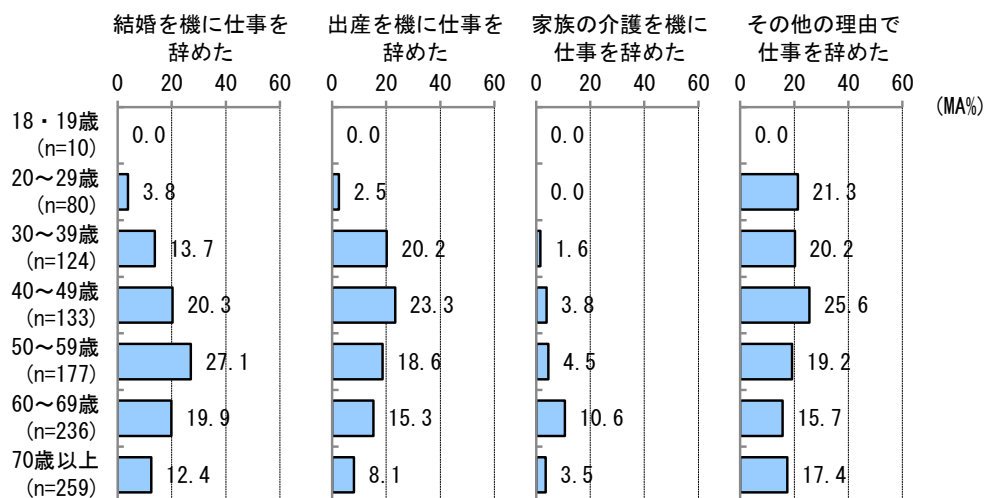
・結婚・出産・介護を機に仕事を辞めた経験の有無については、「仕事を辞めたことはない」が 42.1%と最も高く、次いで「その他の理由で仕事を辞めた」が 18.8%、「結婚を機に仕事を辞めた」が 17.0%となっています。



・性別にみると、女性は男性よりも「結婚を機に仕事を辞めた」、「出産を機に仕事を辞めた」、「家族の介護を機に仕事を辞めた」と回答する割合が高くなっています。一方、男性は女性よりも「仕事を辞めたことはない」と回答する割合が高く、66.1%となっています。



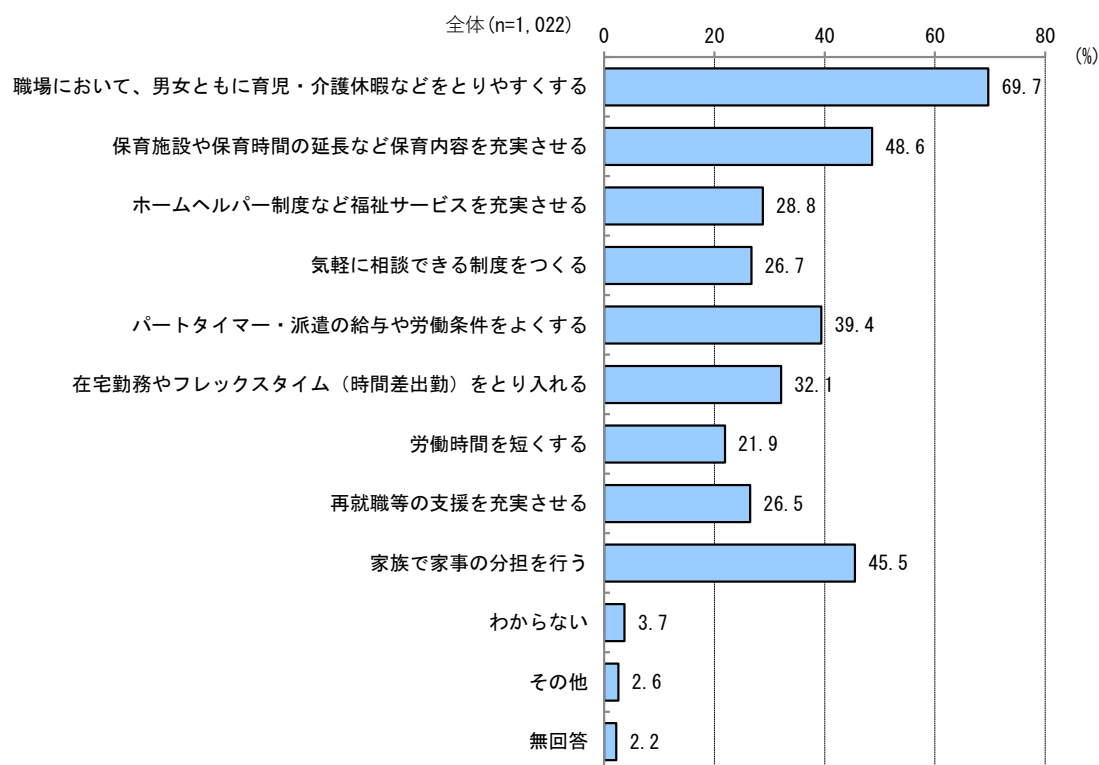
・年代別にみると、50～59歳で「結婚を機に仕事を辞めた」が27.1%、40～49歳で「出産を機に仕事を辞めた」が23.3%と他の年代より高くなっています。



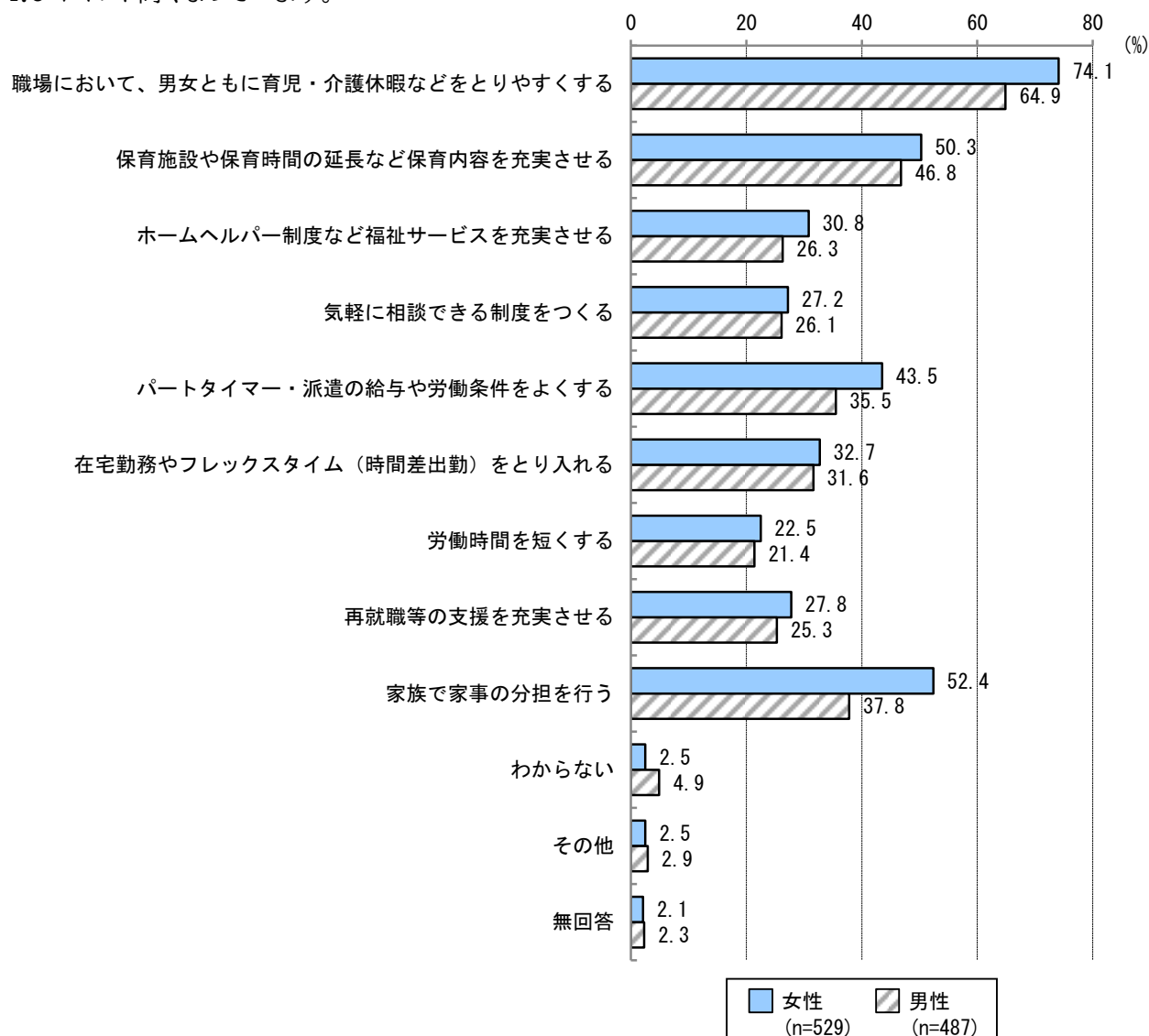
問31 男女がともに働き続けるために必要なことについて

問 31. 男女がともに働き続けるためには、どのようなことが必要だと思いますか。(〇はいくつでも)

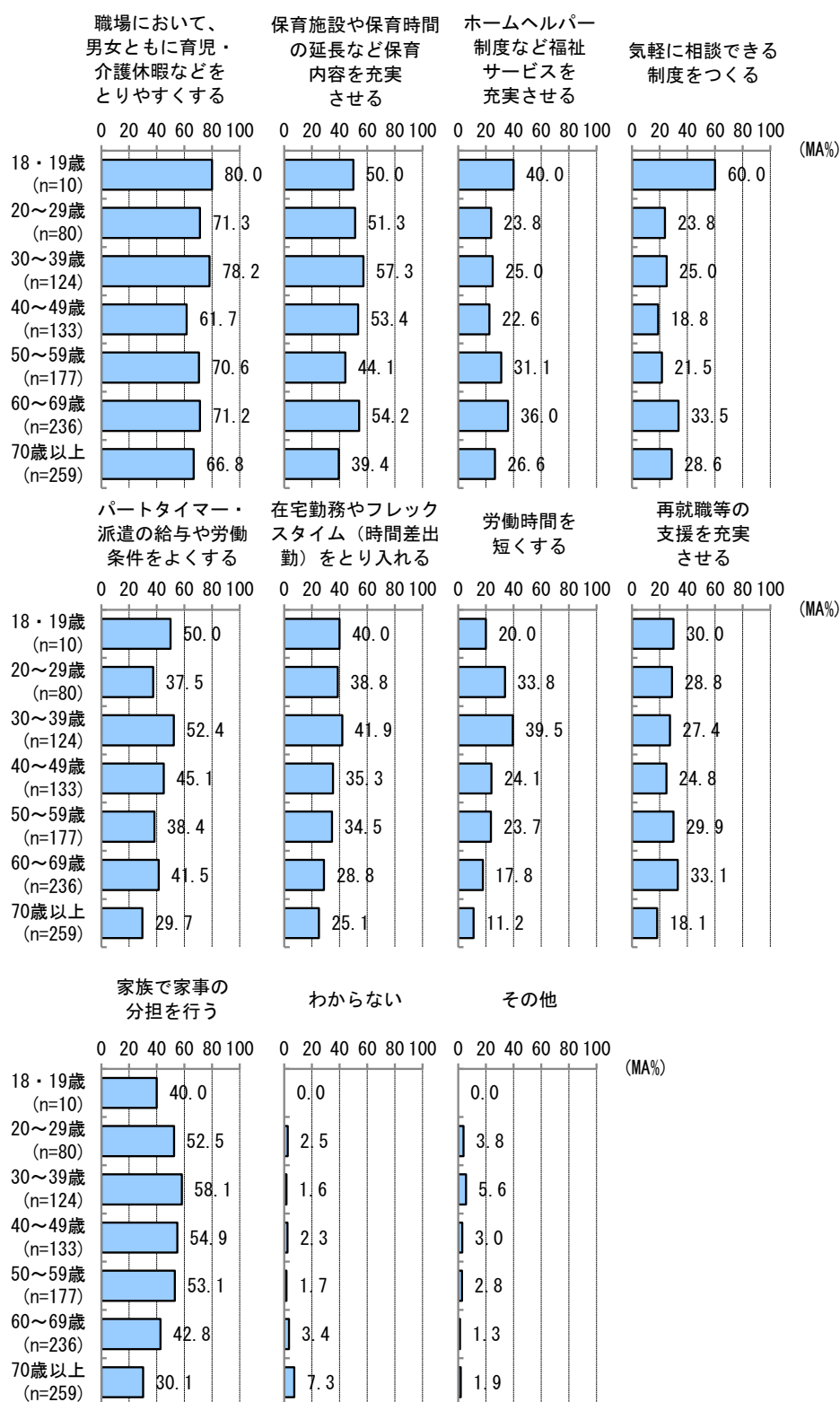
・男女がともに働き続けるために必要なことについては、「職場において、男女ともに育児・介護休暇などをとりやすくする」が 69.7%と最も高く、次いで「保育施設や保育時間の延長など保育内容を充実する」が 48.6%、「家族で家事の分担を行う」が 45.5%となっています。



・性別にみると、男女ともに「職場において、男女ともに育児・介護休暇などをとりやすくする」が最も高く、女性で74.1%、男性で64.9%となっています。また、「家族で家事の分担を行う」は、女性で52.4%と男性より14.6ポイント高くなっています。



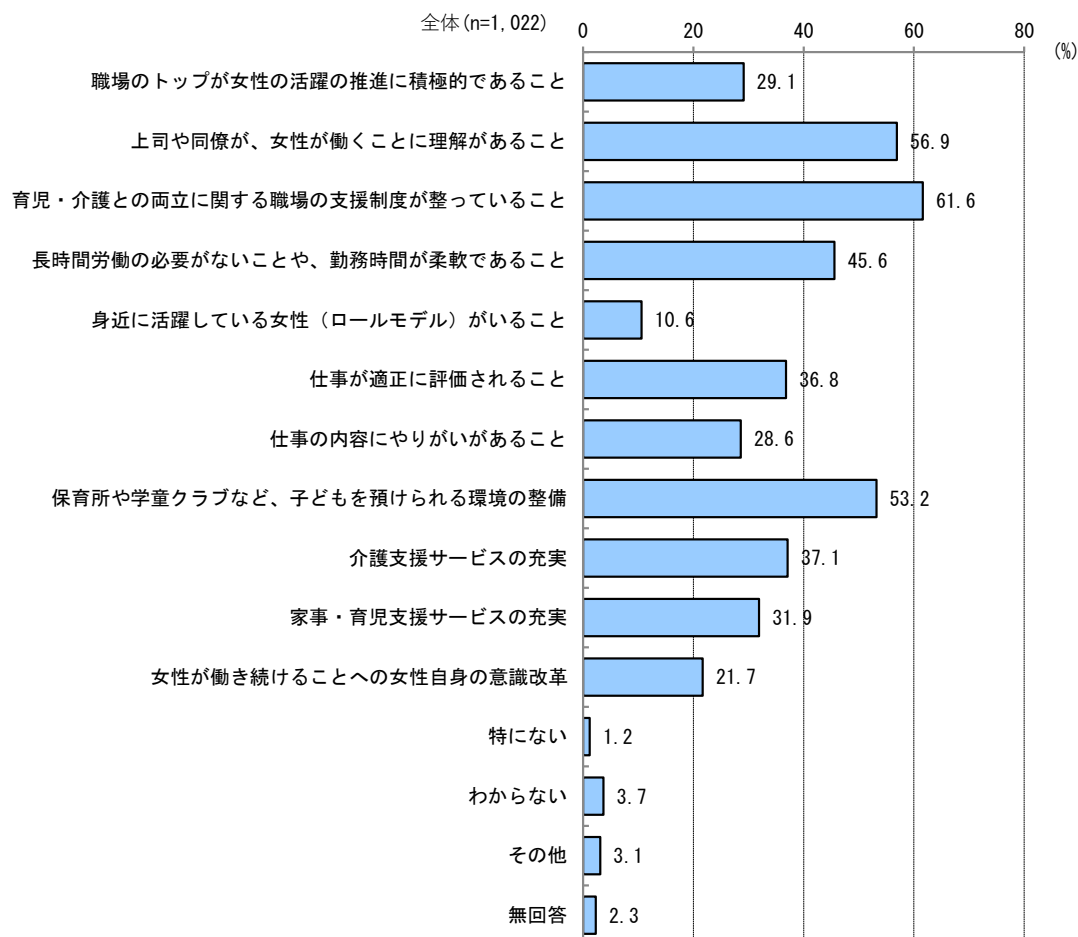
・年代別にみると、30～39歳で「家族で家事の分担を行う」が58.1%と他の年代より高くなっています。



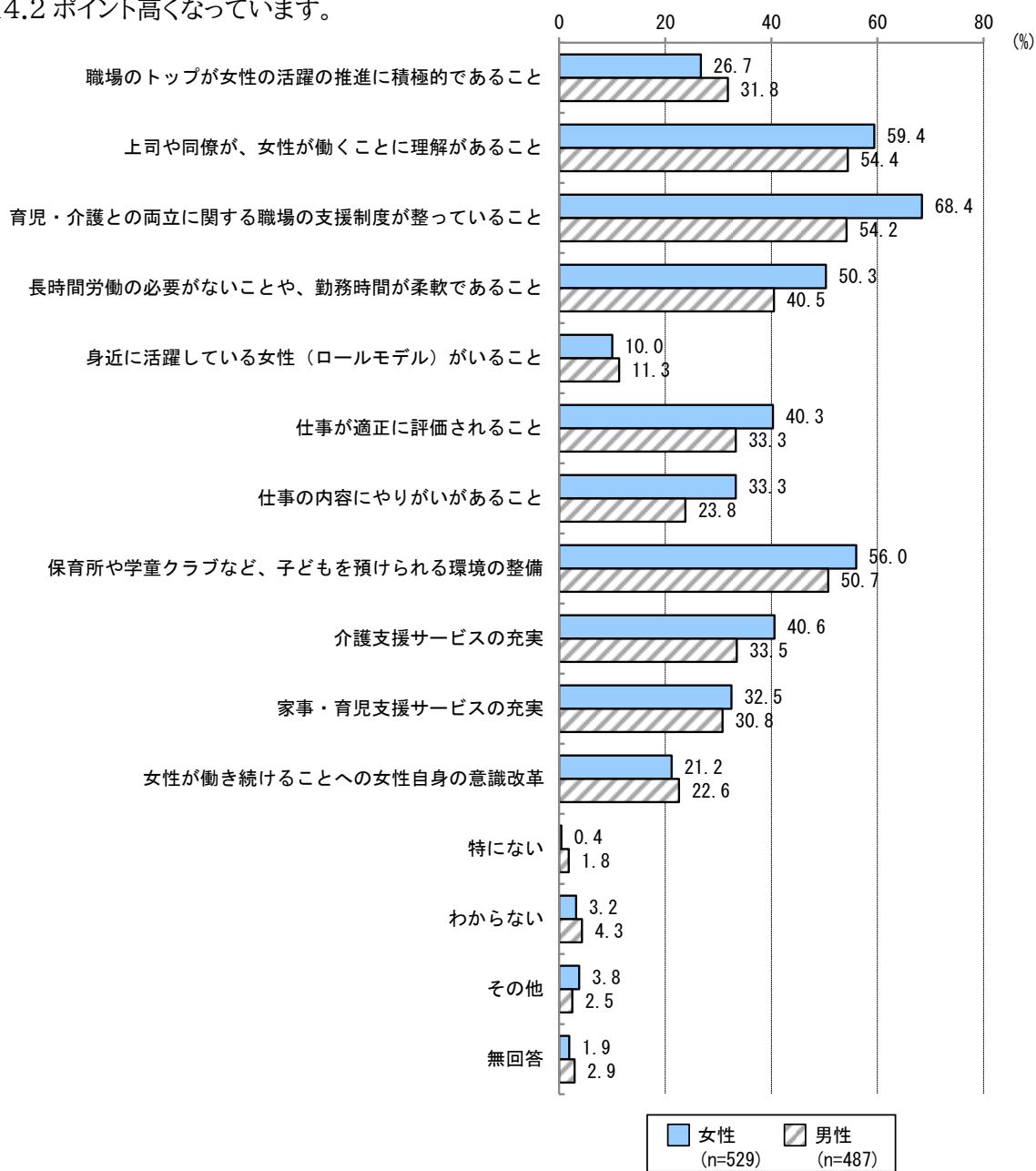
問32 女性が活躍できる仕事・職場環境にするために必要なもの

問 32. 女性が活躍できる仕事・職場環境にするために、必要なものは何だと思いますか。(〇はいくつでも)

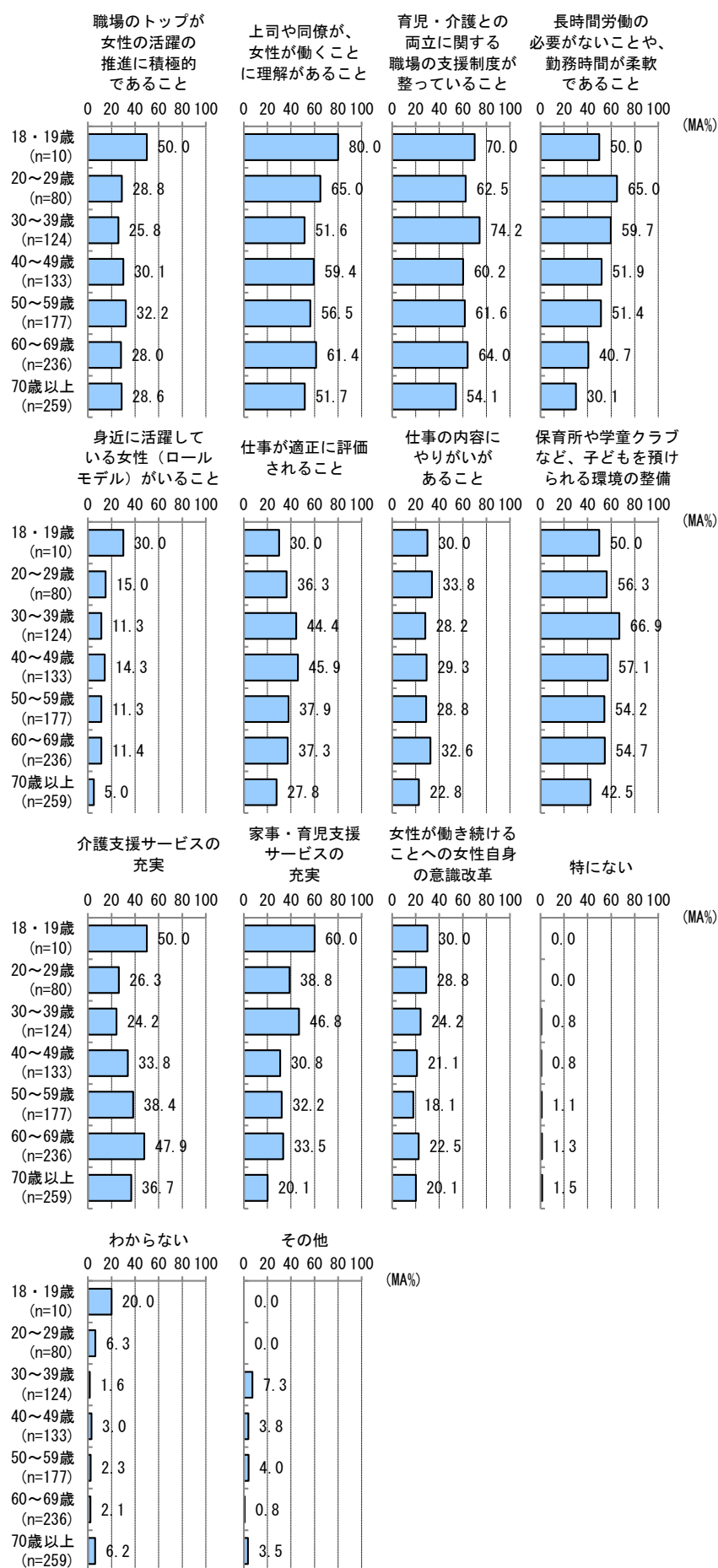
・女性が活躍できる仕事・職場環境にするために必要なものについては、「育児・介護との両立に関する職場の支援制度が整っていること」が 61.6%と最も高く、次いで「上司や同僚が、女性が働くことに理解があること」が 56.9%、「保育所や学童クラブなど、子どもを預けられる環境の整備」が 53.2%となっています。



・性別にみると、女性で「育児・介護との両立に関する職場の支援制度が整っていること」が68.4%と、男性より14.2ポイント高くなっています。



・年代別にみると、30～39歳で「育児・介護との両立に関する職場の支援制度が整っていること」が74.2%と高くなっています。



8.男女の平等意識について

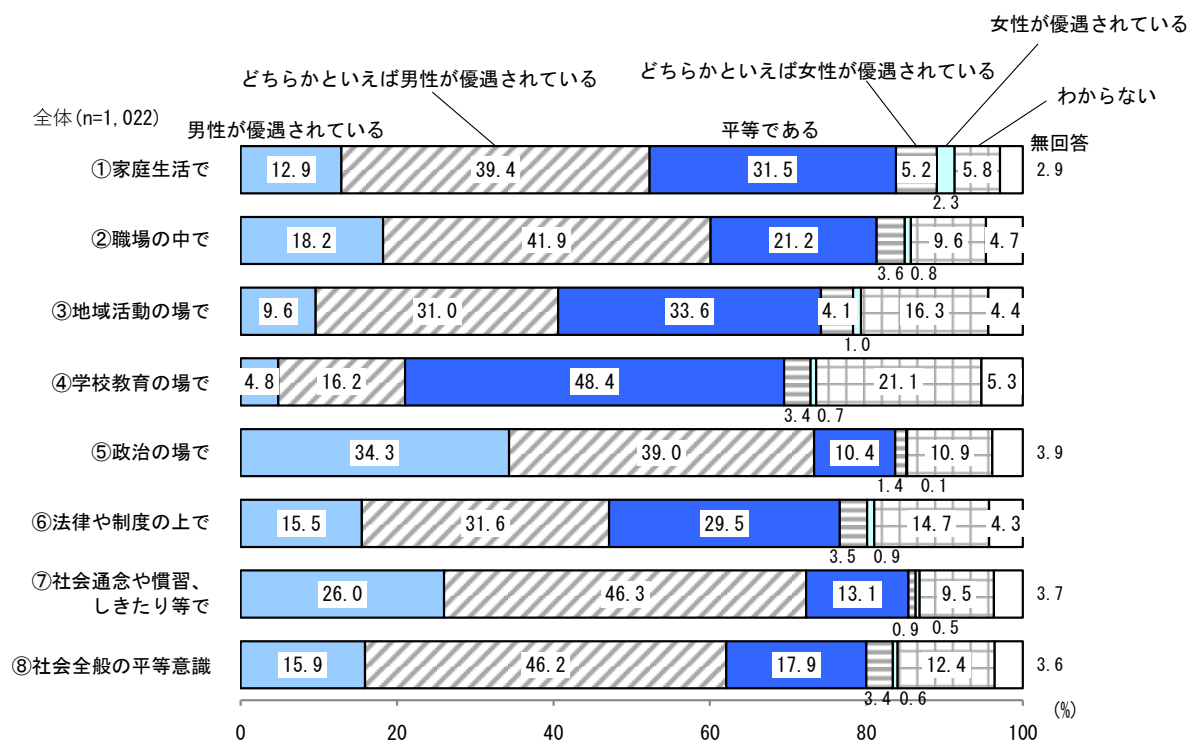
問33 男女の地位について

問 33. 現在の男女の地位は、どの程度平等になっていると思いますか。あなたのお考えにもっとも近いものをお答えください。(〇はそれぞれ1つつ)

・男女の平等意識に関するすべての分野において、「男性が優遇されている」と「どちらかといえば男性が優遇されている」を合わせた『男性優遇』意識が、「女性が優遇されている」と「どちらかといえば女性が優遇されている」を合わせた『女性優遇』意識を上回っています。

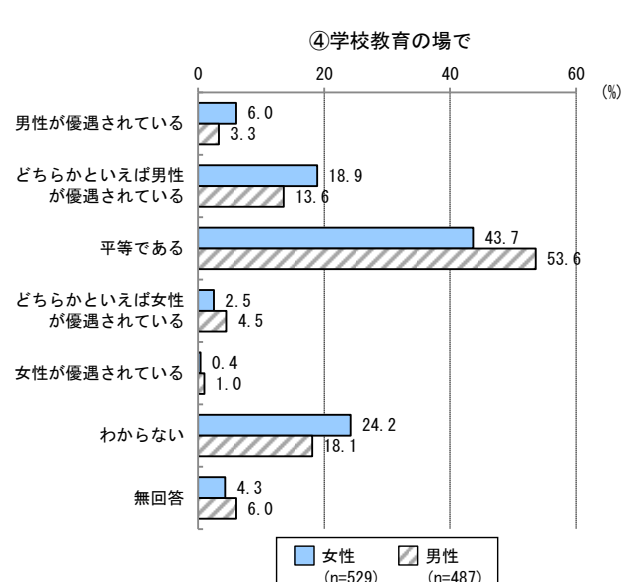
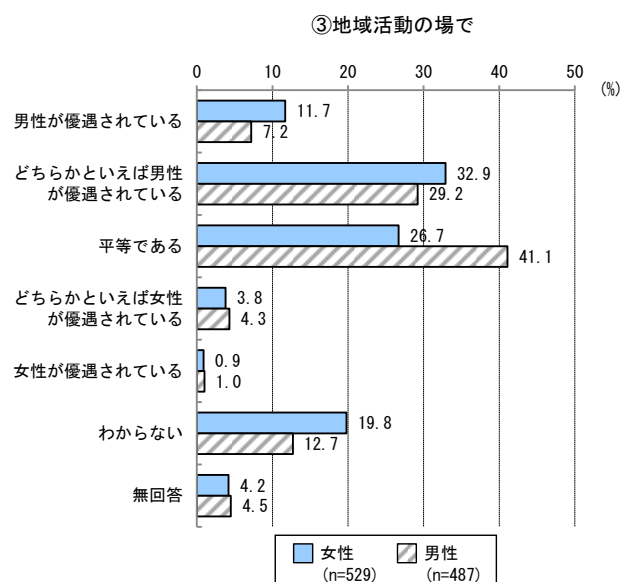
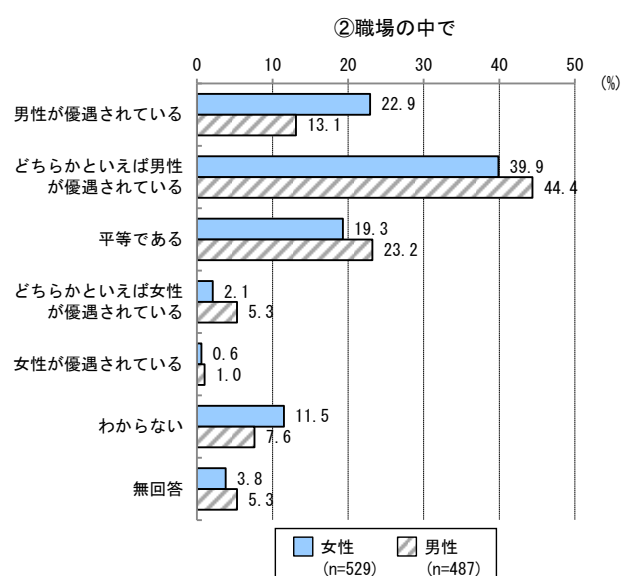
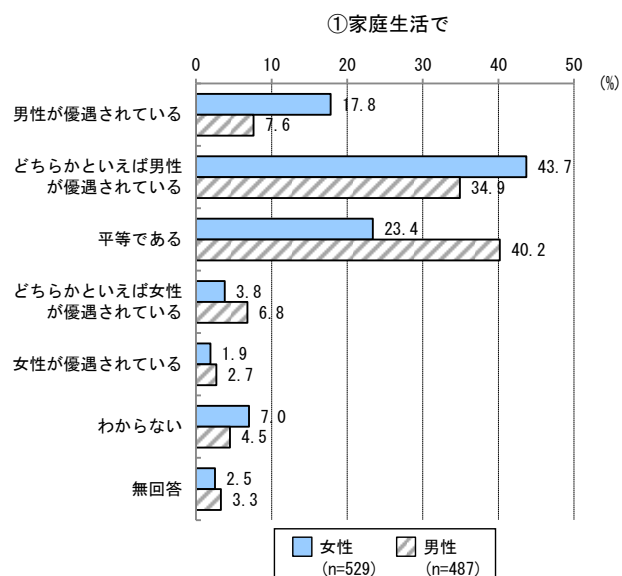
『男性優遇』意識が高い順に、「⑤政治の場で」(73.3%)、「⑦社会通念や慣習、しきたり等で」(72.3%)、「⑧社会全般の平等意識」(62.1%)、「②職場の中で」(60.1%)となっています。

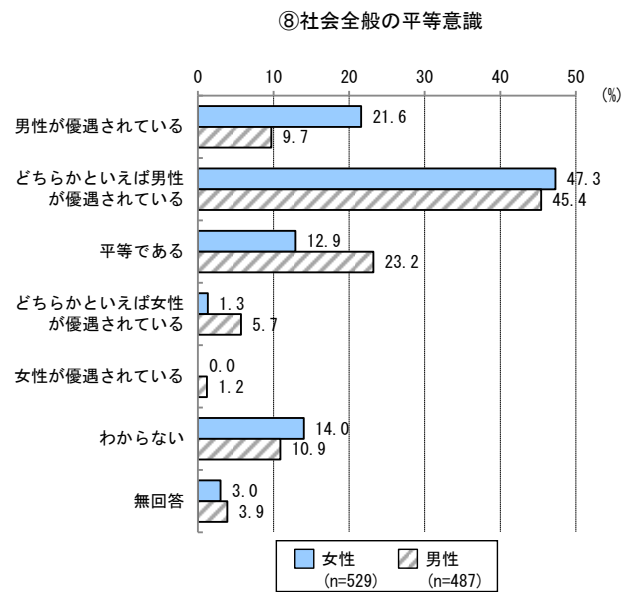
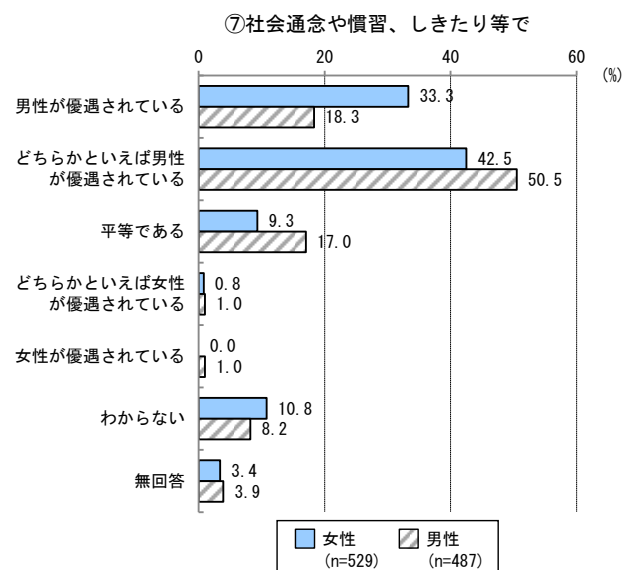
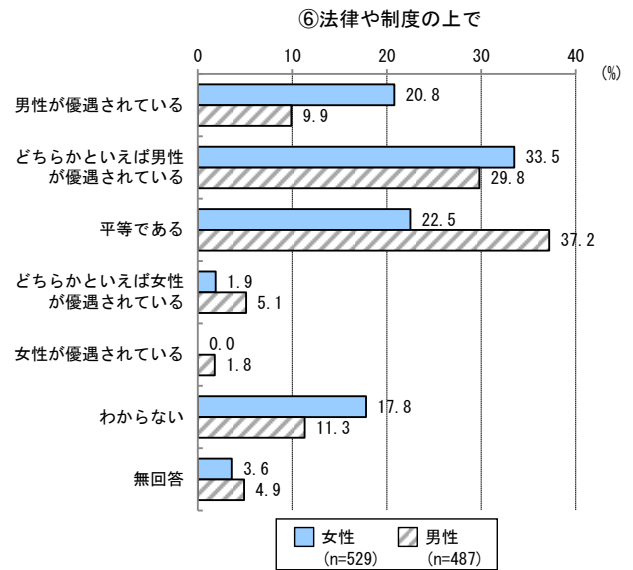
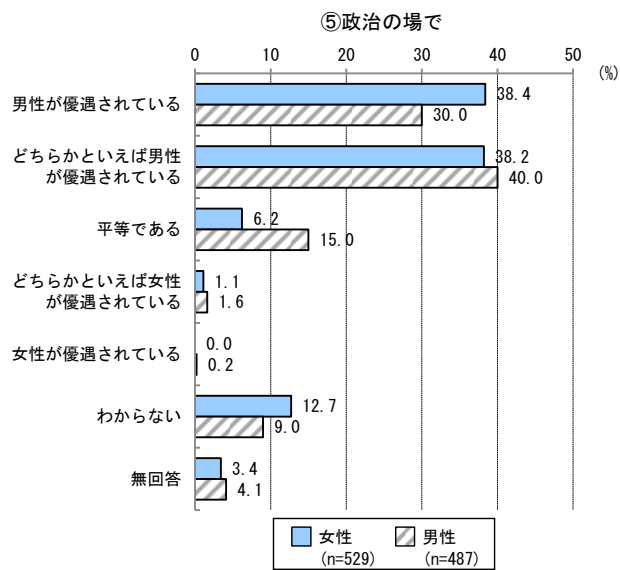
一方、「平等である」割合が高い項目としては、「④学校教育の場で」が48.4%と約半数を占め最も高く、次いで「③地域活動の場で」(33.6%)、「①家庭生活で」(31.5%)、「⑥法律や制度の上で」(29.5%)となっています。



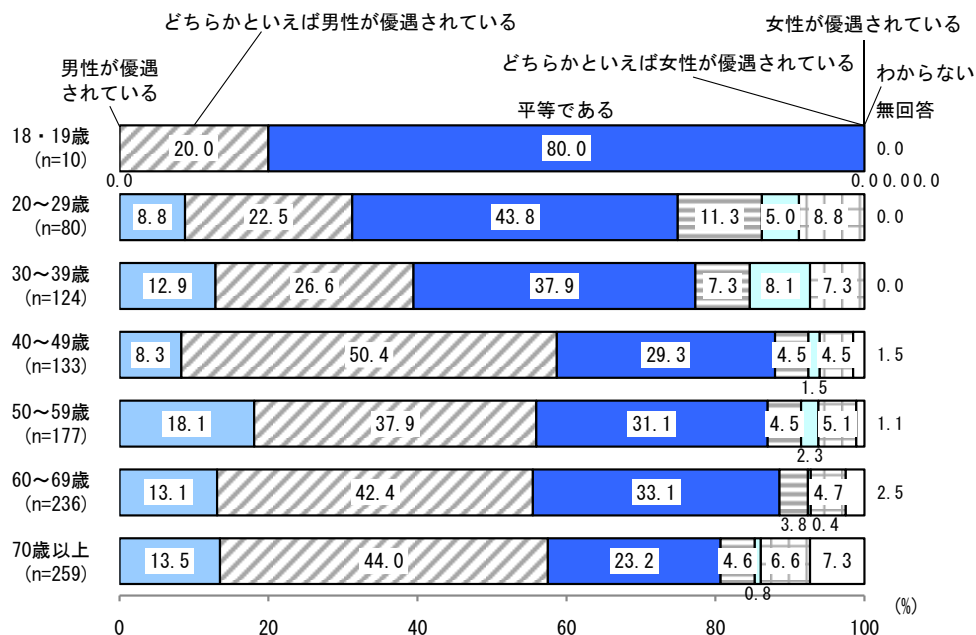
・性別にみると、男性は女性よりも「平等である」の割合が高い傾向にあります。特に、「①家庭生活で」における男女の差が大きく、男性で「平等である」と回答した割合は女性よりも16.8ポイント高くなっています。

一方で、女性は男性に比べて「男性が優遇されている」の割合が高い傾向にあり、「⑦社会通念や慣習、しきたり等で」では男性よりも15.0ポイント高くなっています。

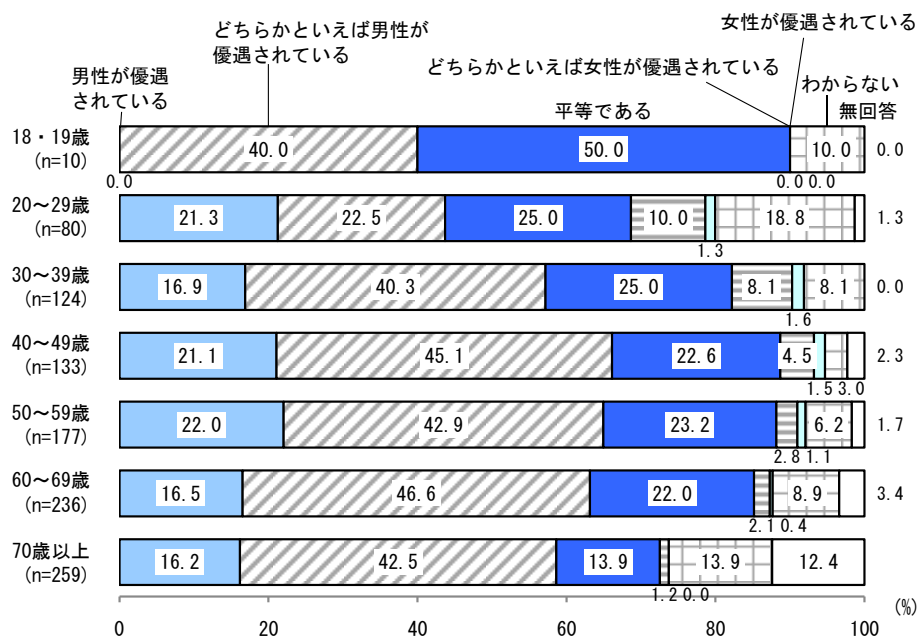




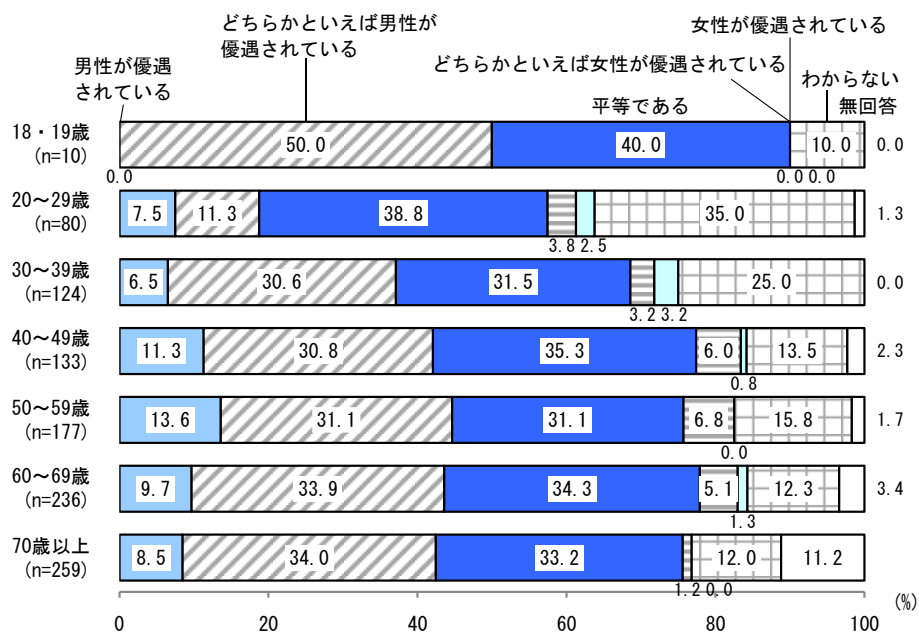
・「①家庭生活中で」について年代別にみると、40～49歳で「どちらかといえば男性が優遇されている」が50.4%と高くなっています。



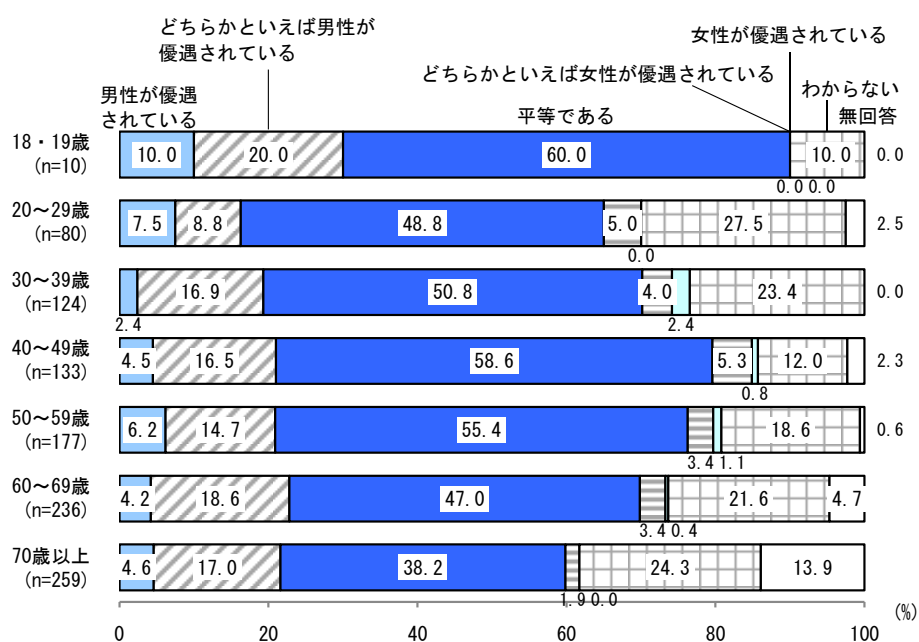
・「②職場の中で」について年代別にみると、20～29歳で「どちらかといえば女性が優遇されている」が10.0%と他の年代より高くなっています。



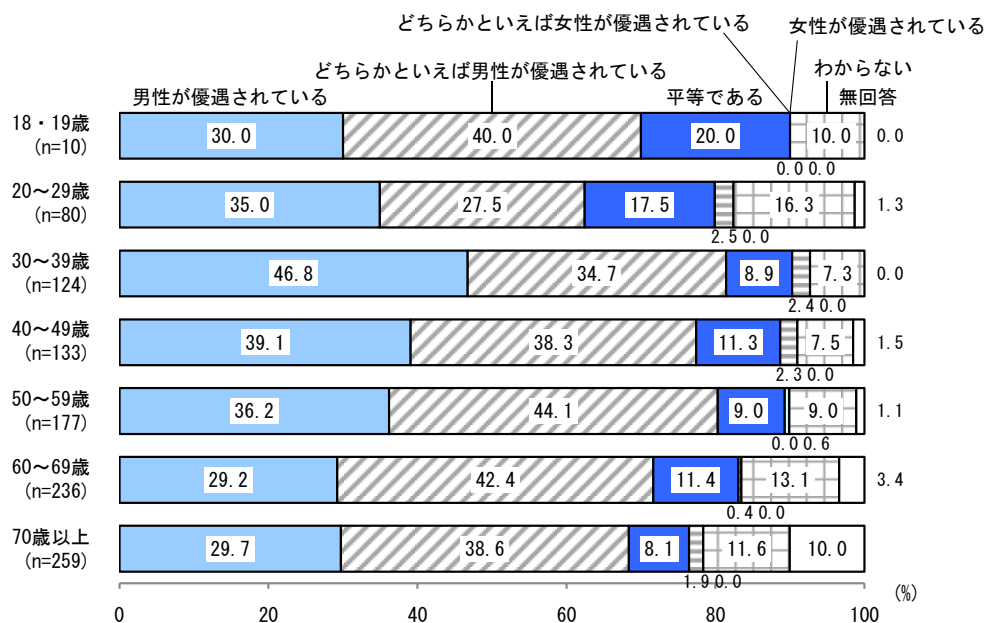
・「③地域活動の場で」について年代別にみると、20～29歳で「わからない」が35.0%と他の年代より高くなっています。



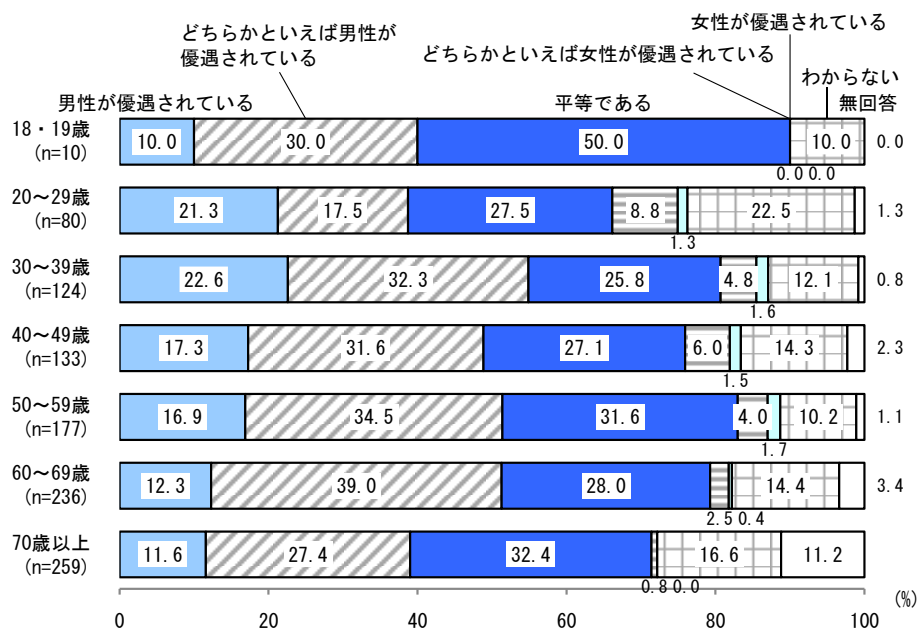
・「④学校教育の場で」について年代別にみると、40～49歳で「平等である」が58.6%と高くなっています。



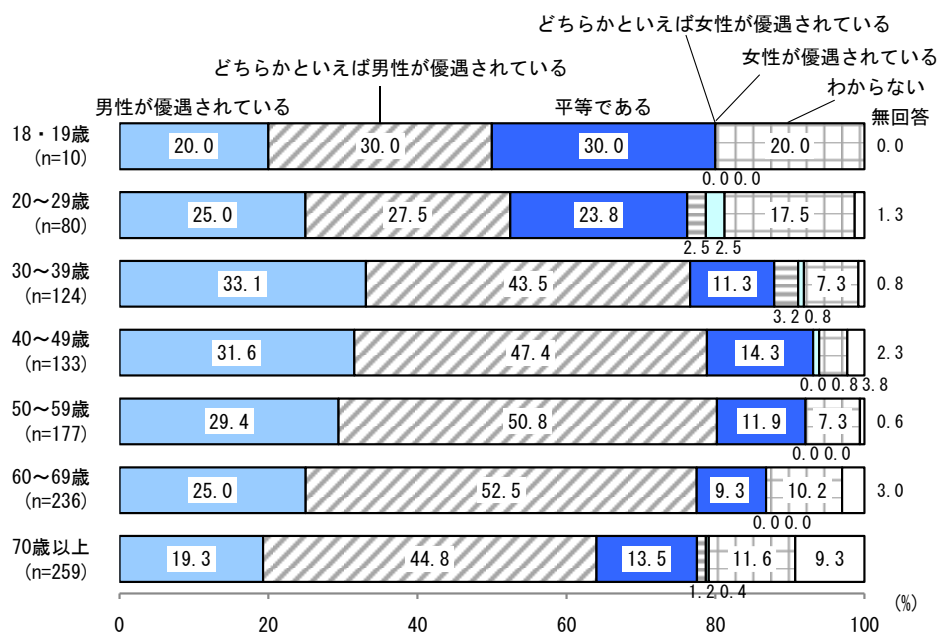
・「⑤政治の場で」について年代別にみると、30～39歳で「男性が優遇されている」が46.8%と高くなっています。



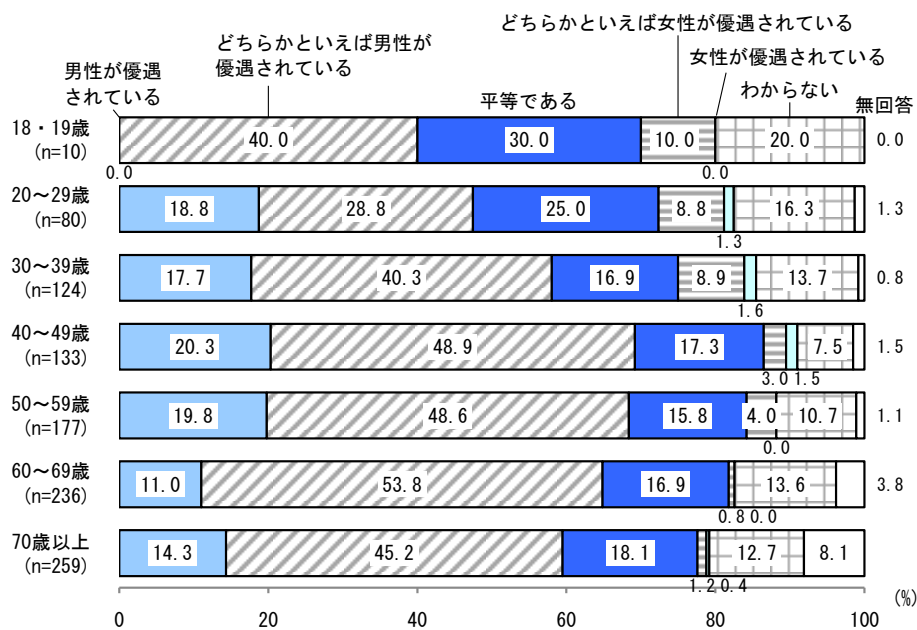
・「⑥法律や制度の上で」について年代別にみると、30～39歳で「男性が優遇されている」が22.6%と他の年代より高くなっています。



・「⑦社会通念や慣習、しきたり等で」について年代別にみると、20～29歳で「平等である」が23.8%と他の年代より高くなっています。



・「⑧社会全般の平等意識」について年代別にみると、20～29歳で「どちらかといえば女性が優遇されている」が8.8%、30～39歳で8.9%と他の年代より高くなっています。一方で、60～69歳では「どちらかといえば男性が優遇されている」が53.8%と高くなっています。

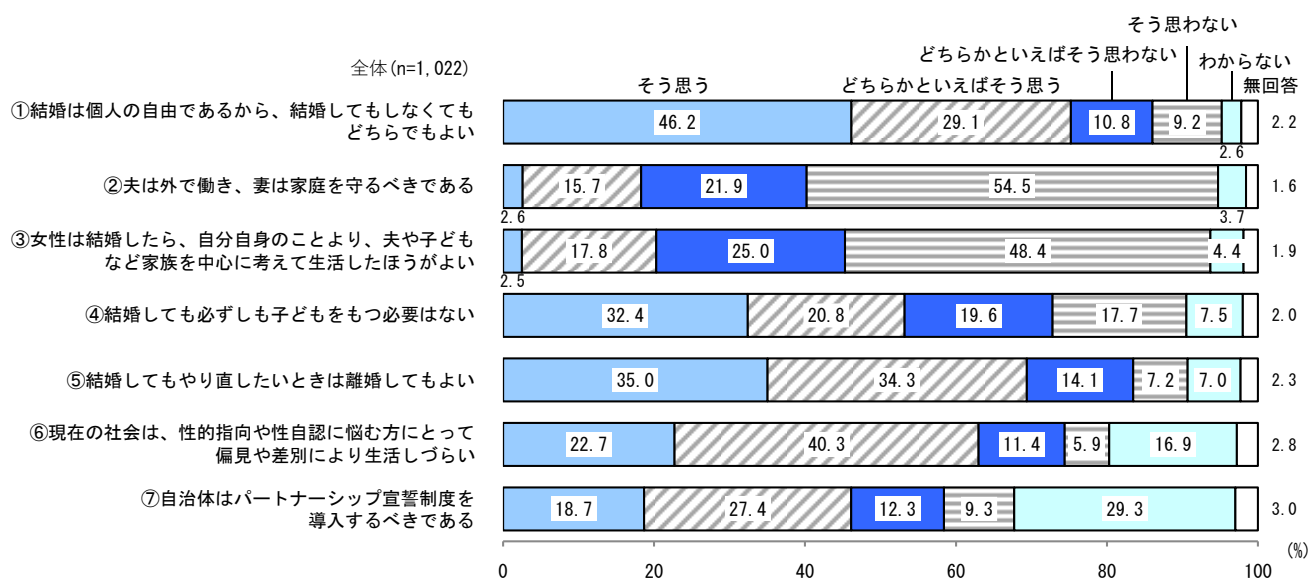


問34 結婚・ジェンダーに対する考え方について

問 34. 下記について、あなたのお考えをお聞かせください。(〇はそれぞれ1つつつ)

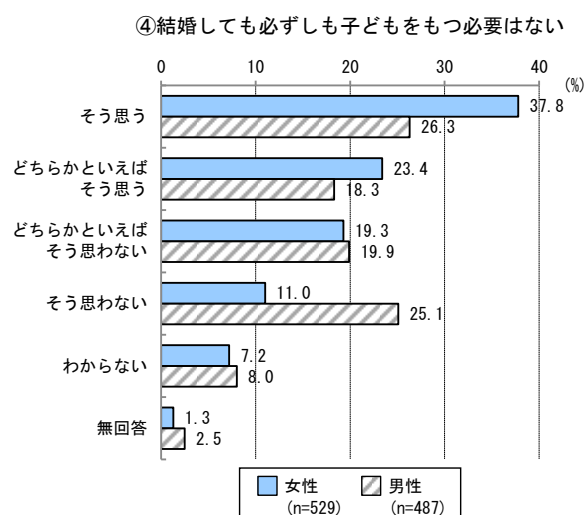
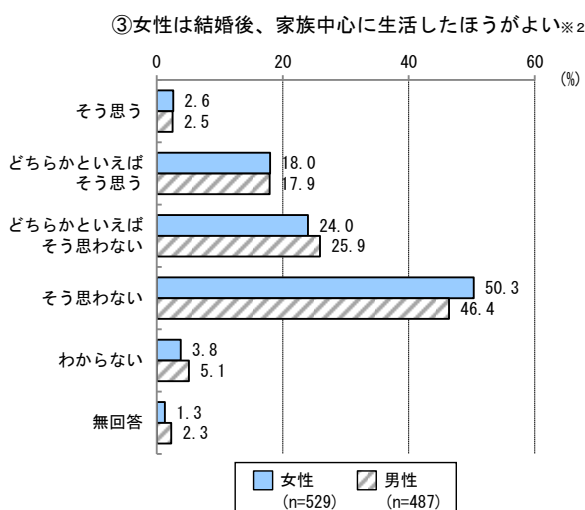
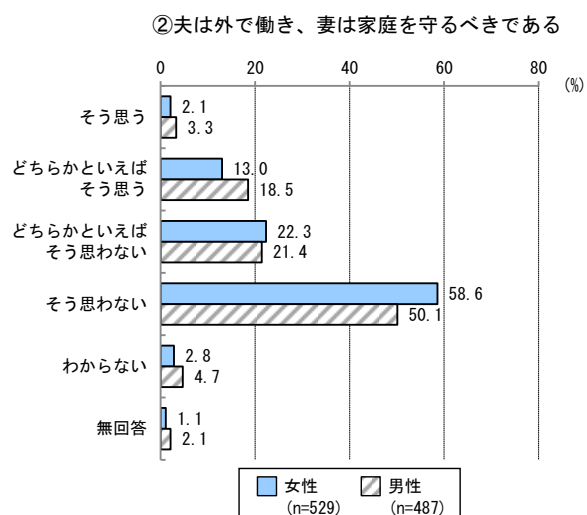
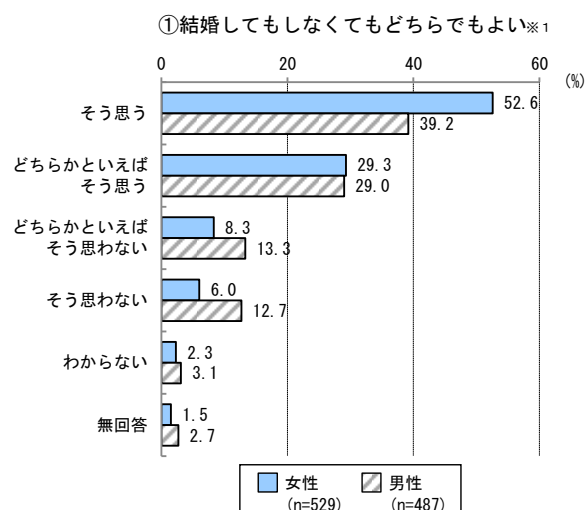
・結婚・ジェンダーに対する考え方については、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた『賛成意向』の割合が高い順に「①結婚は個人の自由であるから、結婚してもしなくてもどちらでもよい」(75.3%)、「⑤結婚してもやり直したいときは離婚してもよい」(69.3%)、「⑥現在の社会は、性的指向や性自認に悩む方にとって偏見や差別により生活しづらい」(63.0%)となっています。

一方で、「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」を合わせた『反対意向』の割合が高い順では「②夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」(76.4%)、「③女性は結婚したら、自分自身のことより、夫や子どもなどの家族を中心に考えて生活したほうがよい」(73.4%)となっています。

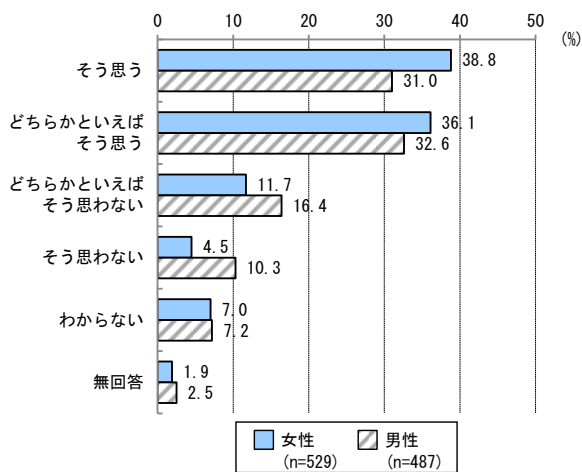


・性別にみると、「①結婚してもしなくてもどちらでもよい(結婚は個人の自由であるから、結婚してもしなくてもどちらでもよい)」で「そう思う」と回答した割合において男女の差が大きく、女性は52.6%と男性よりも13.4ポイント高くなっています。

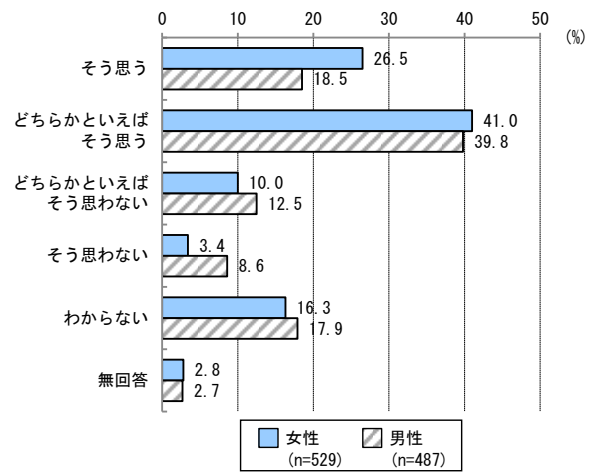
また、「④結婚しても必ずしも子どもをもつ必要はない」で「そう思う」と回答した割合においても男女の差が大きく、女性は37.8%と男性よりも11.5ポイント高くなっています。一方で、「そう思わない」と回答した割合においては、男性は25.1%と女性よりも14.1ポイント高くなっています。



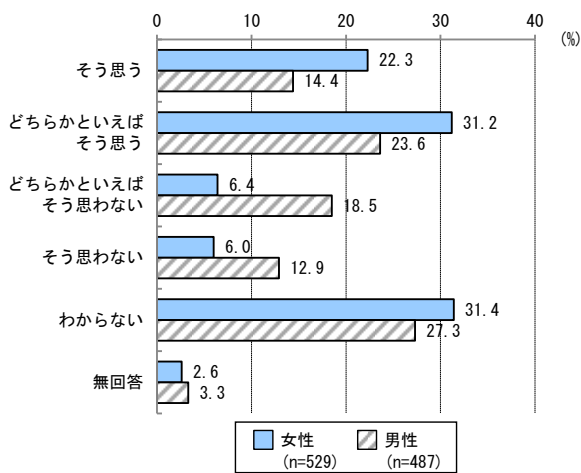
⑤結婚してもやり直したいときは離婚してもよい



⑥現在の社会は偏見や差別により生活しづらい※3



⑦自治体はパートナーシップ宣誓制度を導入すべきである

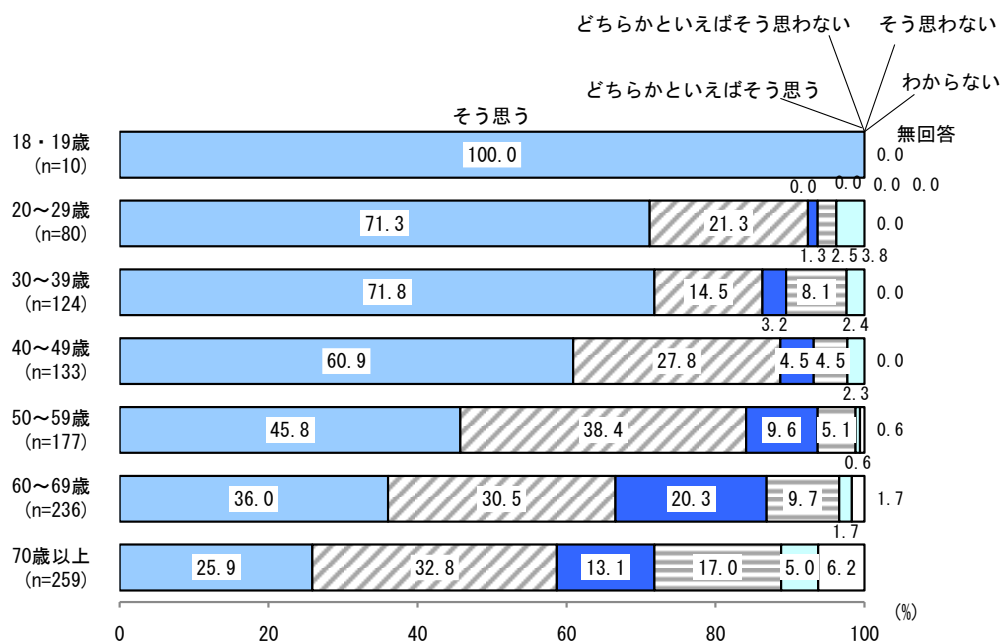


※1…結婚は個人の自由であるから、結婚してもしなくてもどちらでもよい

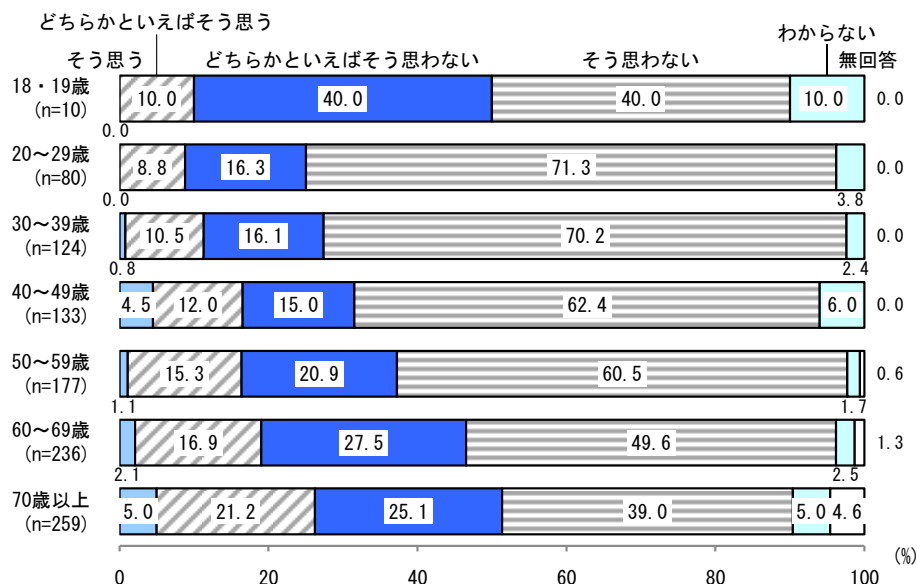
※2…女性は結婚したら、自分自身のことより、夫や子供など家族を中心に考えて生活したほうがよい

※3…現在の社会は、性的指向や性自認に悩む方にとって偏見や差別により生活しづらい

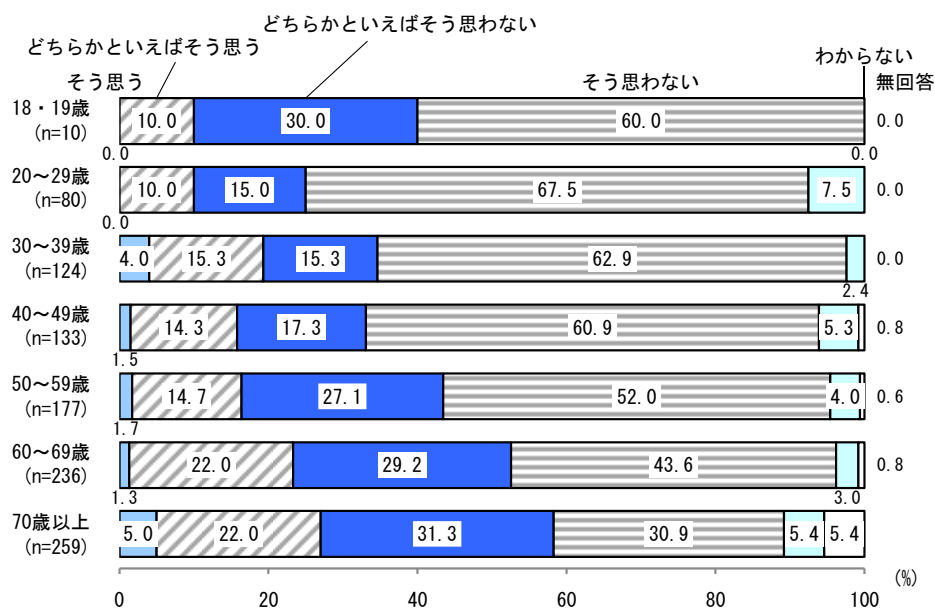
・「①結婚は個人の自由であるから、結婚してもしなくてもどちらでもよい」について年代別にみると、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた『賛成意向』は、20～29歳で92.6%となっています。



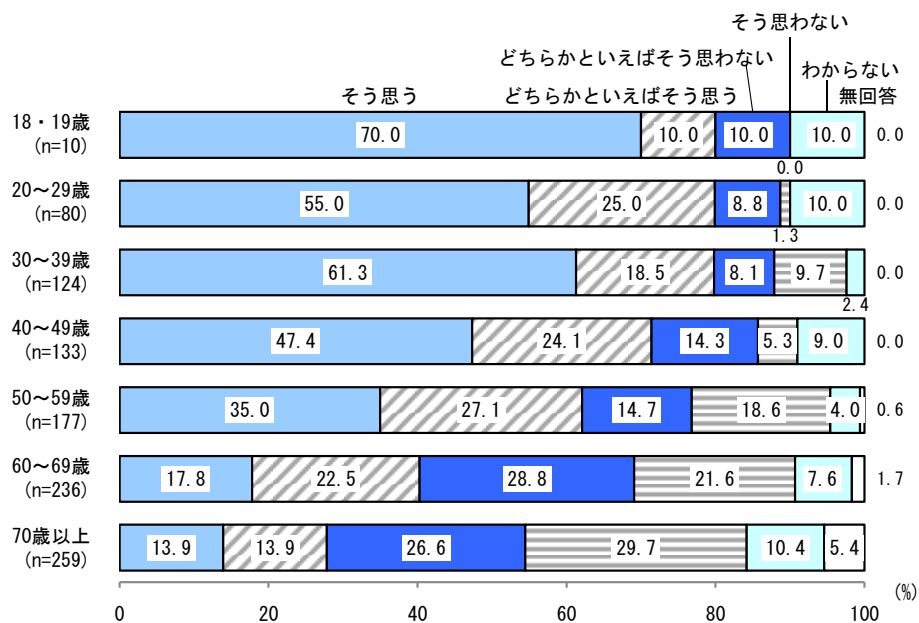
・「②夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」について年代別にみると、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた『賛成意向』は70歳以上で26.2%となっています。一方で、20～39歳では「そう思わない」が70.0%を超えています。



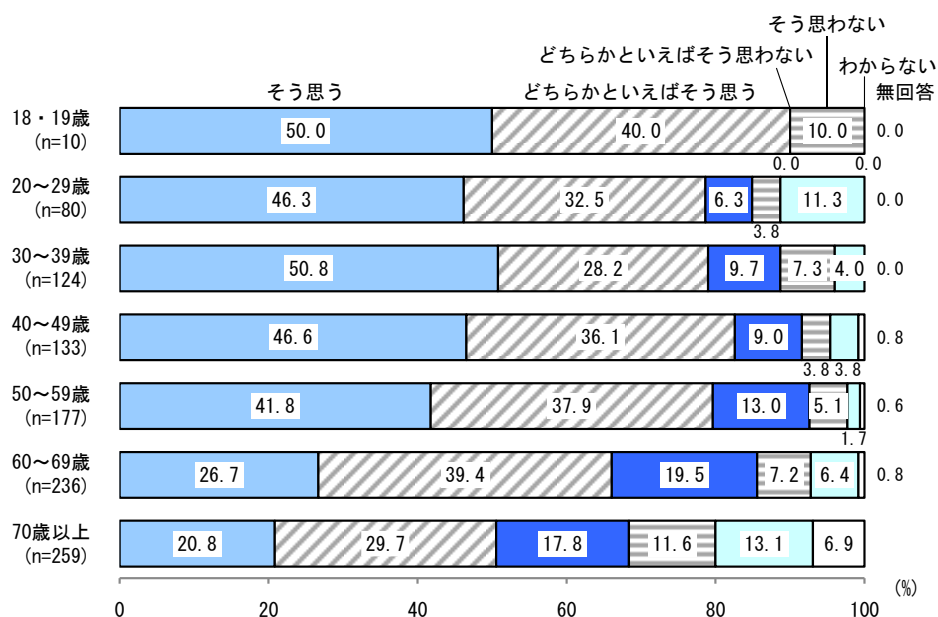
・「③女性は結婚したら、自分自身のことより、夫や子どもなど家族を中心に考えて生活したほうがよい」について年代別にみると、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた『賛成意向』は70歳以上で27.0%となっています。一方で、20～49歳では「そう思わない」が60.0%を超えています。



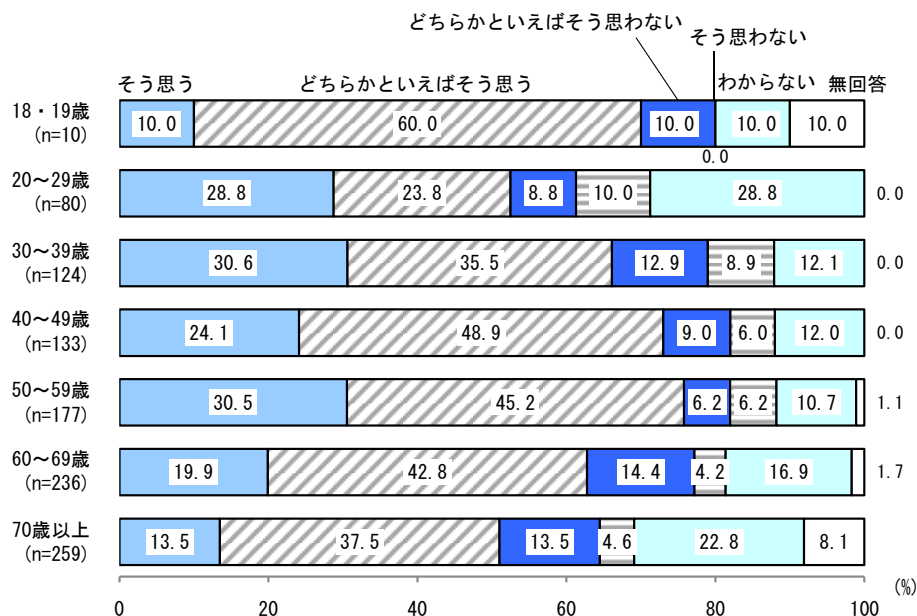
・「④結婚しても必ずしも子どもをもつ必要はない」について年代別にみると、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた『賛成意向』は20～29歳で80.0%となっています。一方で、70歳以上では「そう思わない」が29.7%と高くなっています。



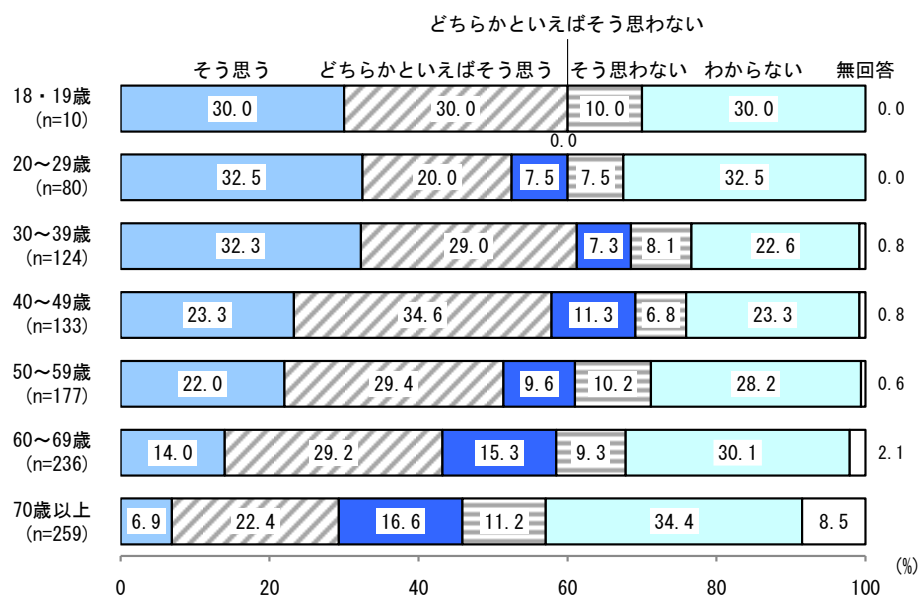
・「⑤結婚してもやり直したいときは離婚してもよい」について年代別にみると、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた『賛成意向』は40～49歳で82.7%となっています。一方で、70歳以上では「そう思わない」が11.6%と他の年代より高くなっています。



・「⑥現在の社会は、性的指向や性自認に悩む方にとって偏見や差別により生活しづらい」について年代別にみると、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた『賛成意向』は50～59歳で75.7%となっています。



・「⑦自治体はパートナーシップ宣誓制度を導入するべきである」について年代別にみると、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた『賛成意向』は30～39歳で61.3%となっています。一方で、70歳以上で「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた『賛成意向』が29.3%と低くなっています。

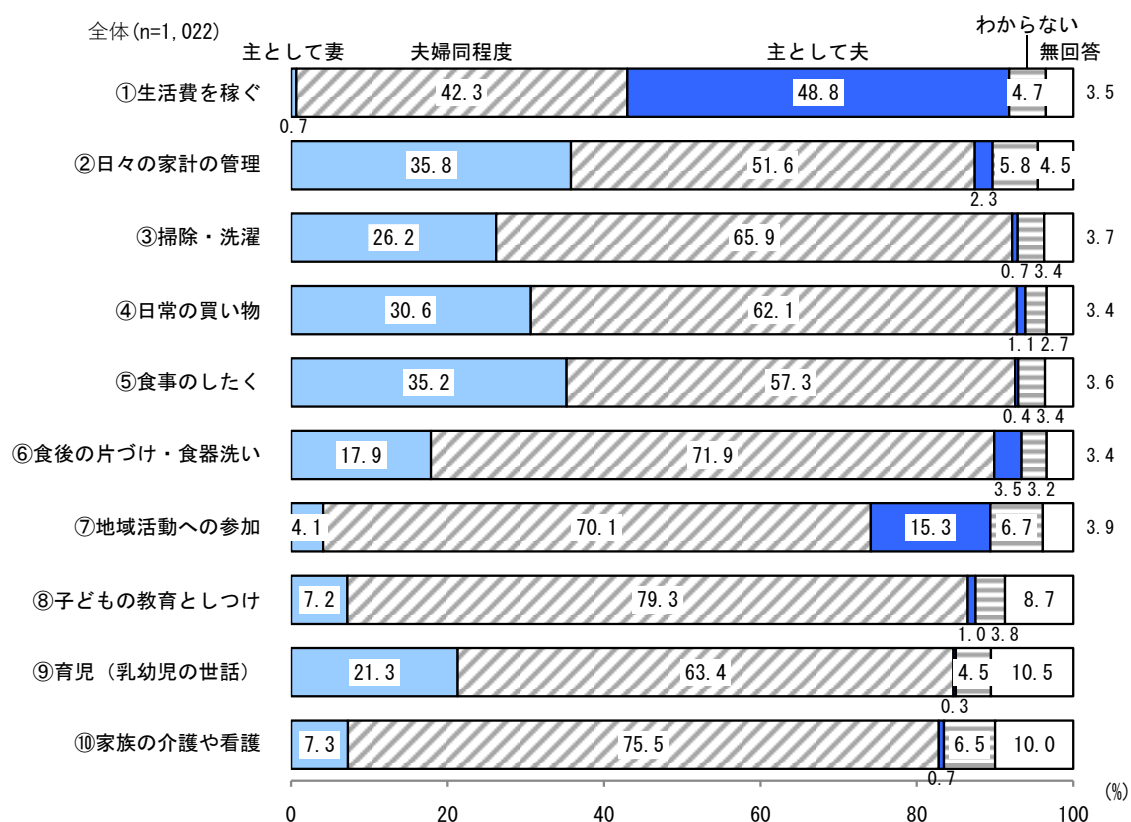


問35 家庭でのことに関する夫婦の分担について

問 35. 次にあげる家庭でのことに関する夫婦の分担について、おたずねします。(理想、現実とも〇はそれぞれ1つつ)

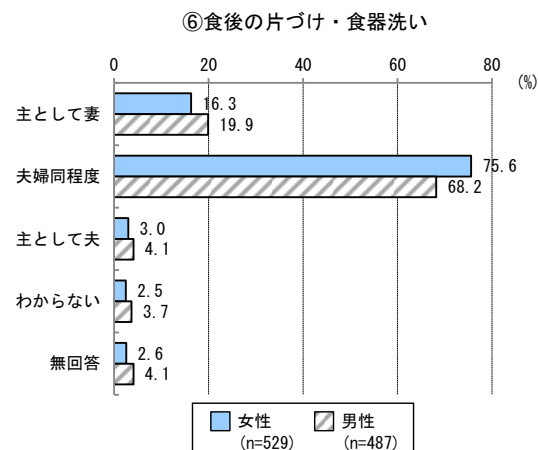
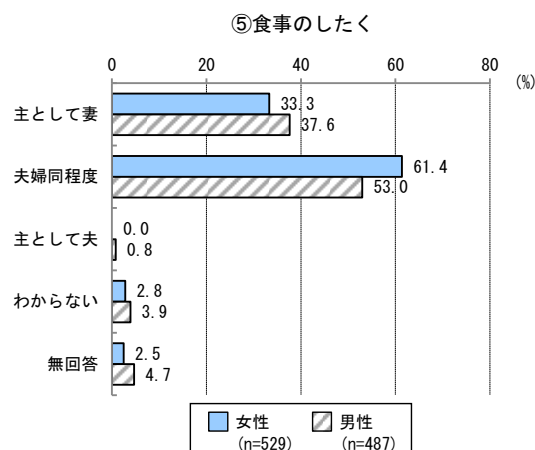
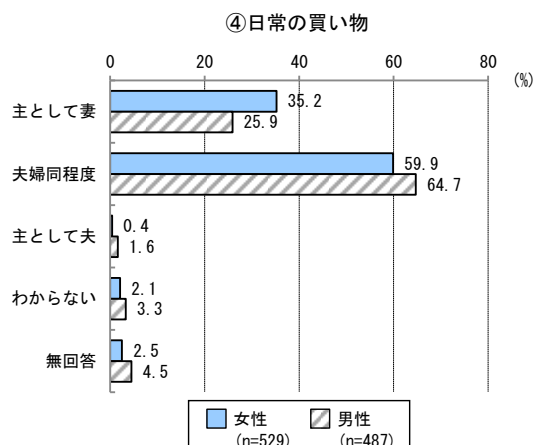
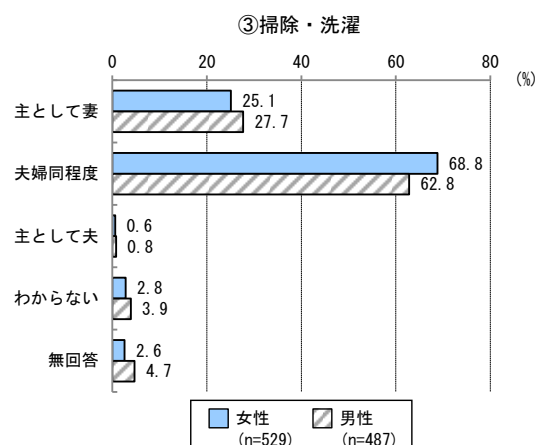
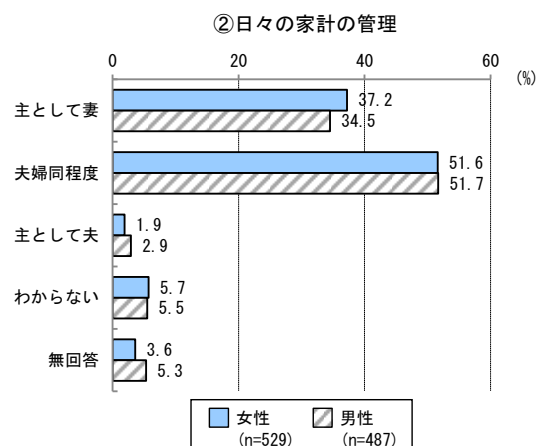
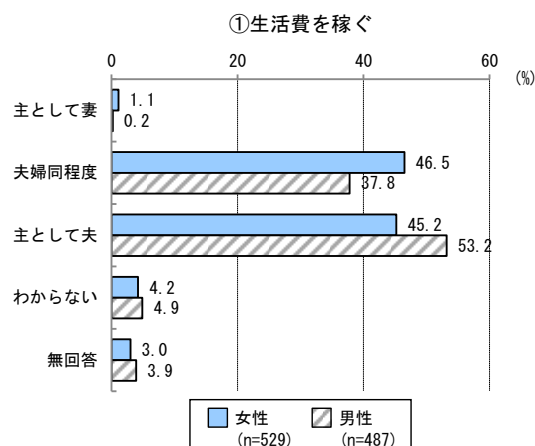
<理想>

・理想とする分担については、「①生活費を稼ぐ」で「主として夫」の割合が48.8%と約半数を占め、他の項目を大きく上回っています。一方、「主として妻」の割合は「②日々の家計の管理」(35.8%)、「⑤食事のしたく」(35.2%)、「④日常の買い物」(30.6%)で高くなっています。「夫婦同程度」の割合は、「⑧子どもの教育としつけ」(79.3%)が最も高く、次いで「⑩家族の介護や看護」(75.5%)、「⑥食後の片づけ・食器洗い」(71.9%)、「⑦地域活動への参加」(70.1%)となっています。

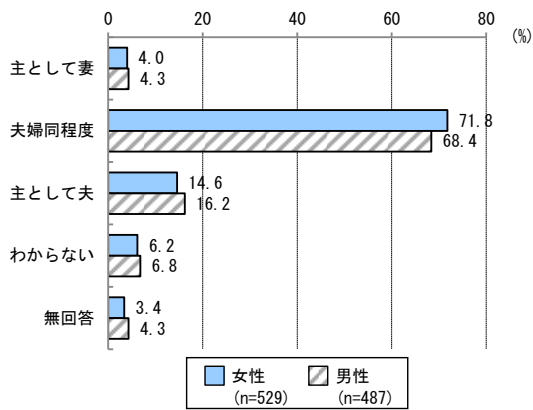


・性別にみると、女性は男性よりも「①生活費を稼ぐ」において「夫婦同程度」と回答する傾向にあり、8.7ポイントの差があります。一方で、男性は女性よりも「主として夫」と回答する割合が高く、8.0ポイントの差があります。

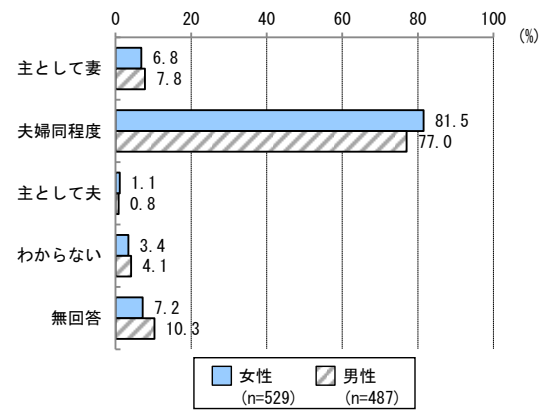
また、女性は男性よりも「⑨育児(乳幼児の世話)」において「夫婦同程度」と回答する傾向にあり、9.8ポイントの差があります。一方で、男性は女性よりも「主として妻」と回答する割合が高く、5.7ポイントの差があります。



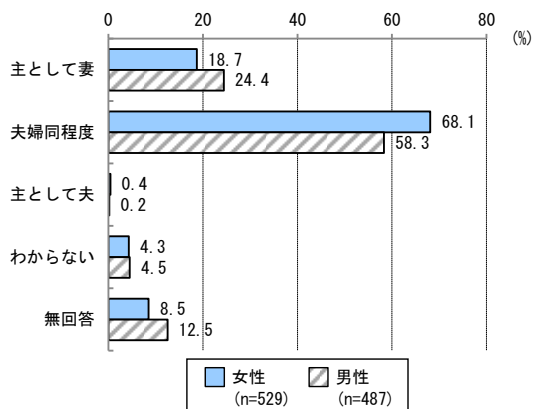
⑦地域活動への参加



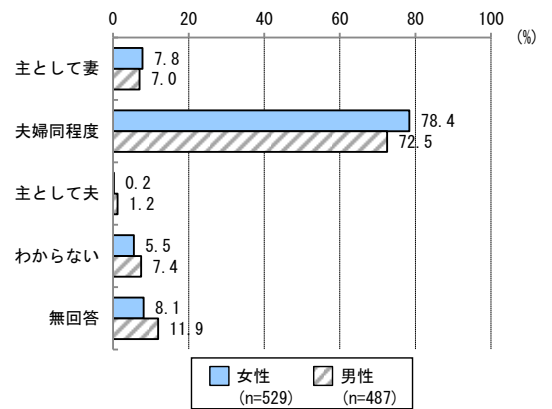
⑧子どもの教育としつけ



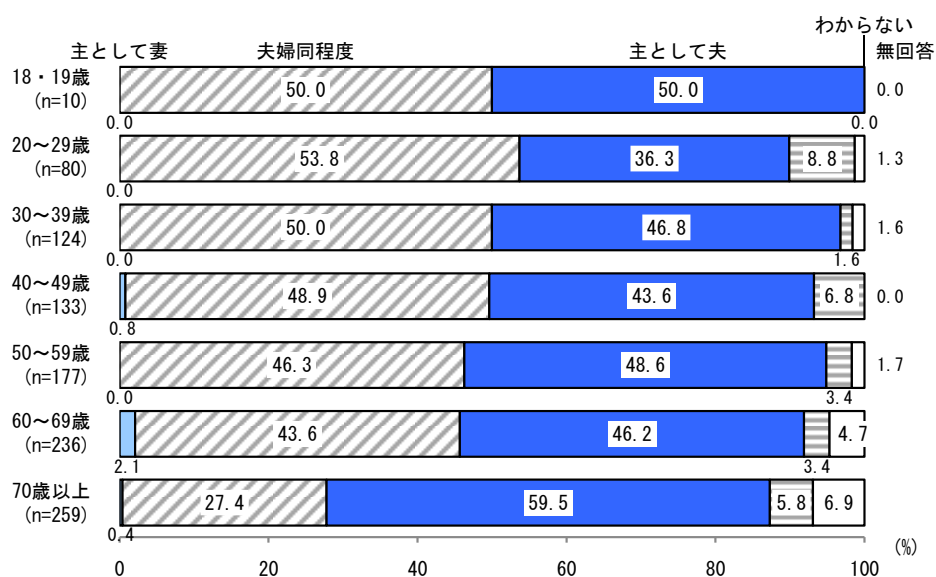
⑨育児（乳幼児の世話）



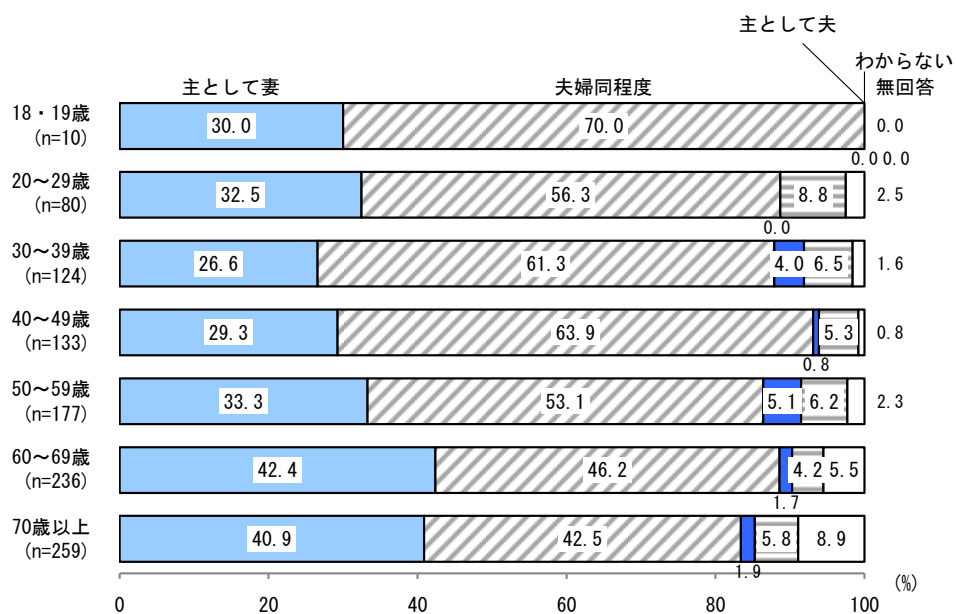
⑩家族の介護や看護



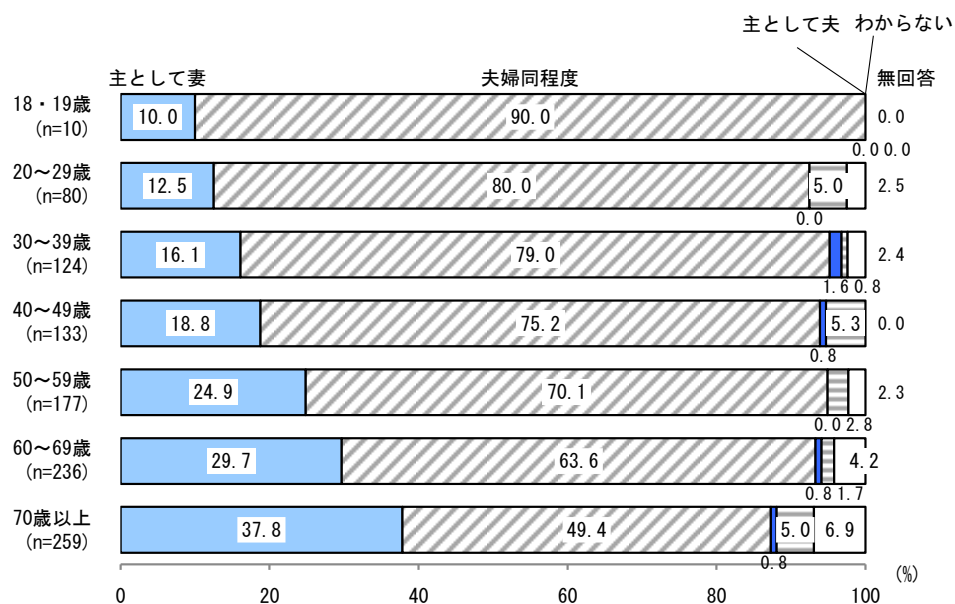
・「①生活費を稼ぐ」について年代別にみると、70歳以上で「主として夫」が59.5%と高くなっています。



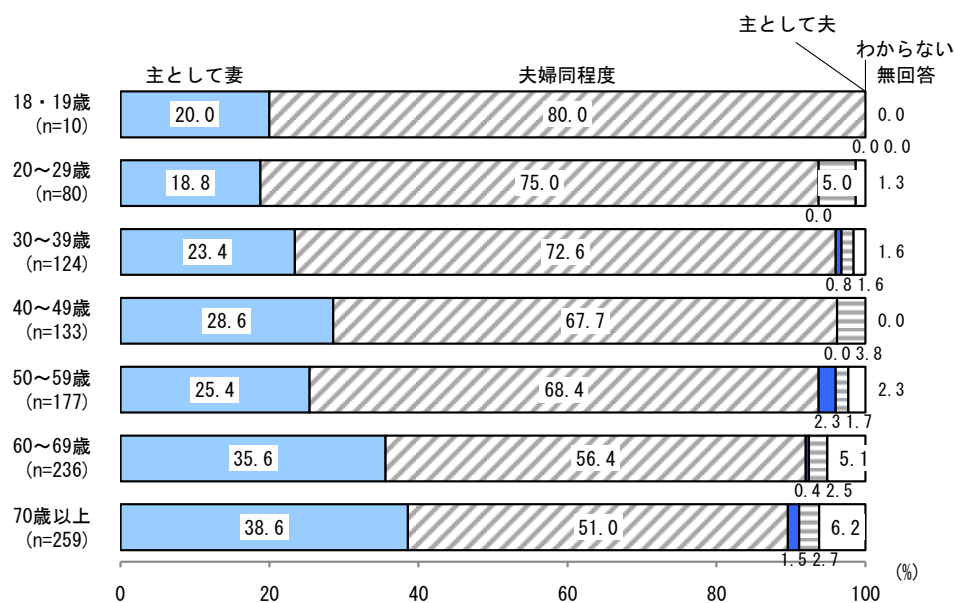
・「②日々の家計の管理」について年代別にみると、40～49歳で「夫婦同程度」が63.9%と高くなっている一方で、70歳以上では42.5%と低くなっています。



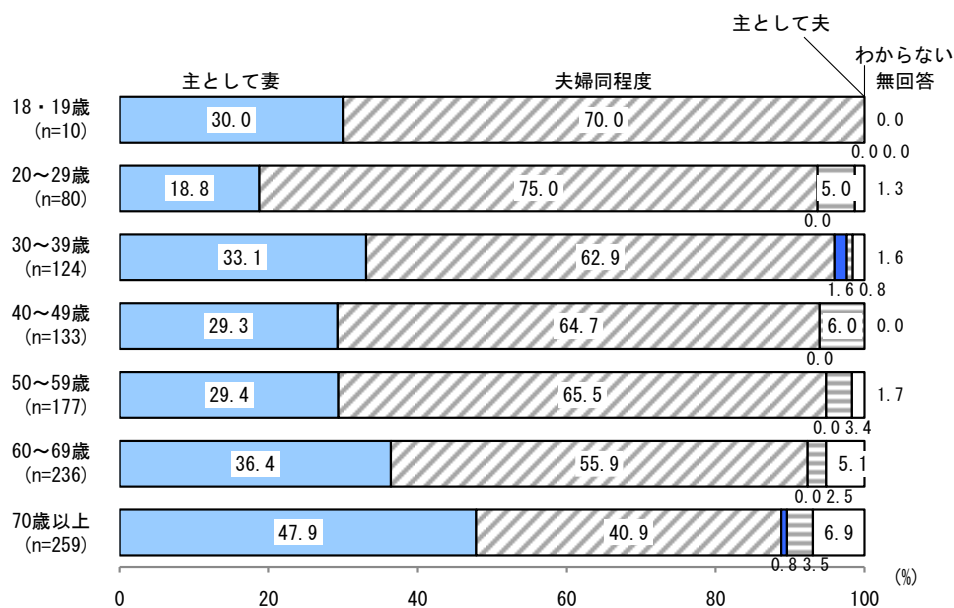
・「③掃除・洗濯」について年代別にみると、20～39歳で「夫婦同程度」が約80.0%を占めています。また、70歳以上では「主として妻」が37.8%と他の年代より高くなっています。



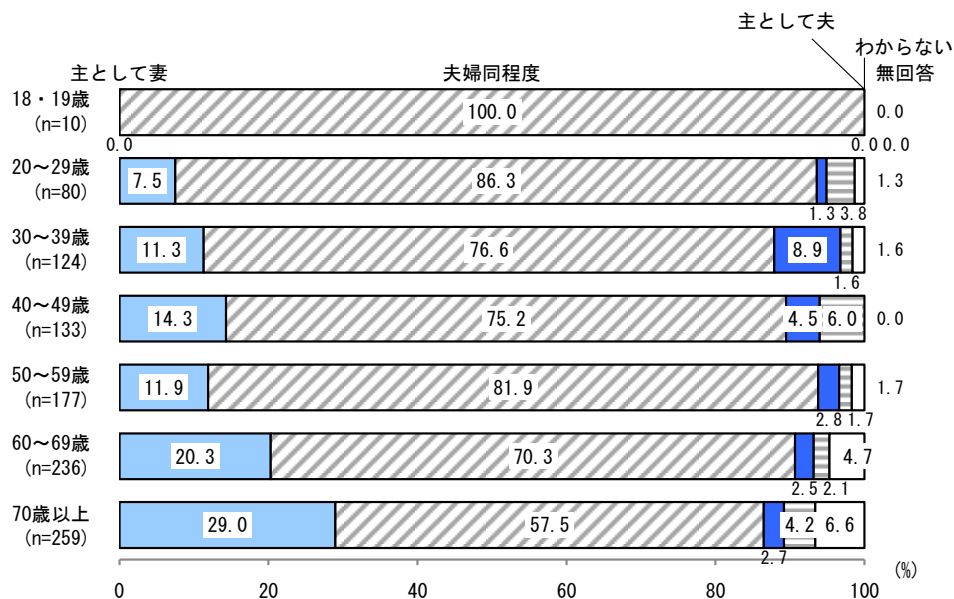
・「④日常の買い物」について年代別にみると、70歳以上で「主として妻」が38.6%と他の年代より高くなっています。



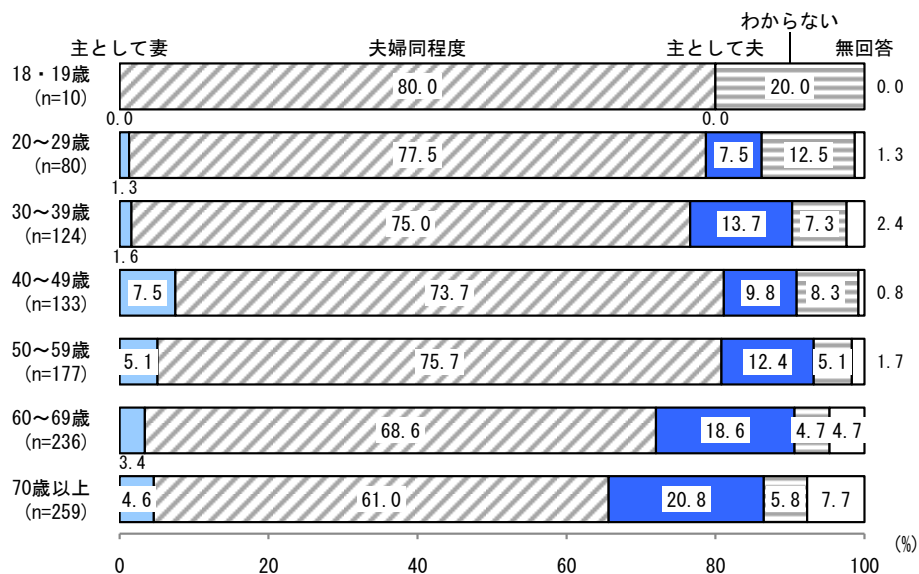
・「⑤食事のしたく」について年代別にみると、20～29歳で「夫婦同程度」が75.0%と高くなっています。また、70歳以上では「主として妻」が47.9%と高くなっています。



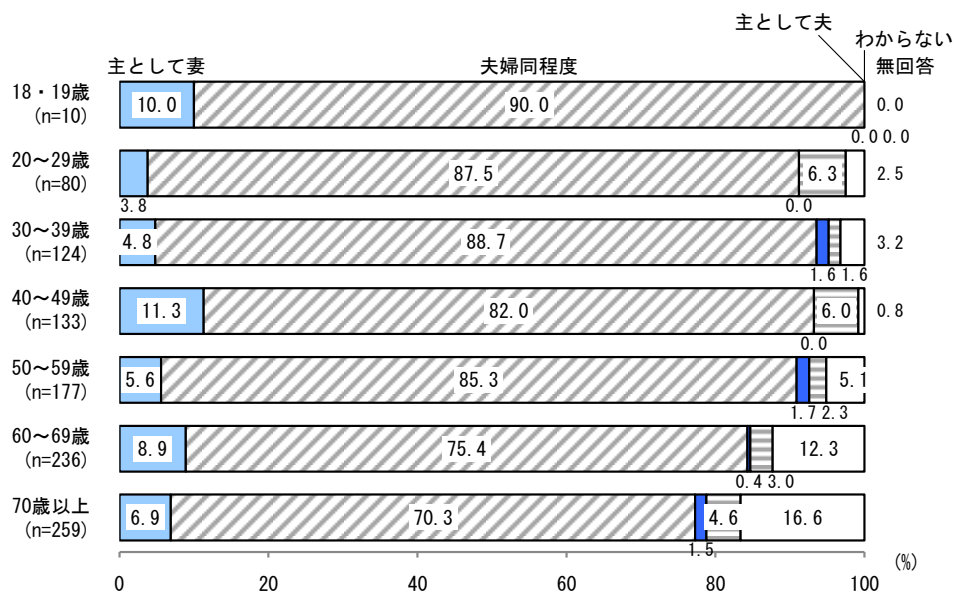
・「⑥食後の片づけ・食器洗い」について年代別にみると、20～29歳、50～59歳で「夫婦同程度」が80.0%を超えています。また、70歳以上では「主として妻」が29.0%と高くなっています。



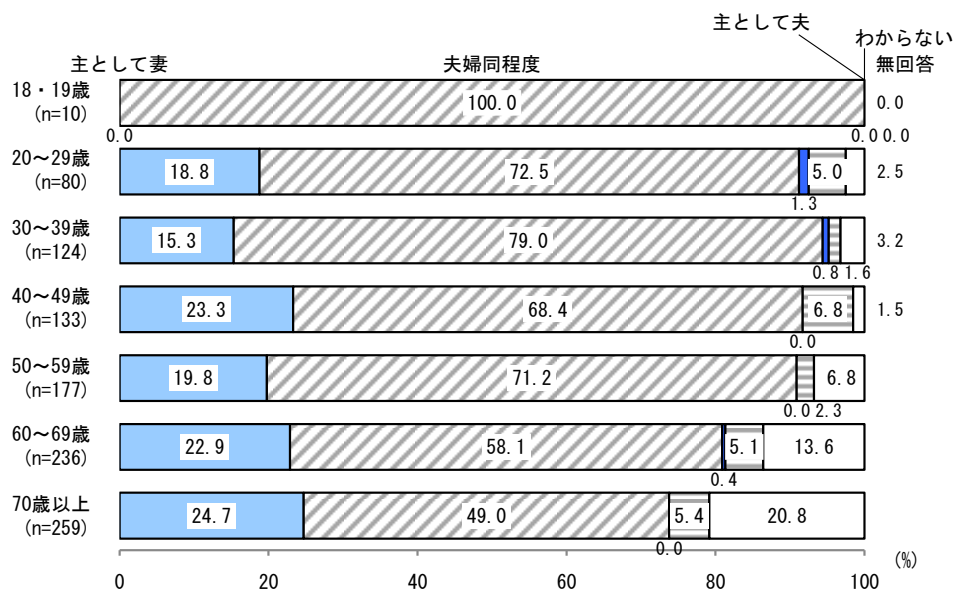
・「⑦地域活動への参加」について年代別にみると、70歳以上で「主として夫」が20.8%と他の年代より高くなっています。



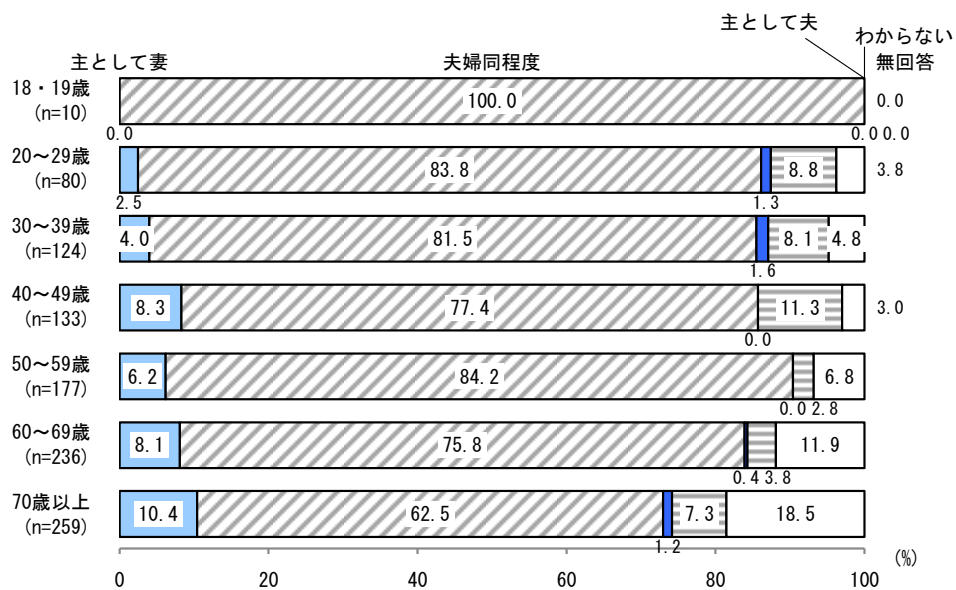
・「⑧子どもの教育としつけ」について年代別にみると、30～39歳で「夫婦同程度」が88.7%と高くなっています。



・「⑨育児(乳幼児の世話)」について年代別にみると、30～39歳で「夫婦同程度」が79.0%と高くなっている一方で、70歳以上では49.0%と低くなっています。



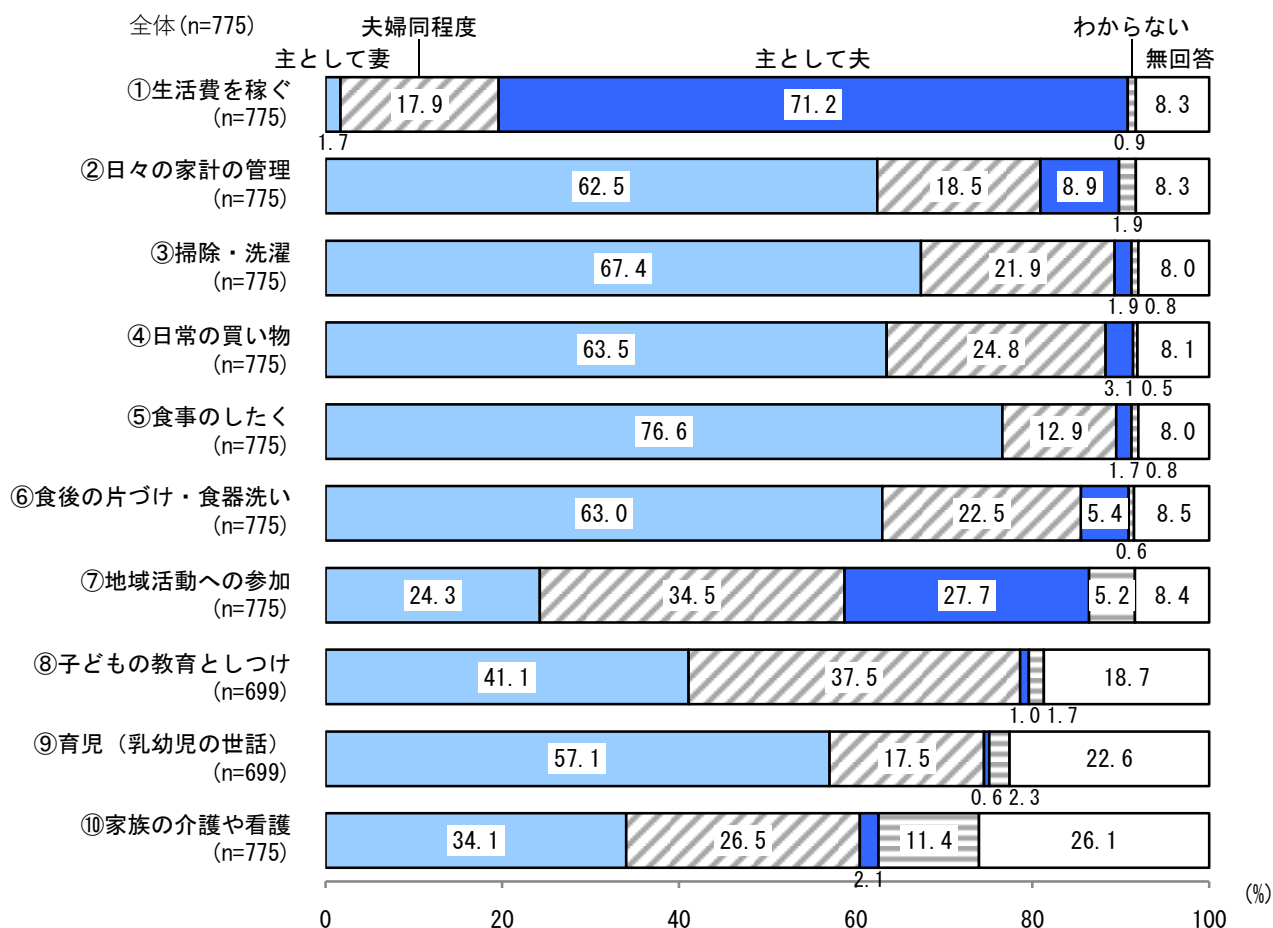
・「⑩家族の介護や看護」について年代別にみると、50～59歳で「夫婦同程度」が84.2%と高くなっている一方で、70歳以上では62.5%と低くなっています。



<現実>

・実際の分担については、「①生活費を稼ぐ」で「主として夫」が71.2%と、他の項目を大きく上回っています。一方、「主として妻」は、「⑤食事のしたく」(76.6%)、「③掃除・洗濯」(67.4%)、「日常の買い物」(63.5%)、「⑥食後の片づけ・食器洗い」(63.0%)で高くなっています。

また、「夫婦同程度」の割合は「⑧子どもの教育としつけ」(37.5%)、「⑦地域活動への参加」(34.5%)、「⑩家族の介護や看護」(26.5%)で高くなっています。



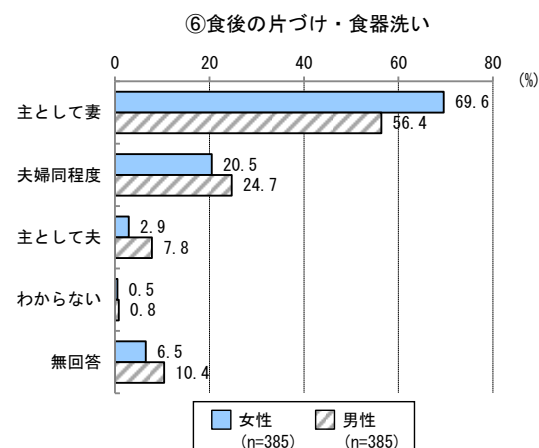
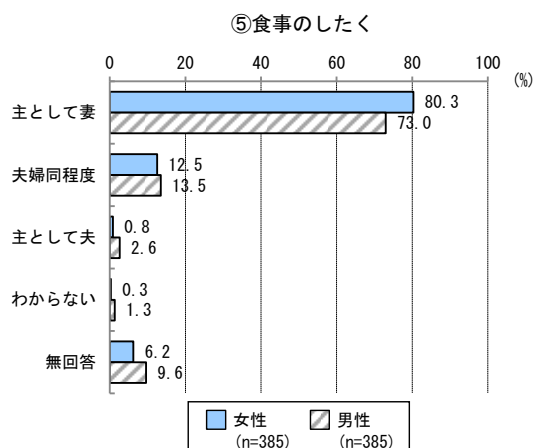
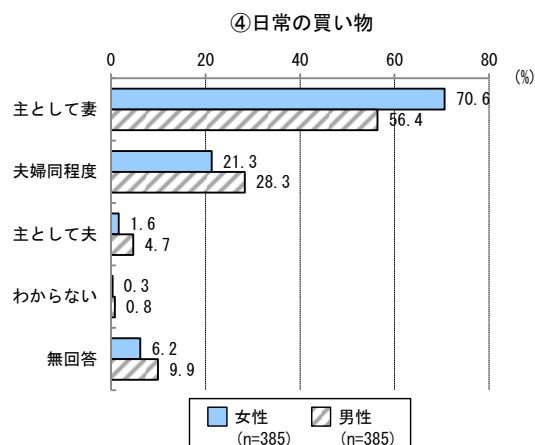
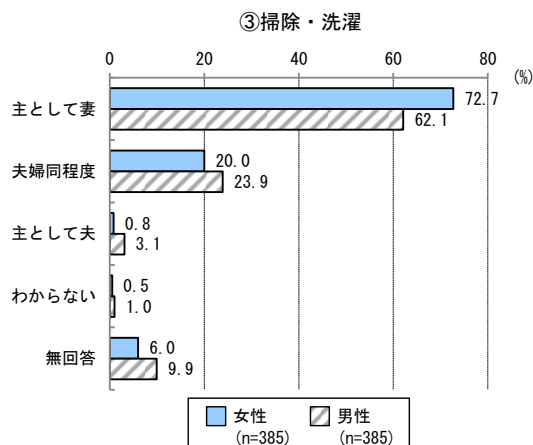
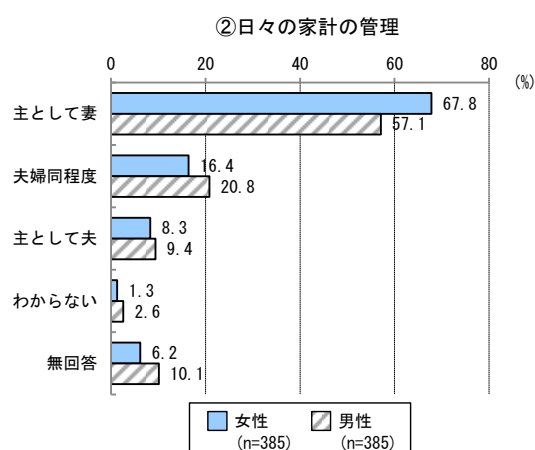
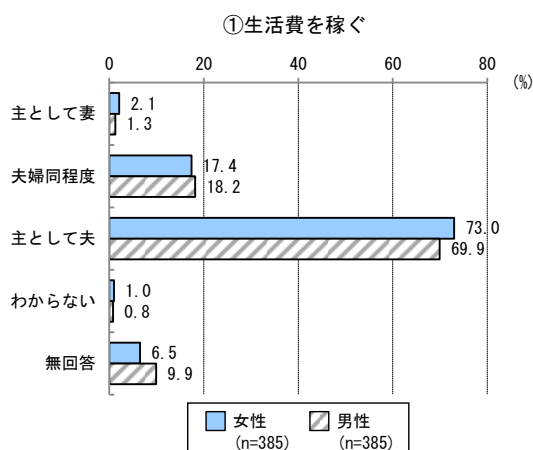
※「現実」は、問4の結婚の有無を問う設問で「2. 既婚、配偶者あり」と答えた方のみで集計を行っているため、「理想」よりもサンプル数が少なくなっております。

また、「⑧子どもの教育としつけ」と「⑨育児（乳幼児の世話）」については、問4の結婚の有無を問う設問で「2. 既婚、配偶者あり」と答えており、問5のお子さんの有無を問う設問で「1. いる」と答えた方のみで集計を行っているため、他の項目よりもサンプル数が少なくなっております。

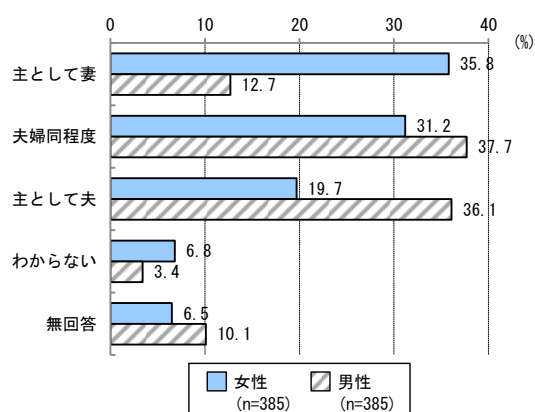
・性別にみると、「現実」は「理想」よりも男女間の差が大きく、女性は男性よりも「⑦地域活動への参加」において「主として妻」と回答する傾向にあり、23.1ポイントの差があります。一方で、男性は女性よりも「主として夫」と回答する傾向にあり、16.4ポイントの差があります。

また、女性は男性よりも「⑧子どもの教育としつけ」において「主として妻」と回答する傾向にあり、14.4ポイントの差があります。

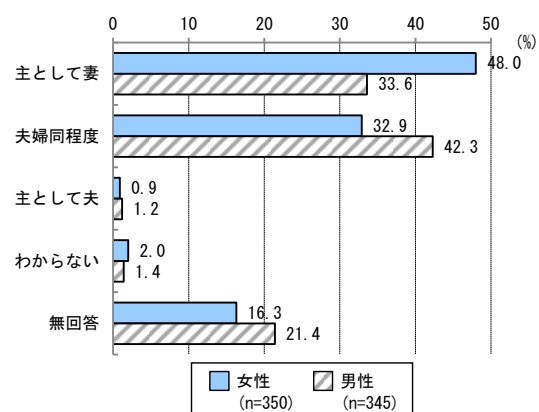
「⑩家族の介護や看護」では、女性は男性よりも「主として妻」と回答する傾向にあり、17.1ポイントの差があります。一方で、男性は女性よりも「夫婦同程度」と回答する傾向にあり、12.0ポイントの差があります。



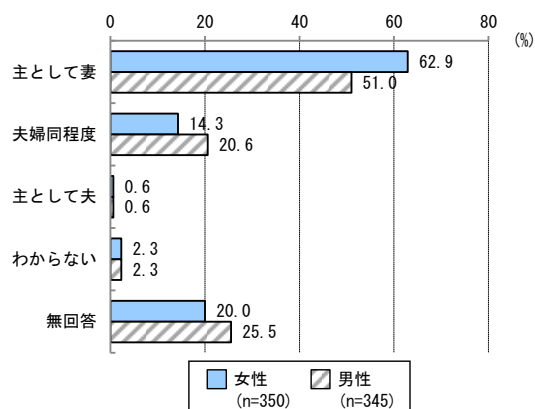
⑦地域活動への参加



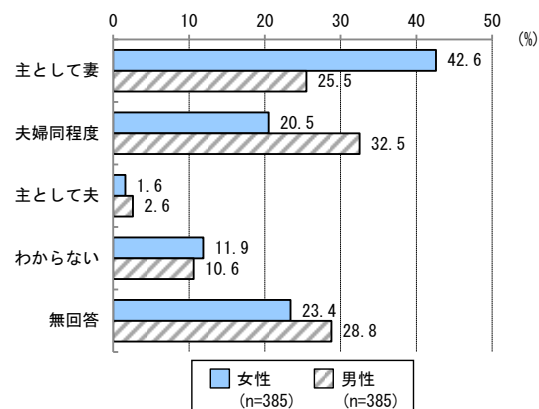
⑧子どもの教育としつけ



⑨育児（乳幼児の世話）

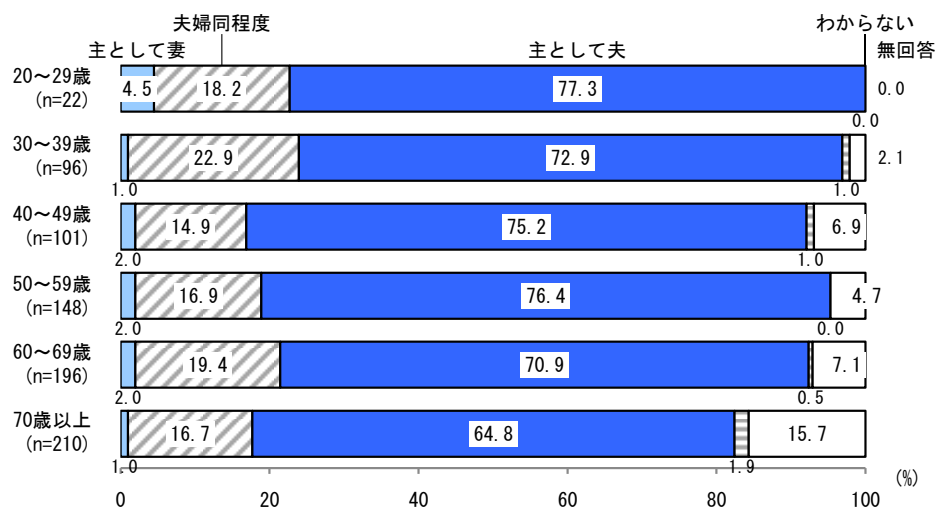


⑩家族の介護や看護

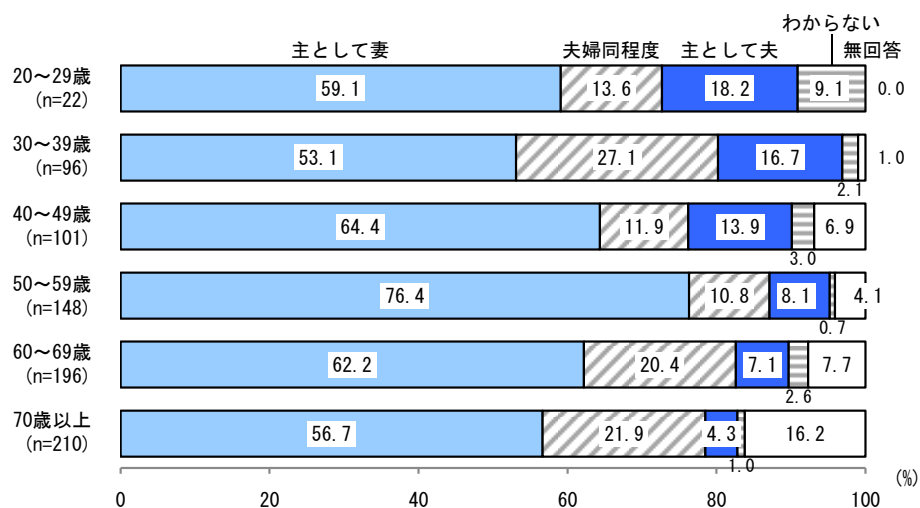


※以下の年代別グラフについて、「現実」の①～⑩では「18・19歳」の回答者数が0人であったため、記載しておりません。

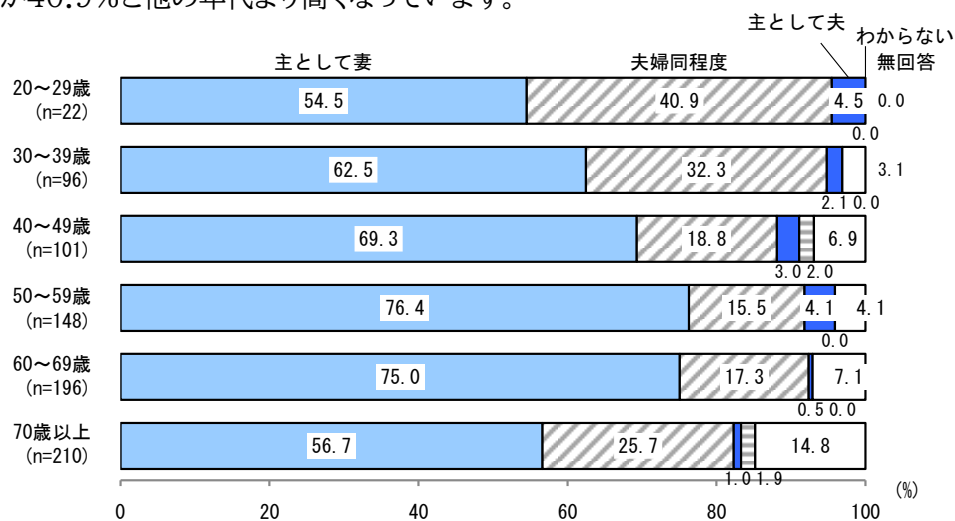
・「①生活費を稼ぐ」について年代別にみると、20～69歳で「主として夫」が70.0%を超えている一方で、70歳以上は64.8%と低くなっています。



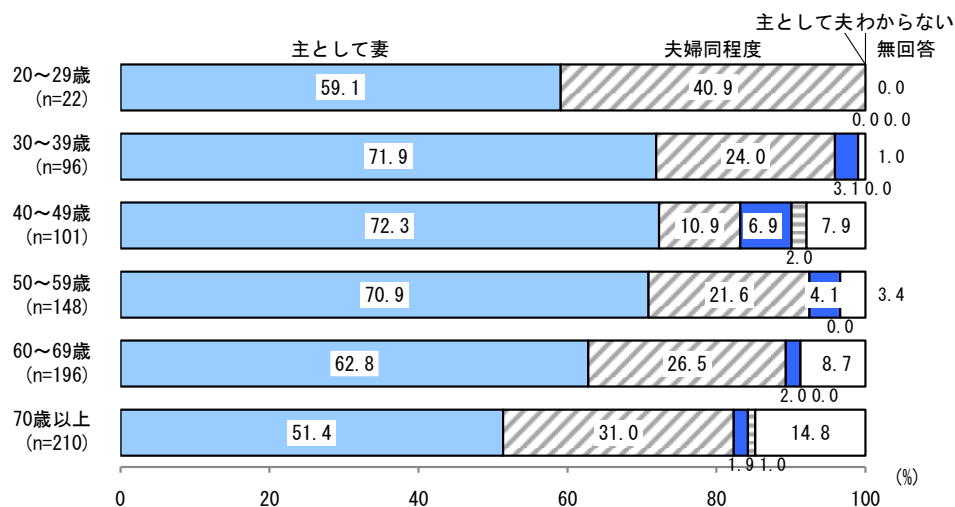
・「②日々の家計の管理」について年代別にみると、50～59歳で「主として妻」が76.4%と高くなっています。



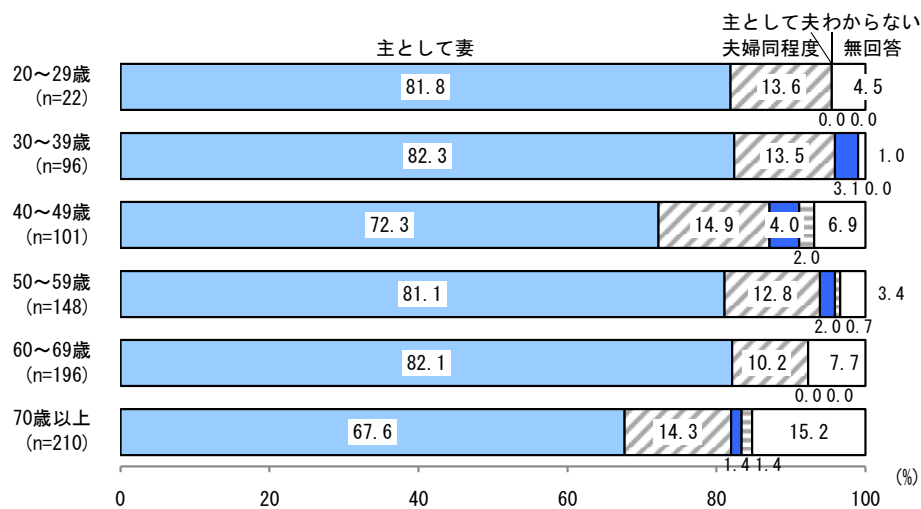
・「③掃除・洗濯」について年代別にみると、50～69歳で「主として妻」が70%を超えています。また、20～29歳で「夫婦同程度」が40.9%と他の年代より高くなっています。



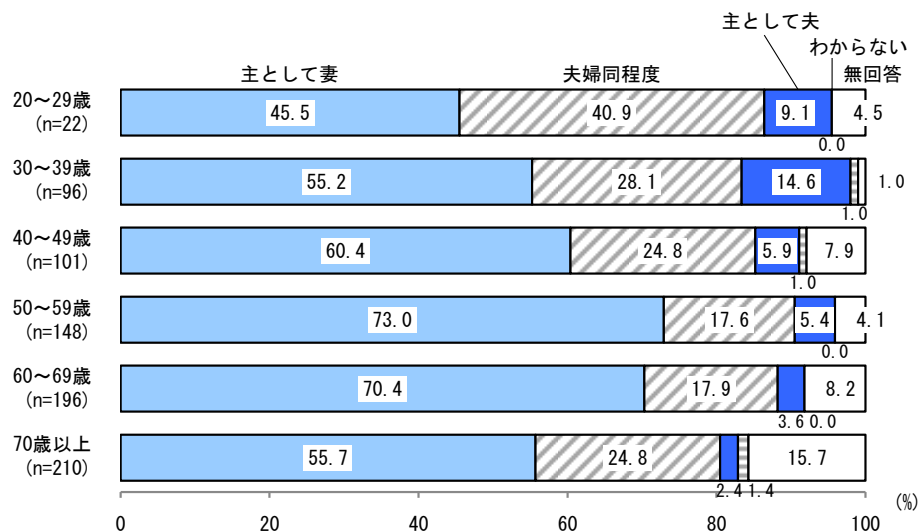
・「④日常の買い物」について年代別にみると、20～69歳で「主として妻」が約60.0～70.0%を占めている一方で、70歳以上は51.4%と低くなっています。また、20～29歳で「夫婦同程度」が40.9%と他の年代より高くなっています。



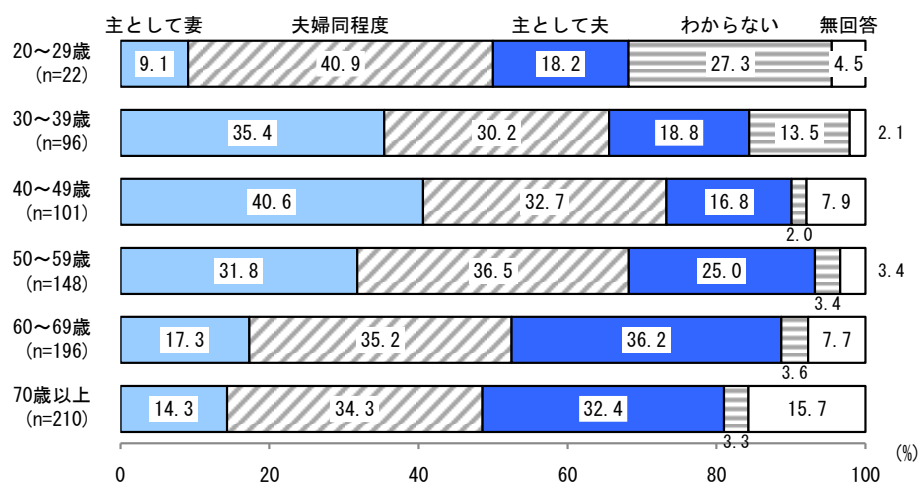
・「⑤食事のしたく」について年代別にみると、20～69歳で「主として妻」が70.0～80.0%を占めている一方で、70歳以上では67.6%と他の年代より低くなっています。



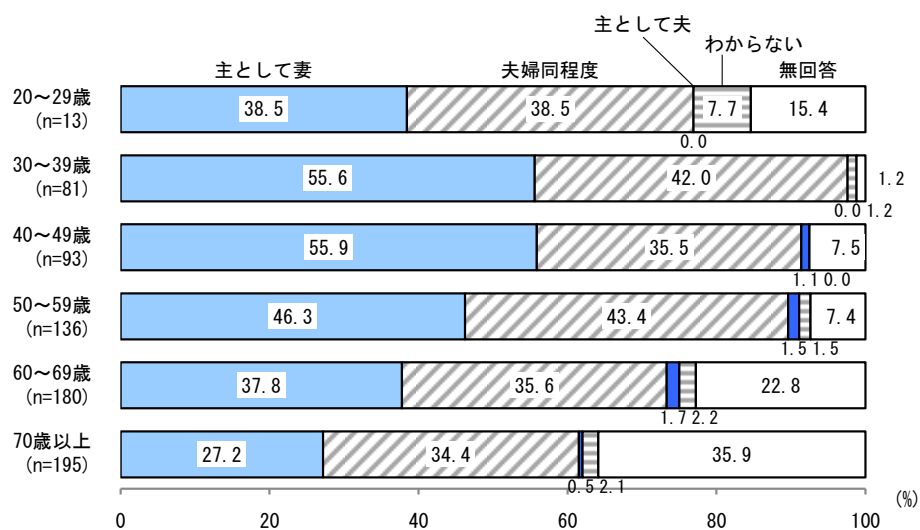
・「⑥食後の片づけ・食器洗い」について年代別にみると、30～39歳で「主として夫」が14.6%と他の年代より高くなっています。また、20～29歳では「夫婦同程度」が40.9%と他の年代より高くなっています。



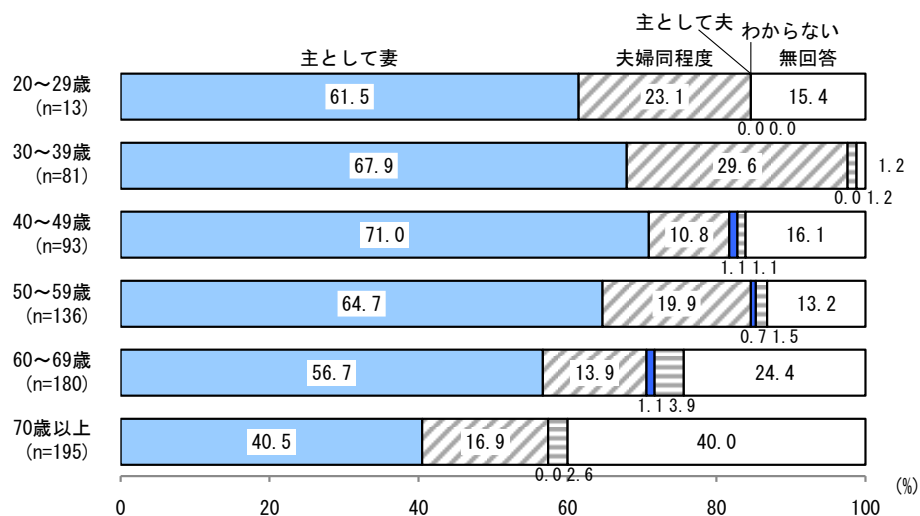
・「⑦地域活動への参加」について年代別にみると、60～69歳で「主として夫」が36.2%と他の年代より高くなっています。



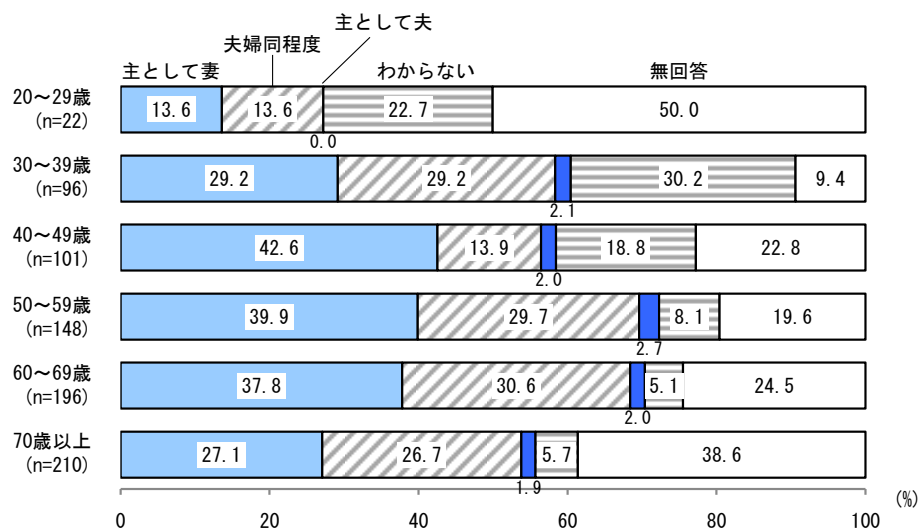
・「⑧子どもの教育としつけ」について年代別にみると、30～49歳で「主として妻」が50.0%を超えている一方で、70歳以上では27.2%と低くなっています。



・「⑨育児(乳幼児の世話)」について年代別にみると、40～49歳で「主として妻」が71.0%と高くなっています。また、30～39歳で「夫婦同程度」が29.6%と他の年代より高くなっています。

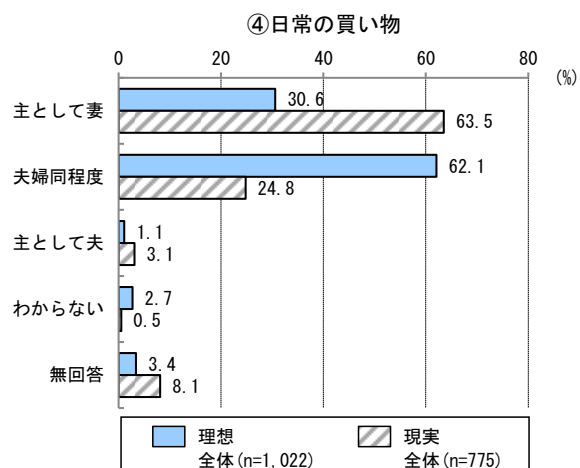
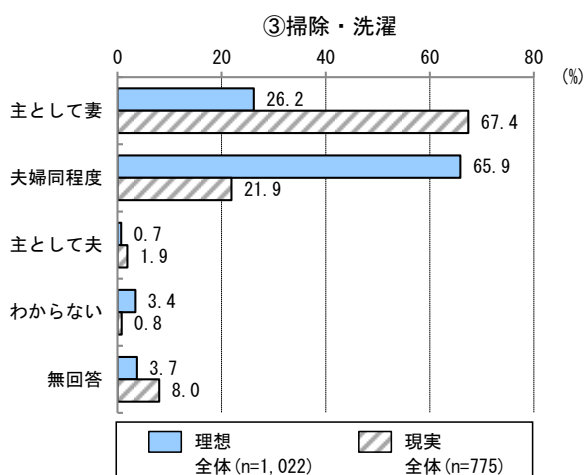
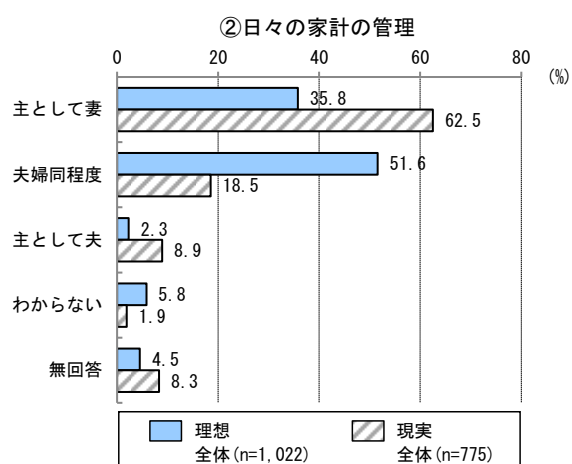
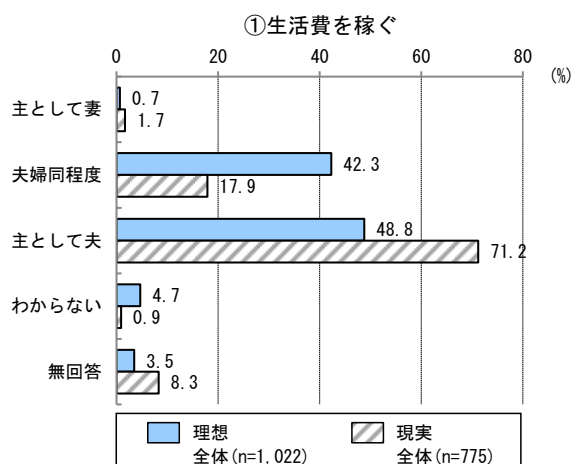


・「⑩家族の介護や看護」について年代別にみると、30～69歳で「主として妻」が約30.0～40.0%を占めている一方で、20～29歳は13.6%、70歳以上は27.1%と低くなっています。

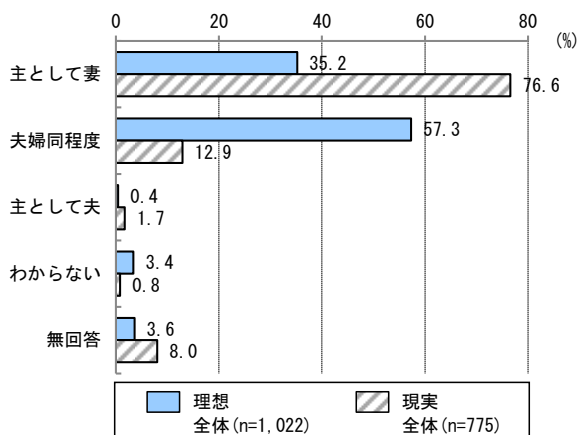


<再掲 理想と現実の分担比較>

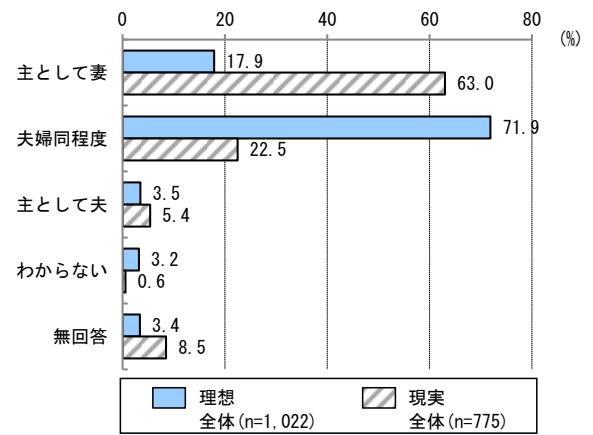
・理想と現実の分担を比較すると、理想と現実の間に大きな差があることが読み取れます。「①生活費を稼ぐ」、「②日々の家計の管理」、「③掃除・洗濯」、「④日常の買い物」、「⑤食事のしたく」、「⑥食後の片づけ・食器洗い」、「⑧子どもの教育としつけ」、「⑨育児(乳幼児の世話)」、「⑩家族の介護や看護」では、理想として「夫婦同程度」が高いですが、現実では「主として妻」が担っている割合が高くなっています。



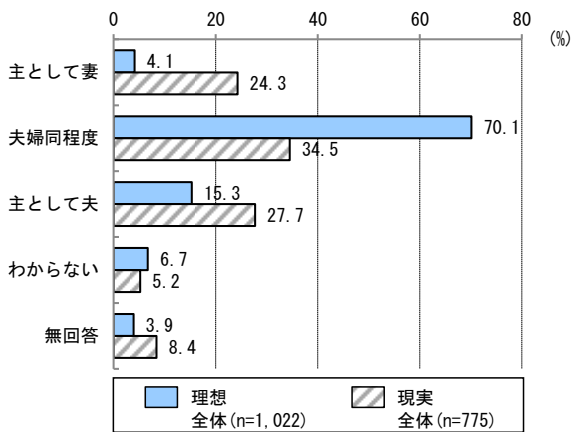
⑤食事のしたく



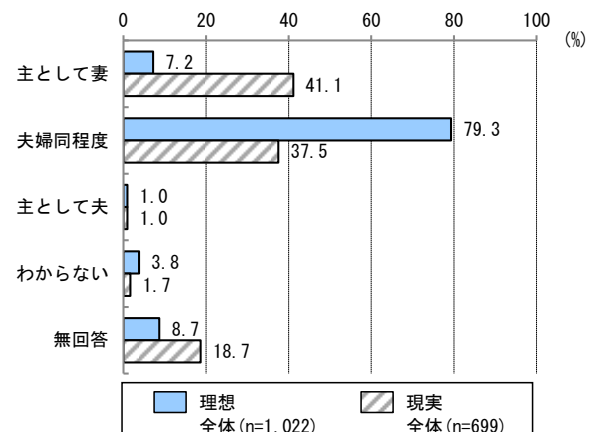
⑥食後の片づけ・食器洗い



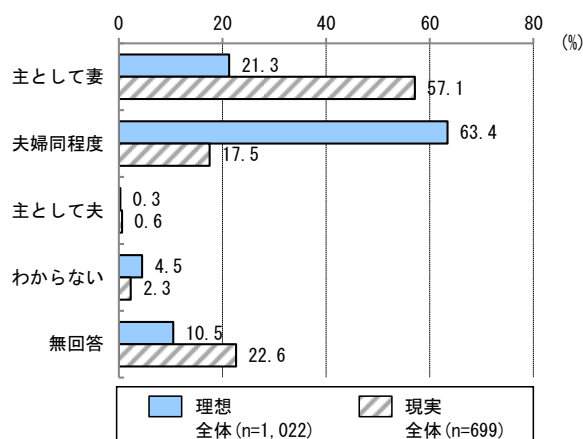
⑦地域活動への参加



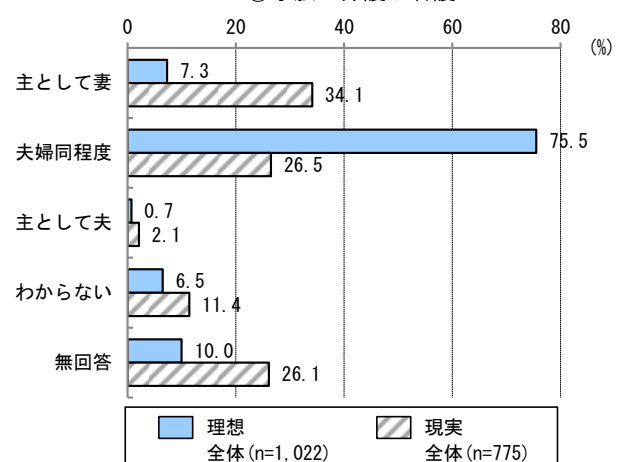
⑧子どもの教育としつけ



⑨育児（乳幼児の世話）



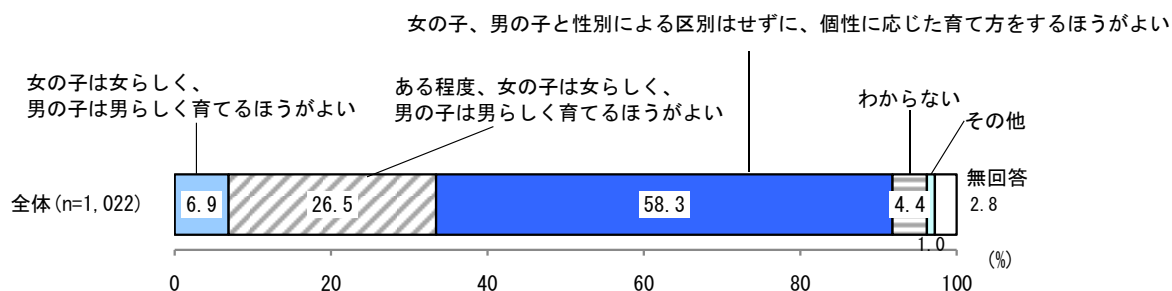
⑩家族の介護や看護



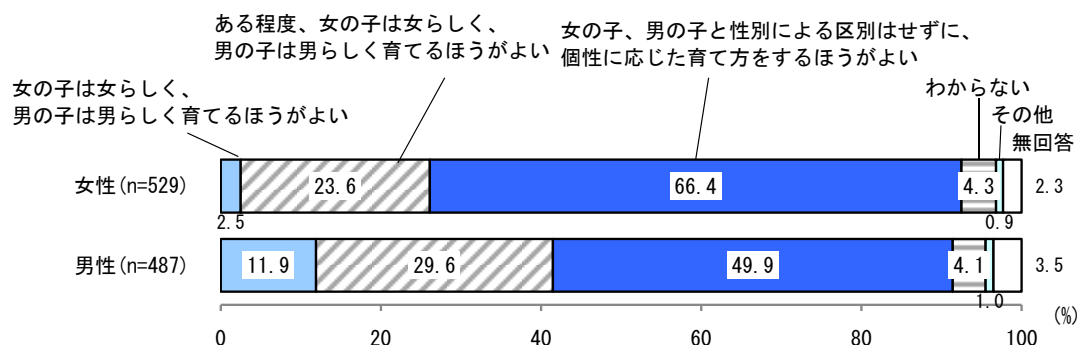
問36 子どもの育て方について

問 36. あなたは、子どもをどのように育てたほうがよいとお考えですか。(〇は1つ)

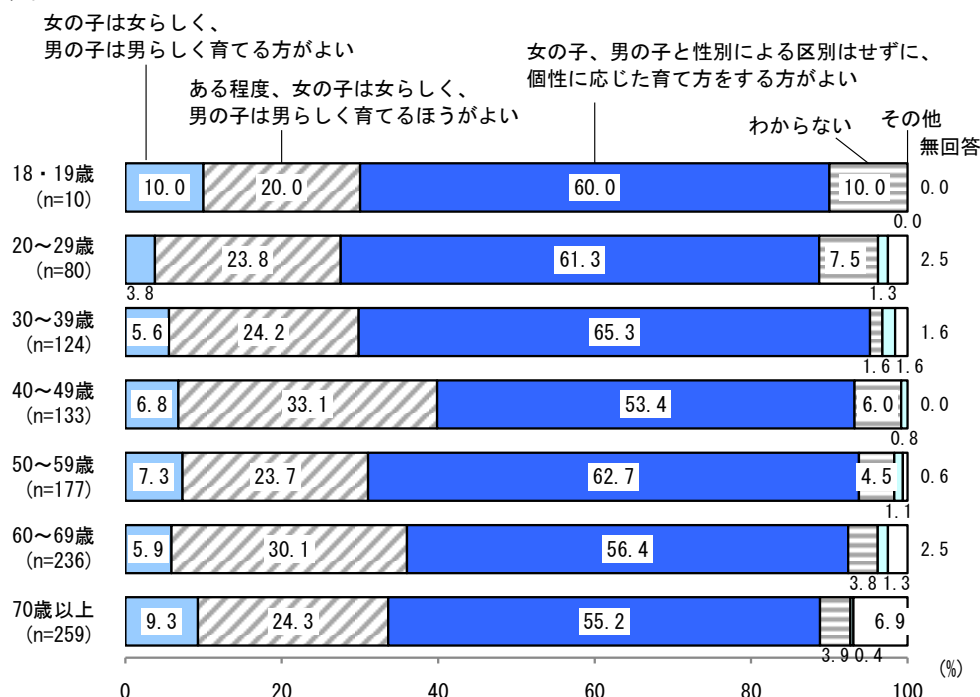
・子どもの育て方については、「女の子、男の子と性別による区別はせずに、個性に応じた育て方をするほうがよい」が 58.3%と最も高く、次いで「ある程度、女の子は女らしく、男の子は男らしく育てたほうがよい」が 26.5%、「女の子は女らしく、男の子は男らしく育てるほうがよい」が 6.9%となっています。



・性別でみると、女性は男性よりも「女の子、男の子と性別による区別はせずに、個性に応じた育て方をするほうがよい」と回答する割合が高く、66.4%となっています。一方で、男性は女性よりも「女の子は女らしく、男の子は男らしく育てるほうがよい」の割合が高く、11.9%となっています。



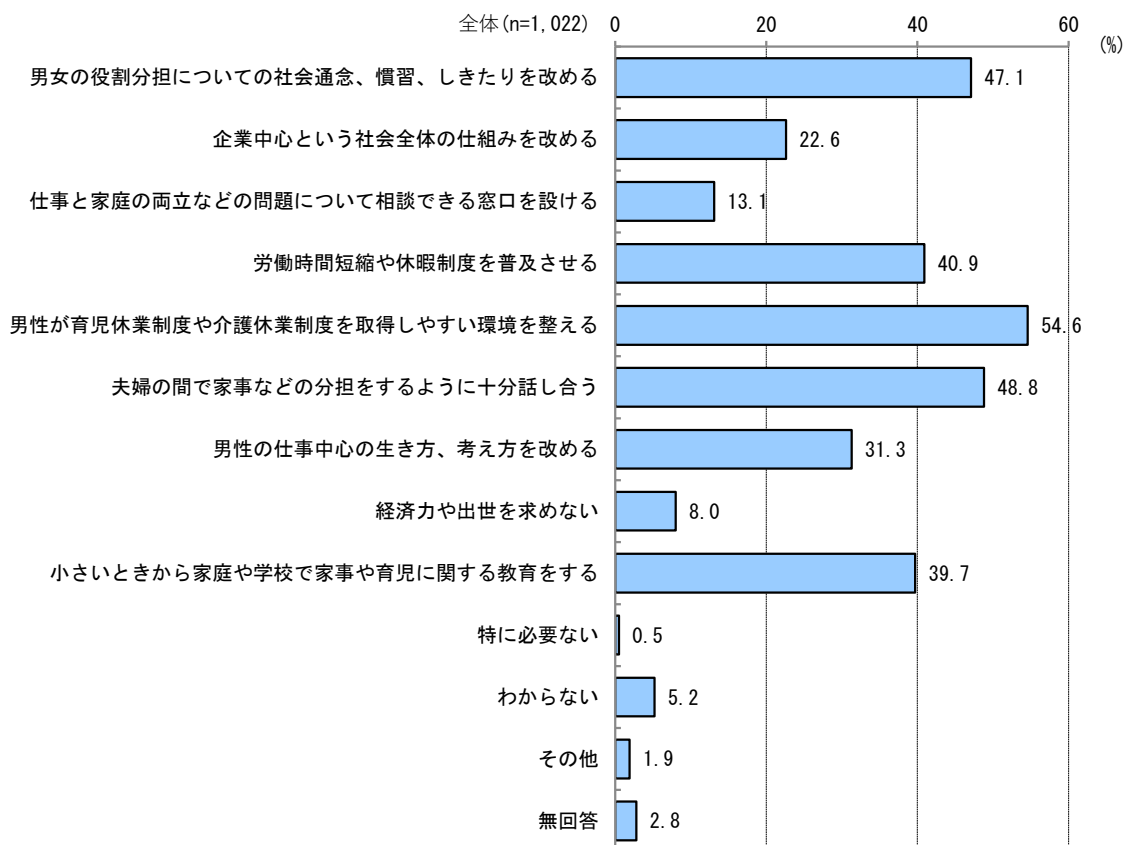
・年代別にみると、70歳以上で「女の子は女らしく、男の子は男らしく育てるほうがよい」が 9.3%と他の年代より高くなっています。



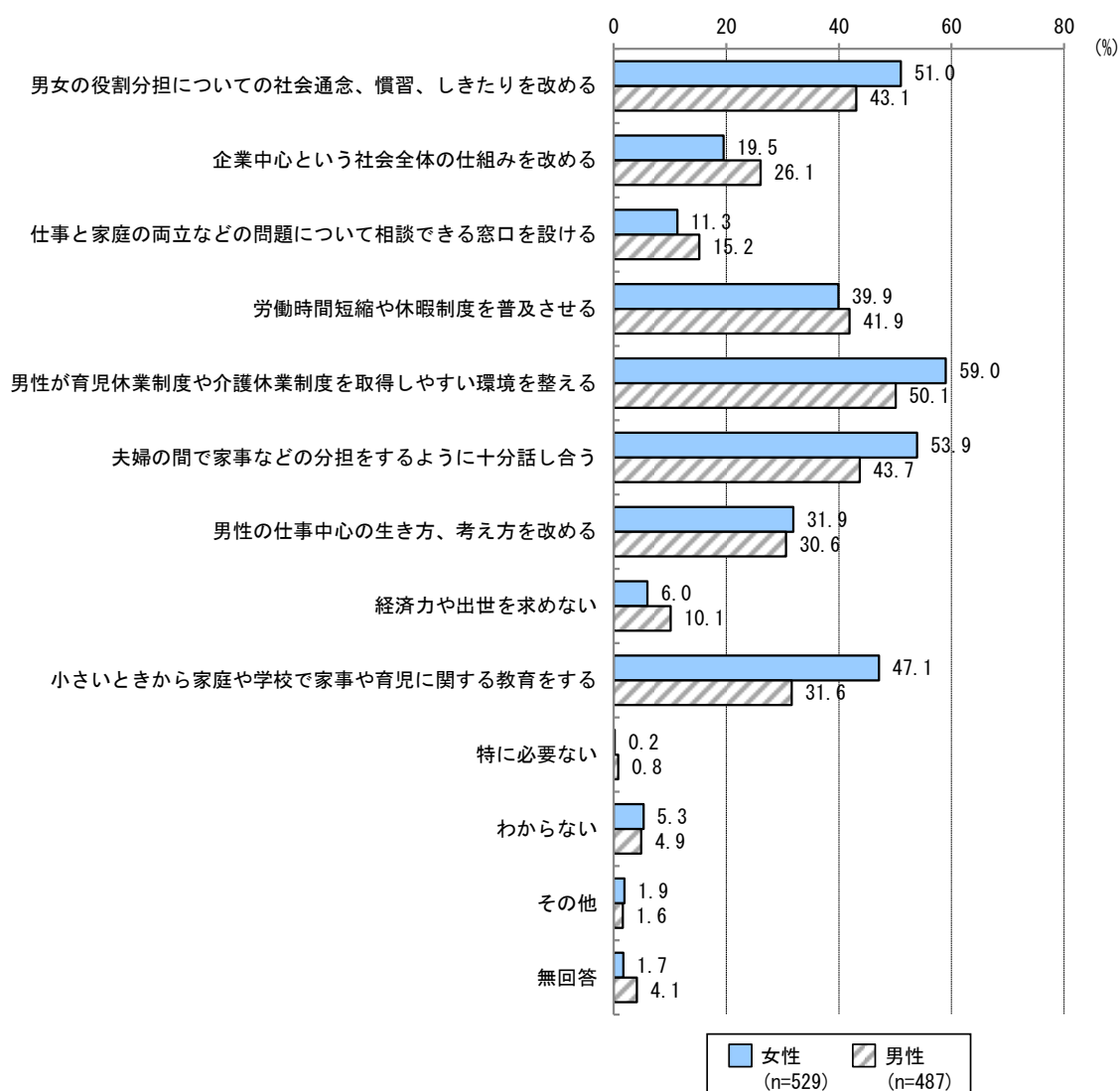
問37 男性が家事、育児、介護に積極的に参加するために必要なことについて

問 37. 男性が家事、育児、介護などに積極的に参加していくためには、どのようなことが必要だと思いますか。(〇はいくつでも)

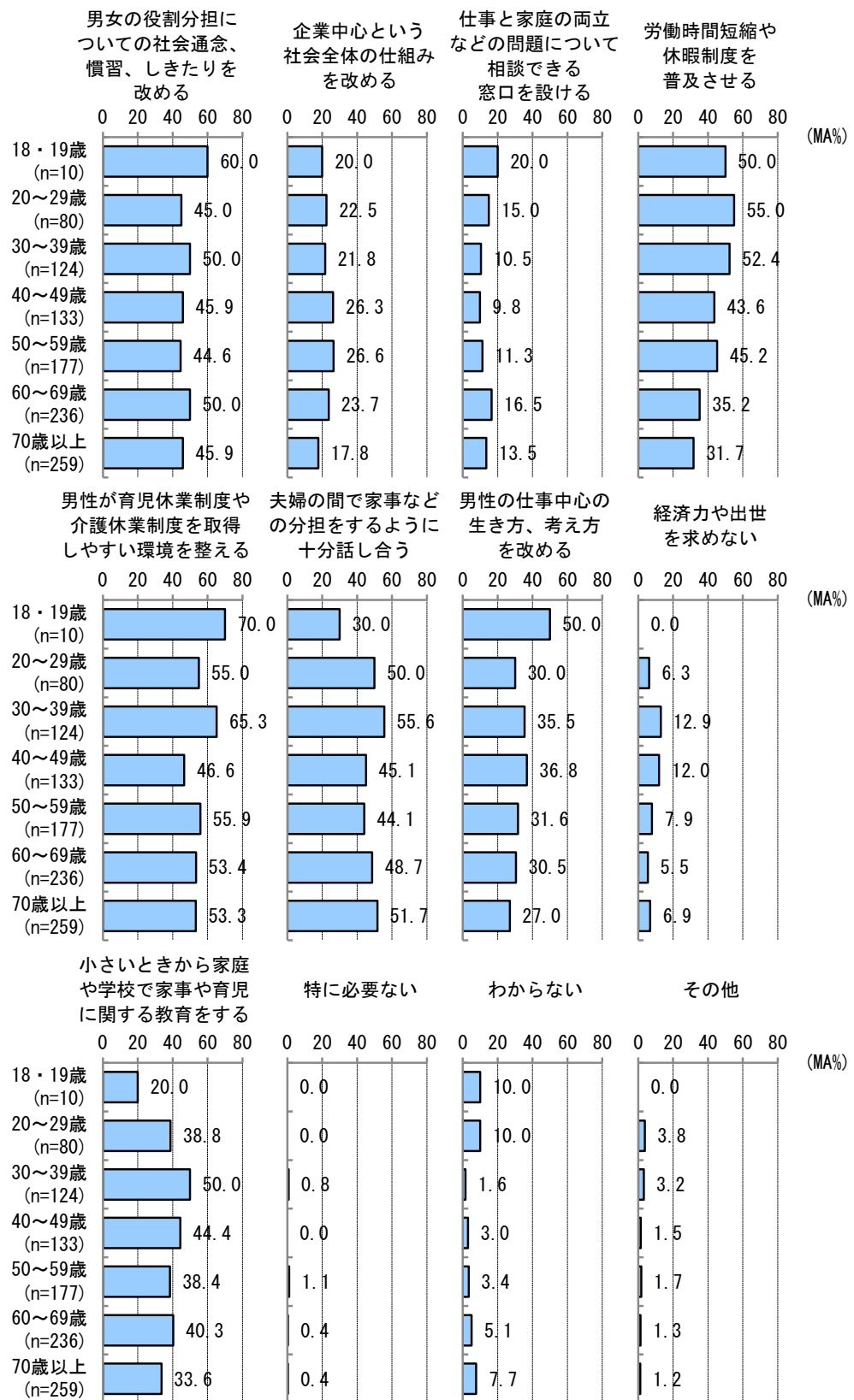
・男性が家事、育児、介護に積極的に参加するために必要なことについては、「男性が育児休業制度や介護休業制度を取得しやすい環境を整える」が54.6%と最も高く、次いで「夫婦の間で家事などの分担をするように十分話し合う」が48.8%、「男女の役割分担についての社会通念、慣習、しきたりを改める」が47.1%となっています。



・性別にみると、女性は男性よりも「男性が育児休業制度や介護休業制度を取得しやすい環境を整える」、「夫婦の間で家事などの分担をするように十分話し合う」、「小さいときから家庭や学校で家事や育児に関する教育をする」と回答する割合が高くなっています。



・年代別にみると、20～29歳で「労働時間短縮や休暇制度を普及させる」が55.0%と高くなっています。

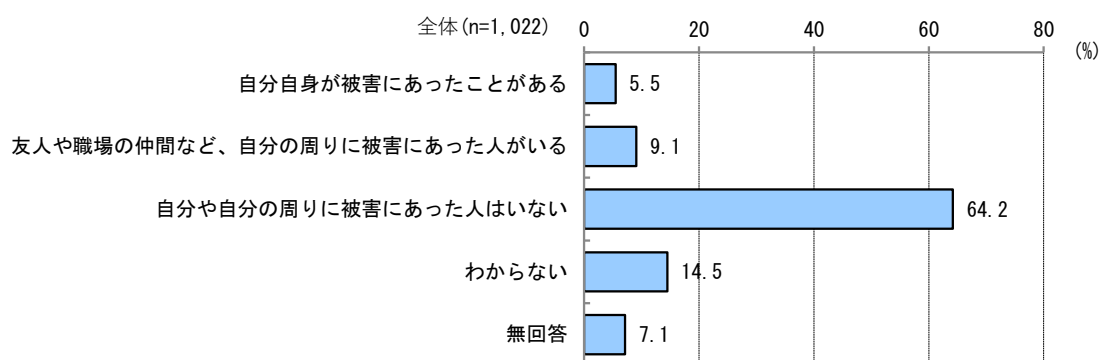


9. 夫婦間や交際相手からの暴力（DV＝ドメスティック・バイオレンス）等について

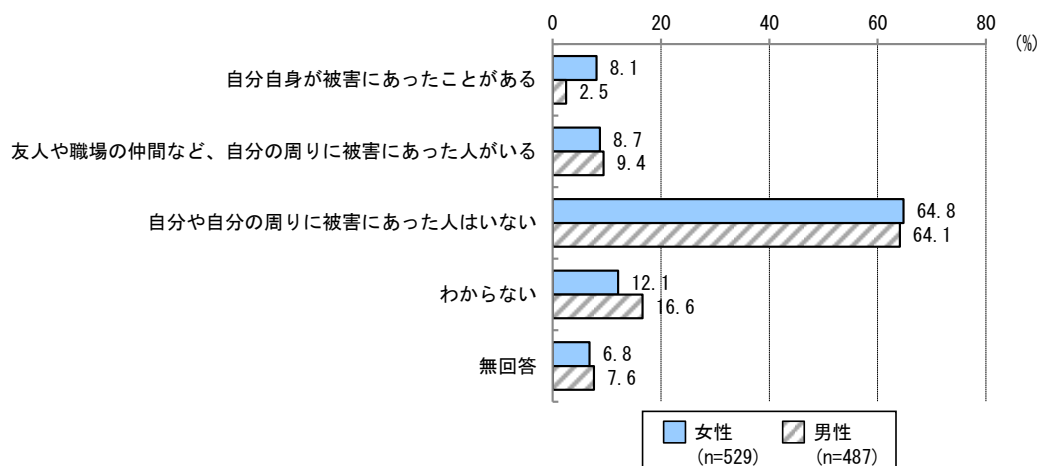
問38 セクシュアル・ハラスメントについて

問 38. あなたは、今までに、セクシュアル・ハラスメント(性的いやがらせ)をされたことはありますか。
(○はいいくつでも)

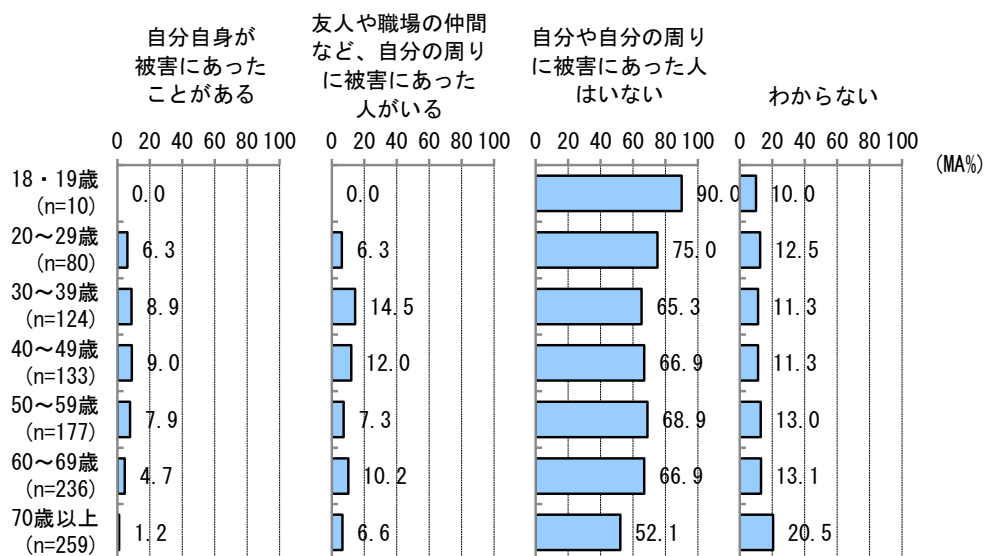
・セクシュアル・ハラスメントについては、「自分や自分の周りに被害にあった人はいない」が64.2%と最も高く、次いで「わからない」が14.5%、「友人や職場の仲間など、自分の周りに被害にあった人がある」が 9.1%となっています。



・性別にみると、女性で「自分自身が被害にあったことがある」が8.1%と男性よりも5.6ポイント高くなっています。



・年代別にみると、30～39歳で「友人や職場の仲間など、自分の周りに被害にあった人がいる」が14.5%と他の年代より高くなっています。また、20～29歳で「自分や自分の周りに被害にあった人はいない」が75.0%と高くなっています。

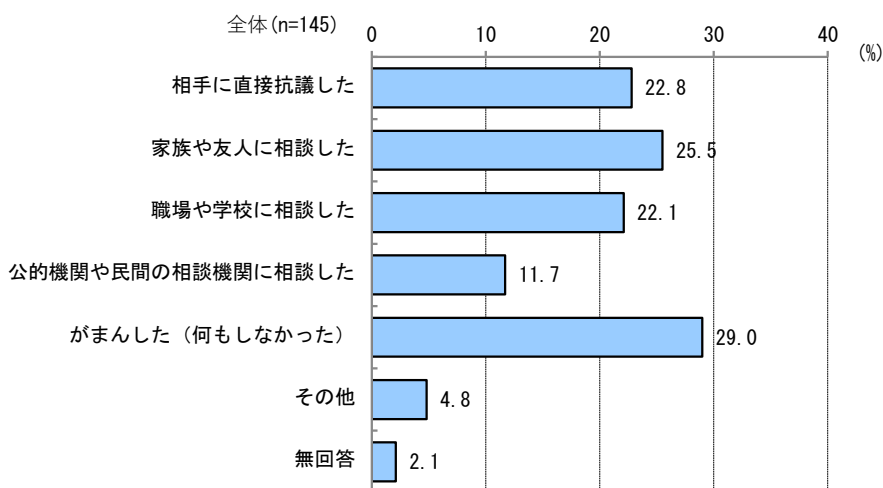


問38-1 セクシュアル・ハラスメントへの対処について

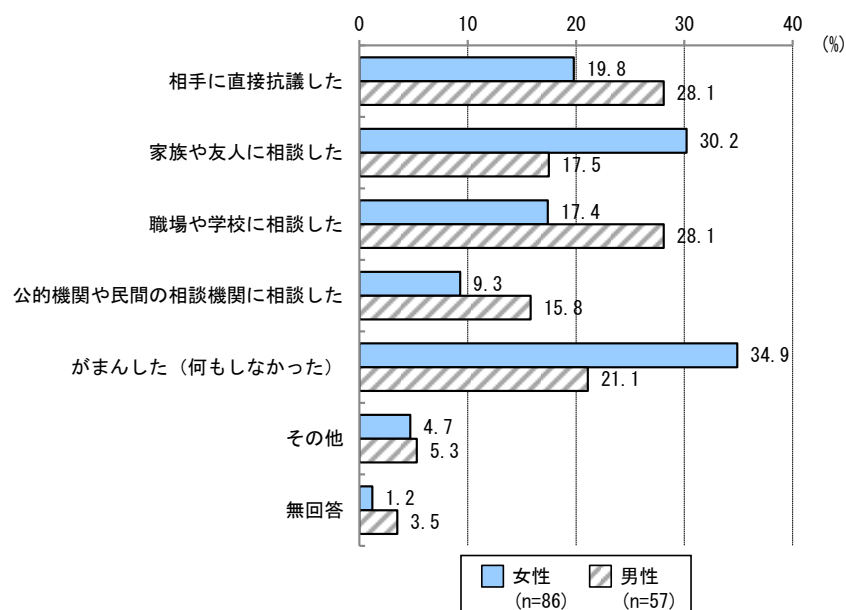
【問 38 で、「1.自分自身が被害にあったことがある」または「2.友人や職場の仲間など、自分の周りに被害にあった人がいる」と答えた方におたずねします。】

問 38-1. あなたは、その時やその後はどうしましたか。(○はいくつでも)

・セクシュアル・ハラスメントへの対処については、「がまんした(何もしなかった)」が 29.0%と最も高く、次いで「家族や友人に相談した」が 25.5%、「相手に直接抗議した」が 22.8%となっています。



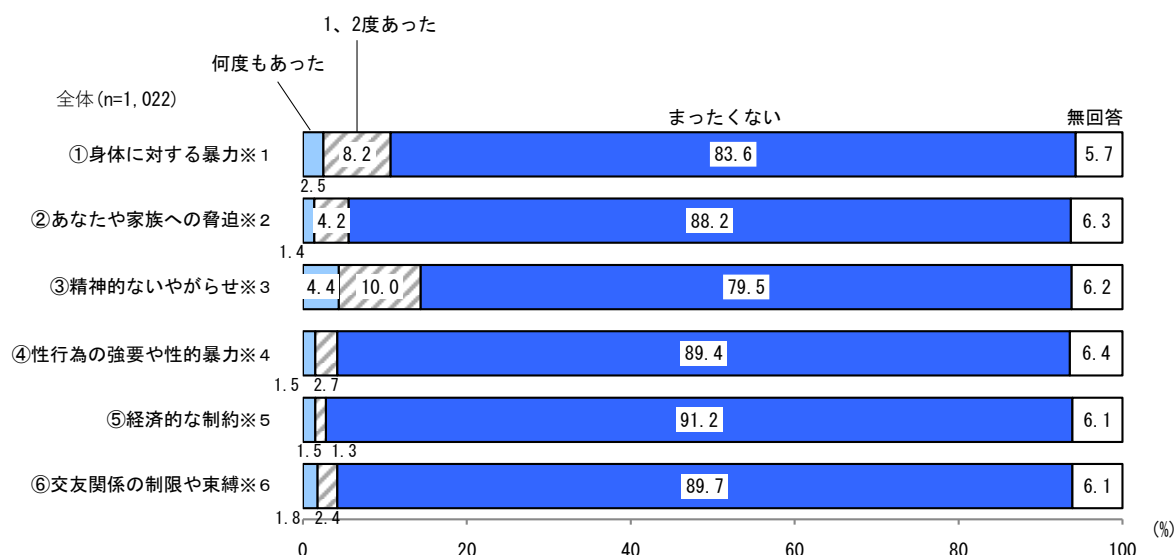
・性別にみると、女性で「がまんした(何もしなかった)」が34.9%、男性で「相手に直接抗議した」、「職場や学校に相談した」が28.1%とそれぞれ高くなっています。



問39 DV被害について

問 39. DV とは、多くの場合、女性が夫や恋人などのパートナーから、身体的暴力や性的暴力、精神的暴力、経済的暴力を受けることをいいますが、被害者が男性の場合もあります。あなたは、これまでに夫や妻、あるいは恋人などから、次のようなことをされたことはありますか。(○はそれぞれ1つずつ)

・パートナーからのDV被害については、「③精神的ないやがらせ」の「何度もあった」と「1、2度あった」を合わせると、14.4%と高くなっています。



※1…殴る、蹴る、物を投げつける、突き飛ばすなどの身体に対する暴行を受けた

※2…あなた若しくはあなたの家族に危害が加えられるのではないかと恐怖を感じるような脅迫を受けた

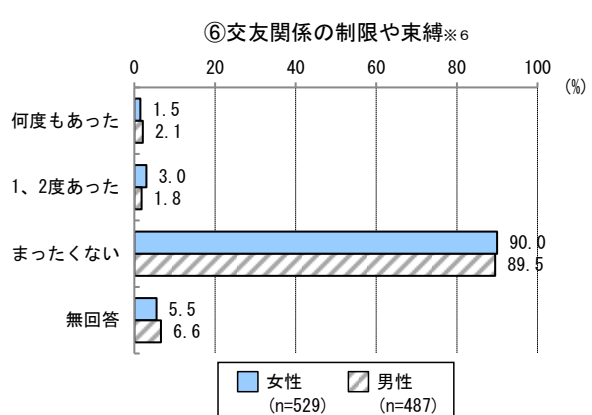
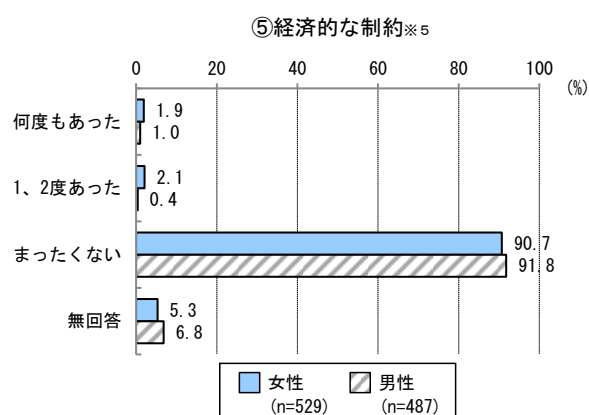
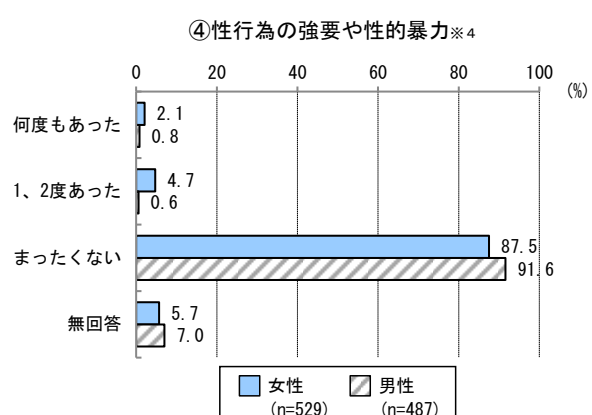
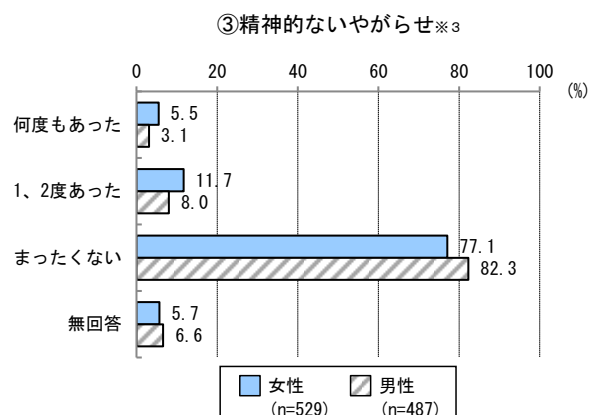
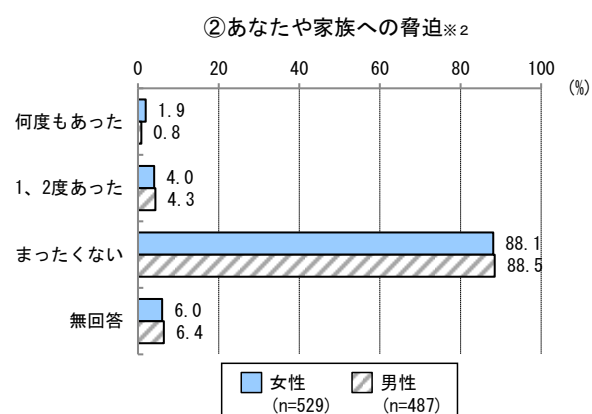
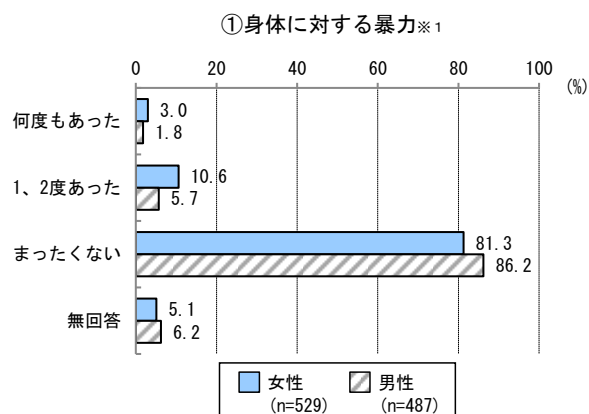
※3…大切にしているものを壊す、人格を否定したりするような暴言や無視するなどの精神的ないやがらせを受けた

※4…いやがっているのに性的な行為を強要する、避妊に協力しないなどの性的暴力を受けた

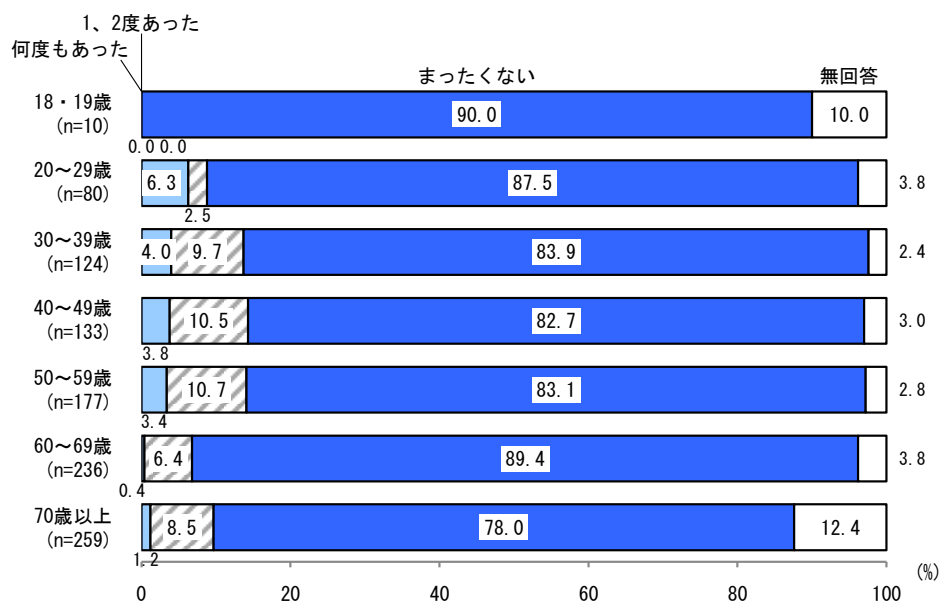
※5…生活費を渡さない、働きに行かせないなどの経済的な制約を受けた

※6…電話や手紙を細かくチェックする、交友関係や外出を制限する、実家や友人に会わせないなどの束縛を受けた

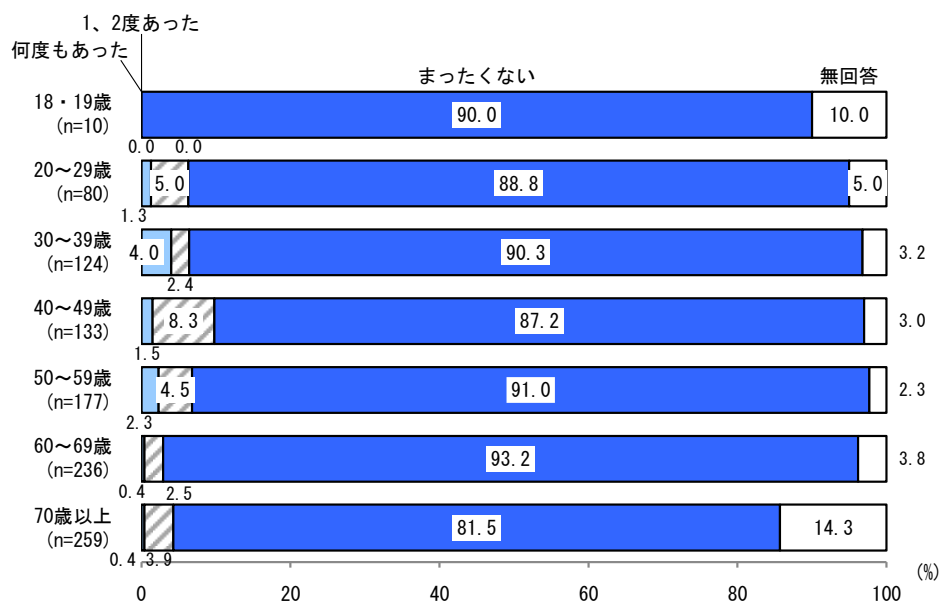
・性別にみると、全ての項目で男女ともに「まったくない」が多くを占める一方で、「①身体に対する暴力(殴る、蹴る、物を投げつける、突き飛ばすなどの身体に対する暴行を受けた)」では、女性で「1、2度あった」が10.6%、男性が5.7%と他の項目より高くなっています。また、「③精神的ないやがらせ(大切にしているものを壊す、人格を否定したりするような暴言や無視するなどの精神的ないやがらせを受けた)」についても、女性で「1、2度あった」が11.7%、男性が8.0%と他の項目より高くなっています。



・「①身体に対する暴力(殴る、蹴る、物を投げつける、突き飛ばすなどの身体に対する暴行を受けた)」について年代別にみると、全ての年代で「まったくない」が約80.0%を占めています。

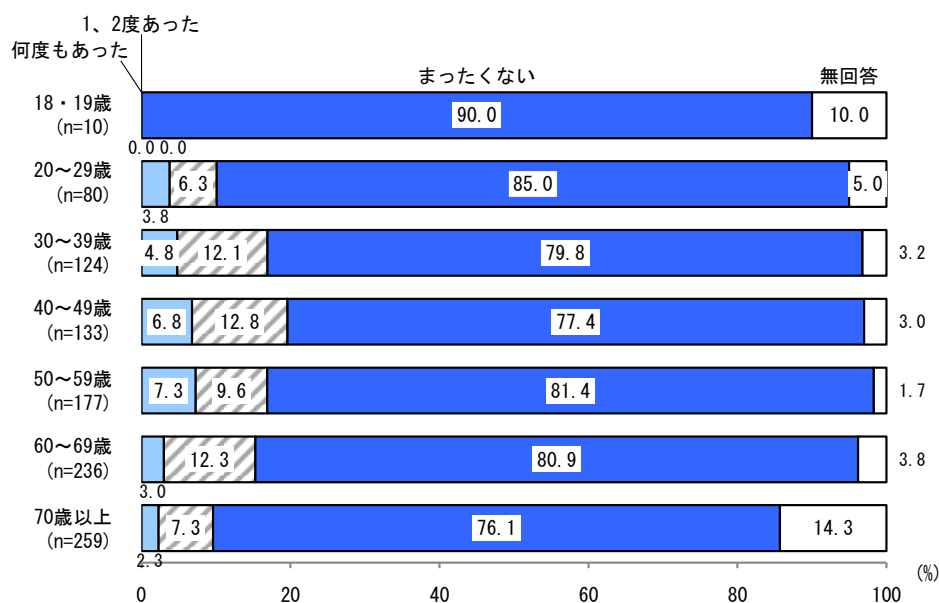


・「②あなたや家族への脅迫(あなた若しくはあなたの家族に危害が加えられるのではないかと恐怖を感じるような脅迫を受けた)」について年代別にみると、全ての年代で「まったくない」が80.0%を超えています。

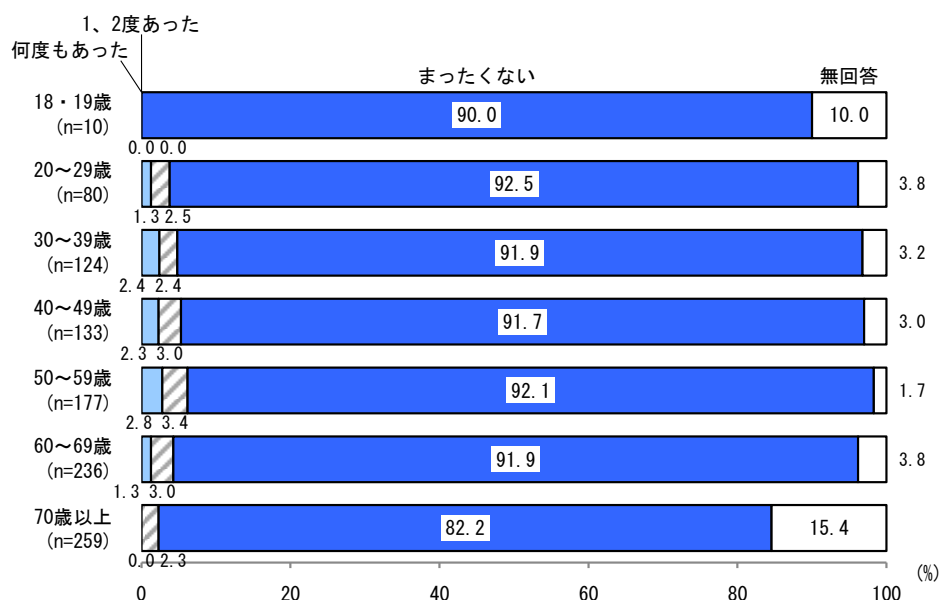


・「③精神的ないやがらせ(大切にしているものを壊す、人格を否定したりするような暴言や無視するなどの精神的ないやがらせを受けた)」について年代別にみると、全ての年代で「まったくない」が約80.0%を占めています。

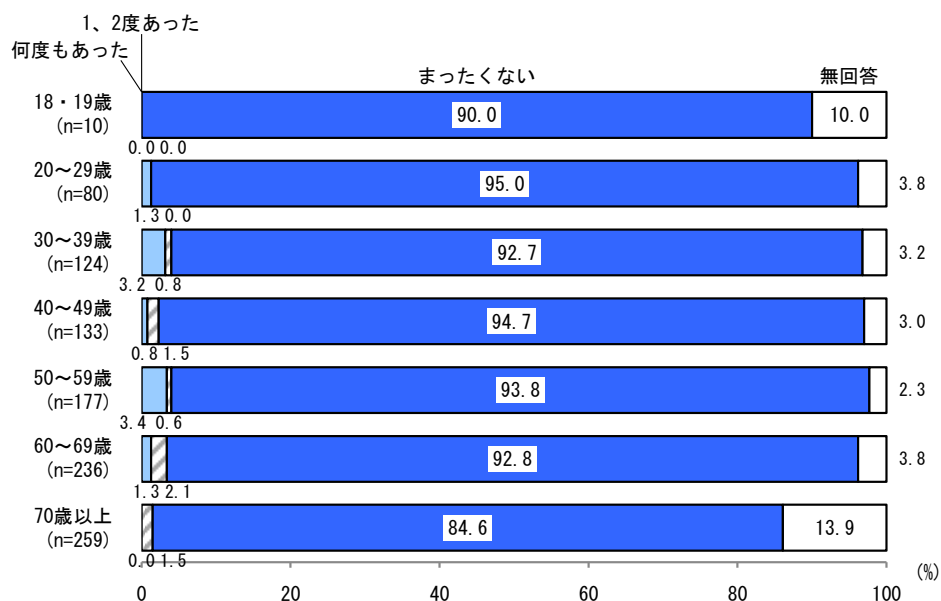
一方で、40～49歳で「何度もあった」と「1、2度あった」を合わせた『被害にあったことがある』が19.6%と高くなっています。



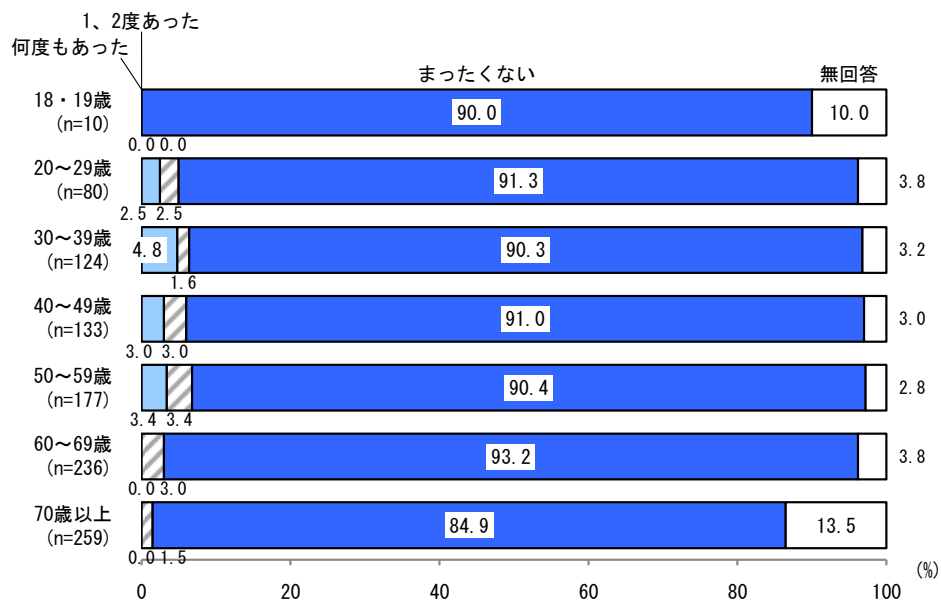
・「④性行為の強要や性的暴力(いやがっているのに性的な行為を強要する、避妊に協力しないなどの性的暴力を受けた)」について年代別にみると、70歳以上以外の年代で「まったくない」が90.0%を超えています。



・「⑤経済的な制約(生活費を渡さない、働きに行かせないなどの経済的な制約を受けた)」について年代別にみると、70歳以上以外の年代で「まったくない」が90.0%を超えています。



・「⑥交友関係の制限や束縛(電話や手紙を細かくチェックする、交友関係や外出を制限する、実家や友人に会わせないなどの束縛を受けた)」について年代別にみると、70歳以上以外の年代で「まったくない」が90.0%を超えています。

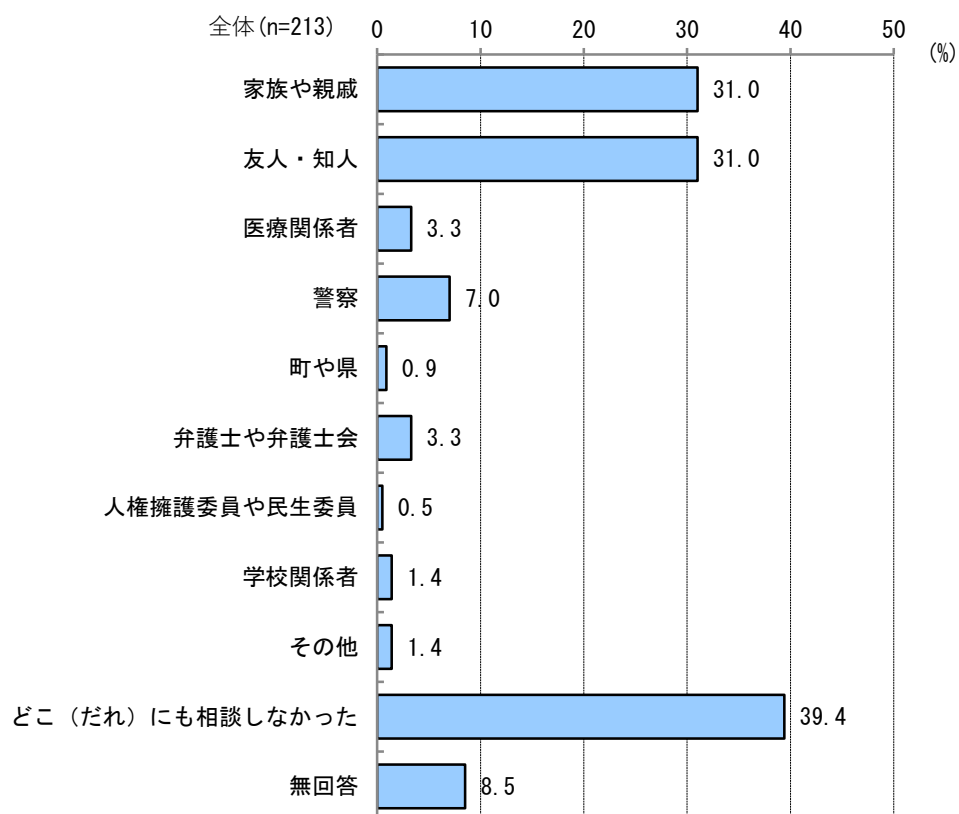


問39-1 DV 経験者の相談状況

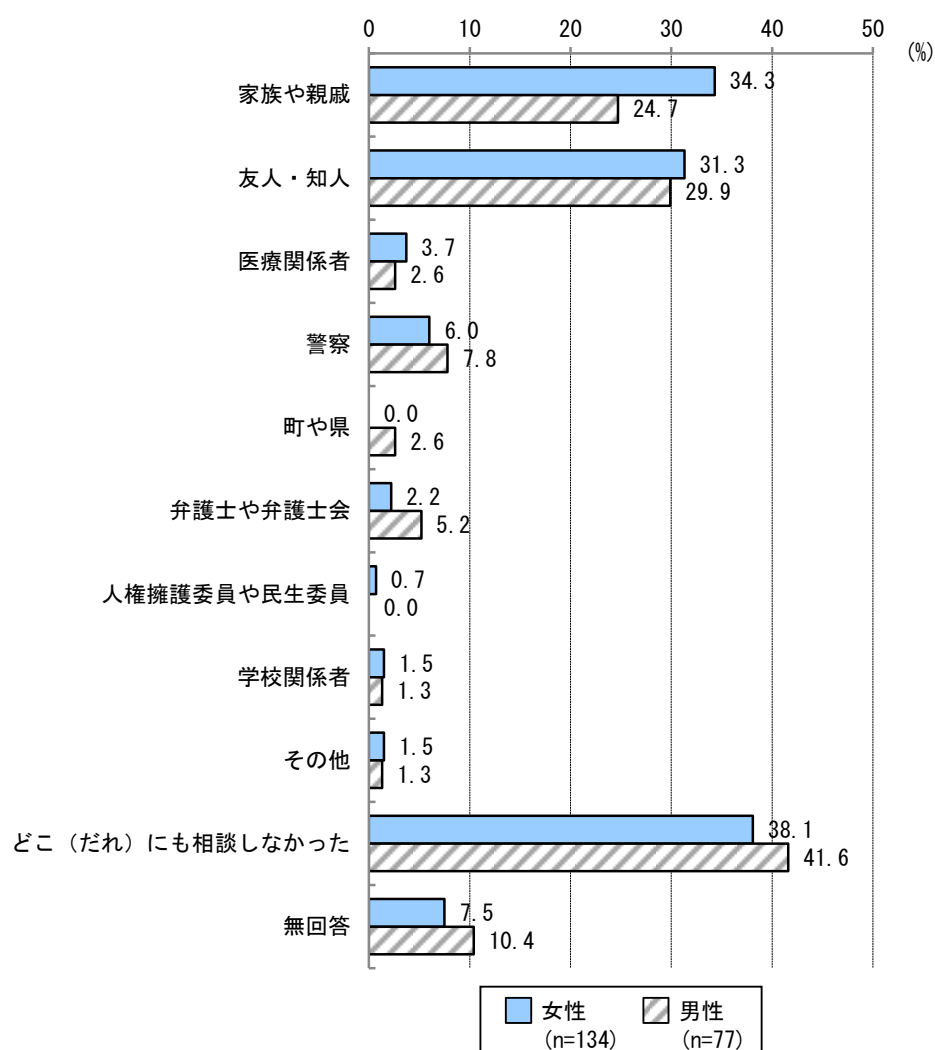
【問 39 で1つでも「何度もあった」または「1、2度あった」と答えた方におたずねします。】

問 39-1. あなたは、これまでに問 39 であげたような行為について、誰かに打ち明けたり、相談したりしましたか。(○はい/いくつか)

・DV経験者の相談状況については、「家族や親戚」と「友人・知人」の割合がともに 31.0%で最も高くなっています。一方で、「どこ(だれ)にも相談しなかった」の割合は 39.4%を占めています。



・性別でみると、女性は男性よりも「家族や親戚」と回答する割合が高く、34.3%となっています。一方で、男性は女性よりも「どこ(だれ)にも相談しなかった」と回答する割合が高く、41.6%となっています。

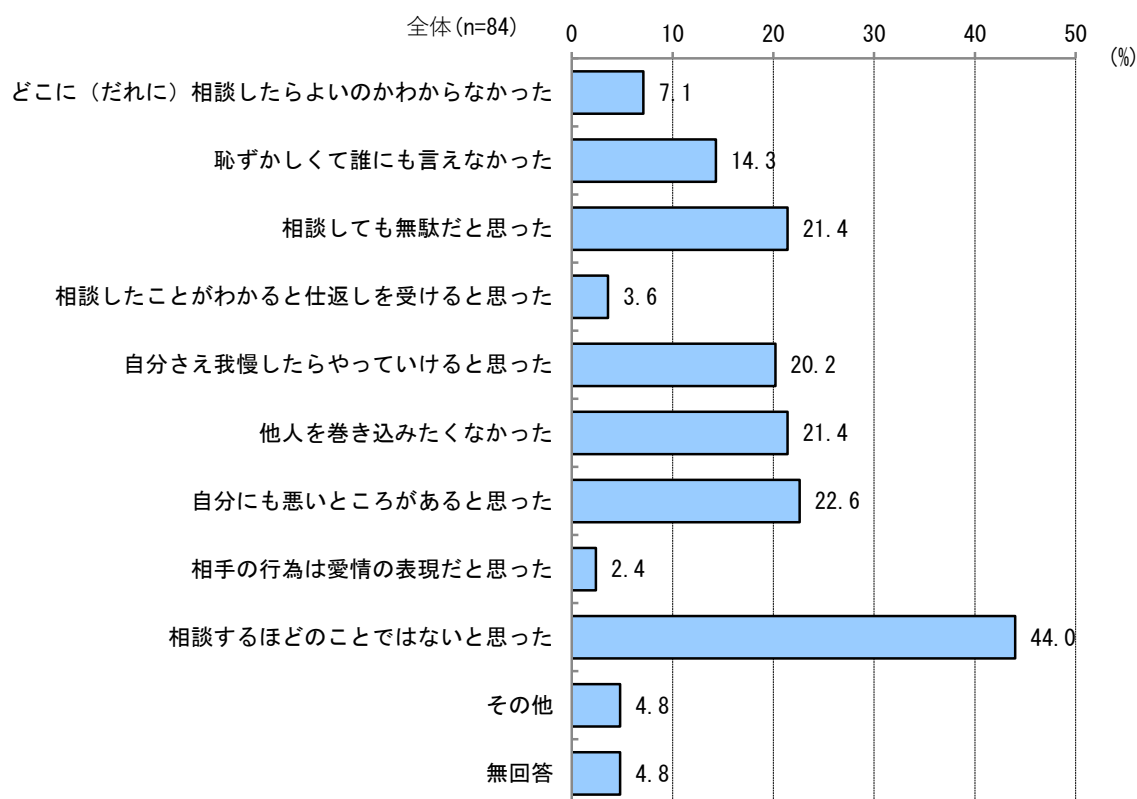


問39-2 どこにも相談しなかった理由

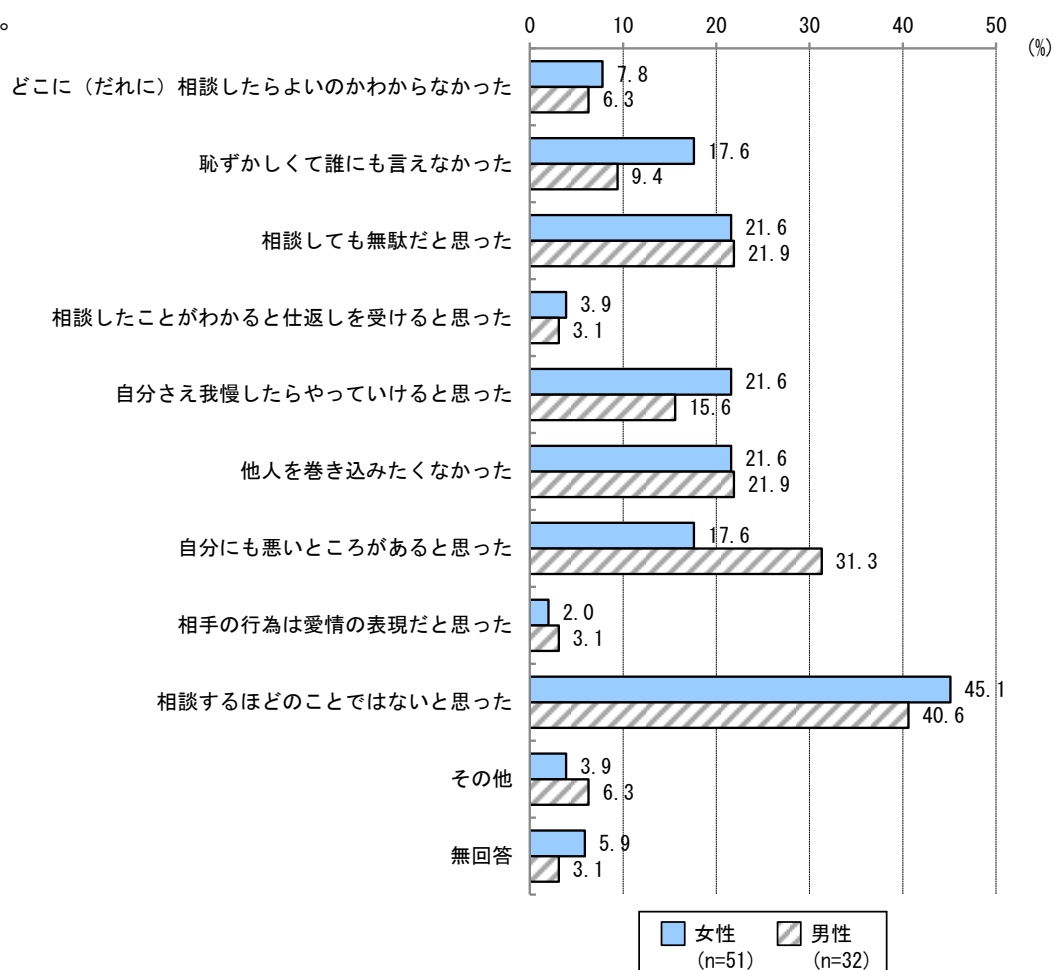
【問 39-1で「10.どこ(だれ)にも相談しなかった」と答えた方におたずねします。】

問 39-2. どこ(だれ)にも相談しなかったのは、なぜですか。(〇はいくつでも)

・どこにも相談しなかった理由については、「相談するほどのことではないと思った」が 44.0%と最も高く、次いで「自分にも悪いところがあると思った」が 22.6%、「相談しても無駄だと思った」と「他人を巻き込みたくなかった」がともに 21.4%となっています。



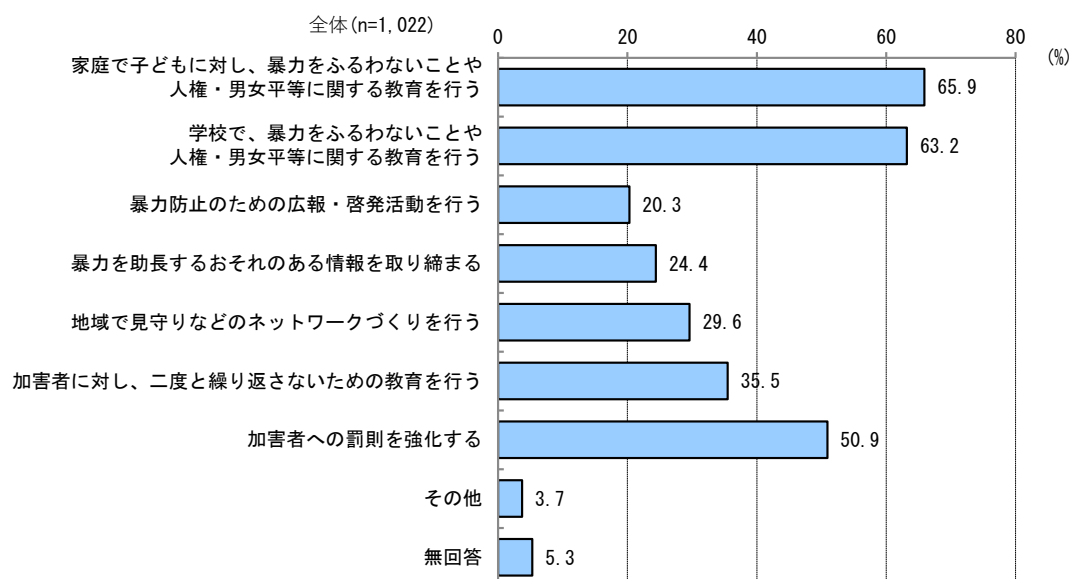
・性別でみると、女性は男性よりも「恥ずかしくて誰にも言えなかった」と回答する割合が高く、17.6%となっています。また、男性は女性よりも「自分にも悪いところがあると思った」と回答する割合が高く、31.3%となっています。



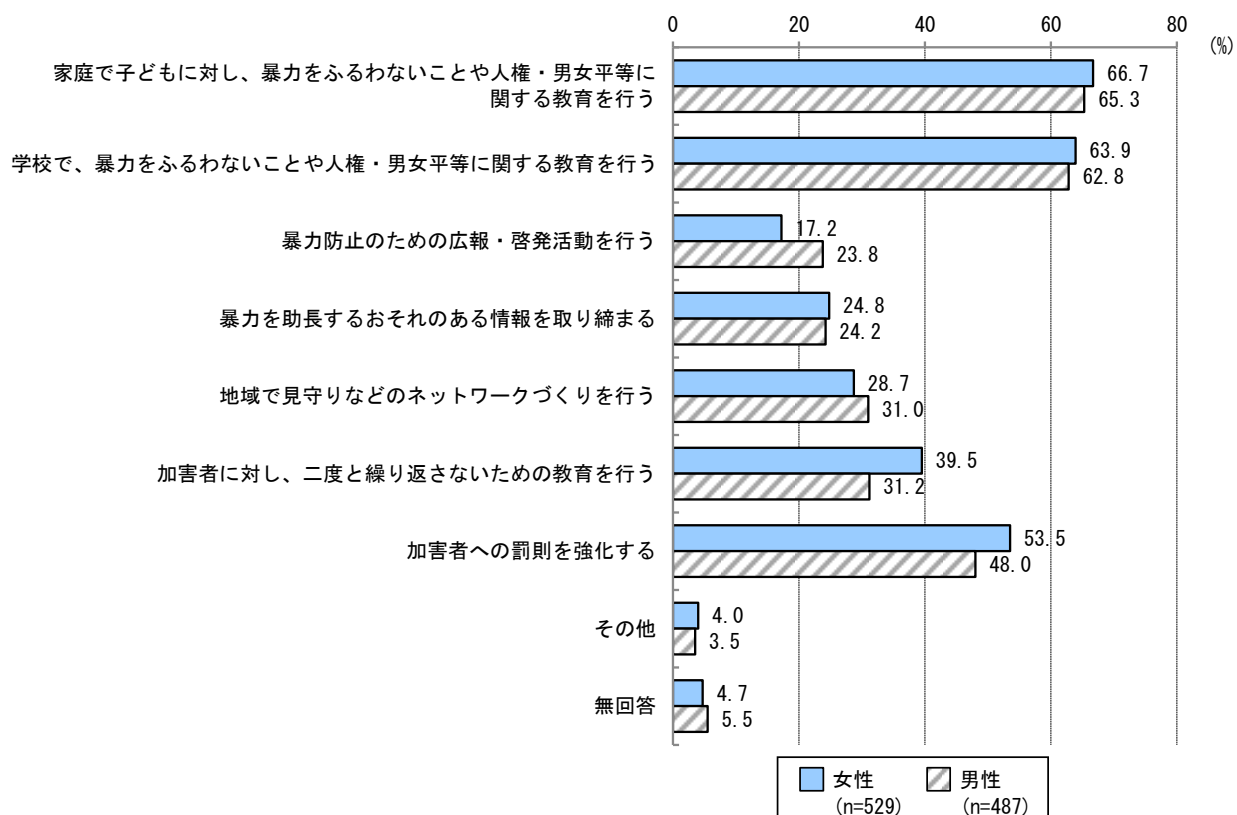
問40 DVを防ぐために必要だと思うこと

問 40. DV を防止するためには、どのようなことが必要だと思いますか。(〇はいくつでも)

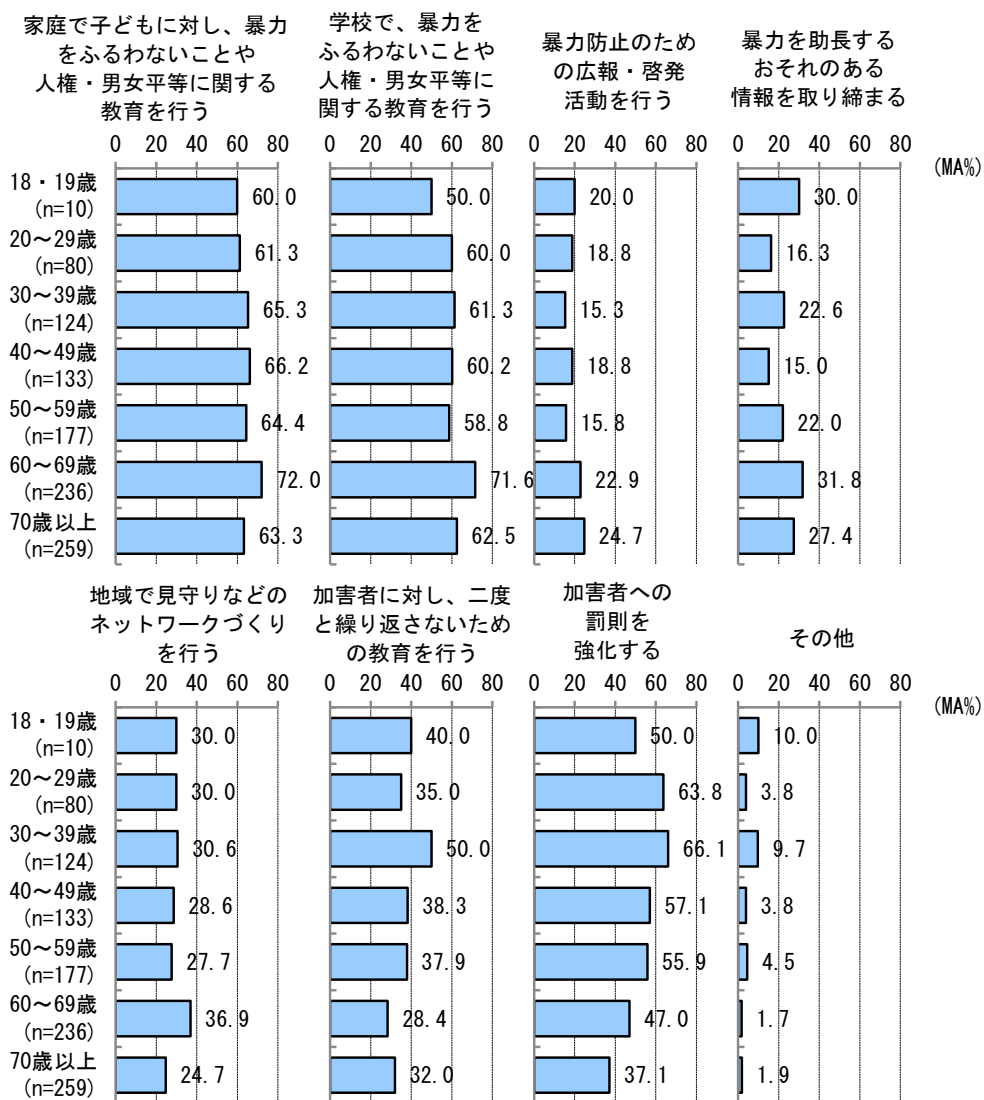
・DVを防ぐために必要だと思うことについては、「家庭で子どもに対し、暴力をふるわないことや人権・男女平等に関する教育を行う」が65.9%と最も高く、次いで「学校で、暴力をふるわないことや人権・男女平等に関する教育を行う」が63.2%、「加害者への罰則を強化する」が50.9%となっています。



・性別で見ると、女性は男性よりも「加害者に対し、二度と繰り返さないための教育を行う」と回答する割合が高く、39.5%となっています。男性は女性に比べて「暴力防止のための広報・啓発活動を行う」の割合が高く、23.8%となっています。



・年代別にみると、30～39歳で「加害者への罰則を強化する」が66.1%と高くなっています。また、60～69歳で「学校で、暴力をふるわないことや人権・男女平等に関する教育を行う」が71.6%と他の年代より高くなっています。

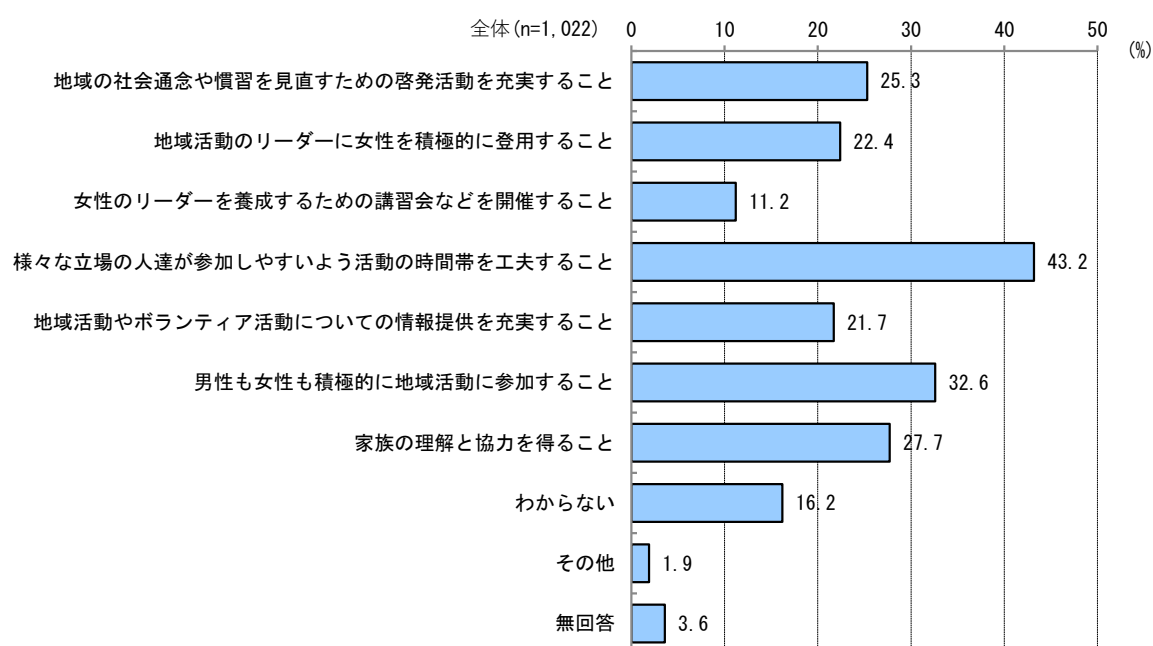


10.地域活動への参加などについて

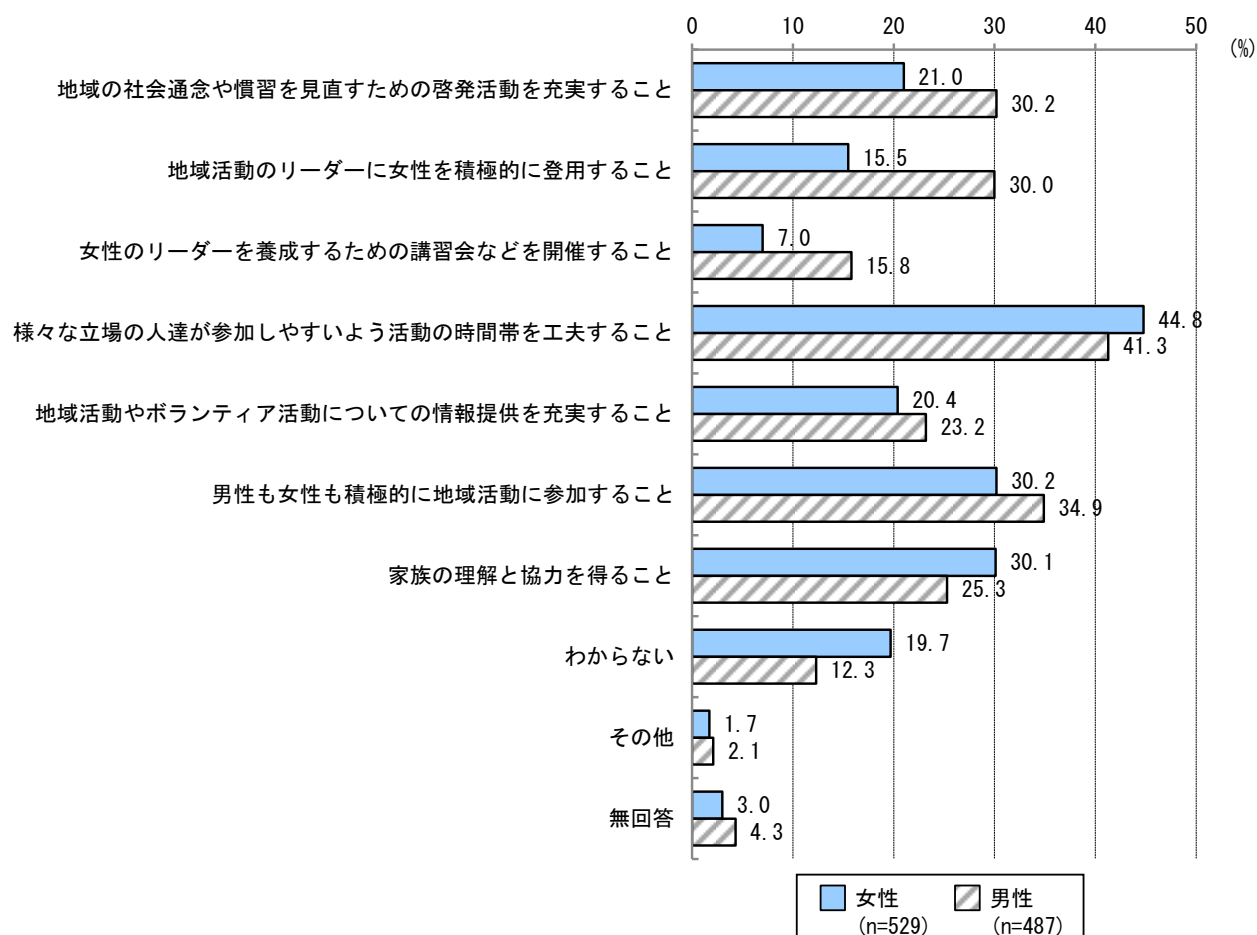
問41 地域社会での男女共同参画を積極的に進めるために必要だと思うこと

問 41. あなたの住んでいる地域での様々な活動において、男女共同参画を積極的に進めるためには、どのようなことが必要だと思いますか。(〇はいくつでも)

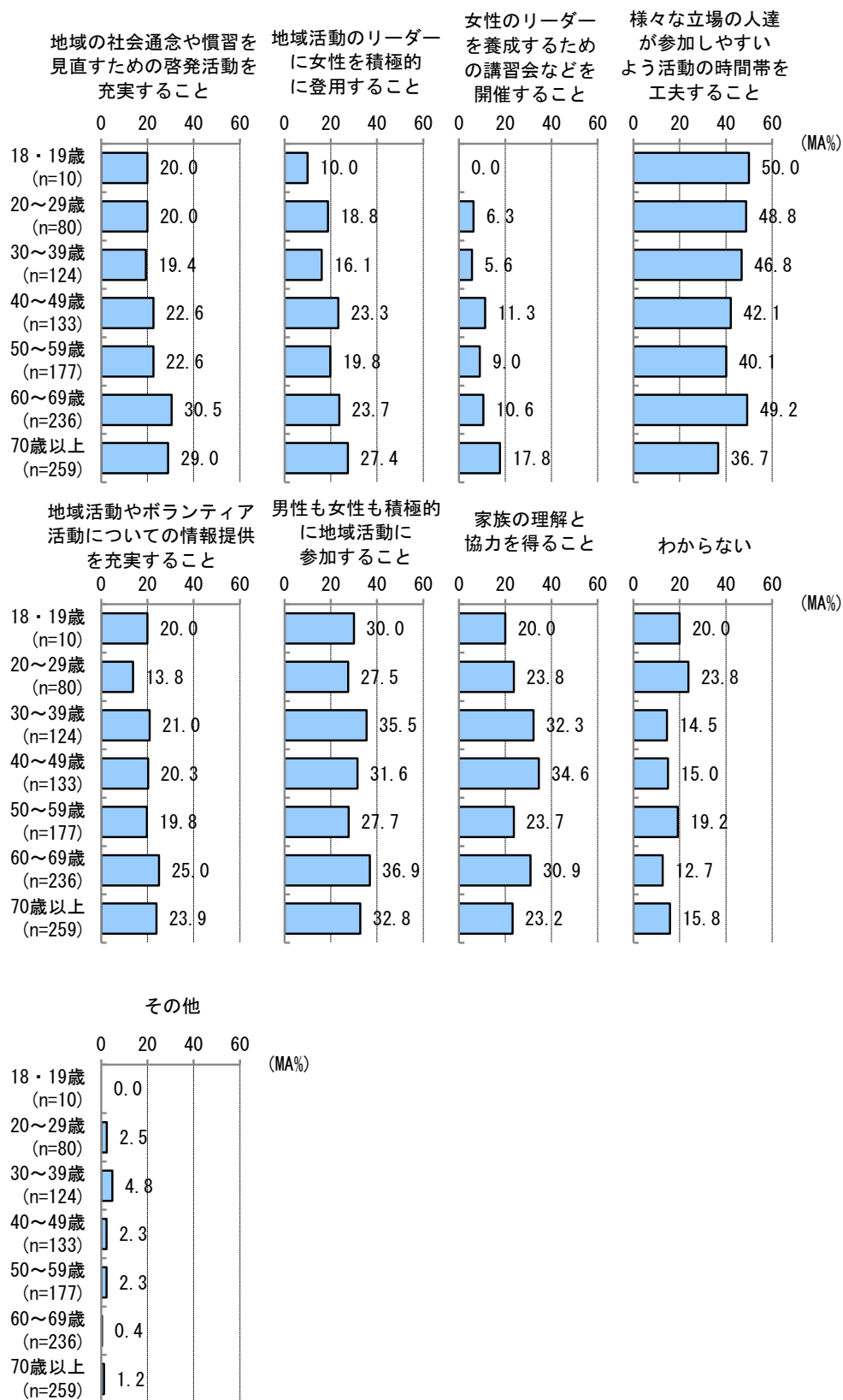
・地域社会での男女共同参画推進に必要だと思うことについては、「様々な立場の人達が参加しやすいよう活動の時間帯を工夫すること」が43.2%と最も高く、次いで「男性も女性も積極的に地域活動に参加すること」が32.6%、「家族の理解と協力を得ること」が27.7%となっています。



・性別にみると、男性は女性よりも「地域の社会通念や慣習を見直すための啓発活動を充実すること」、「地域活動のリーダーに女性を積極的に登用すること」、「女性のリーダーを養成するための講習会などを開催すること」、「地域活動やボランティア活動についての情報提供を充実すること」、「男性も女性も積極的に地域活動に参加すること」と回答する割合が高くなっています。



・年代別にみると、70歳以上で「女性のリーダーを養成するための講習会などを開催すること」が17.8%と他の年代より高くなっています。

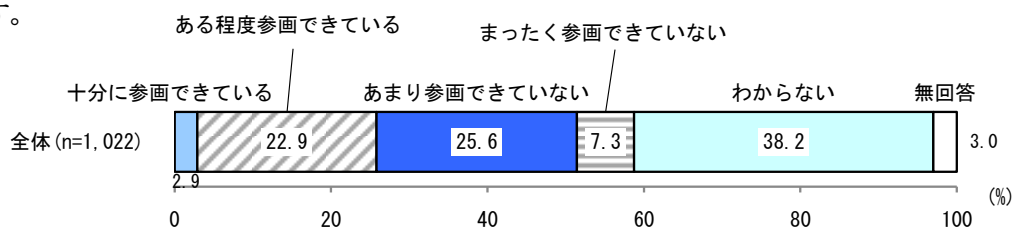


11.男女共同参画の取組について

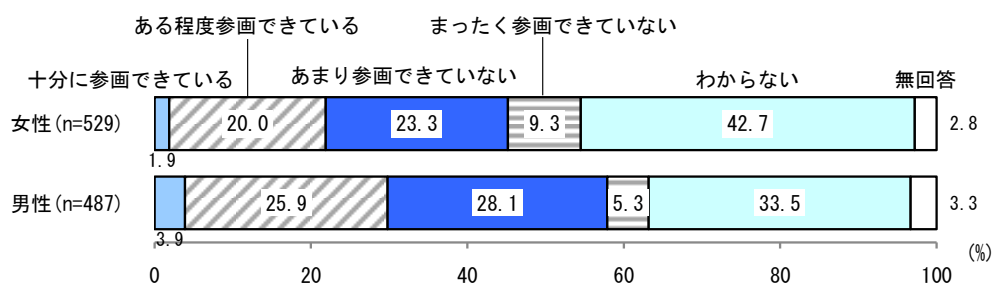
問42 地域活動や方針決定の場への女性の参画状況について

問 42. 自治会や様々な地域活動・町政における企画づくりや方針決定の場への女性の参画状況について、あなたはどのように思いますか。(〇は1つ)

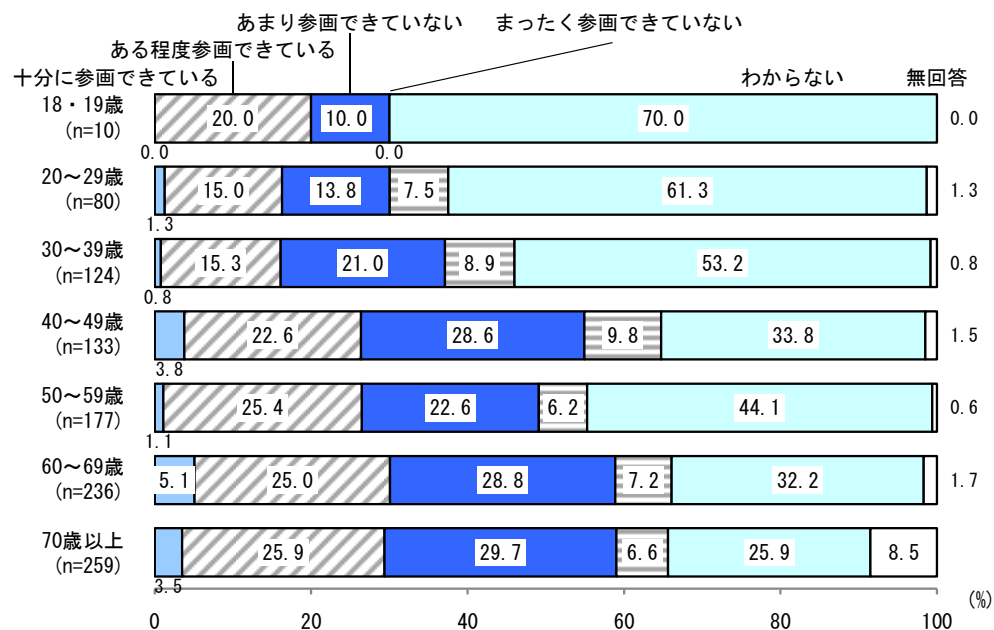
・地域活動や政策決定の場への女性の参画状況については、「まったく参画できていない」と「あまり参画できていない」を合わせた『参画できていない』の割合が32.9%、「ある程度参画できている」と「十分に参画できている」を合わせた『参画できている』の割合が25.8%となっています。また、「わからない」が約4割(38.2%)を占めています。



・性別による大きな差はみられません。



・年代別にみると、20～29歳で「わからない」が61.3%と高くなっています。

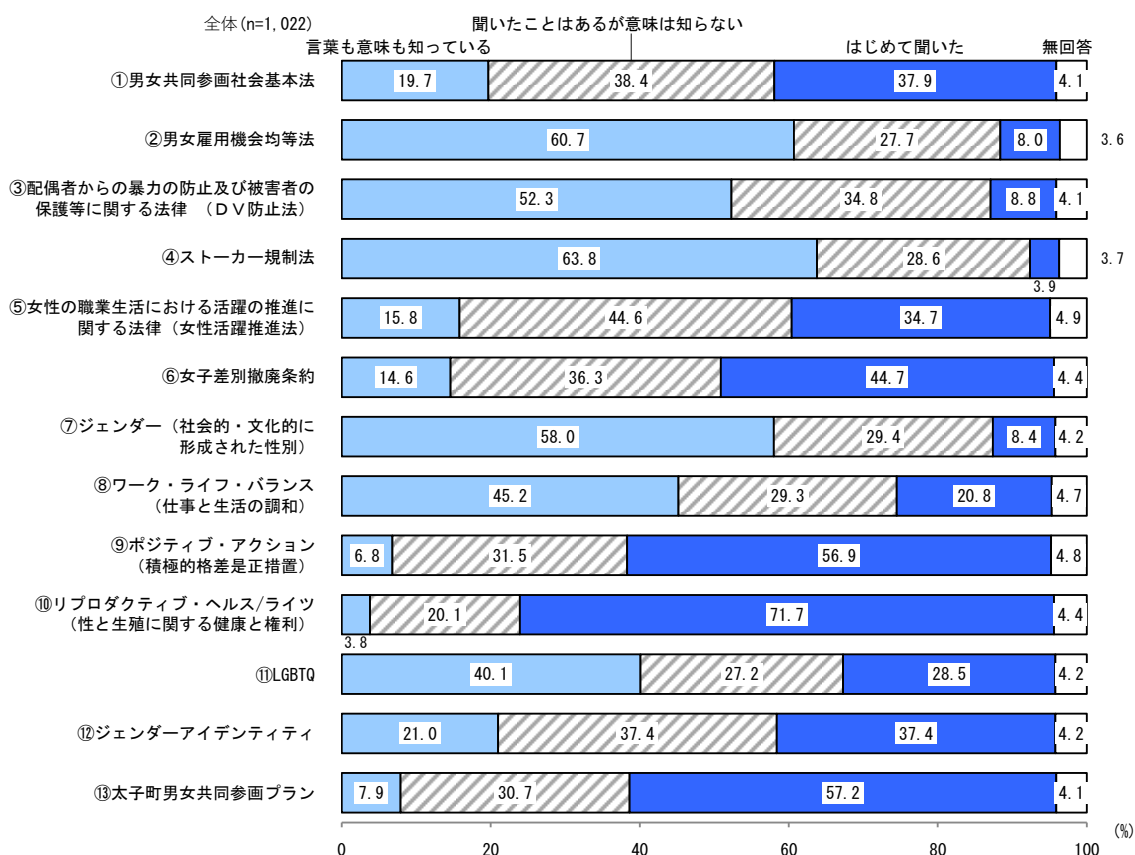


問43 男女共同参画に関する用語の認知状況

問 43. 男女共同参画に関する次の「ことがら」について、見たり聞いたりしたことはありますか。
(○はそれぞれ1つつつ)

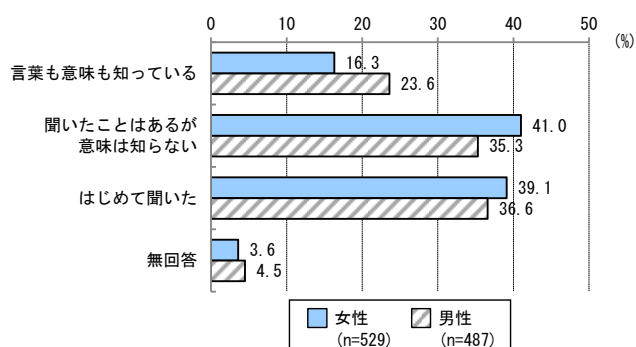
・男女共同参画に関する用語の認知状況については、「言葉も意味も知っている」割合が「④ストーカー規制法」で63.8%と最も高く、次いで「男女雇用機会均等法」が60.7%、「⑦ジェンダー(社会的・文化的に形成された性別)」が58.0%となっています。

一方、「聞いたことはあるが意味は知らない」割合は「⑤女性の職業生活における活躍の推進に関する法律(女性活躍推進法)」が44.6%と最も高く、次いで「①男女共同参画社会基本法」が38.4%、「⑫ジェンダーアイデンティティ」が37.4%となっています。「はじめて聞いた」割合は、「⑩リプロダクティブ・ヘルス/ライツ(性と生殖に関する健康と権利)」が71.7%と最も高く、7割を占めています。

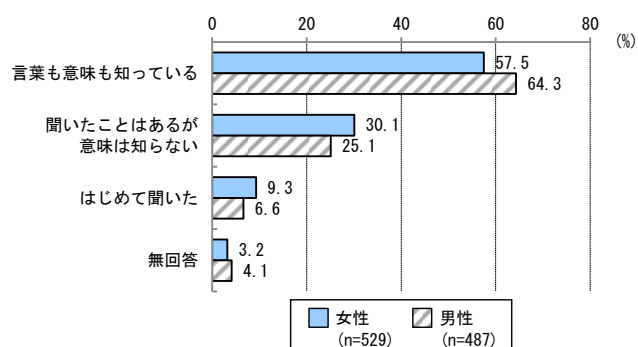


・多くの項目において性別による大きな差はありませんが、女性は男性よりも「⑦ジェンダー（社会的・文化的に形成された性別）」において「言葉も内容も知っている」と回答する割合が高く、13.6ポイントの差があります。一方で、男性は女性よりも「聞いたことはあるが意味は知らない」と回答する割合が高く、12.0ポイントの差があります。

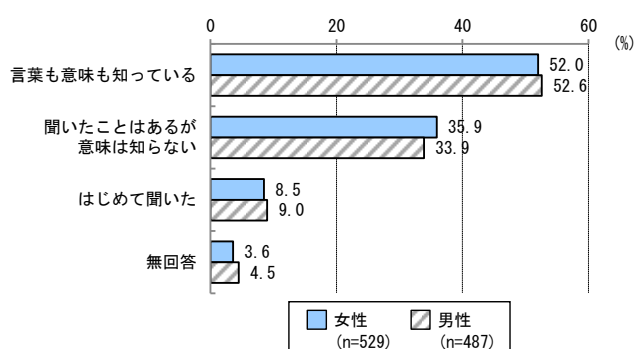
①男女共同参画社会基本法



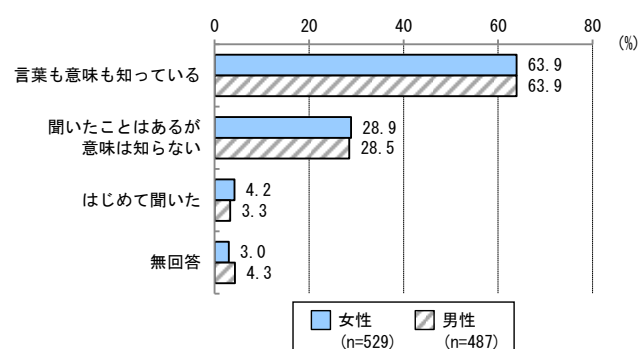
②男女雇用機会均等法



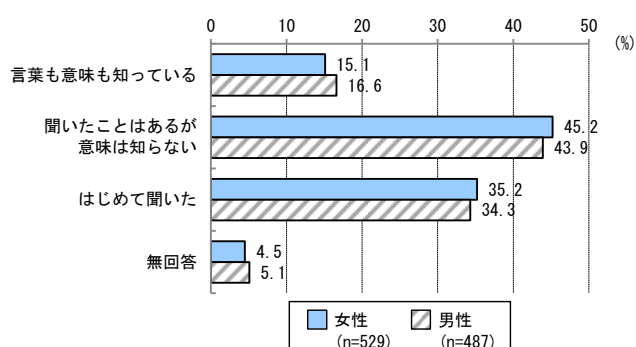
③配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護等に関する法律（DV防止法）



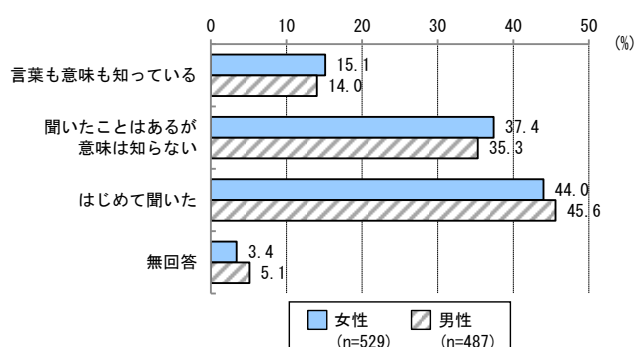
④ストーカー規制法



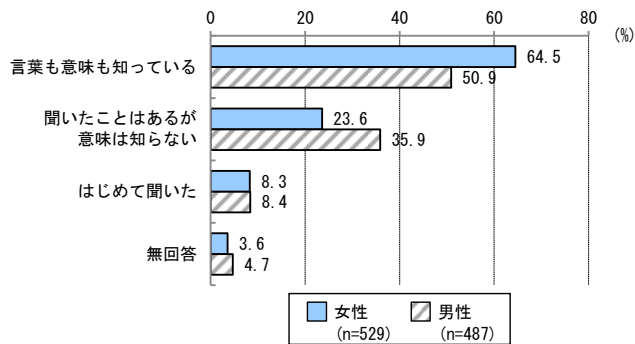
⑤女性の職業生活における活躍の推進に関する法律（女性活躍推進法）



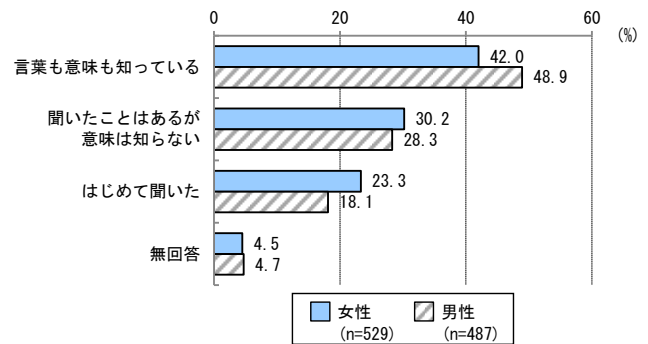
⑥女子差別撤廃条約



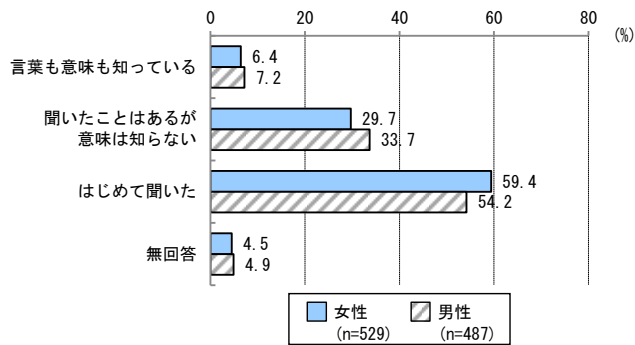
⑦ジェンダー（社会的・文化的に形成された性別）



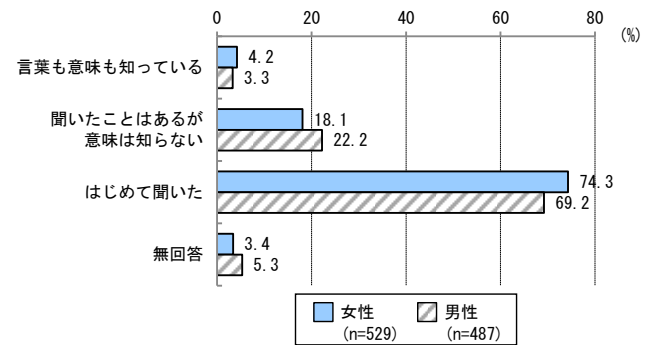
⑧ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）



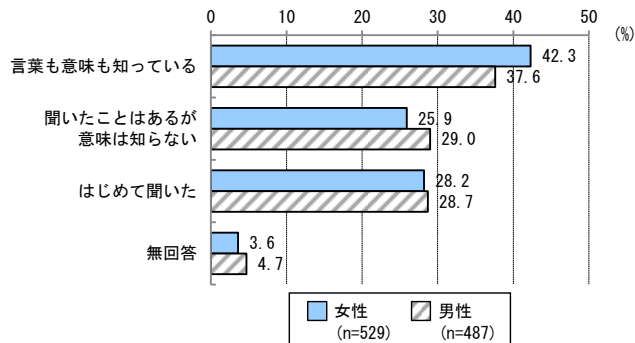
⑨ポジティブ・アクション（積極的格差是正措置）



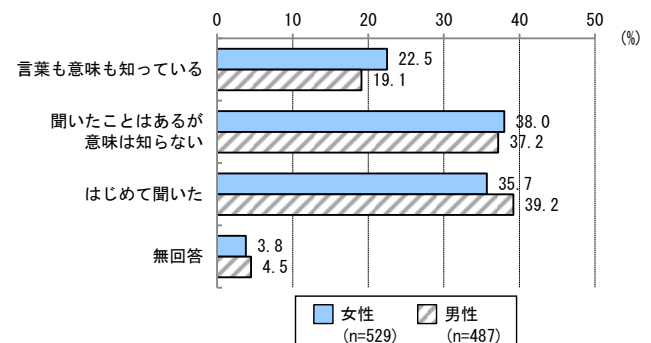
⑩リプロダクティブ・ヘルス/ライツ（性と生殖に関する健康と権利）



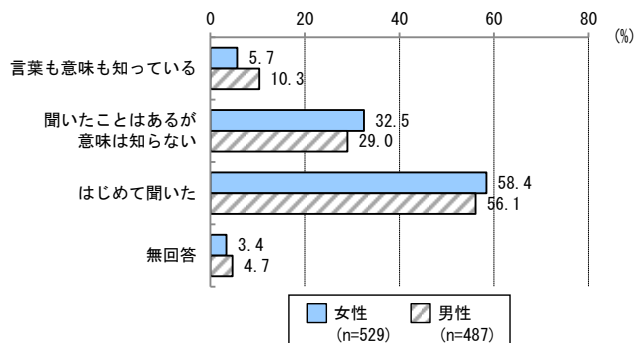
⑪ LGBTQ



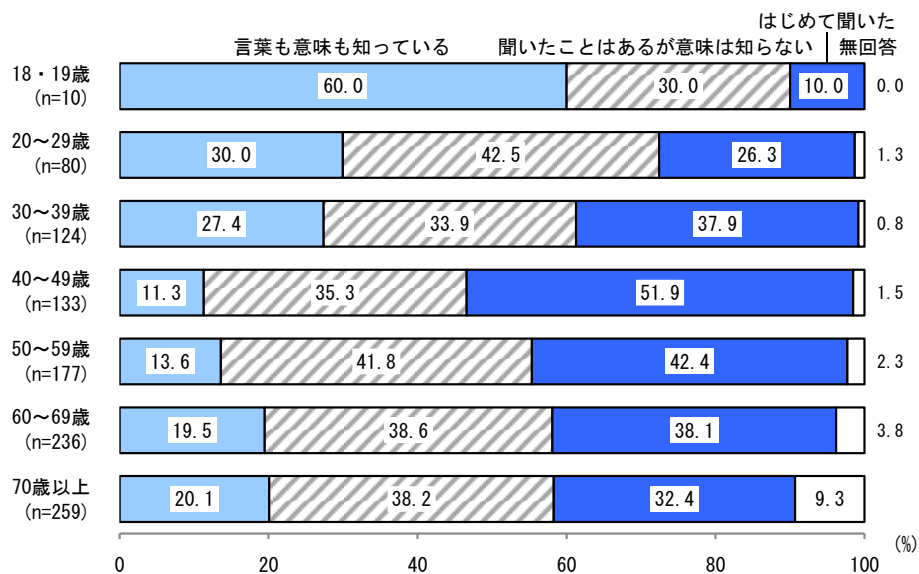
⑫ジェンダーアイデンティティ



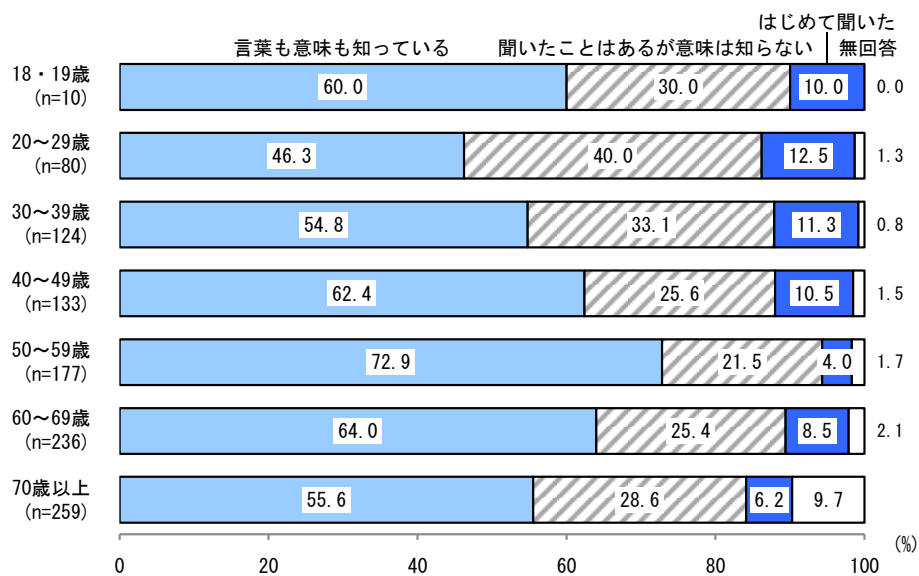
⑬太子町男女共同参画プラン



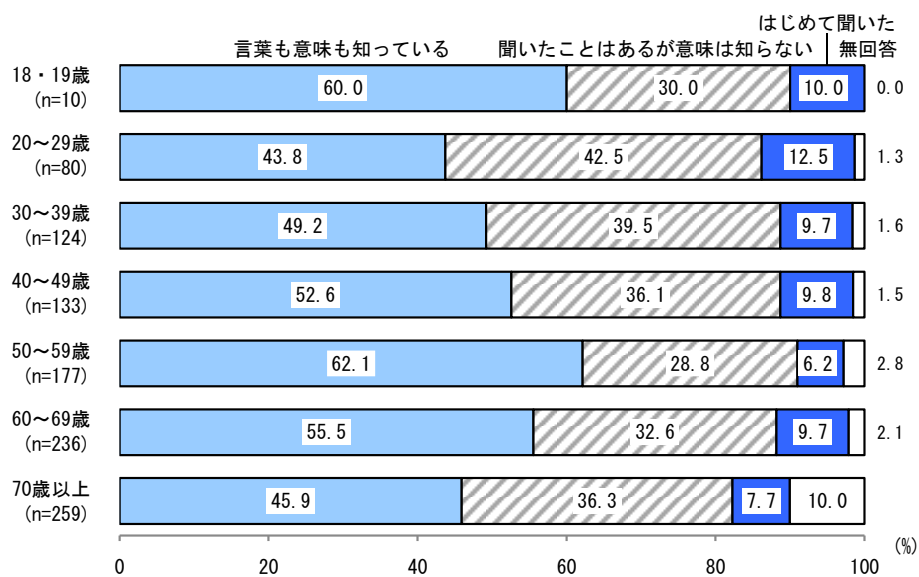
・「①男女共同参画社会基本法」について年代別にみると、20～39歳で「言葉も意味も知っている」が約30.0%を占めています。一方で、40～49歳で「はじめて聞いた」が51.9%と高くなっています。



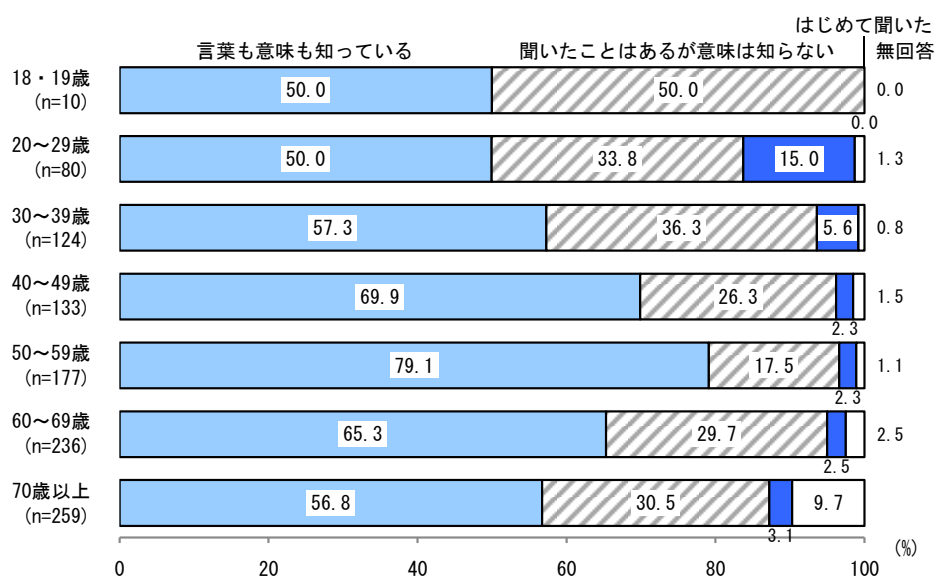
・「②男女雇用機会均等法」について年代別にみると、50～59歳で「言葉も意味も知っている」が72.9%と高くなっています。



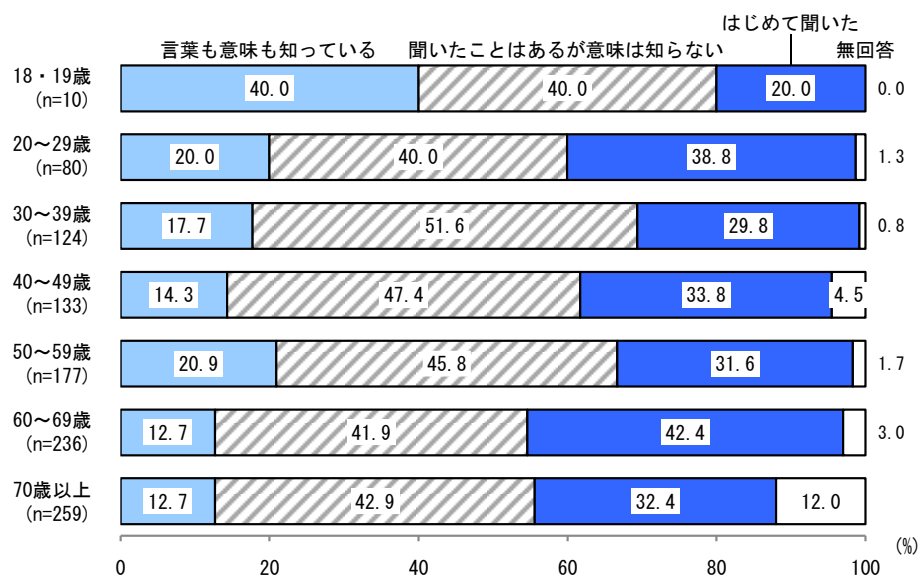
・「③配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護等に関する法律(DV防止法)」について年代別にみると、50～59歳で「言葉も意味も知っている」が62.1%と高くなっています。



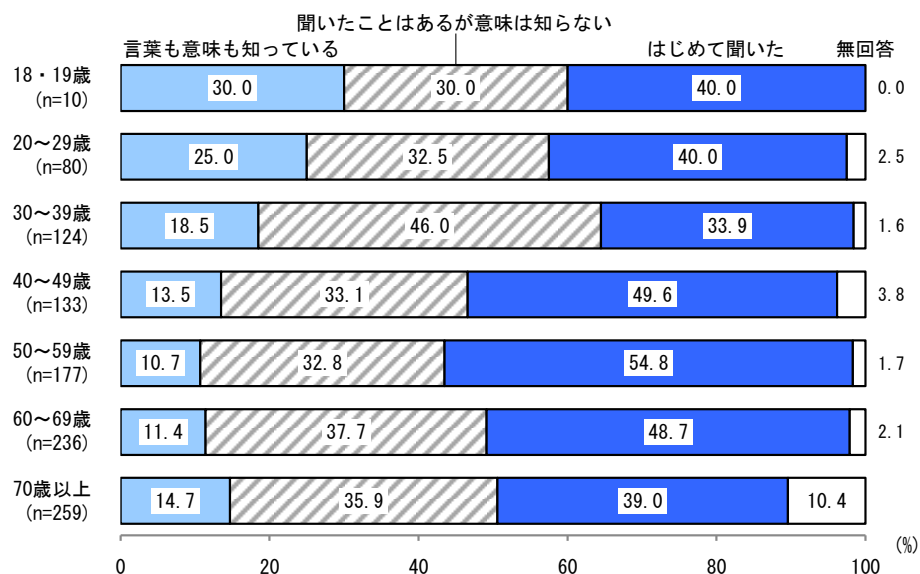
・「④ストーカー規制法」について年代別にみると、50～59歳で「言葉も意味も知っている」が79.1%と高くなっています。



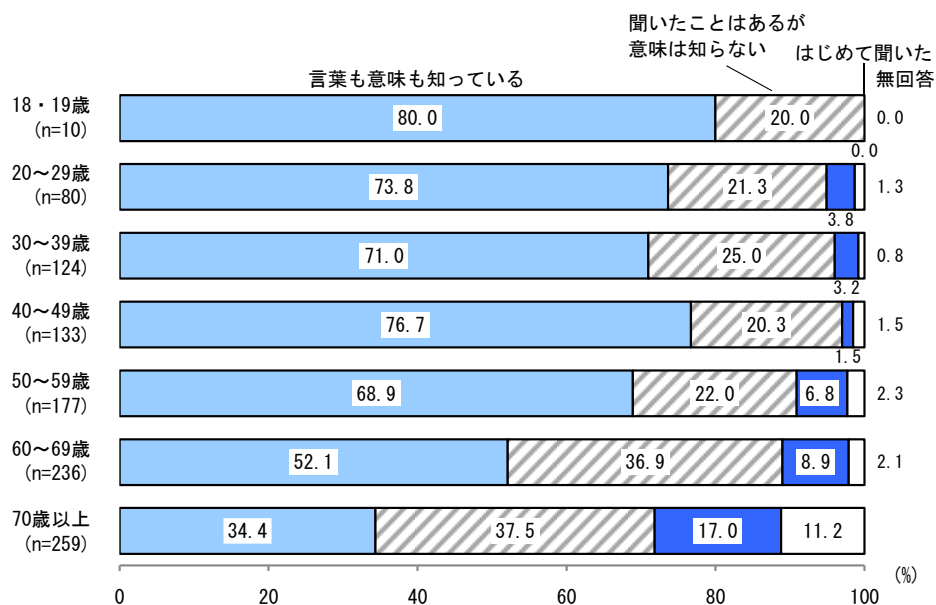
・「⑤女性の職業生活における活躍の推進に関する法律(女性活躍推進法)」について年代別にみると、60～69歳で「はじめて聞いた」が42.4%と高くなっています。



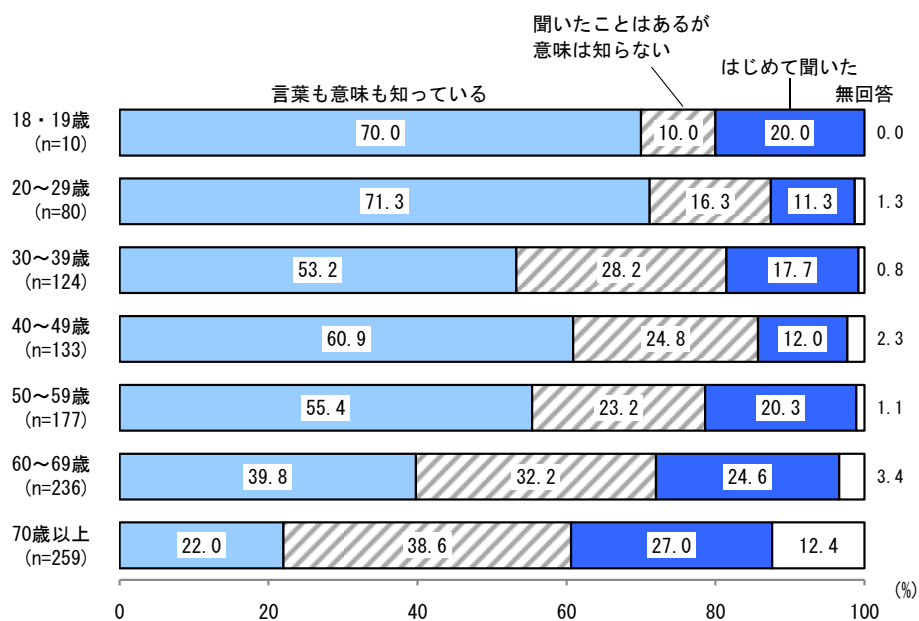
・「⑥女子差別撤廃条約」について年代別にみると、50～59歳で「はじめて聞いた」が54.8%と高くなっています。



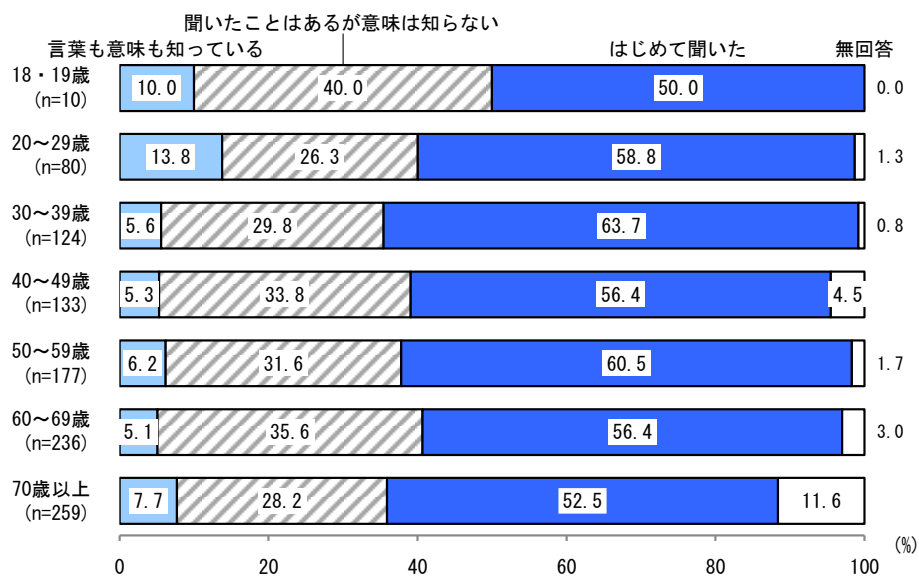
・「⑦ジェンダー(社会的・文化的に形成された性別)」について年代別にみると、20～59歳で「言葉も意味も知っている」が約70.0%を占めています。一方で、70歳以上で「はじめて聞いた」が17.0%と他の年代より高くなっています。



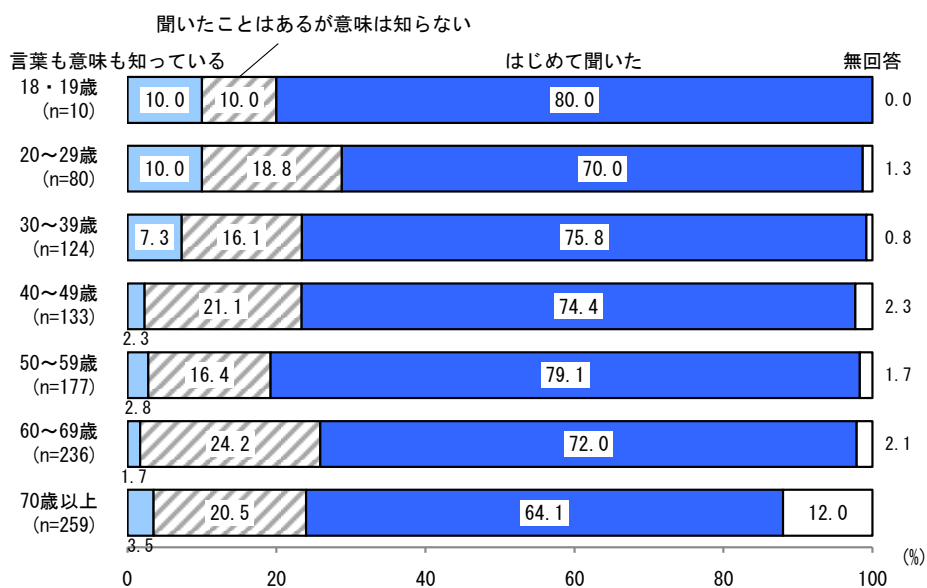
・「⑧ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)」について年代別にみると、20～29歳で「言葉も意味も知っている」が71.3%と高くなっています。



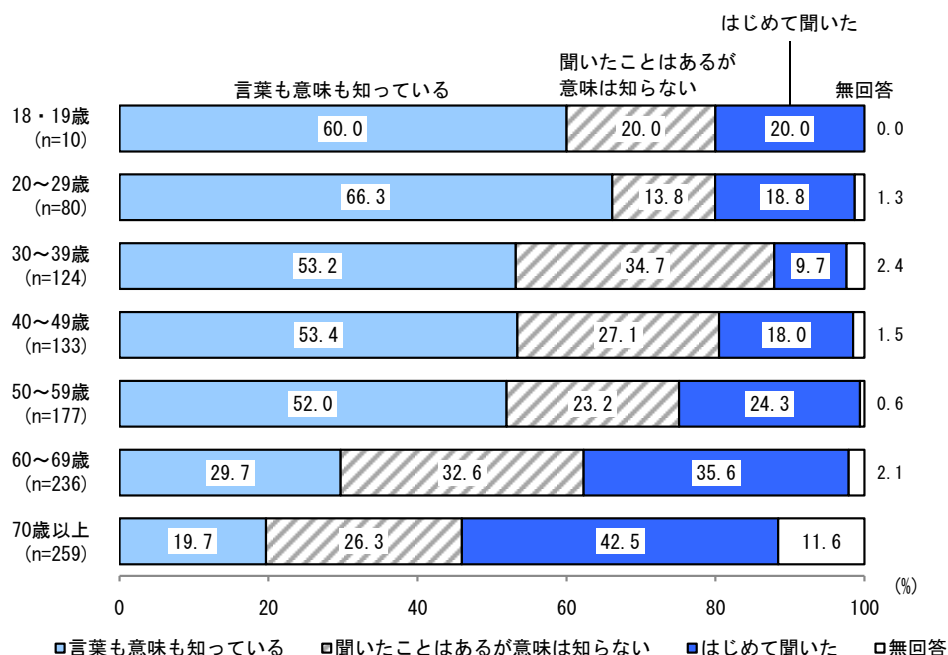
・「⑨ポジティブ・アクション(積極的格差是正措置)」について年代別にみると、20～29歳で「言葉も意味も知っている」が13.8%と他の年代より高くなっています。



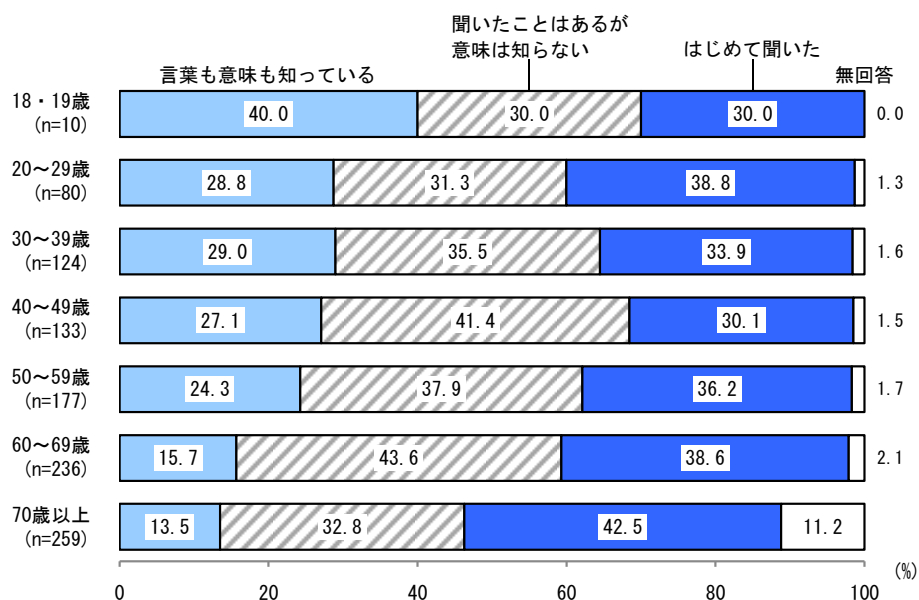
・「⑩リプロダクティブ・ヘルス/ライツ(性と生殖に関する健康と権利)」について年代別にみると、50～59歳で「はじめて聞いた」が79.1%と高くなっています。



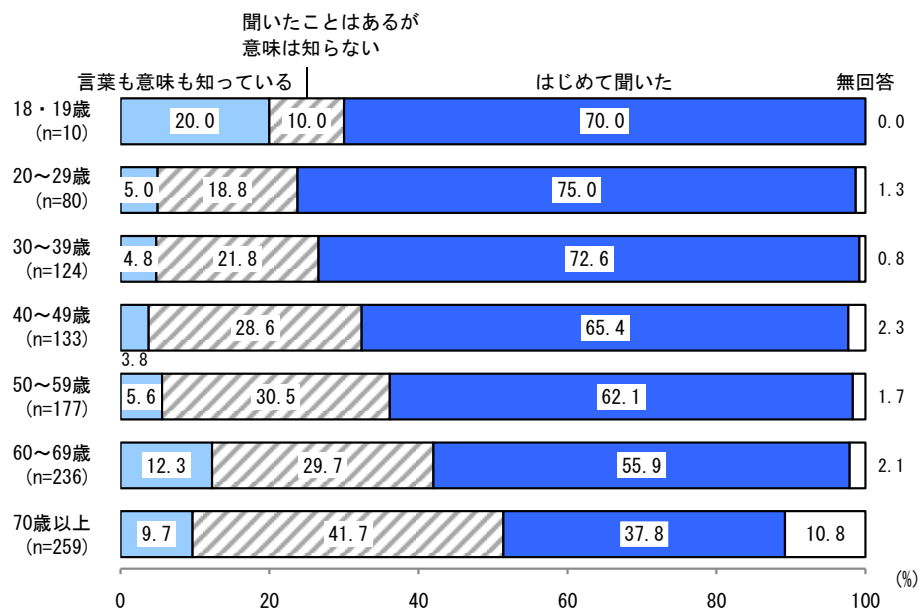
・「⑪LGBTQ」について年代別にみると、20～59歳で「言葉も意味も知っている」が50.0～60.0%を超えています。一方で、70歳以上では「はじめて聞いた」が42.5%と高くなっています。



・「⑫ジェンダーアイデンティティ」について年代別にみると、30～39歳で「言葉も意味も知っている」が29.0%と他の年代より高くなっています。また、60～69歳で「聞いたことはあるが意味は知らない」が43.6%と高くなっています。



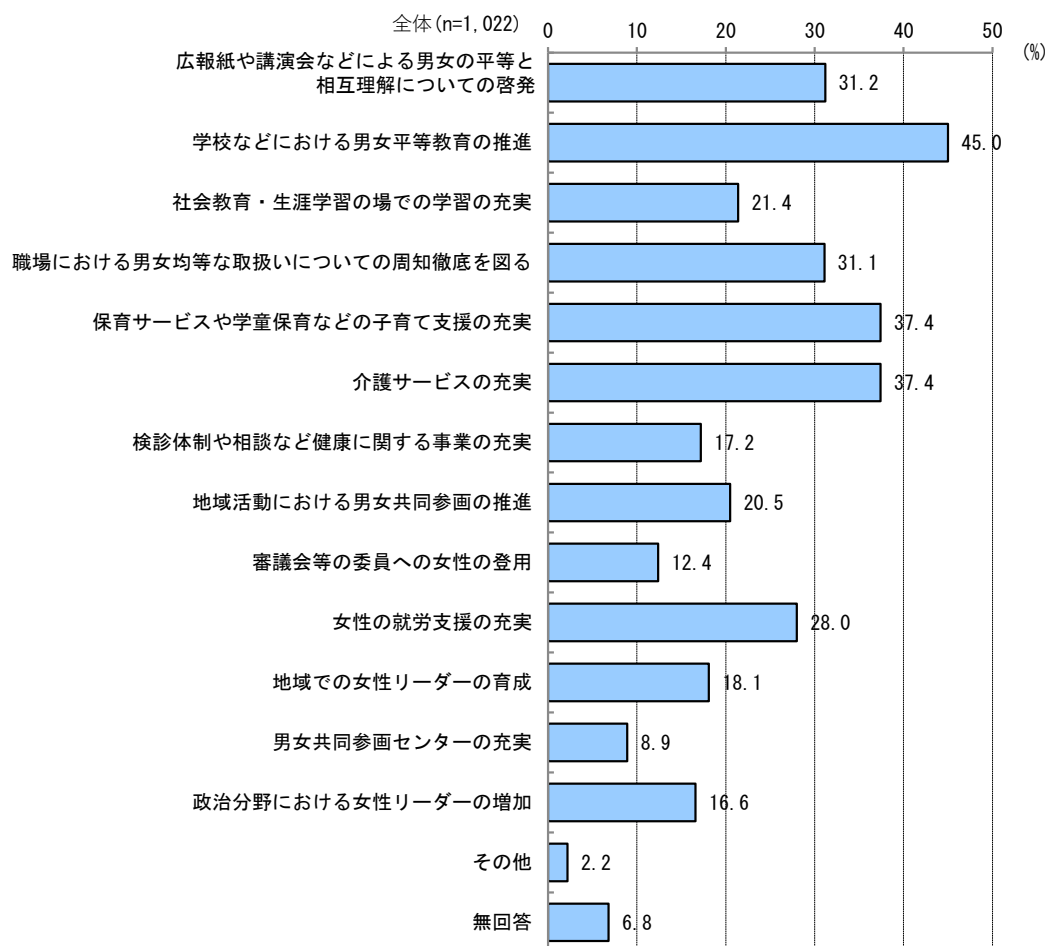
・「⑬太子町男女共同参画プラン」について年代別にみると、20～39歳で「はじめて聞いた」が70.0%を超えています。一方で、60～69歳で「言葉も意味も知っている」が12.3%と他の年代より高くなっています。



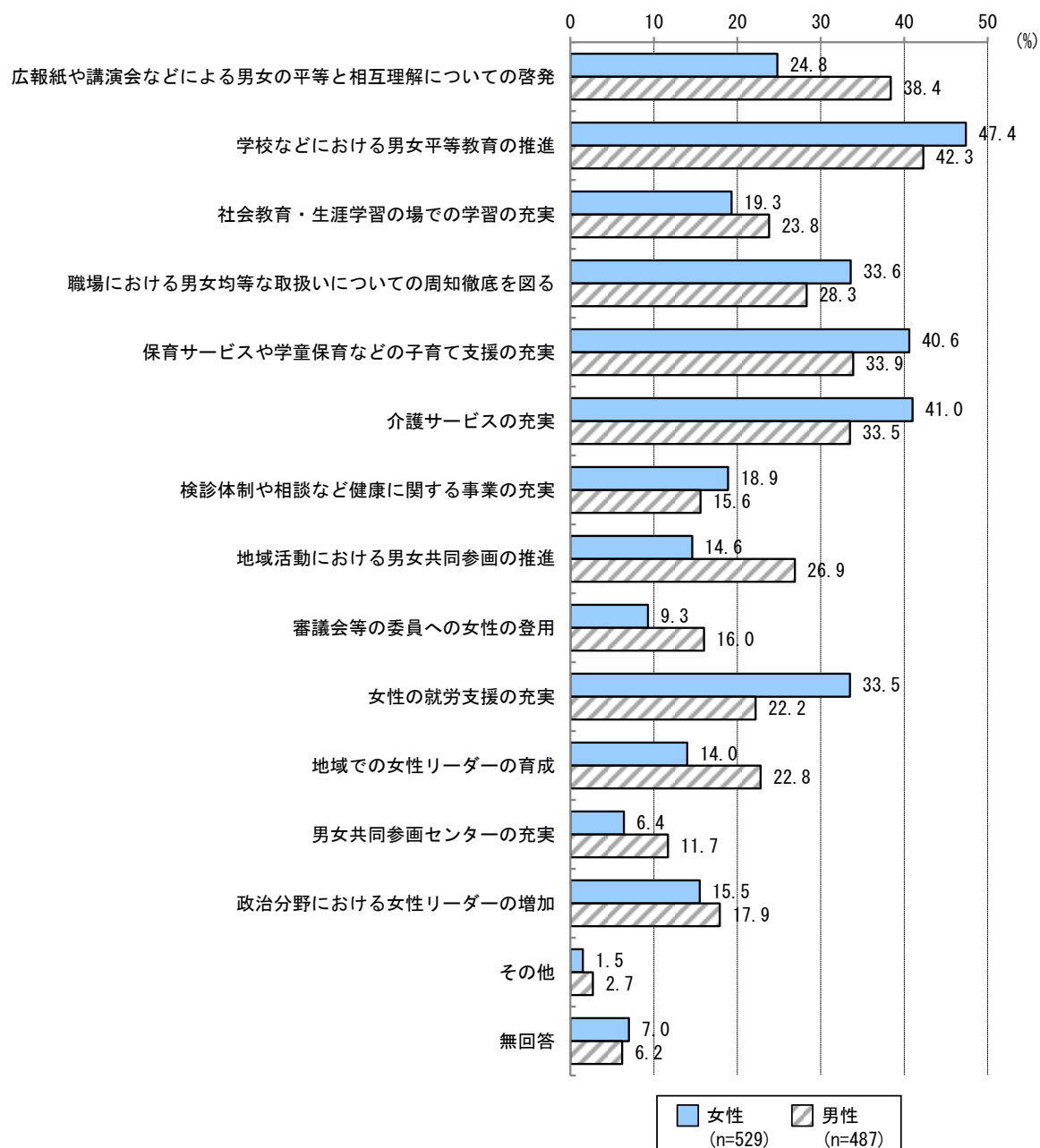
問44 男女共同参画の推進に必要なと思う施策

問 44. 男女共同参画社会を実現するために、今後、太子町ではどのようなことが必要だとお考えですか。
(〇はいくつでも)

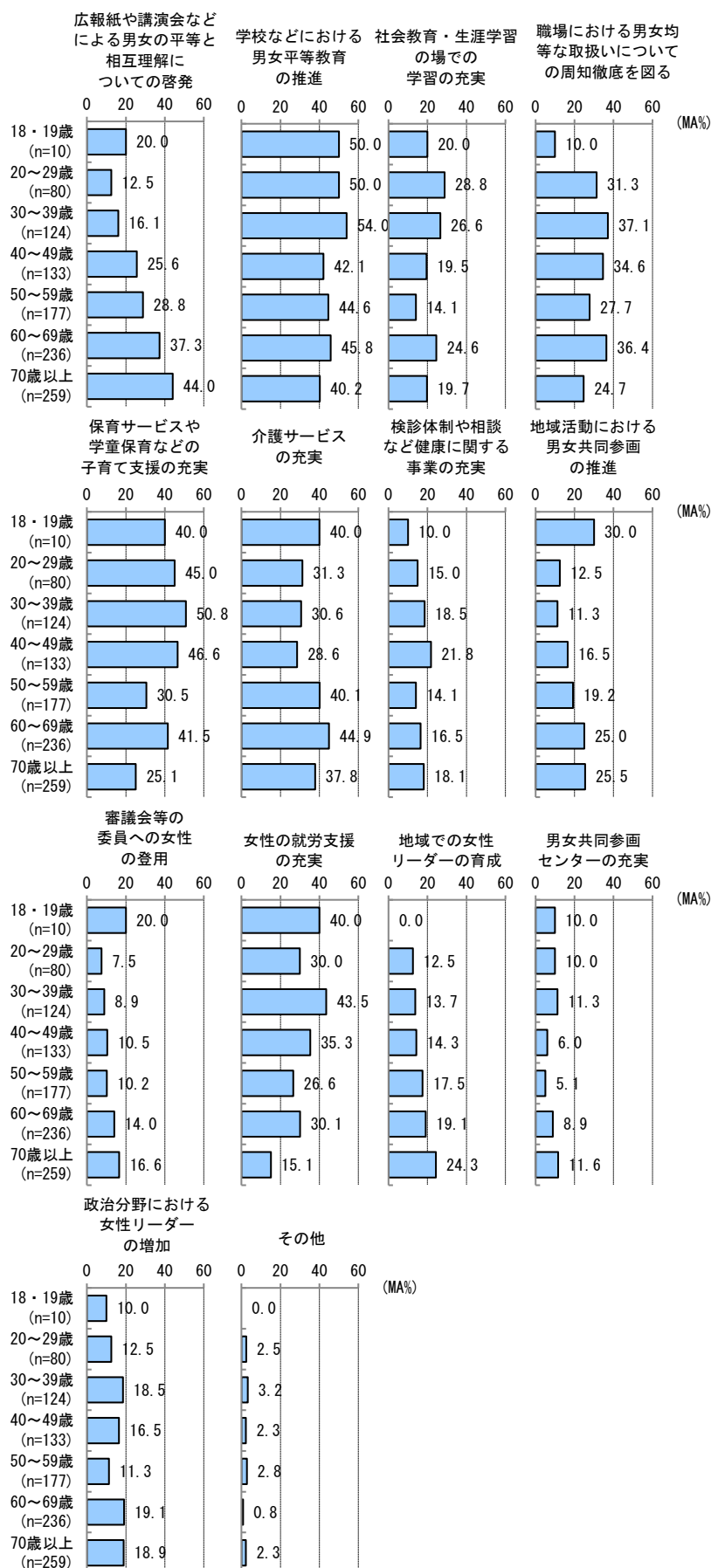
・男女共同参画の推進に必要なと思う施策については、「学校などにおける男女平等教育の推進」が 45.0%と最も高く、次いで「保育サービスや学童保育などの子育て支援の充実」と「介護サービスの充実」がともに 37.4%、「広報紙や講演会などによる男女の平等と相互理解についての啓発」が 31.2%となっています。



・性別にみると、女性は男性よりも「女性の就労支援の充実」と回答する割合が高く、11.3ポイントの差があります。一方で、男性は女性よりも「広報紙や講演会などによる男女の平等と相互理解についての啓発」と回答する割合が高く13.6ポイントの差があり、「地域活動における男女共同参画の推進」では12.3ポイントの差があります。



・年代別にみると、30～39歳で「保育サービスや学童保育などの子育て支援の充実」が50.8%と他の年代より高くなっています。また、70歳以上で「広報紙や講習会などによる男女の平等と相互理解についての啓発」が44.0%と高くなっています。



Ⅲ 自由意見

○ 男女共同参画の推進に必要なと思う施策

今後の太子町のまちづくりや男女共同参画社会の実現に向けた取組について、ご意見・ご要望があればどんなことでも結構です。ご自由にお書きください。

・意見の詳細

意見の詳細については、下記の通りとなっています。

※いただいたご意見の内、一部を抜粋して掲載しております。

【男性 18・19歳】

・子供には、子育て支援センターや、あそびっ子などがあり、老人には、ふれあいサロンなどがありますが、障がい者が地域で集まって活動する機会が無いのでそういうことも考えてもらいたいです(大人になってからのデイサービスや移動支援を増やしてもらいたい)。障がい者が使えるサービスを充実してほしい。障がい者や、家族が役場に意見を言える機会を増やしてほしい。

・お年寄りだけでなく若者、子どもが住みやすい町をつくって下さい。

【女性 18・19歳】

・お互いがお互いを認め合おうという姿勢が大切だと思います。少しずつでも男女平等社会が進められたらいいなと思います。

・家族を亡くしたときに役所で行う様々な手続きを1ヶ所でできるようにしてほしいです。

【男性 20～29歳】

・道路渋滞地域の解消に向け、早期に取組んでももらいたいです。交通の利便性を活かし、土地の有効活用を進め、今の内に住民が住み続けたい町を作る必要があります。

・このアンケートの結果はどのように活かされるのでしょうか？町会議員の女性の比率が下がってしまったことが気かりです。

・祭りの参加勧誘はしつこくしないでほしいです。

・議員報酬を削減し、年収400万以下の人々がどのように”人間らしい生活”を送れるか考え、本当に必要な、お金、支後サービスを充実できるように、”目にみえる”改革を行って下さい。心からお願いします。

【女性 20～29歳】

・空き家や荒れた田畑が多いです。土地利用について見直してほしい。

・私は今の仕事が好きです。でも、結婚をして子どもが生まれたとき、どうしても女性ばかりが育児するのは違うと思います。1人目の子どもならなおさらだと思います。だから私が出産をするころには、男性も育児休暇を当たり前に取りれる日常が来ることを願っております。

・性別関係なく誰もが暮らしやすい社会を願ってさまざまな取組ができればいいなと思っています。

- ・質問の数が多すぎます。こんなにたくさんの質問をするのであれば謝礼があってもいいと思います。分厚い冊子で書きにくいのでWEBアンケートにしてほしいです。
- ・保育園に入れなければ、女性は働くことができません。待機児童をなくすことが1番です!早急に!
- ・明石市の子育て支援を見習って、支援サービスを充実させてほしい。0歳児の見守り訪問「おむつ定期便」のようなことをしてほしい。近くに電車が通っていないのでまだまだ先のことだが老後が不安。たつの市の乗りあいタクシーのようなものが充実したらいいのに。近所の公園が空き地のようなものか、さびれた所しかなく幼児を遊ばせる場所がなかなかなくて困っている。2号線が混んでいて不便なので片側2車線にしてほしい
- ・太子町は子どもの頃から住んでいて、適度な自然やスーパーの数など暮らしやすいです。しかし、最近夜バイクの騒音がひどい時が多いです。難しいかもしれませんが、改善につなげていただけると幸いです。

【男性 30～39歳】

- ・この調査がWEBでないのがありえない。もっと今のいい所を太子町にも取り入れてほしい。
- ・そもそも本当に全ての女性が社会に参画(主に仕事)したいのか、仕事を本当はしたくないけど、家庭の状況的に仕方なく社会(仕事)に参画しているのではないかとも思う。もっと仕事か家庭かを自由に選べる世になってほしい。
- ・水道代や税金などをQRやクレジット決済させてほしい。口座もネットバンクを使わせてほしい。まともな耳鼻科がほしい。
- ・石海地区に公園を作ってください。石海の学童施設を新しくしてください。ちゃんと子どもを安心して預けられる場所にしてください。
- ・「男女共同参画社会」という言い方がだめだと思う。
- ・観光について、もっと新しいことも打ち出せばよいと思います。歴史的な物はたくさんあるのだから、これまでと違ったおもしろい取り組みも何かできると思います。
- ・JRの駅を太子町にも開設してほしい。もしくはバスの充実した運用をしてほしい。
- ・子育て世帯(特に就学前の子どもがいる世帯)が働くためのバックアップ、保育事業の拡充を希望します。病院保育や、シッター利用費用の補填なども、現在の制度では各々の負担によるものが大きいと思います。
- ・取組おつかれさまです。アンケートをもとにどんなことに活用されたかお知らせがあれば、アンケートに答えた人も納得しやすいと思います。

【女性 30～39歳】

- ・共働きをしている核家族が多いので、会社内で必ず男性の育児休暇の徹底をすることによって女性だけがしんどい思いをしない社会にする。母子、父子の場合は、ベビーシッターが電話をしたらすぐ来るような手軽なシステムにし24時対応できるようにする。4人以上の子を持つ核家族や母子、父子のための子育て支援の充実とその親の精神的カウンセリングの徹底。母子、父子だけの集い(カウンセラーも含む)。
- ・糸井高田橋の建設について再度説明をお願いします。決定後に引っ越してきたので、橋ができる程度しか知りません。線路南に住んでいますが柿ヶ坪踏切がなくなった場合、駅までどうやって行けばいいのでしょうか。太子町の保育園はほとんど18時までなので預けることができません。19時までにしてほしいです。
- ・糸井地区で、糸井北の老人会が同じ糸井地区内への差別、偏見を持っていて迷惑している。来年度から子ども会も別にする事になったなど、そのような現状があることを太子町として把握してほしい。

- ・子どもたちの遊び場が極端に少ない。小学校の校舎が古すぎる。
- ・役場跡地を活用して、子どもの遊び場にしてほしい。東中の自転車通学を許可してほしい。暑さが昔に比べて厳しいため、特に真夏は気の毒です。部活なども徒歩のため熱中症が心配。学童を全土曜日も開園してほしい。土曜日出勤があるが、第2、4、5土曜日は毎回休み希望出しているため。
- ・近所の子が道路で毎日遊んでいて、毎日轢かれそうになっていて危ないので、小学校などから注意してほしい。人の家の敷地にもよく入っている。町内放送が聞こえにくいし、回覧板は回ってくるのが遅いので太子町でアプリを作してほしい。自治会で盆踊りや播州音頭をしようとする動きがあるが、共働き世帯が多いのに必要？と思った。近所とのつながりを大切に思うなら、今の時代が求めるものはもっと他にあるのではないのでしょうか？明石市のように頑張ってまちづくりをしてほしい。
- ・道や歩道の間にある側溝が危ないと感じています。
- ・1人親制度はあるが、手当を打ち切られた。「収入があるから」といっても、共働きの人たちほど収入があるわけではないので、見直してほしい。
- ・近隣市区町村で給付金がある時は、太子町も給付金を出してほしい。道路の整備をしてほしい。
- ・いつもありがとうございます。今後も太子町が住みやすいよりよい市になるようどうか、よろしくお願いいたします。
- ・ゴミ捨て場が遠いので近くに作ってほしい。
- ・1人暮らしだと、地域とのつながりが全くないです。近所の方の名字も知らず、自治会活動に参加してみても全員知らない人で、その人たちはすでにコミュニティができていて結局孤立してしまいました。何か思っていることがある人でも、それを言う機会がなければ言えずに終わります。広報や公的なSNSに意見を言いやすい状況をまず作ってほしいです。
- ・町内全ての保育園の使用済オムツの持ち帰りの廃止、給食の白ご飯の持参廃止(とみのおか保育園)。お弁当持参デーの日数を少なくするのを、検討してほしいです。
- ・私は古い考えの者で、「男が働き、女が家を守る」という概念を捨てきれずにいます。家庭の形は様々なので、その家庭によって価値観も違いますから、役場の方々も大変だと思いますが頑張ってください。
- ・子育て支援を充実させてほしい。待機児童となれば働きたくても働けない。保育園によって教育の差がある。就学時に困らない程度に学習面での教育をしてほしい。年の差のある多子家庭でも保育料無料か減免にしてほしい。未就学児のみの家庭でも第1子、第2子と数えるのはやめてほしい。他の市町村はもっと子育て対策に力を入れて取組まれていると思います。経済面での補助があれば仕事をフルでなくても働けて、子育ても自分でできる時間をもっと取れるようになると思います。

【男性 40～49歳】

- ・小学校の学童に、障がいがある児童を優先的に受け入れてほしい(職員不足が理由で難しいと言われた)。
- ・私の住む自治会では高齢化が進み今後亡くなる人も増えると思いますが、若い人が入って来るわけでもなく不安になります。調整区域の土地も多く、家が建つ事もなく若い人がいないので、子どもも少なくなっていく状態です。何か変化させないとこの先は無いと思います。
- ・公共交通機関(特にバス)に困る事が多いです。南北を結ぶ交通機関があれば助かります。ご検討をお願いします。

・女性が活躍できる社会の実現には、個々の考えを尊重しあえる社会をつくる必要があります。男性も女性もそれぞれ生活の中で重きを置くものが違うので、それが、仕事・キャリア、家庭、子育て…もしくは、キャリアと子育てなど、「どちらも充実させたい」という考えの人もいるので、それぞれが望む生活をかなえられるフォローを自治体にしてもらえたらと思います。

・どんな活動にしても男女の偏りはでるものだから、慣習と言って排斥するのも、平等と言って無理に矯正するのもやりすぎだと思う。少数派が不安、不便なく参加できる状態であればそれでいいと思う。

【女性 40～49歳】

・公立の保育所、又はこども園を増やしてほしい、町内の子ども園は私立が多く、様々なものへの出費が多くかかると共に、遊びから学ぶというより就学前にお勉強したりお稽古ごとに近いものになっていたりするように感じる。子どもの生きる力を育むためにも公立を増やしてもらいたい。

・たつの市は、子育てや高齢の方への対策が太子町に比べて多いのではないかと思います。子育て世代にとって住みたい町、高齢者世代にとって住んでよかった町になるように取組をお願いします。子どもたちも、イベントや楽しみながら英語に触れる機会がたつの市では多いと思います。

・自分が生まれ育った太子町で子育てができていることを幸せだと思います。今も変わらず、住みやすい町ですが、昔と比べると田んぼや畑が埋め立てられ住宅地がどんどん増えました。色々な住宅メーカーが田んぼを買って住宅地にするので、町に統一感がなく、町並みが残念です。赤穂市の町は整備されているので、あんな町並みを目指してほしいです。小学校は4校ありますが、生徒の数の偏りがあるため、もう少し分散してみんなが平等に教育を受けられるように考えていただきたいです。

・太子高校の学力レベルを上げること。太子町から優秀な人材が流出しているため、地元においても高いレベルの教育を受けられるようにしなくてはならない。電車通学しなくても、近所でトップ校の授業が受けられるコースの設置があればよい。学生の通学負担、交通費の負担を減らせる。学習時間を増やせる。県立なので町としては動けないかもしれませんが…。

・市街化調整区域の見直し。地区によって子どもの数に偏りがある(子どもが増えない)。

・女性リーダーや女性が今まで以上に頑張ることよりも、まちづくりなど社会的な活動においては、男性(若手)がもっと積極的に関わることにに対して社会が理解を示すべき。

・龍田地区の調整区域をなくして、新しい家を建てられれば人口も増えるし子どもも増えると思う。

・高校生も医療費無料にしてほしいです。

・本当に困っている人が、いつでも相談できたり(広くオープンな受け皿)、有識者の助けを借りられたりする町になってほしい。

【男性 50～59歳】

・ボランティア活動に対する評価を高校の入試の評価にする。子どもの頃からボランティア精神を育めば、次の世代へとつながる。ボランティアを通してまちづくりや参画社会の必要性を学んでくれればよいと思う。

・性差により被害や不利益を被っている人の現実や状況を見つめる目を持ち、本当のあるべき姿を個々人が思考していくことが求められている。

- ・これまで男性が前に出て動いてきた社会をスピーディーに男女共同参画社会にするためには、混乱することがあっても、一定期間男性が後方にまわり、女性が男性より前に出て動く社会を作る必要がある、政治においても、地域活動においても。ある程度普及したら、男性も前に出てきたらよい。
- ・現状、自主的な自治会、社会活動への参加を待っているとどうしても男性の割合が多くなってしまいがちになる。まず自治会単位、隣保単位から女性の参加割合を増やす必要があると思う。隣保長協議員の女性参加を促す策が必要だと思う。
- ・素晴らしいプランが策定されることを期待します。
- ・男女共同参画社会への取組はいいと思うが、自治会内での女性の参加を強制的に近い型で参加させるのはあまり好ましくないと思う(男性も同様)。本人が進んで参加できるような体制にしてほしいと思います。
- ・少子化対策もいいが、老人のことに力を入れてほしい。

【女性 50～59歳】

- ・車いすのレンタルをしてもらえることは嬉しい。感謝している。ただし、手帳がないと福祉サービスを利用できなかったり、高額な費用がかかったりする影響で、諦めて不自由な暮らしをしている人もいる。1人1人に、本当に困っている人を見落としている。家族の負担もかなりあり、家族も体調を崩してしまうこともある。
- ・出産子育てについてたつの市は色々な助成があって充実している。太子町も町内に産科がないことをふまえてもっと積極的に助成して欲しい。
- ・お墓の管理が負担にならないように、太子メモリアルパーク内に共同納骨堂を建ててほしいです。
- ・歩道や道路の整備、段差をなくしてほしい。太子町は道が古くさい!渋滞ポイントの右折レーンの新設(大和会館南北の道)。東保の信号南北の道の時間が短すぎる。おしゃれな店が増えれば若い人がたくさん来てくれそう。空き家のリノベーションでいくつかのお店が入居して開業したら、人が集まって地域の人のコミュニケーションの場にもなりそう。地域の人には、買い物できる店がたくさんあって便利だが、近効の人達が来てくれそうなおしゃれな店は全然ない!景観も雑然としている!きれいな町並みになれば人が来てくれるのでは?
- ・男女共同参画というものにまだ興味がないので、要望はありません。今は、仕事がしたいけれど夫の扶養に入っている影響で思うだけ仕事ができない。でも今の仕事は好きだから変えたくなくて、この雇用制度はなんとかならないものか、と常々思っています。「夫の扶養」という制度自体、平等ではない気がします。
- ・水路に蓋がないところが多いため、危険だと感じます。落ちたという話もよく聞きます。柵か蓋をつけて、落ちないように対策をお願いします。
- ・男性、女性で考えるのではなく、1人の人間としての考えを尊重して、女性にしかできないこと、男性にしかできないこともあるので、まずはそこを大切にする。その上で、個人の能力を伸ばしていく取組が大切だと思います。「仕事も、家庭も、子育ても、社会も」と女性への負担が大きすぎて「女性の幸せ」が制限されているように思います。なので、結婚して子どもを産んで育て。また、社会復帰できるような社会をつくるのが希望です。人はいつまでも必要とされたいです。人を助けたい気持ちを持っていると思います。
- ・子どもたちがボールでたくさん遊べる場所があればいいと思います(バスケットゴールとかあればいいなど)。
- ・とくに農家の多い古い地域では、男尊女卑や年功序列がひどいのでその世代が消えないとなかなか難しいと思う。
- ・自分の住んでいる地区の自治体の同じ班の年配者の方々(昔からいる人たちが)がどうしても合いません…まちづくりなども協力したいですが、そんな方々がいる太子町を好きになれなくて…とてもしんどいです…。

- ・子ども園などの充実も大切ですが、在宅で子どもを見ている親子のための施設が1つしかなく、質が悪すぎると思います。近隣の市を見てもっと勉強、向上すべき!!
- ・男性に、柔軟な考え方ができる人が少ないのでは…「女性は外で働いて、家でも働いて、それが当たり前」と思っている人が多くありませんか。
- ・小・中学校のPTA・子ども会への不介入がひどすぎるし、今まで通りばかりで、状況にあっていない。正直、集金や配布物は個人情報を広めたくないのであれば学校でやればスムーズで合理的だと思います。今は、母同士でもつながりは薄く、女性もみんな仕事や育児で疲れきっている上に負担になっているし、女性ばかりがやらないといけなくなるのは学校のせいとしか思えない。学校が女性(母)に負担を強いるのは本末転倒でしょう。それで平等を教育するとか言われても…すぐにでも改善してほしい。

【男性 60～69歳】

- ・村の当番についてだが、毎週当番がある。いいかげん当番制をやめて、各自治会長・副会長がプラの袋を出してほしい。袋の後片づけは、回収の人がしてくれているが毎回出るのが難しくなることがある。
- ・女性本人に実力があってリーダーになられる場合はいいと思うが、むりやり「女性、女性」と言うのはおかしいと感じる。
- ・女の人でも町長選に出てください一票入れます。
- ・太子町南部に公共施設を作る。これから人口割合が増加する老人によって住み良い太子町としてほしい。85歳以上の高齢者を訪問し生活環境を問題ないか確認。
- ・町としての「パートナーシップ制度」の条例化。
- ・60歳定年後に再就職し、契約社員として相生市内で働いています。姫路の方も考えましたが渋滞などで交通の便が悪く断念しています。太子町内で再就職したいのですが、大きな企業がなく、就職先があったとしても時給が安く、あまりいい条件ではありません。年金を受け取るまでの期間、少しでも条件のいい職場で働きたいと思うので、雇用環境の整備など(雇用先の斡旋、時給の見直し)を進め、老後も安心できる環境を整えてほしい。(収入が少ないのに税金が高い)。
- ・現在、農地が宅地化され、新しい家がどんどん建っている一方で、空き家が増えていると聞いています。将来的に太子町も人口が減ってくると思うので、今建っている家も空き家になって、空き家だらけの町にならないか心配です。太子町に若い人に住みつづけてもらえる方法を考えるとともに、空き家対策にも力をいれてもらうことが必要じゃないかと思います。
- ・まちづくりについては、地域の特性を活かしたまちづくりが必要と考える。

【女性 60～69歳】

- ・私は現在常勤で、介護施設で働いています(計画作成担当者)。高齢になっても立派な技能をお持ちの方が沢山いらっやって、家におられます。身体に問題なくお元気な方が就労出来る場を作っていただききたい。よろしくお願いします。
- ・住みやすい太子町を願います。
- ・太子町は店がたくさんあり生活しやすいが、子どもや孫達を遊ばせられる広い公園のように、休みの日にお弁当を持って家族で低予算でも遊びに行ける所がほしかった。もう子どもも孫も成長したから行くことは無いけど、近くにあればよかったといつも思っていた。

- ・アンケートも重要ですが、しっかり活用して欲しい。また、アンケートによって何か対応されたのなら結果が知りたい。
- ・介護サービスにおいてタクシー券は、太子町の高齢者全員に配布されるべきである。介護保険を納めているので平等に配布されるべきである。
- ・自転車専用レーンを作ったのはいいことですが、後の整備がまったくされていない。「何かしても後は放置」というのはよくないと思います。
- ・ホームページなどは、町民が検索をかけないと情報を知りえません。知らないことに関して、情報を知ることができるのは、やはり広報誌の存在だと思います。これからも、町民の生活がより充実するような情報発信を期待します。「こんな時はどうしたらいいか」のQ&Aも待っています。あと、本題からは外れますが、大人になって悪ふざけをしている動画について、子どもの頃にしているいいことと悪いこと、倫理・道德の教育が必要かなと思います。
- ・田園風景とJR利用の利便性のバランスがよく住みやすいと思っていましたが、最近地区の南側にたつの市から太子町、太子町から姫路市へと貫通予定の道路が整備され始め、昼夜問わず大型トラックの騒音と振動に地震かと驚くことが増えた。以前のような落ち着いた住環境を取り戻してほしいと思います。

【男性 70歳以上】

- ・女性が仕事をしたり、地域活動に参加したりするのは現時点ではハードルが高すぎる。ハード面での支援が具体的にどのように行われているかを周知することと、家庭や職場での意識改革は本当にできるのか疑問。ある程度の強制力とこれから子どもへの平等意識の植えつけが必須。
- ・アンケート調査はもっと部数を少なく。
- ・財政上の問題もあり、難しいとは思いますが、交通安全上の観点から道路整備にも尽力いただければありがたいと思う(特に通学路を優先していただきたい)。
- ・特に女性に限定することなく、自然に女性が参画できる環境を作ることが大事。
- ・元気な高齢者(70歳以上)の力を結集するためには、現在の老人会組織を根本的に見直し、町主導で1自治会1老人会を再編して、全町で老老介護が出来る体制を作ることによってこれから迎える超高齢社会を乗り切りたいと思う。
- ・太子町が今何を行っていて、今後どのように進めていくかを町民に広く伝える手段を考え、多くの人への見える化を図ってほしい(子どもから老人まで分かり易く表現する)。
- ・権利には義務が、是是非非で進めること。
- ・歩道幅が狭いところの街路樹の撤去と補修。
- ・プラン→ドゥ→シー(Plan Do See)が大切であり、行政はプランには力を入れているが今後はドゥとシー(特に)にも力を入れるべき!!
- ・広報することによる意識改革を行う。繰り返し、繰り返しあらゆる手段で行う。

【女性 70歳以上】

- ・女性の方はいざとなったら男性の方に聞いてくださいではなく自分の意見もはっきり言えるように。また、そういう場があればいいと思います。
- ・免許を返した後、病院へ行くなどのちょっとした外出に困ると思う。バスや乗り合いタクシーがあればと思う。

・自宅での焚き火で近隣の方々が洗濯物を燻され家の中も煙の匂いで困ります(特に冬場)。近所の方々も、今後のお付き合いを考えると云えず…この様な場合相談出来る窓口、対処していただける方がいるのか…教えてほしいです。

・問 43 について意味まで知っている人は少ないと思います。理解してもらうために、町報などにその意味を掲載するなどの広報をしたらどうでしょうか？

・政治分野における女性リーダーの増加。

・現実として、高齢男性の頭の中が変わらなければ何の進歩も無いと思います。

・高齢化により農地の管理に困っています。農業をめざす若い人を募集するなどの取組をしていただきたい。

・今回無作為に選ばれ、アンケート協力依頼があり、記入させて頂きましたがあまりにも項目が多く、また男女共同参画についての質問は正直記入する際困りました。日頃から関心を持っている訳ではないのでできれば関心のある方に記入していただけたらと思いました。住民の方にはこの取組は広く浸透しているのか疑問です。ただこのアンケート依頼により多少なりとも理解することができました。ありがとうございました。

IV 資料編（調査票）

太子町総合計画策定のためのアンケート調査

1. あなた自身のことについて

問 1. あなたの性別は。(○は1つ。身体的な性別、またはご自身で思われる性別をお答えください)

- | | | |
|-------|-------|--------|
| 1. 女性 | 2. 男性 | 3. その他 |
|-------|-------|--------|

問 2. あなたの年齢は。(○は1つ。令和5年7月1日現在の年齢をお答えください)

- | | | | |
|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 1. 18・19歳 | 2. 20～29歳 | 3. 30～39歳 | 4. 40～49歳 |
| 5. 50～59歳 | 6. 60～69歳 | 7. 70歳以上 | |

問 3. あなたが所属されている自治会の名前をご記入ください。

※わからない場合は、ご自宅の郵便番号
をご記入ください

問 4. あなたは結婚(事実婚を含みます)していますか。(○は1つ)

- | | | |
|------------|-------------|----------------|
| 1. 結婚していない | 2. 既婚、配偶者あり | 3. 結婚後、離別または死別 |
| 4. その他() | | |

問4で「2. 既婚、配偶者あり」以外を答えた方は問5にお進みください。

問4で「2. 既婚、配偶者あり」と答えた方におたずねします。

問 4-1. ご夫婦またはパートナーと共働きをしていますか。(○は1つ)

- | | |
|-------------|--------------|
| 1. 共働きをしている | 2. 共働きをしていない |
|-------------|--------------|

問 5. あなたにはお子さんがおられますか。(○は1つ)

- | | |
|-------|-------------|
| 1. いる | 2. いない →問6へ |
|-------|-------------|

問5で「1. いる」と答えた方におたずねします。

問 5-1. 一番下のお子さんは次のどれにあたりますか。(○は1つ)

- | | | | |
|------------------------|-----------|--------|--------|
| 1. 就学前 | 2. 小学生 | 3. 中学生 | 4. 高校生 |
| 5. 短大、大学、大学院、専修学校などの学生 | 6. 学校を終えた | | |

問 6. あなたの家族構成は。(○は1つ)

- | | | |
|-------------------|-----------|-----------------|
| 1. ひとり暮らし | 2. 夫婦のみ | 3. 2世代世帯(親と子ども) |
| 4. 3世代世帯(親と子どもと孫) | 5. その他() | |

問 7. あなたは太子町にお住まいになって何年になりますか。(○は1つ)

- | | | |
|-----------|----------|-----------|
| 1. 5年未満 | 2. 5～9年 | 3. 10～19年 |
| 4. 20～29年 | 5. 30年以上 | |

問 8. あなたの主な職業をお答えください。(○は1つ)

- | | |
|--------------------|-----------------|
| 1. 会社員・公務員など(常勤) | 2. 派遣社員・契約社員など |
| 3. 個人事業主(家族従業員を含む) | 4. パート・アルバイト・内職 |
| 5. 農林漁業(家族従業員を含む) | 6. 会社・団体の役員 |
| 7. 専業主婦・主夫 | 8. 学生 |
| 9. 働いていない | 10. その他() |

問8で「7. 専業主婦・主夫」「8. 学生」「9. 働いていない」以外を答えた方は問9～問12にお進みください。

問8で「7. 専業主婦・主夫」「8. 学生」「9. 働いていない」と答えた方におたずねします。

→ 問 8-1. 今後、仕事をしたいと思いますか。(○は1つ)

- | | | | |
|-------------|----------|-------------|----------|
| 1. すぐにでもしたい | 2. 将来したい | 3. するつもりはない | 4. わからない |
|-------------|----------|-------------|----------|

問9～問12は、問8で「7. 専業主婦・主夫」「8. 学生」「9. 働いていない」以外を答えた方におたずねします。

問 9. 普段の1週間の就業時間をお答えください。普段残業や副業をしている場合は、それも含めた1週間の合計についてご記入ください。

_____時間

問 10. 勤め先で希望する時間だけ働けるとすれば、1週間に何時間ぐらい働きたいかについてご記入ください。

_____時間

問 11. あなたの勤め先では、メンタルヘルス対策(ストレスチェックの実施、相談窓口の設置など)が行われていますか。(○は1つ)

- | | |
|-----------|------------|
| 1. 行われている | 2. 行われていない |
|-----------|------------|

問 12. あなたのテレワークの実施状況をお答えください。(○は1つ)

- | | |
|--------|------------|
| 1. 毎日 | 2. 週数回 |
| 3. 月数回 | 4. したことがない |

2. 生活環境・まちの施策について

問 13. 次にあげる項目について、①現在の生活の中でどの程度満足していますか。また、②将来に向けて重要な項目だと思いますか。それぞれについて、あてはまるものを1つずつ選んで番号に○をつけてください。

項 目	①現在の満足度					②今後の重要度				
	満足	まあ満足	普通	やや不満	不満	重要	まあ重要	普通	やや不要	不要
記入例(満足度:普通、重要度:普通の場合)	5	4	③	2	1	5	4	③	2	1
1 通勤・通学の便利さ	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
2 買い物の便利さ	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
3 公共交通(電車やバス)の便利さ	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
4 歩行者や自転車にとっての道路の整備状況	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
5 車利用の際の道路整備状況 (他市町へのアクセスを含む)	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
6 町の公共施設の整備状況(設備を含む)	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
7 ごみ処理、環境美化の体制	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
8 川や山、田畑などの自然環境	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
9 騒音、悪臭などの公害対策	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
10 まち全体の景観、雰囲気	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
11 交通安全のための取組	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
12 地震、台風などの自然災害に対する防災対策	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
13 消防、救急体制	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
14 防犯対策、防犯活動	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
15 健康づくり、介護予防	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
16 地域医療の体制	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
17 高齢者のための福祉	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
18 障がいのある人のための福祉	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
19 子育てのための施策	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
20 保育所や幼稚園、認定こども園などの整備	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
21 保育所や幼稚園、認定こども園などの保育・教育内容	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
22 小学校や中学校(教育施設)の整備	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
23 小学校や中学校の教育内容	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
24 文化、芸術活動など生涯学習の場	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
25 住まい近くの公園や遊び場の整備	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
26 広域で利用できる大規模な公園の整備	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1

項 目	①現在の満足度					②今後の重要度				
	満足	まあ満足	普通	やや不満	不満	重要	まあ重要	普通	やや不要	不要
27 スポーツやレクリエーション活動の場	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
28 人権を守るための取組	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
29 地域のつながり	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
30 地域コミュニティ活動(自治会活動など)	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
31 歴史的、文化的雰囲気	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
32 働きやすい雇用環境の整備	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
33 農業の振興に向けた取組	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
34 観光や交流の振興に向けた取組	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
35 空き家の利活用の取組	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
36 移住や地元定着の取組	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
37 出会いの場の提供などの結婚支援	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
38 住民参画のまちづくりへの取組	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
39 町の広報や広聴への取組	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
40 健全な行財政運営の取組	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
41 町職員の住民対応の姿勢	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
42 行政のデジタル化に向けた取組	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1

問 14. あなたは現在の太子町の住みよさについて、どう思いますか。(○は1つ)

- | | | |
|------------------|-----------------|--------------|
| 1. 住みよい | 2. どちらかといえば住みよい | 3. どちらともいえない |
| 4. どちらかといえば住みにくい | 5. 住みにくい | |

3. 太子町への居住意向について

問 15. あなたが太子町に現在住んでいる理由は何ですか。(○はいくつでも)

- | | |
|------------------------------------|-----------------------|
| 1. 生まれたときから住んでいるから | |
| 2. 親(子)など親族が近くに住んでいる、または一緒に住んでいるから | |
| 3. もともと配偶者が町内に住んでいたから | 4. 通勤、通学に便利だから |
| 5. 買い物、生活に便利だから | 6. 土地や住居代、家賃が安いから |
| 7. 住環境が良いから | 8. 仕事や商売の関係上、適した場所だから |
| 9. その他() | |

問 16. あなたは今後も現在お住まいの場所に住み続けたいと思いますか。(○は1つ)

- | | |
|----------------|-----------------------|
| 1. ずっと住み続けたい | 2. 当分の間は住み続けたい |
| 3. 太子町内で転居したい | 4. 太子町外に転居したい(具体的に:) |
| 5. わからない →問18へ | |

問16で「1. ずっと住み続けたい」または「2. 当分の間は住み続けたい」と答えた方におたずねします。

問 16-1. 住み続けたい理由は何ですか。(○は3つまで)

- | | |
|------------------------------------|-------------------------|
| 1. 友人や地域のつながりが大切だから | |
| 2. 親(子)など親族が近くに住んでいる、または一緒に住んでいるから | |
| 3. 通勤や通学に便利だから | 4. 買い物や生活に便利だから |
| 5. 住環境がいいから | 6. 仕事や商売の関係上、適した場所だから |
| 7. 子育て支援や学校教育に満足しているから | 8. 保険や医療、福祉サービスが整っているから |
| 9. その他() | |

問16で「3. 太子町内で転居したい」または「4. 太子町外に転居したい」と答えた方におたずねします。

問 17. 転居したい理由は何ですか。(○は3つまで) ←

- | | |
|---------------------------------|------------------------------|
| 1. 友人や地域のつながりがいいから | 2. 親(子)などの親族が住んでいる地域へ移住したいから |
| 3. 通勤、通学に不便だから | 4. 買い物・生活が不便だから |
| 5. 現在の住環境が良くないから | 6. 仕事や商売の関係上、適した場所へ移住したいから |
| 7. 移住希望先の子育て支援や学校教育が魅力だと思っているから | |
| 8. 保険や医療、福祉サービスが整っている場所へ移住したいから | |
| 9. その他() | |

4. 行政のデジタル化・生きがいづくりについて

問 18. 普段、あなたが利用している情報通信機器は次のうちどれですか。(○はいくつでも)

- | | | |
|------------|---------------|-----------|
| 1. スマートフォン | 2. パソコン | 3. タブレット |
| 4. テレビ | 5. 携帯電話(ガラケー) | 6. その他() |

問 19. あなたが現在利用しているSNSをすべてお答えください。(○はいくつでも)

- | | | | | |
|------------|-------------|------------|--------------|------------|
| 1. LINE | 2. Facebook | 3. Twitter | 4. Instagram | 5. YouTube |
| 6. 利用していない | | | | |
| 7. その他() | | | | |

問 20. 太子町で提供しているデジタル行政サービスで、利用したことがあるものをお答えください。
(○はいくつでも)

1. 町ホームページ	2. 町公式LINE	3. 町公式Facebook
4. 町公式Instagram	5. 町公式YouTube	6. 広報たいし(WEB版)
7. 施設予約システム	8. 証明書のコンビニ交付サービス	
9. オンライン申請(介護・子育て・引越)	10. 図書予約システム	
11. 利用したことがない	12. その他()	

問 21. あなたは、①現在どのようなことを生きがいにしていますか。また、②今後どのようなことを生きがいにしたいと思っていますか。(○はそれぞれ3つまで)

①現在	②今後
1. 働くこと	1. 働くこと
2. 学習や教養を高めるための活動	2. 学習や教養を高めるための活動
3. 健康づくりや体力づくり	3. 健康づくりや体力づくり
4. スポーツやレクリエーション	4. スポーツやレクリエーション
5. 趣味の活動	5. 趣味の活動
6. 家族や友人と過ごすこと	6. 家族や友人と過ごすこと
7. 子どもや孫の成長	7. 子どもや孫の成長
8. ボランティア	8. ボランティア
9. NPO法人	9. NPO法人
10. 農業	10. 農業
11. 地域の団体を通じた活動(自治会・老人会など)	11. 地域の団体を通じた活動(自治会・老人会など)
12. 特に生きがいにしているものはない	12. 特に生きがいにしているものはない
13. その他()	13. その他()

問 22. 生きがいづくりに関する情報を何から得ていますか。(○はいくつでも)

1. 広報たいし	2. 役場窓口
3. 公民館などの公共施設	4. 町ホームページ・SNS
5. 自治会、地域の人	6. 新聞・雑誌
7. テレビ・ラジオ	8. 町以外のホームページ等
9. いずれもない	10. その他()

5. 土地利用について

あなたのお住まいの地域(小学校区)における土地利用で今後のまちづくりに望むものについてお伺いします。

問 23. 住環境の整備について望むものは何ですか。(○は2つまで)

- | | |
|----------------------------|-------------------|
| 1. 身近な道路や公園などの住環境の整備 | |
| 2. 商店や作業所などと住宅地の混在解消 | |
| 3. まちなかでの買い物など生活に便利な住宅地の整備 | |
| 4. 郊外での新たな住宅地の整備 | 5. まちなみの美しい住宅地の整備 |
| 6. 住宅の不燃化や耐震化 | 7. わからない |
| 8. その他(|) |

問 24. 住宅地の整備について望むものは何ですか。(○は2つまで)

- | | |
|------------------------------|---------------------|
| 1. 戸建て住宅を中心としたゆとりある閑静な住宅地 | |
| 2. 戸建て住宅やアパートなどの集合住宅が共存する住宅地 | |
| 3. 中高層のマンションなどの都市型の住宅地 | 4. 商店や作業所などが共存する住宅地 |
| 5. 豊かな自然や農地に囲まれた集落地 | 6. わからない |
| 7. その他(|) |

問 25. 商業地の整備について望むものは何ですか。(○は2つまで)

- | | |
|--------------------------------|---|
| 1. 魅力的な小規模店舗の集まる区域の形成 | |
| 2. 大型店の誘致による商業集積の形成 | |
| 3. 幹線道路沿いの買い物や飲食などを中心とした商業地の形成 | |
| 4. イベントなどで人が集まれる広場の設置 | |
| 5. わからない | |
| 6. その他(|) |



6. 太子町のまちづくりについて

問 26. あなたは太子町に愛着を感じていますか。(○は1つ)

- | | |
|-------------------------------|---------------------------|
| 1. 愛着を感じている | 2. 以前は愛着がなかったが、最近愛着がわいてきた |
| 3. 以前は愛着があったが、最近薄れつつある →問 27へ | 4. 愛着を感じていない →問 27へ |

問26で「1. 愛着を感じている」または「2. 以前は愛着がなかったが、最近愛着がわいてきた」と答えた方におたずねします。

問 26-1. あなたが太子町に愛着を感じる時はどんなときですか。(○は1つ)

1. 地域の活動などを通じて、地域の役にたっていると思うとき
2. 文化やスポーツなどの趣味を通じて、仲間の一員だと思うとき
3. 学校や仕事をする環境に恵まれていると感じるとき
4. 伝統ある街並みや豊かな自然に心を和まされるとき
5. 家族や友人との時間を共有したとき
6. その他()

問 27. あなたはどのような形で太子町のまちづくりに参加したいと思いますか。(○はいくつでも)

1. シンポジウムやフォーラムなどの講演会や意見交換会への参加
2. 審議会や委員会への公募委員としての参画
3. パブリックコメント制度を活用した意見の提出
4. アンケート調査への協力
5. 自治会をはじめとする地域コミュニティ活動への参加
6. ボランティアやNPO活動への参加
7. 趣味や経験を生かした指導や貢献
8. 参加したくても参加できない
9. 参加したくない
10. その他()



男女共同参画に関するアンケート調査

7. 職業生活について

問 28. 育児休業や介護休業について、それぞれお答えください。

(1) 家庭で育児や介護が必要なとき、共働きの夫婦が育児休業や介護休業を取るとしたら、どうするのがよいと思いますか。(〇は1つ)

- | | |
|--------------------|-------------|
| 1. 夫が取るのがよい | 2. 妻が取るのがよい |
| 3. 夫も妻も同じように取るのが良い | 4. その他() |

(2) 実際に、これまでに育児休業・介護休業を取得したことがありますか。(〇は1つ)

- | | |
|-------------------|------------------|
| 1. 取得したことがある | 2. 取得したことがない |
| 3. 必要な状況になったことはない | 4. これまでに仕事をしていない |

問 29. 「職場での仕事」と「生活(趣味や家庭での時間など)」の調和を図る『ワーク・ライフ・バランス』という考え方がありますが、日々の暮らしの中での時間の使い方について、「希望」と「現実」をお答えください。

(1) 希望(〇は1つ)

- | | |
|-----------------|-----------------------|
| 1. 仕事を優先 | 2. 生活(趣味や家庭での時間など)を優先 |
| 3. 仕事と生活をバランスよく | 4. わからない |

(2) 現実(〇は1つ)

- | | |
|-----------------|-----------------------|
| 1. 仕事を優先 | 2. 生活(趣味や家庭での時間など)を優先 |
| 3. 仕事と生活をバランスよく | 4. わからない |

問 30. あなたは、結婚・出産・介護を機に仕事を辞めたことはありますか。(〇はいくつでも)

- | | |
|-------------------|------------------|
| 1. 結婚を機に仕事を辞めた | 2. 出産を機に仕事を辞めた |
| 3. 家族の介護を機に仕事を辞めた | 4. その他の理由で仕事を辞めた |
| 5. 以前から仕事をしていない | 6. 仕事を辞めたことはない |



問 31. 男女がともに働き続けるためには、どのようなことが必要だと思いますか。(○はいくつでも)

1. 職場において、男女ともに育児・介護休暇などをとりやすくする
2. 保育施設や保育時間の延長など保育内容を充実させる
3. ホームヘルパー制度など福祉サービスを充実させる
4. 気軽に相談できる制度をつくる
5. パートタイマー・派遣の給与や労働条件をよくなる
6. 在宅勤務やフレックスタイム(時間差出勤)をとり入れる
7. 労働時間を短くする
8. 再就職等の支援を充実させる
9. 家族で家事の分担を行う
10. わからない
11. その他()

問 32. 女性が活躍できる仕事・職場環境にするために、必要なものは何だと思いますか。
(○はいくつでも)

1. 職場のトップが女性の活躍の推進に積極的であること
2. 上司や同僚が、女性が働くことに理解があること
3. 育児・介護との両立に関する職場の支援制度が整っていること
4. 長時間労働の必要がないことや、勤務時間が柔軟であること
5. 身近に活躍している女性(ロールモデル)がいること
6. 仕事が適正に評価されること
7. 仕事の内容にやりがいがあること
8. 保育所や学童クラブなど、子どもを預けられる環境の整備
9. 介護支援サービスの充実
10. 家事・育児支援サービスの充実
11. 女性が働き続けることへの女性自身の意識改革
12. 特にない
13. わからない
14. その他()

8. 男女の平等意識について

問 33. 現在の男女の地位は、どの程度平等になっていると思いますか。あなたのお考えにもっとも近いものをお答えください。(○はそれぞれ1つずつ)

①～⑧までの項目について、 それぞれ選んだ番号に○を つけてください。	男性が 優遇されて いる	男性が 優遇されて いる どちらか といえは	平等 である	女性 が優遇さ れている どちらか といえは	女性が 優遇され ている	わから ない
①家庭生活で	1	2	3	4	5	6
②職場の中で	1	2	3	4	5	6
③地域活動の場で	1	2	3	4	5	6
④学校教育の場で	1	2	3	4	5	6
⑤政治の場で	1	2	3	4	5	6
⑥法律や制度の上で	1	2	3	4	5	6
⑦社会通念や慣習、しきたり等で	1	2	3	4	5	6
⑧社会全般の平等意識	1	2	3	4	5	6

問 34. 下記について、あなたのお考えをお聞かせください。(○はそれぞれ1つずつ)

①～⑦までの項目について、それぞれ 選んだ番号に○をつけてください。	そう 思う	そう 思う どちらか といえは	そう 思わない どちらか といえは	そう 思わない	わから ない
①結婚は個人の自由であるから、結婚してもしなくてもどちらでもよい	1	2	3	4	5
②夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである	1	2	3	4	5
③女性は結婚したら、自分自身のことより、夫や子どもなど家族を中心に考えて生活したほうがよい	1	2	3	4	5
④結婚しても必ずしも子どもをもつ必要はない	1	2	3	4	5
⑤結婚してもやり直したいときは離婚してもよい	1	2	3	4	5
⑥現在の社会は、性的指向や性自認に悩む方にとって偏見や差別により生活しづらい	1	2	3	4	5
⑦自治体はパートナーシップ宣誓制度※を導入するべきである	1	2	3	4	5

※各自治体が同性同士のカップルを婚姻に相当する関係と認め証明書を発行する制度

問 35. 次にあげる家庭でのことがらに関する夫婦の分担について、おたずねします。

(理想、現実とも○はそれぞれ1つずつ)

①～⑩までの項目について、
それぞれ選んだ番号に○をつ
けてください。

	理想 全員がお答えください				現実 配偶者のいる方(事実婚も含む) がお答えください。 ⑧～⑩は、該当する方のみお答 えください。			
	主 として 妻	夫 婦 同 程 度	主 として 夫	わ か ら な い	主 として 妻	夫 婦 同 程 度	主 として 夫	わ か ら な い
①生活費を稼ぐ	1	2	3	4	1	2	3	4
②日々の家計の管理	1	2	3	4	1	2	3	4
③掃除・洗濯	1	2	3	4	1	2	3	4
④日常の買い物	1	2	3	4	1	2	3	4
⑤食事のしたく	1	2	3	4	1	2	3	4
⑥食後の片づけ・食器洗い	1	2	3	4	1	2	3	4
⑦地域活動への参加	1	2	3	4	1	2	3	4
⑧子どもの教育としつけ	1	2	3	4	1	2	3	4
⑨育児(乳幼児の世話)	1	2	3	4	1	2	3	4
⑩家族の介護や看護	1	2	3	4	1	2	3	4

問 36. あなたは、子どもをどのように育てたほうがよいとお考えですか。(○は1つ)

1. 女の子は女らしく、男の子は男らしく育てるほうがよい 2. ある程度、女の子は女らしく、男の子は男らしく育てるほうがよい 3. 女の子、男の子と性別による区別はせずに、個性に応じた育て方をするほうがよい 4. わからない 5. その他()

問 37. 男性が家事、育児、介護などに積極的に参加していくためには、どのようなことが必要だと思いますか。(〇はいくつでも)

1. 男女の役割分担についての社会通念、慣習、しきたりを改める
2. 企業中心という社会全体の仕組みを改める
3. 仕事と家庭の両立などの問題について相談できる窓口を設ける
4. 労働時間短縮や休暇制度を普及させる
5. 男性が育児休業制度や介護休業制度を取得しやすい環境を整える
6. 夫婦の間で家事などの分担をするように十分話し合う
7. 男性の仕事中心の生き方、考え方を改める
8. 経済力や出世を求めない
9. 小さいときから家庭や学校で家事や育児に関する教育をする
10. 特に必要ない
11. わからない
12. その他()

9. 夫婦間や交際相手からの暴力(DV=ドメスティック・バイオレンス)等について

問 38. あなたは、今までに、セクシュアル・ハラスメント(性的いやがらせ)をされたことはありますか。(〇はいくつでも)

1. 自分自身が被害にあったことがある
2. 友人や職場の仲間など、自分の周りに被害にあった人がいる
3. 自分や自分の周りに被害にあった人はいない →問 39 へ
4. わからない →問 39 へ

問38で、「1. 自分自身が被害にあったことがある」または「2. 友人や職場の仲間など、自分の周りに被害にあった人がいる」と答えた方におたずねします。

→問 38-1. あなたは、その時やその後はどうしましたか。(〇はいくつでも)

- | | |
|-------------------|----------------------|
| 1. 相手に直接抗議した | 2. 家族や友人に相談した |
| 3. 職場や学校に相談した | 4. 公的機関や民間の相談機関に相談した |
| 5. がまんした(何もしなかった) | 6. その他() |

問 39. DVとは、多くの場合、女性が、夫や恋人などのパートナーから、身体的暴力や性的暴力、精神的暴力、経済的暴力を受けることをいいますが、被害者が男性の場合もあります。あなたは、これまでに夫や妻、あるいは恋人などから、次のようなことをされたことはありますか。(○はそれぞれ1つずつ)

①～⑥までの項目について、 それぞれ選んだ番号に○をつけてください。	あ っ た も 何 度 も	あ っ た 1、 2 度	な い ま っ た く
①殴る、蹴る、物を投げつける、突き飛ばすなどの身体に対する暴行を受けた	1	2	3
②あなた若しくはあなたの家族に危害が加えられるのではないかと恐怖を感じるような脅迫を受けた	1	2	3
③大切にしているものを壊す、人格を否定したりするような暴言や無視するなどの精神的ないやがらせを受けた	1	2	3
④いやがっているのに性的な行為を強要する、避妊に協力しないなどの性的暴力を受けた	1	2	3
⑤生活費を渡さない、働きに行かせないなどの経済的な制約を受けた	1	2	3
⑥電話や手紙を細かくチェックする、交友関係や外出を制限する、実家や友人に会わせないなどの束縛を受けた	1	2	3

問39ですべて「まったくない」と答えた方は問40にお進みください。

→問39で1つでも「何度もあった」または「1、2度あった」と答えた方におたずねします。

問 39-1. あなたは、これまでに問39であげたような行為について、誰かに打ち明けたり、相談したりしましたか。(○はいくつでも)

1. 家族や親戚	2. 友人・知人	3. 医療関係者
4. 警察	5. 町や県	6. 弁護士や弁護士会
7. 人権擁護委員や民生委員	8. 学校関係者	
9. その他()	10. どこ(だれ)にも相談しなかった	

問39-1で「10. どこ(だれ)にも相談しなかった」以外を答えた方は問40にお進みください。

問39-1で「10. どこ(だれ)にも相談しなかった」と答えた方におたずねします。 ←

問 39-2. どこ(だれ)にも相談しなかったのは、なぜですか。(○はいくつでも)

1. どこに(だれに)相談したらよいのかわからなかった	2. 恥ずかしくて誰にも言えなかった
3. 相談しても無駄だと思った	4. 相談したことがわかったと仕返しを受けると思った
5. 自分さえ我慢したらやっていけると思った	6. 他人を巻き込みたくなかった
7. 自分にも悪いところがあると思った	8. 相手の行為は愛情の表現だと思った
9. 相談するほどのことではないと思った	10. その他()

問 40. DVを防止するためには、どのようなことが必要だと思いますか。(〇はいくつでも)

1. 家庭で子どもに対し、暴力をふるわないことや人権・男女平等に関する教育を行う
2. 学校で、暴力をふるわないことや人権・男女平等に関する教育を行う
3. 暴力防止のための広報・啓発活動を行う
4. 暴力を助長するおそれのある情報を取り締まる
5. 地域で見守りなどのネットワークづくりを行う
6. 加害者に対し、二度と繰り返さないための教育を行う
7. 加害者への罰則を強化する
8. その他()

10. 地域活動への参加などについて

問 41. あなたの住んでいる地域での様々な活動において、男女共同参画を積極的に進めるためには、どのようなことが必要だと思いますか。(〇はいくつでも)

1. 地域の社会通念や慣習を見直すための啓発活動を充実すること
2. 地域活動のリーダーに女性を積極的に登用すること
3. 女性のリーダーを養成するための講習会などを開催すること
4. 様々な立場の人達が参加しやすいよう活動の時間帯を工夫すること
5. 地域活動やボランティア活動についての情報提供を充実すること
6. 男性も女性も積極的に地域活動に参加すること
7. 家族の理解と協力を得ること
8. わからない
9. その他()

11. 男女共同参画の取組について

問 42. 自治会や様々な地域活動・町政における企画づくりや方針決定の場への女性の参画状況について、あなたはどのように思いますか。(〇は1つ)

- | | | |
|-----------------|----------------|----------------|
| 1. 十分に参画できている | 2. ある程度参画できている | 3. あまり参画できていない |
| 4. まったく参画できていない | 5. わからない | |

(○はそれぞれ1つずつ)

言葉も意味も
知っている

聞いたことはあるが意味は知らない

はじめて聞いた

(○はいいくつでも)

- 今後の太子町のまちづくりや男女共同参画社会の実現に向けた取組について、ご意見・ご要望があればどんなことでも結構です。ご自由にお書きください。